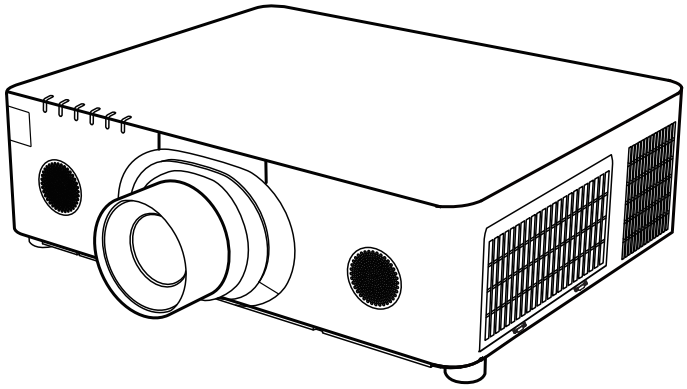
取扱説明書

maxell

プロジェクター

MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ
MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ
MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ

(形名：MC-WU8701W/MC-WU8701B/
MC-WU8601W/MC-WU8601B/
MC-WX8751W/MC-WX8751B/
MC-WX8651W/MC-WX8651B/
MC-X8801W/MC-X8801B)



このたびは弊社のプロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

はじめに ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は大切に保管してください。

《本機の特長》

本機は以下のような特長を備えており、幅広い用途でご活用いただけます。

- さまざまなビジネスシーンをカバーする多様な入出力端子を備えています。
  HDMI、DisplayPort、SDI、HDBaseT 端子は、デジタル信号による高品位の映像をご利用いただけます。
- 豊富なオプションレンズ（別売り）を用意し、幅広い投写距離に対応します。
- 独自の画質補正機能（HDCR）により、明るいところでも視認性の高い映像が実現できます。
- エッジブレンディングや幾何学補正機能により様々な形状、アスペクトのスクリーンに対応できます。

《本書について》

以下をご参考に、本書をご活用ください。

(1) 見出し：偶数ページの左端、および奇数ページの右端に記載されています。

(2) 📖：このマークのあとに、ご参照いただきたい記事のページや場所を記載しています。
例）📖1-1 ⇒ 本書の【基本編】1 ページ（もくじ）をご参照ください。

(3) 本書は、【基本編】、【応用編】、【ネットワーク編】、【技術情報編】および【保証とアフターサービス】の 5 編に分かれています。

【基本編】…… 📖1 - 1 ～
本機の基本的な設定や調節、お手入れ方法などについて説明します。

【応用編】…… 📖2 - 1 ～
本機の詳細な設定や調節を行うメニュー機能、および本機の多彩な機能についてご説明します。

【ネットワーク編】…… 📖3 - 1 ～
本機のネットワーク機能について説明します。

【技術情報編】…… 📖4 - 1 ～
本機の仕様や、通信機能、またエラーメッセージや故障と思われる現象への対処法についてご説明します。

【保証とアフターサービス】 …… 📖5 - 1 ～
保証やアフターサービス、「お客様ご相談窓口」についてご案内いたします。

〈お知らせ〉

- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。
- 本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のプロジェクターとは若干の相違がある場合があります。

取扱説明書

プロジェクター

MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ
MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ
MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ

（形名：MC-WU8701W/MC-WU8701B/MC-WU8601W/MC-WU8601B/
MC-WX8751W/MC-WX8751B/MC-WX8651W/MC-WX8651B/
MC-X8801W/MC-X8801B）

【基本編】

基本的な設定や調節、お手入れ方法などについて説明します。

⚠ 警 告

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

はじめに …… 1 - 2
正しくお使いいただくために《必ずお読みください》…… 1 - 2
使用上のご注意 …… 1 - 3
付属品の確認 …… 1 - 10
各部の名称 …… 1 - 11

準備・設置…… 1 - 15
準備する …… 1 - 15
設置する …… 1 - 15
他の機器と接続する …… 1 - 22
HDMI® ケーブルを固定する …… 1 - 33
アダプターカバーを取り付ける …… 1 - 33
ターミナルカバーを取り付ける …… 1 - 34
セキュリティ・スロット / バーを使う …… 1 - 35
電源に接続する …… 1 - 36
ケーブルを固定する …… 1 - 26
リモコンを準備する …… 1 - 38
ステータスモニター …… 1 - 40

基本操作…… 1 - 44
電源を入れる …… 1 - 44
電源を切る …… 1 - 45
入力信号を選ぶ …… 1 - 46
アスペクト（画面の縦横比）を選ぶ …… 1 - 47
傾きを調節する …… 1 - 48

（基本操作つづき）
設置確度 …… 1 - 48
レンズを調整する …… 1 - 49
ズーム（表示倍率）と
フォーカス（焦点）を調整する …… 1 - 49
画面の位置（レンズシフト）を調節する 1 - 49
レンズメモリ機能 …… 1 - 50
レンズロック機能 …… 1 - 51
画面の自動調節機能を使う …… 1 - 51
その他のボタン …… 1 - 52
画面のひずみを補正する …… 1 - 53
エッジブレンディング機能を使用する …… 1 - 55
画面を拡大する …… 1 - 58
映像を静止させる …… 1 - 58
映像、音声出力を隠す …… 1 - 59

点検とお手入れ …… 1 - 60
ランプを交換する …… 1 - 60
エアーフィルターを掃除／交換する …… 1 - 63
内蔵時計用電池を
取り付ける／交換する …… 1 - 65
その他のお手入れ …… 1 - 66

仕様…… 1 - 67
一般仕様 …… 1 - 67
外形寸法 …… 1 - 69

はじめに

正しくお使いいただくために《必ずお読みください》

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

⚠ 警 告
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、**人が死亡または重傷を負う**可能性があります。
⚠ 注 意
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、**人が傷害を負ったり物的損傷を発生する**可能性があります。

■絵表示の意味

「注意」を示します。
この記号の後に続けて「気をつけなければならない」ことを記載しています。

「破裂注意」

「感電注意」

「高温注意」

「禁止」を示します。
この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。

「分解禁止」

「水ぬれ禁止」

「ぬれ手禁止」

「強制」を示します。
この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。

「電源プラグをコンセントから抜け」

「アース線を必ず接続せよ」

お守りください
本機、およびその他の周辺機器を快適にご使用いただくため、この表示に従ってください。

■使用上のご注意

⚠ 警 告

異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを
コンセント
から抜け

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。
▶煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする。
▶内部に異物や液体（金属や水など）が入った。
▶落とした、強い衝撃をあたえた。
▶本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある。
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

子どもやペットに注意する

誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。また、電池やその他の小さな部品は、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。お子様やペットが届かないところに設置、保管してください。**万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。**

異物や液体を入れない

火災や感電の原因となります。また可燃性の気体や液体が内部に入ると、引火して爆発を引き起こし、火災やけがの原因となります。
ぬれたものや小さなもの、気体や液体が入っているものを本機の近くに置かないでください。洗剤や殺虫剤などのスプレー（エアゾール製品）を本機に向けて、または本機の周辺で使用しないでください。
万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

ぬらさない

水ぬれ禁止

本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。
水をかけたり、風呂場やシャワー室など水や雨、水滴のかかる場所に置いたりしないでください。

不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない、衝撃をあたえない

ぶつけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となります。また、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。**万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。**
▶移動するときは、コード、ケーブルを外してください。
▶設置器具は、本書の指定品をご使用になり、天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
▶アジャスタ脚の調節（📖**1-48**）以外は傾けて設置しないでください。
▶底面以外を下にして置かないでください。

油を使用する場所に置かない

油煙などにより油が付着し、故障、火災や感電の原因となります。また、プラスチックの劣化により、天井や高所設置からの落下など、けがの原因となります。
▶調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しないでください。
ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤などを使用しないでください。

（次ページにつづく）

⚠ 警 告

高温に注意する

高温注意

本機の使用中、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になります。また、別売品の USB ワイヤレスアダプターは、使用中高温になる場合があります。周辺に可燃物やスプレー等があると引火や破裂を引き起こし、火災やけがの原因となります。また高温部に触れたり近づいたりするとやけどの原因となることがあります。

▶本機の上や周辺に、可燃物やスプレー、熱の伝わり易いものや熱に弱いものを置かないでください。
▶使用中や使用後しばらく、排気口やランプカバーに触れたり近づいたりしないでください。
▶別売品の USB ワイヤレスアダプターを使用する場合は、やけど防止のため、アダプターカバーを必ず取り付けてください。

分解しない、改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。

▶本機のキャビネットや付属品のケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。
▶内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

電源コード、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する

仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。本機に同梱されているものは、傷や破損が無いことをご確認のうえ、必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。本機に付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

電源プラグは付着物をふき取って使用する

本機の **AC**（電源端子）や電源コードのプラグ（刃）部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。

電源プラグは、指定（本体に表示）の電源電圧のコンセントに、根元まで確実に差し込んで使用する

電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。また、指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。
必ず、**交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。**

▶ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。
▶たこ足配線はしないでください。

アース線を必ず接続する

アース線を
必ず接続せよ

アース線、接地端子を接地しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。また、アース線をコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となります。
アース線は、本書の「電源に接続する」（📖**1-36**）に従って、正しく接続してください。

電源コード、信号ケーブルやコネクタを傷つけない

損傷のある電源コードや信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

（次ページにつづく）

⚠ 警 告

ぬれた手で電源コードを取り扱わない

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

お手入れするときは電源プラグを抜く

電源プラグを
コンセント
から抜け

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。
お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
必ず本書の「点検とお手入れ」（📖**1-60 ～ 66**）をお読みになり、正しくお手入れしてください。

排気口に顔を近づけない

ランプが破裂した場合に、水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが出ることがあります。**万一、目や鼻、口に入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。**

ランプの取扱いに注意する

破裂注意

高温注意

本機は、寿命のあるガラス製の高圧水銀ランプを使用しています。ランプの取扱いを誤ると、やけどの原因となったり、破裂してけがなどの原因となります。
万一、破裂した場合（破裂音がします）は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。排気口などから水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが出ることがあります。十分換気し、吸い込んだり、目や口に入らないようにご注意ください。万一、目や鼻、口に入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。内部にはガラス片が散乱しているおそれがありますので、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。
使用中や使用後、ランプとその周辺は高温となりやけどの原因となります。ランプの交換は電源を切ってプラグを抜き、45 分以上放置して冷ましてから行ってください。
本書の「ランプについてのご注意」（📖**1-62**）、「ランプを交換する」（📖**1-60 ～ 61**）をお読みになり、指定のランプを正しくご使用ください。本機の仕様に合わないランプを使用すると、故障の原因となったり、本機の寿命を縮める原因となることがあります。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

電池の取扱いに注意する

破裂注意

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいのでお子様やペットが飲み込むおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。
液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

▶交換するときは指定のタイプ（📖**1-38, 65**）の新しい (未使用) 電池を使用してください。
▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
▶子どもやペットの手足が届かないところに保管してください。
▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

重い物を載せたりぶら下げたりしない

不安定になって落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。

▶本書に指定のある場合や所定の別売品（販売店にお尋ねください）以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。

⚠ 注 意

高温になるところに置かない、通風孔をふさがない

高温になるところに置いたり、通風が正常に行われないと、内部温度が上がり過ぎ、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また、熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。

▶本機は、風通しの良いところに、周辺の壁や物から 50cm 以上離して設置してください。
▶熱源の近くや直射日光、温風が当たるところには置かないでください。
▶本機や付属品を電子レンジに入れないでください。
▶通風孔をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
▶布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。

湿気、ほこりの多いところ、煙の当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない

内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。湿気やほこりの多いところには置かないでください。また超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。

▶本機や付属品を、屋外に置かないでください。

磁気を発生するものを近づけない

本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

▶付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

使用しないときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜け

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは使用しない

落雷があった時に本機を使用していると、火災や感電の原因となることがあります。
落雷のおそれがあるときは、使用を中止し、電源プラグを抜いてください

USB ワイヤレスアダプターは、所定のものを使用する

USB ワイヤレスアダプターは、型名（📖**1-33**）を販売店に指定してご購入ください。

LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談する

ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、**LAN** 端子に接続しないでください。

▶公衆回線に接続する場合は、必ず電気通信事業法認定のルータ等に接続してください。

ランプ点灯中に映像を消すには、指定の方法を使用する

ランプが点灯中に映像を消したい場合には、レンズシェードまたは AV ミュート機能（📖**1-59**）を使用してください。レンズの前に物を置いたり、レンズに紙や布などを貼ったりすると、
レンズを損傷するおそれがありますので、おやめください。

（次ページにつづく）

⚠ 注 意

年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する

内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。
年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。

フィルターユニットを定期的にお手入れする

フィルターユニットがほこりなどで詰まったり正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。

▶必ず本書の「エアーフィルターを掃除／交換する」（📖**1-63, 64**）をお読みになり、指定のエアーフィルターを正しくご使用ください。

▶エアーフィルターやフィルターカバーを外した状態では使用しないでください。

お守りください

長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。
ときどき画面から離れて目を休めてください。

レンズに何かを張り付けたり、密着させて置いたりしないでください。

高温となってレンズ面が融け、映像不良の原因となることがあります。

レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。

▶レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。

▶お手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）などを使ってください。

レンズに直接手を触れないでください

レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

リモコンに衝撃をあたえないでください、破損や故障の原因となることがあります。

▶ リモコンを投げたり落としたりしないでください。

▶ 上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

リモコンをぬらさないでください、故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。

▶ 水をかけたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください

▶リモコン送信の障害となって、リモコンが利かないことがあります。

キャビネットやリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。お手入れは正しい方法（📖**1-66**）で行ってください。

▶揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤、およびスプレーなどは使用しないでください。

▶ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。

▶化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

梱包材は大切に保管してください

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

プロジェクター投写光の安全性

" 目へのビーム直接被ばくを禁止する。"

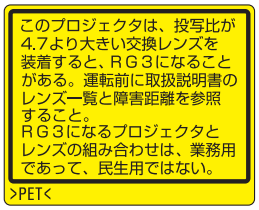
明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。

RG2 IEC62471-5：2015。

傷害距離：下表 **T-1** を参照してください。**T-1** に距離が記載されている投写レンズとプロジェクターの組み合わせは、IEC62471-5 (Photobiological safety of lamps and lamp systems – Part 5: Image projectors) の投写光強度が RG3 となる事を表しています。

該当の組み合わせを使用する場合は、" 操作者は、傷害距離内でのビームへの被ばくを管理するか、傷害距離内での観客の目への露光を避ける高さに製品を設置しなければならない "。

F-1：レンズとプロジェクタの組み合わせ表



T-1：レンズとプロジェクタの組み合わせ表

	FL-710	USL-701	FL-701	SL-712	ML-703	ML-713	LL-704	UL-705
MC-WU8701W MC-WU8701B	—	—	—	—	—	—	—	**1.3 m**
MC-WU8601W MC-WU8601B	—	—	—	—	—	—	—	**1.1 m**
MC-WX8751W MC-WX8751B	—	—	—	—	—	—	—	**1.3 m**
MC-WX8651W MC-WX8651B	—	—	—	—	—	—	—	**1.1 m**
MC-X8801W MC-X8801B	—	—	—	—	—	—	—	**1.3 m**

—：RG2

〈お知らせ〉

●本機の特性について

本機は周囲温度などの影響で、投写位置がずれたり、画面がゆがんだり、フォーカスが変動することがあります。ランプが点灯してから性能が安定するまでの約 30 分程度は、特に変化が生じ易くなりますので、必要に応じて確認と再調節を行ってください。

●寿命部品について

光学部品（ランプ、液晶パネル、偏光板、PBS（Polarized Beam Splitter）、コントラストアップフィルム）および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要になります。

▶本機は長時間連続使用を想定して設計されたものではありません。毎日 6 時間以上ご使用になる場合は、1 年未満でも寿命部品の交換が必要になることがあります。また 6 時間以上の連続使用や、短時間でも繰り返しご使用になったりすると、寿命部品の交換サイクルは早くなります。

▶本機を傾けて使用すると、部品の寿命を縮めることがあります。アジャスタ脚の調節範囲以外は傾けて使用しないでください。

▶ランプが点灯してから短い時間のうちに電源を切らないでください。また電源を切った後 10 分間は電源を入れないでください。
電源の入れたり切ったりを、高温状態で行ったり、短い時間に続けて行ったりすると、ランプが不点灯となったり、ランプの寿命を縮める原因となります。

●映像特性について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。投写面（スクリーンや壁面など）の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやコンピュータのモニタとは異なることがありますが、故障ではありません。
偏光スクリーンでは画面が赤味を帯びて見える場合があります。ご使用にならないでください。

●液晶パネルの焼きつきについて

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。静止画像や動きの少ない映像、液晶パネルの仕様（📖**1-67**）と縦横比が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●輝点、黒点について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。画面上に輝点（光ったままの点）や黒点（光らない点）が見られることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズやミラーに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。

●冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転速度を制御する機能を備えています。周囲の温度が高いと
冷却ファンの回転速度も速くなり、騒音も大きくなります。

●ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの RGB 外部映像出力を有効（LCD と CRT の同時表示または CRT の設定）にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。

●セキュリティ・スロット／バーについて

本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

●不要輻射について

この製品はクラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

● この製品（付属品を含む）は
日本国内でのみ、ご使用になれます。

日本国外ではご使用にならないでください。また、この製品の保証書は日本国内でのみ、有効です。

This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

●電源高調波について

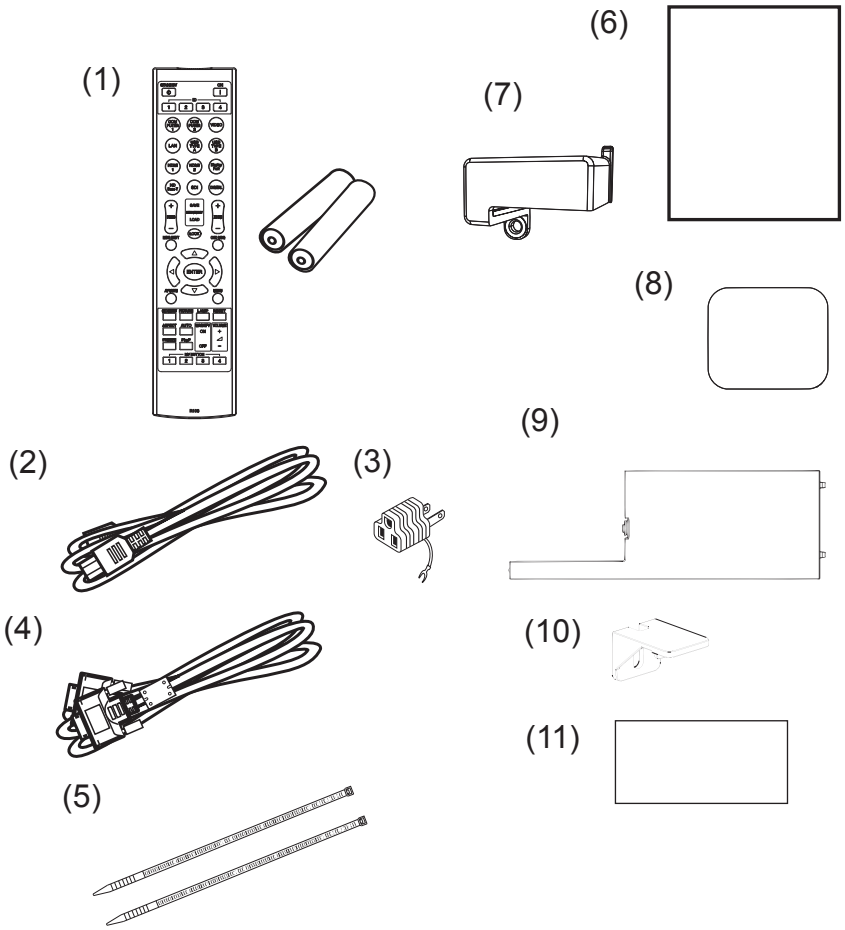
JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

付属品の確認

初めに付属品をご確認ください。この製品にはプロジェクター本体（本機）の他に、以下のものが含まれています。万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

（1）リモコンと単 3 型乾電池× 2 個
（2）電源コード
（3）電源アダプター
（4）コンピュータケーブル
（5）結束バンド
（6）取扱説明書（本書 1 冊）
（7）アダプターカバー
（8）レンズホールカバー
（9）ターミナルカバー
（10）HDMI® ケーブルホルダー× 2 個
（11）セキュリティラベル



⚠ 警 告

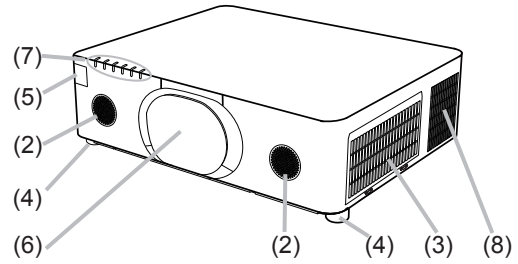
●電池の取扱いに注意する
子どもやペットが届くところに放置しないでください。

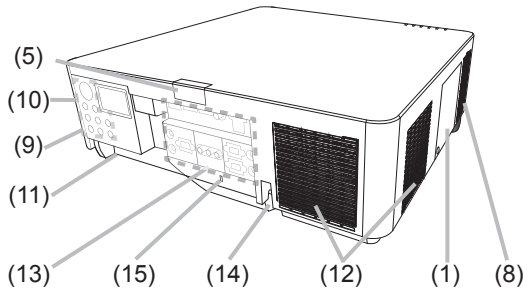
●電源コードは所定のものを使用する
本機に付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

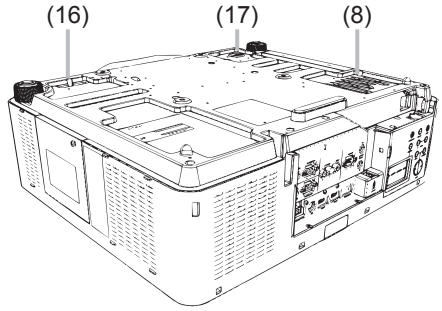
〈お知らせ〉
●梱包材は大切に保管してください。
修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

各部の名称

プロジェクター（本機）







（1）ランプカバー（📖**1-60**）
内側にランプが取り付けられています。

（2）スピーカー
ここから音声が出ます。

（3）フィルターカバー
内側にエアーフィルターと吸気口があります。
物や手などでふさがないでください。

（4）アジャスタ脚（📖**1-48**）
本機の傾きを調節します。左右に一組ずつ、計二組あります。

（5）リモコン受光部（📖**1-39**）
リモコンからの信号を受け取ります。

（6）ダストプロテクター
レンズ穴を保護するため、本機の保管時または移動時に
取り付けます。

（7）インジケータ（📖**1-12**）
本機の状態をお知らせします。

（8）吸気口（📖**1-63**）
本機内に空気を取り込む入り口です。本機の側面と底面、
及びエアーフィルターの奥に計四ヶ所あります。
物や手などでふさがないでください。

（9）操作パネル（📖**1-12)**
本機を操作するためのボタンです。

（10）ステータスモニター（📖**1-40**）
本機の状態やエラー履歴などをお知らせします。

（11）**AC**（電源端子）（📖**1-36**）
電源コードを接続します。

（12）排気口
本機内部の排熱口です。

（13）入出力端子（📖**1-13**）
コンピュータやDVD ／ビデオプレーヤなどと接続します。

（14）セキュリティ・バー（📖**1-35**）

（15）セキュリティ・スロット（📖**1-35**）

（16）セーフティ・バー
ケンジントンロックなどの盗難防止用ロックや、
盗難防止用ワイヤー／チェーンを取り付けま。

（17）内蔵時計用電池カバー（📖**1-65**）
中に内蔵時計用電池が入っています。

⚠ 警 告

●**本機を開けない**
本機のキャビネットや付属品のケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。

●**不安定な場所に置かない、衝撃をあたえない**
移動するときは、コード、ケーブルを外し運んでください。

●**レンズをのぞかない**
本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

高温注意

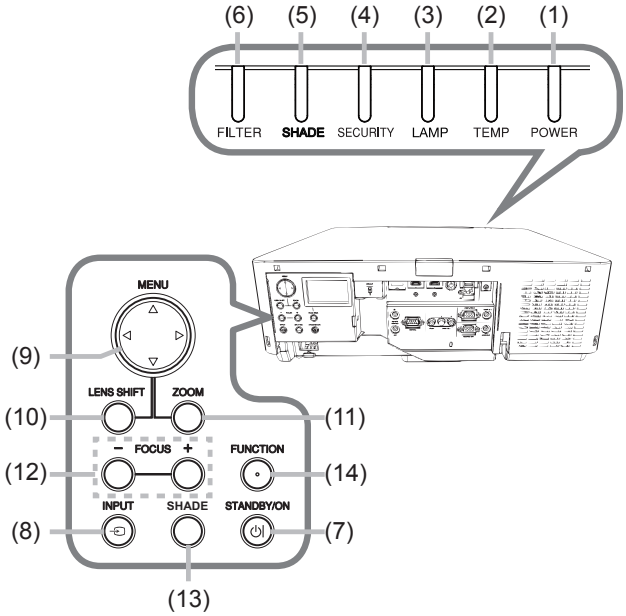
●**高温に注意する**
使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、ランプカバーに触れたりしないでください。

⚠ 注意

●**レンズに物を貼ったり、前に物を置いたりしない**
レンズには、レンズカバー以外のものを取り付けないでください。

（次ページにつづく）

インジケータ、操作パネル



（1）**POWER** インジケータ（📖**4-47 ～ 50**）
電源の状態をお知らせします。

（2）**TEMP** インジケータ（📖**4-48 ～ 50**）
本機内部の温度状態についてお知らせします。

（3）**LAMP** インジケータ（📖**4-48 ～ 50**）
ランプの状態についてお知らせします。

（4）**SECURITY** インジケータ（📖**4-50**）
セキュリティ機能の設定状態について
お知らせします。

（5）**SHADE インジケータ**（📖**4-50**）
レンズシェードの状態についてお知らせします。

（6）**FILTER インジケータ**（📖**4-50**）
エアーフィルターの状態についてお知らせします。

（7）**STANDBY/ON ボタン**（📖**1-44, 45**）
ランプの点灯／消灯（スタンバイ) を切り替えます。

（8）**INPUT** ボタン（📖**1-46**）
映像信号を切り替えます。

（9）**MENU** ボタン（📖**2-3**）
（カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶）
メニュー画面を表示します。（メニューを操作します。）

（10）**LENS SHIFT** ボタン（📖**1-49**）
レンズ位置を動かし、画面の位置を調節します。

（11）**ZOOM** ボタン（📖**1-49**）
画面の拡大用ダイアログを表示します。

（12）**FOCUS －／＋**ボタン（📖**1-49**）
画面のフォーカスを調節します。

（13）**SHADE** ボタン（📖**1-59**）
レンズシェードを開閉します。

（14）**FUNCTION** ボタン（📖**1-49, 50**）
ステータスモニターの操作や、レンズの調節などに
使用します。

入出力端子

（1） **COMPUTER IN 端子**
コンピュータからの映像信号の入力端子です。

（2） **HDBaseT 端子**
HDBaseT™ の入力端子です。

（3） **LAN 端子**
有線 LAN の接続端子です。

（4） **WIRELESS 端子**
USB ワイヤレスアダプタの接続端子です。

（5） **HDMI 1 端子**

（6） **HDMI 2 端子**
HDMI® 映像／音声信号の入力端子です。

（7） **DisplayPort 端子**
DisplayPort の入力端子です。

（8） **VIDEO 端子**
DVD、Blu-Ray™ プレーヤなどの映像機器からの映像信号の入力端子です。

（9） **SDI 端子 (MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ)**
SDI の入力端子です。

（10） **AUDIO IN1 端子**

（11） **AUDIO IN2 (L, R) 端子**
音声信号の入力端子です。

（12） **AUDIO OUT 端子**
音声信号の出力端子です。

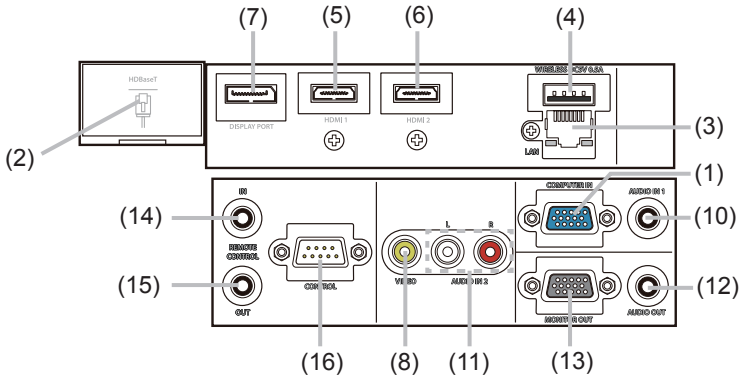
（13） **MONITOR OUT 端子**
コンピュータからの映像信号の出力端子です。

（14） **REMOTE CONTROL IN 端子**
リモコンを有線接続する端子です。

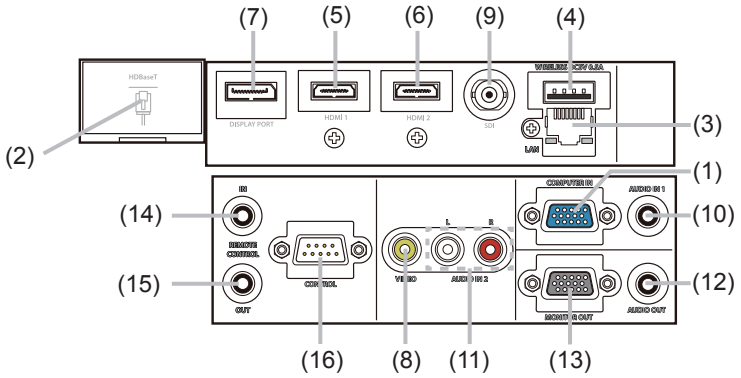
（15） **REMOTE CONTROL OUT 端子**
他のプロジェクターを、本機を介してリモコンに有線接続する端子です。

（16） **CONTROL 端子**
コマンドの送受信端子です。

MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/
MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ



MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ



リモコン

（1）**STANDBY ボタン**（📖**1-45**）
ランプを消灯し、本機をスタンバイ状態にします。

（2）**ON ボタン**（📖**1-44**）
ランプを点灯させます。

（3）**ID 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4** ボタン（📖**1-38**）
操作するプロジェクターを区別します。

（4）**COMPUTER1** ボタン
（5）**COMPUTER2** ボタン＊
（6）**VIDEO** ボタン
（7）**LAN** ボタン
（8）**USB TYPE A** ボタン＊
（9）**USB TYPE B** ボタン＊
（10）**HDMI 1** ボタン
（11）**HDMI 2** ボタン
（12）**DisplayPort** ボタン
（13）**HDBaseT** ボタン
（14）**SDI** ボタン
（15）**DIGITAL** ボタン＊
（MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ使用可能です。）（📖**1-46**）
各入力端子からの映像信号を選択します。

（16）**FOCUS ＋／－**ボタン（📖**1-49**）
画面のフォーカスを調節します。

（17）**ZOOM ＋／－**ボタン（📖**1-49**）
画面のサイズを調節します。

（18）**LENS SHIFT ボタン**（📖**1-49**）
画面の投写位置（レンズ位置）を調節します。

（19）**LENS MEMORY SAVE/LOAD** ボタン（📖**1-50**）
レンズの調節設定の保存と読み出しをします。

（20）**LOCK ボタン**（📖**1-51**）
レンズロックメニューを表示します。

（21）**OSD MSG ボタン**（📖**1-52**）
OSD メッセージメニューを表示します。

（22）カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶（📖**2-3**）

（23）**ENTER ボタン**（📖**2-3**）

（24）**RESET ボタン**（📖**2-4**）
メニュー画面などの操作に使用します。

（25）**AV MUTE ボタン**（📖**1-59**）
一時的に音声と画面を消す時に使用します。

（26）**MENU ボタン**（📖**2-3**）
メニュー画面を表示します。

（27）**GEOMETRY ボタン**（📖**1-52**）
幾何学補正メニューを表示します。

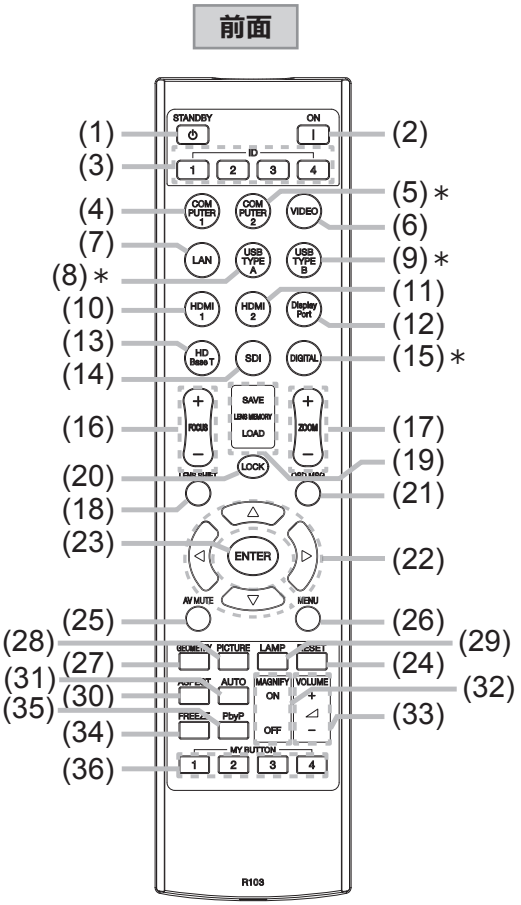
（28）**PICTURE ボタン**（📖**1-52**）
ピクチャークオリティメニューを表示します。

（29）**LAMP ボタン**（📖**1-52**）
ランプ＆フィルターメニューを表示します。

（30）**ASPECT ボタン**（📖**1-47**）
表示画面の縦横比を設定します。

（31）**AUTO ボタン**（📖**1-51**）
画面の自動調節を行います。

（32）**MAGNIFY ON ／ OFF ボタン**（📖**1-58**）
画面の一部を拡大させます。



（33）**VOL ＋／－**ボタン
音量を調節します。

（34）**FREEZE ボタン**（📖**1-58**）
一時的に表示画面を静止させます。

（35）**PbyP ボタン**（📖**2-50**）
画面を横に二分割し、映像を 2 画面表示します。

（36）**MY BUTTON 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ボタン**（📖**2-31**）
お好みの機能を設定できます。

（37）電池カバー（📖**1-38**）
内側に電池ケースがあります。
電池の取り扱いには注意してください。

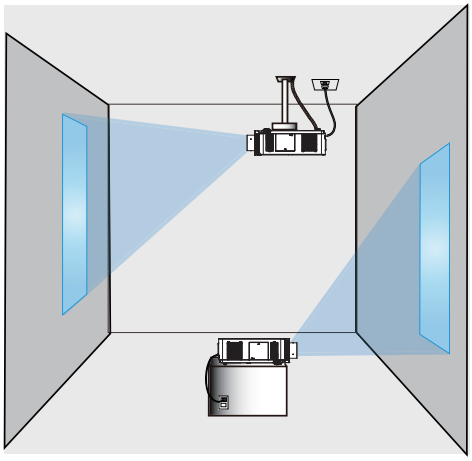
（38）接続端子（📖**1-29**）
プロジェクター（REMOTE CONTROL IN 端子）と接続します。

〈お知らせ〉
- “＊” の付いたボタンは、使用できません。押すとメッセージ（📖**4-46**）が表示されます。
- **ID** ボタン以外のボタンを押すと、現在選択されている ID 番号のボタンが点灯します（📖**1-38**）。

準備・設置

準備する

ご使用環境に合わせ、設置の方法と位置を決めてください。本機とスクリーンの距離については各表をご参照ください。表の数値はフルスクリーンの場合の参考値 (± 10%) です。
天吊り（天井設置）などの固定設置や特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。

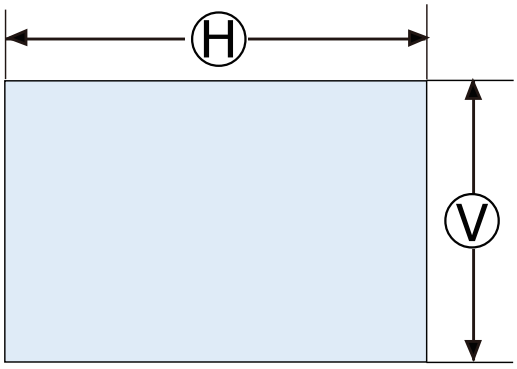


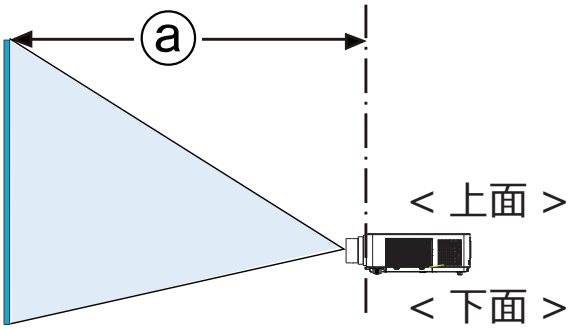
レンズの取り付け

オプションレンズの取扱説明書をご参照ください。

設置する

本機とスクリーンの距離については（📖**1-19 ～ 21**）をご参照ください。ご使用環境に合わせ、設置の方法と位置を決めてください。



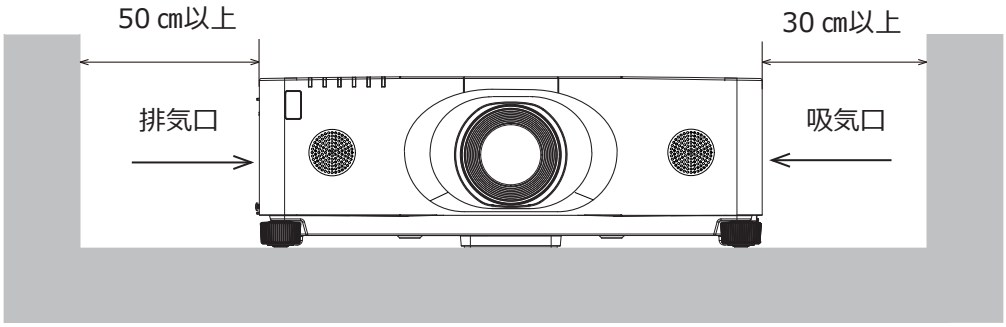


Ⓗ×Ⓥ：画面サイズ
ⓐ：投写距離（本体端面から）

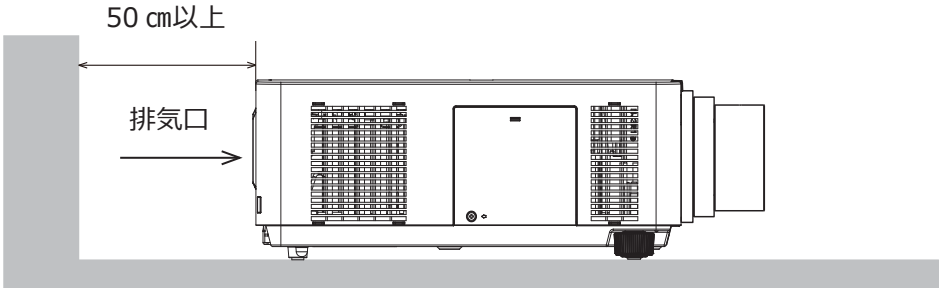
（次ページにつづく）

設置する（つづき）

排気口と壁の間には 50 ㎝以上、吸気口と壁の間には 30 ㎝以上のスペースを確保してください。
注）下図において、プロジェクターの前方、後方、および上方には十分な空間があるものとします。

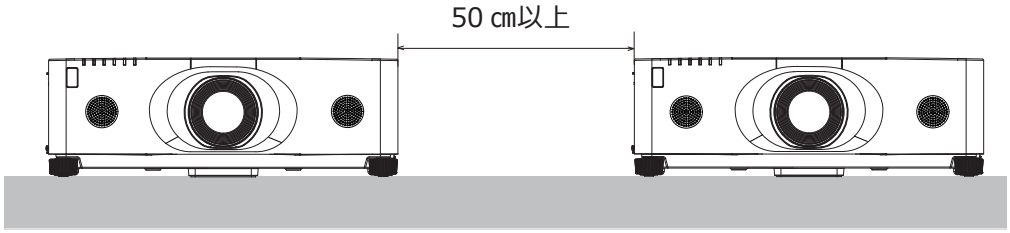


排気口と壁の間には 50 ㎝以上のスペースを確保してください。
注）下図において、プロジェクターの前方、両横、および上方には十分な空間があるものとします。

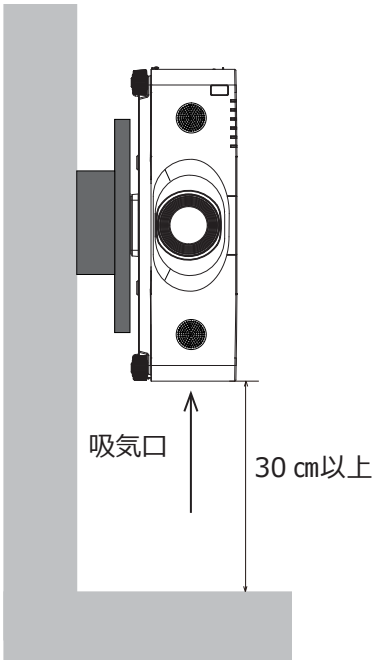


（次ページにつづく）

プロジェクターを並べて設置する場合は、間隔を 50 ㎝以上開けてください。
注）下図寸法以外の必要スペースは、前記設置に準ずる。



プロジェクターをポートレイト投写設置する場合は、吸気口と壁の間には 30 ㎝以上のスペースを確保してください。
注）下図寸法以外の必要スペースは、前記設置に準ずる。



⚠ 警 告

電源プラグを
コンセント
から抜け

●異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない
▶設置器具は、本書の指定品をご使用ください。天吊り（天井設置）などの固定設置や特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
▶前面、背面を下にして置かないでください。
▶設置器具は、本書の指定品をご使用ください。

高温注意

●高温に注意する
熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。

●油を使用する場所に置かない
▶調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しないでください。
ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤などを使用しないでください。

水ぬれ禁止

●ぬらさない
▶水や雨のかかる場所に置いたりしないでください。

⚠ 注 意

●高温になるところに置かない、通風孔をふさがない
▶本機は、風通しの良いところに、周辺の壁や物から 50cm 以上離して設置してください。
▶通風孔をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。

●磁気を発生するものを近づけない
▶磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

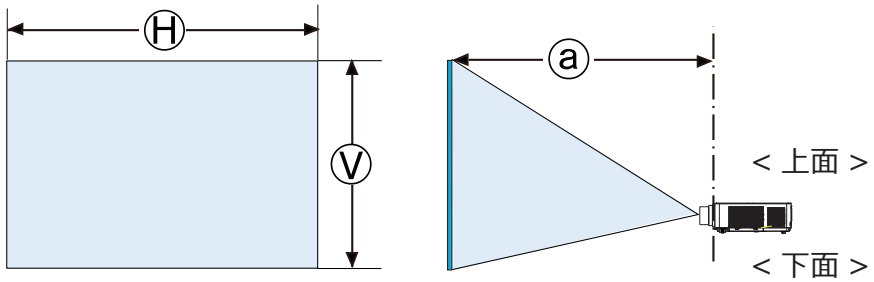
●湿気、ほこりの多いところ、煙の当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない
▶超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。

お守りください

●光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください
リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

●電波を発生するものを避けてください
本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、映像が乱れる原因となることがあります。
携帯電話やトランシーバなどは本機から離れてご使用ください。

●「その他」メニューの「特別な設定」－「高地モード」（📖**2-35**）が正しく設定されているか、ご確認ください。誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。



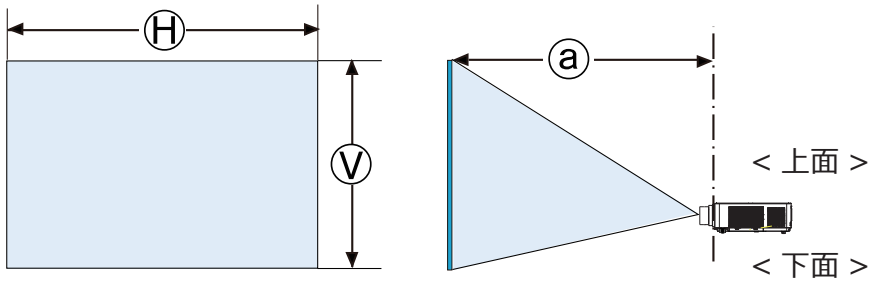
Ⓗ×Ⓥ：画面サイズ
ⓐ：投写距離（本体端面から）

MC-X8801WJ/MC-X8801BJ
（レンズ：ML-713）

（1024 × 768，± 10%）

型（インチ）	4：3 画面				16：10 画面				16：9 画面			
	Ⓗ (m)	Ⓥ (m)	ⓐ 最小 (m)	ⓐ 最大 (m)	Ⓗ (m)	Ⓥ (m)	ⓐ 最小 (m)	ⓐ 最大 (m)	Ⓗ (m)	Ⓥ (m)	ⓐ 最小 (m)	ⓐ 最大 (m)
30	0.6	0.5	1.1	1.9	0.6	0.4	1.2	2.0	0.7	0.4	1.2	2.0
40	0.8	0.6	1.5	2.5	0.9	0.5	1.6	2.6	0.9	0.5	1.6	2.7
50	1.0	0.8	1.8	3.1	1.1	0.7	1.9	3.3	1.1	0.6	2.0	3.3
60	1.2	0.9	2.2	3.7	1.3	0.8	2.3	3.9	1.3	0.7	2.4	4.0
70	1.4	1.1	2.5	4.3	1.5	0.9	2.7	4.5	1.5	0.9	2.8	4.7
80	1.6	1.2	2.9	4.9	1.7	1.1	3.1	5.2	1.8	1.0	3.1	5.3
90	1.8	1.4	3.2	5.5	1.9	1.2	3.4	5.8	2.0	1.1	3.5	6.0
100	2.0	1.5	3.6	6.1	2.2	1.3	3.8	6.5	2.2	1.2	3.9	6.6
120	2.4	1.8	4.3	7.3	2.6	1.6	4.6	7.8	2.7	1.5	4.7	8.0
150	3.0	2.3	5.4	9.1	3.2	2.0	5.7	9.7	3.3	1.9	5.9	9.9
200	4.1	3.0	7.2	12.2	4.3	2.7	7.6	12.9	4.4	2.5	7.8	13.3
250	5.1	3.8	8.9	15.2	5.4	3.4	9.5	16.1	5.5	3.1	9.7	16.6
300	6.1	4.6	10.7	18.2	6.5	4.0	11.4	19.3	6.6	3.7	11.7	19.9
350	7.1	5.3	12.5	21.3	7.5	4.7	13.3	22.5	7.7	4.4	13.6	23.2
400	8.1	6.1	14.3	24.3	8.6	5.4	15.1	25.8	8.9	5.0	15.6	26.5
500	10.2	7.6	17.9	30.4	10.8	6.7	18.9	32.2	11.1	6.2	19.4	33.1
600	12.2	9.1	21.4	36.4	12.9	8.1	22.7	38.6	13.3	7.5	23.3	39.7

（次ページにつづく）



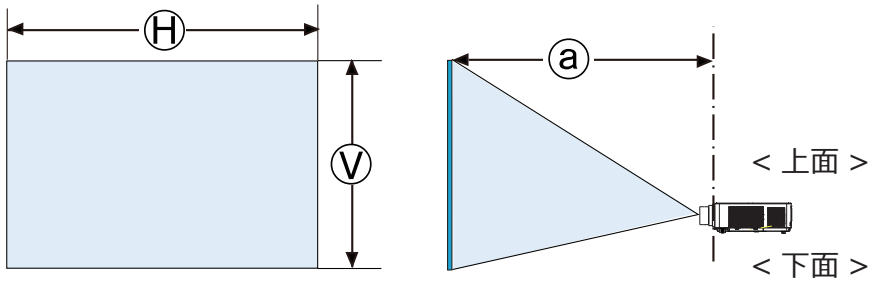
Ⓗ×Ⓥ：画面サイズ
ⓐ：投写距離（本体端面から）

MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ（レンズ：ML-713）

（1280 × 800，± 10%）

型（インチ）	4：3 画面				16：10 画面				16：9 画面			
	Ⓗ (m)	Ⓥ (m)	ⓐ 最小 (m)	ⓐ 最大 (m)	Ⓗ (m)	Ⓥ (m)	ⓐ 最小 (m)	ⓐ 最大 (m)	Ⓗ (m)	Ⓥ (m)	ⓐ 最小 (m)	ⓐ 最大 (m)
30	0.6	0.5	1.3	2.2	0.6	0.4	1.2	1.9	0.7	0.4	1.2	2.0
40	0.8	0.6	1.7	2.9	0.9	0.5	1.5	2.6	0.9	0.5	1.6	2.7
50	1.0	0.8	2.2	3.6	1.1	0.7	1.9	3.2	1.1	0.6	2.0	3.3
60	1.2	0.9	2.6	4.4	1.3	0.8	2.3	3.9	1.3	0.7	2.4	4.0
70	1.4	1.1	3.0	5.1	1.5	0.9	2.7	4.5	1.5	0.9	2.7	4.6
80	1.6	1.2	3.4	5.8	1.7	1.1	3.0	5.1	1.8	1.0	3.1	5.3
90	1.8	1.4	3.9	6.5	1.9	1.2	3.4	5.8	2.0	1.1	3.5	5.9
100	2.0	1.5	4.3	7.3	2.2	1.3	3.8	6.4	2.2	1.2	3.9	6.6
120	2.4	1.8	5.1	8.7	2.6	1.6	4.5	7.7	2.7	1.5	4.7	7.9
150	3.0	2.3	6.4	10.9	3.2	2.0	5.7	9.6	3.3	1.9	5.8	9.9
200	4.1	3.0	8.5	14.5	4.3	2.7	7.5	12.8	4.4	2.5	7.7	13.1
250	5.1	3.8	10.6	18.1	5.4	3.4	9.4	16.0	5.5	3.1	9.7	16.4
300	6.1	4.6	12.8	21.7	6.5	4.0	11.3	19.2	6.6	3.7	11.6	19.7
350	7.1	5.3	14.9	25.3	7.5	4.7	13.2	22.4	7.7	4.4	13.5	23.0
400	8.1	6.1	17.0	28.9	8.6	5.4	15.0	25.5	8.9	5.0	15.4	26.3
500	10.2	7.6	21.2	36.1	10.8	6.7	18.8	31.9	11.1	6.2	19.3	32.8
600	12.2	9.1	25.5	43.4	12.9	8.1	22.5	38.3	13.3	7.5	23.1	39.4

（次ページにつづく）



Ⓗ×Ⓥ：画面サイズ
ⓐ：投写距離（本体端面から）

MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ/MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ
（レンズ：ML-713）

（1920 × 1200，± 10%）

型（インチ）	4：3 画面				16：10 画面				16：9 画面			
	Ⓗ (m)	Ⓥ (m)	ⓐ 最小 (m)	ⓐ 最大 (m)	Ⓗ (m)	Ⓥ (m)	ⓐ 最小 (m)	ⓐ 最大 (m)	Ⓗ (m)	Ⓥ (m)	ⓐ 最小 (m)	ⓐ 最大 (m)
30	0.6	0.5	1.3	2.2	0.6	0.4	1.1	1.9	0.7	0.4	1.2	2.0
40	0.8	0.6	1.7	2.9	0.9	0.5	1.5	2.5	0.9	0.5	1.6	2.6
50	1.0	0.8	2.1	3.6	1.1	0.7	1.9	3.2	1.1	0.6	1.9	3.2
60	1.2	0.9	2.5	4.3	1.3	0.8	2.2	3.8	1.3	0.7	2.3	3.9
70	1.4	1.1	3.0	5.0	1.5	0.9	2.6	4.4	1.5	0.9	2.7	4.5
80	1.6	1.2	3.4	5.7	1.7	1.1	3.0	5.0	1.8	1.0	3.1	5.2
90	1.8	1.4	3.8	6.4	1.9	1.2	3.3	5.7	2.0	1.1	3.4	5.8
100	2.0	1.5	4.2	7.1	2.2	1.3	3.7	6.3	2.2	1.2	3.8	6.5
120	2.4	1.8	5.0	8.5	2.6	1.6	4.4	7.5	2.7	1.5	4.6	7.7
150	3.0	2.3	6.3	10.7	3.2	2.0	5.5	9.4	3.3	1.9	5.7	9.7
200	4.1	3.0	8.4	14.2	4.3	2.7	7.4	12.5	4.4	2.5	7.6	12.9
250	5.1	3.8	10.4	17.7	5.4	3.4	9.2	15.7	5.5	3.1	9.5	16.1
300	6.1	4.6	12.5	21.3	6.5	4.0	11.1	18.8	6.6	3.7	11.4	19.3
350	7.1	5.3	14.6	24.8	7.5	4.7	12.9	21.9	7.7	4.4	13.3	22.5
400	8.1	6.1	16.7	28.4	8.6	5.4	14.7	25.0	8.9	5.0	15.1	25.7
500	10.2	7.6	20.8	35.4	10.8	6.7	18.4	31.3	11.1	6.2	18.9	32.2
600	12.2	9.1	25.0	42.5	12.9	8.1	22.1	37.6	13.3	7.5	22.7	38.6

（次ページにつづく）

他の機器と接続する

接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。信号によっては、特定のアダプターが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。解像度などの仕様が本機に合うことを確認し、必要な信号ケーブルやアダプターを準備してください。本機の端子形状は【技術情報編】「入出力信号端子」（📖**4-6 ～ 11**）をご覧ください。
本機および接続する機器の電源が切れていることを確認し、以下に続くページをご参考に接続してください。

⚠ 警 告

分解禁止

●**信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する**
本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の信号ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ、適切なものをご使用ください。

分解禁止

●**分解しない、改造しない**
本機や付属品を加工しないでください。

●**信号ケーブルやコネクタを傷つけない**
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒーターや本機の排気口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

⚠ 注 意

●**コア付きのケーブルを使用する場合**
コア付きのケーブルを使用する場合は、コアの付いている側のプラグを本機の接続端子に接続してください。

お守りください

●接続している他の機器（コンピュータやビデオプレーヤなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、接続している他の機器の電源が切れている状態で行ってください。
●接続はコネクタの形状や向きを確かめながら、正しく行ってください。
正しく接続されていないと本機や接続される機器の故障の原因になります。固定ネジがあるものはネジをきちんと締めて固定してください。
●本機の各接続端子は凹んでいるため、ストレート型プラグのケーブルを使用してください。L 型のケーブルは使用しないでください。

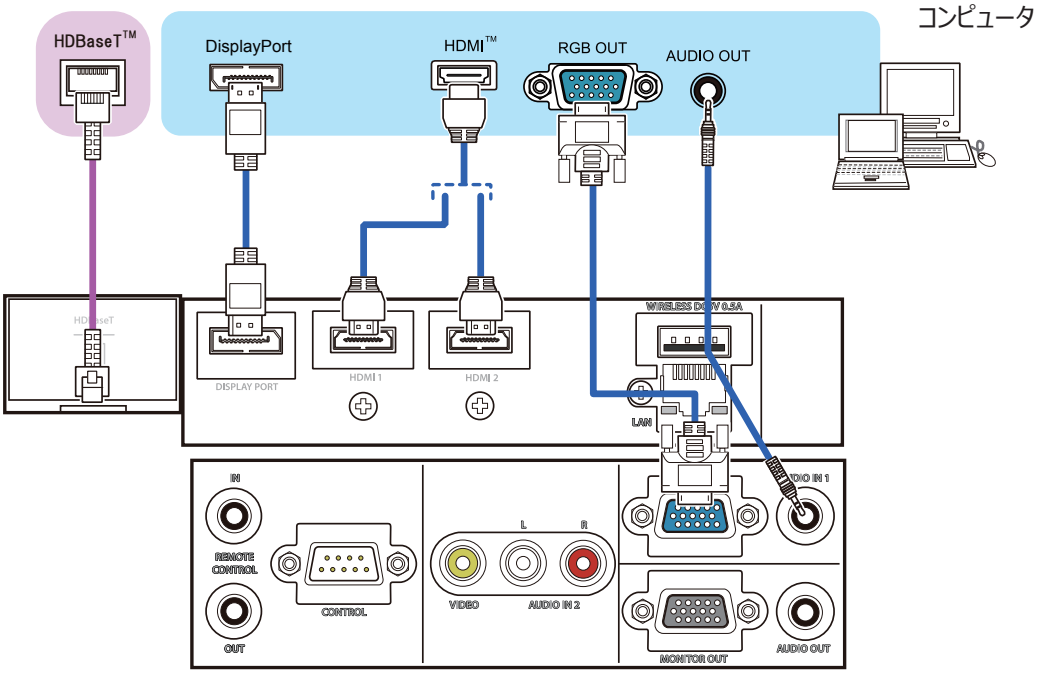
〈お知らせ〉
●本機をプラグ & プレイモニタ（VESA DDC 2B 対応）として使用するには、**COMPUTER IN** 端子を、VESA DDC（Display Data Channel）対応のコンピュータに接続してください。
このとき、ディスプレイドライバは 標準のものをご使用ください。コンピュータによってはプラグ＆プレイが動作しない場合があります

（次ページにつづく）

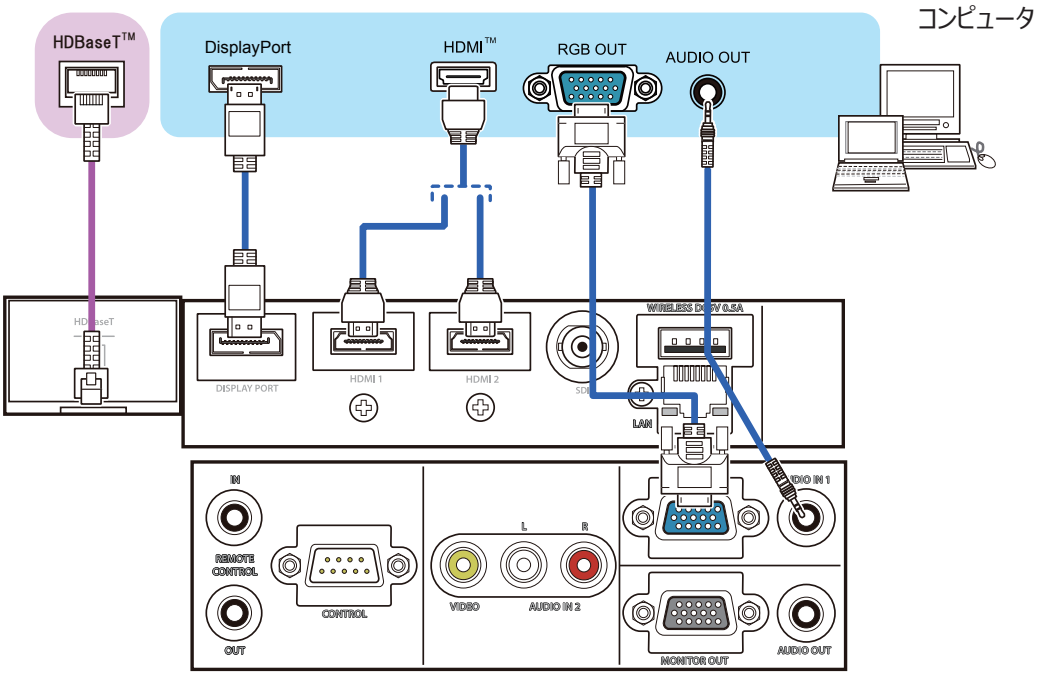
映像・音声出力機器（コンピュータ）と接続する

・アナログの映像信号（RGB 信号）は、**COMPUTER IN** 端子に接続してください。
・アナログの音声信号は、**AUDIO IN1 ／ 2** 端子に接続してください。
・HDMI® 信号は、**HDMI 1 ／ 2** 端子に接続してください。

MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ



MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ



（次ページにつづく）

〈お知らせ〉

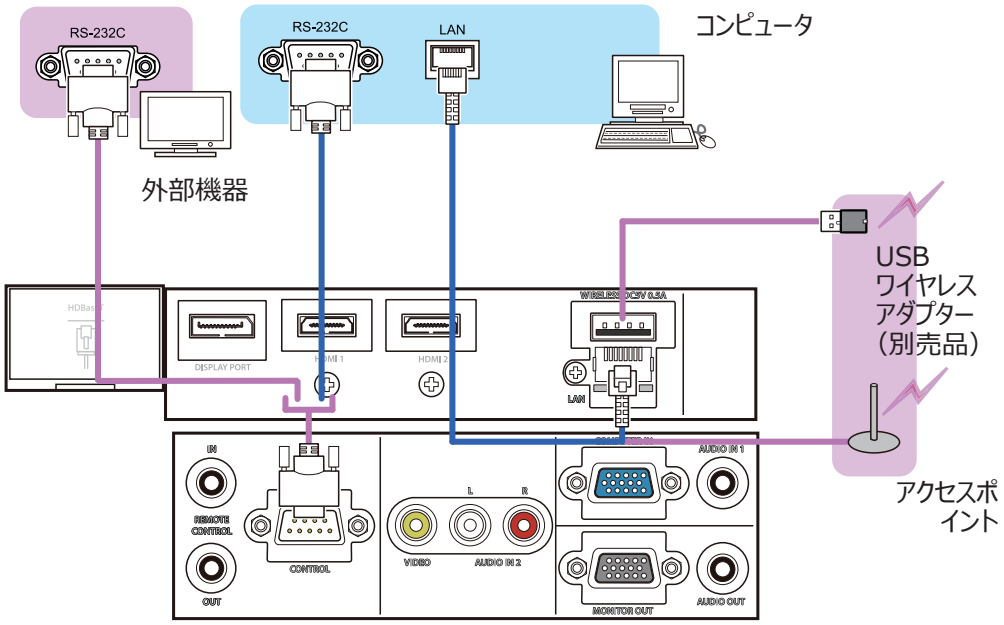
●接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。
- 信号によっては、特定のアダプターが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。
- 複数の表示モードを持つコンピュータでは、本機が対応していないモードを含む場合があります。あらかじめご確認ください。

●ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの RGB 外部映像出力を有効（LCD と CRT の同時表示または CRT の設定）にして使用してください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。
●入力信号によっては、自動調節機能が正しく働かなかったり、映像を表示できなかったりすることがあります。
- コンピュータの表示モードや、信号の種類（信号方式、解像度、周波数など）によっては、映像を表示できないことがあります。
- コンピュータの画面上で解像度を切り替えるとき、通常より時間がかかったりすると、解像度切替えの画面表示が確認できず、元の解像度に戻ってしまうことがあります。このような場合は、別の表示装置を使って解像度を切り替えてください。
● DisplayPort ケーブルは、DisplayPort 規格に適合しているものをご使用下さい。
● DisplayPort 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らない等正常に動作しない場合があります。
● DisplayPort 対応の初期のチップセットやグラフィックスカードを使用しているコンピューターとの接続において、コンピューターの DisplayPort 出力を本機に入力した場合、本機やコンピューター自体が正常に動作しなくなる場合があります。その場合は、本機またはコンピューターの電源をいったん切ってから入れ直して下さい。
● DisplayPort 出力を本機に入力する場合は、最新のチップセットやグラフィックカードを使用したコンピューターを使用することをお勧めします。
●市販の DisplayPort ケーブルにはロックがついているものがあります。ケーブルを取り外すときは、ケーブルのコネクター部分にあるボタンを押しながらケーブルを抜いてください。
●コンピュータによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
● DisplayPort 入力端子から接続機器へ電力供給が可能です (最大 1.65W)。ただし、コンピューターへの電源供給は行いません。
●信号変換アダプタを使用した機器からの信号を DisplayPort 入力端子に接続した場合、映像が表示されないことがあります。
●コンピューターの HDMI® 出力端子と本機の DisplayPort 入力端子を接続する場合は、市販のコンバータを使用してください。

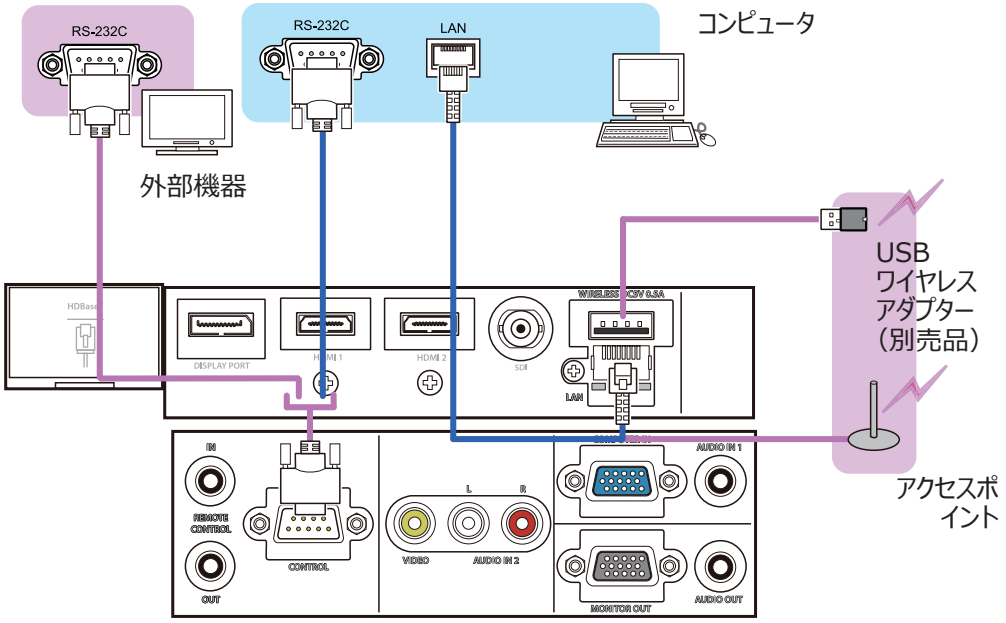
通信機器と接続する

・本機と RS-232C 通信を行うには、CONTROL 端子とコンピュータの RS-232C 端子を接続してください。
・本機のネットワーク機能をご利用になるには、別売品の USB ワイヤレスアダプターを WIRELESS 端子に挿入するか、LAN 端子と、コンピュータもしくは無線 LAN のアクセスポイントを、LAN ケーブルで接続してください。また、ネットワークブリッジ機能をご利用になるには、CONTROL 端子と、ネットワーク端末としてご使用になる外部機器の RS-232C 端子を接続してください。本機のネットワーク機能についての詳細は、【ネットワーク編】をご参照ください。

MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ



MC-WU8701WJ/MCWU8701BJ



（次ページにつづく）

HDBaseT™ 接続について

- HDBaseT™は、LANケーブルを通じて画像、音、イーサネットもしくはシリアルコントロール信号を送信できる技術です。
- LANもしくはHDBaseT端子は、切替えによりイーサネット信号の入力端子として使用できます。
- LANケーブルは、100mまでご使用できます。この長さを超えますと、画像および音の品質低下が起こり、LAN通信の誤動作も起こり得ます。

〈お知らせ〉

• 本機の **HDMI**® 端子は HDMC（High-bandwidth Digital Content protection）に対応しています。HDMC 対応の DVD プレーヤなどのビデオ信号を表示することができます。

- 本機は、以下の HDMI ® 信号に対応しています。

ビデオ信号：480i@60, 480p@60, 576i@50, 576p@50, 720p@50/60, 1080i@50/60, 1080p@50/60

コンピュータ信号：技術情報編を参照してください。

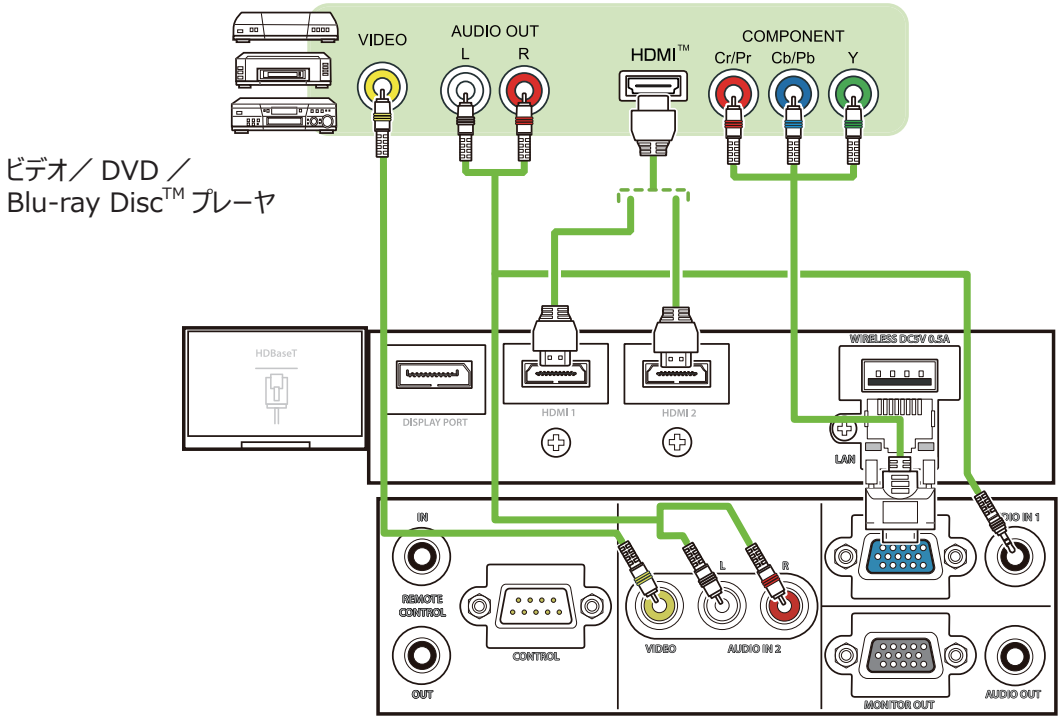
- 本機を HDMI® 端子のある周辺機器に接続できます。ただし、一部の機器では正しく動作しない場合があります。
- HDMI® ケーブルは、HDMI® ロゴ付きのものをご使用ください。
- 本機に 1080p@50/60 の信号を入力するには、HDMI® カテゴリー 2 のケーブルをご使用ください。
- 本機を DVI 出力機器に接続するには、DVI-HDMI® 変換ケーブルを使用して、HDMI 1 ／ 2 端子に接続してください。

• HDMI® ケーブルは、固定機構が無いため脱落する可能性があります。脱落防止のため、HDMI® ケーブルホルダーおよび結束バンドを使用してケーブルを固定してください。

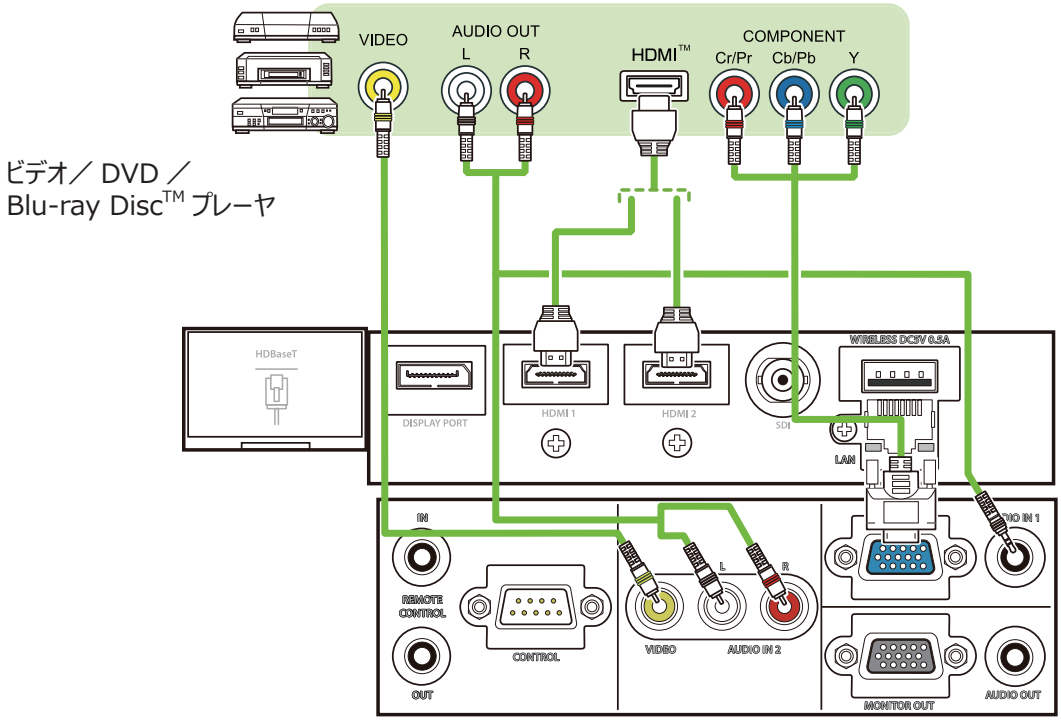
映像・音声出力機器（DVD、Blu-Ray™ プレーヤ等）と接続する

・HDMI® 信号は、**HDMI 1 ／ 2** 端子に接続してください。
・コンポーネントビデオ信号は **COMPUTER IN** 端子に、ビデオ信号は **VIDEO** 端子に接続してください。
・アナログの音声信号は、**AUDIO IN1 ／ 2** 端子に接続してください。

MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ



MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ



（次ページにつづく）

⚠ 警 告

高温注意

● **高温に注意する**
USB ワイヤレスアダプターは、使用中高温になる場合があり、触れるとやけどの原因となることがあります。
USB ワイヤレスアダプターを使用する場合は、やけど防止のため、アダプターカバーを必ず取り付けてください。

⚠ 注 意

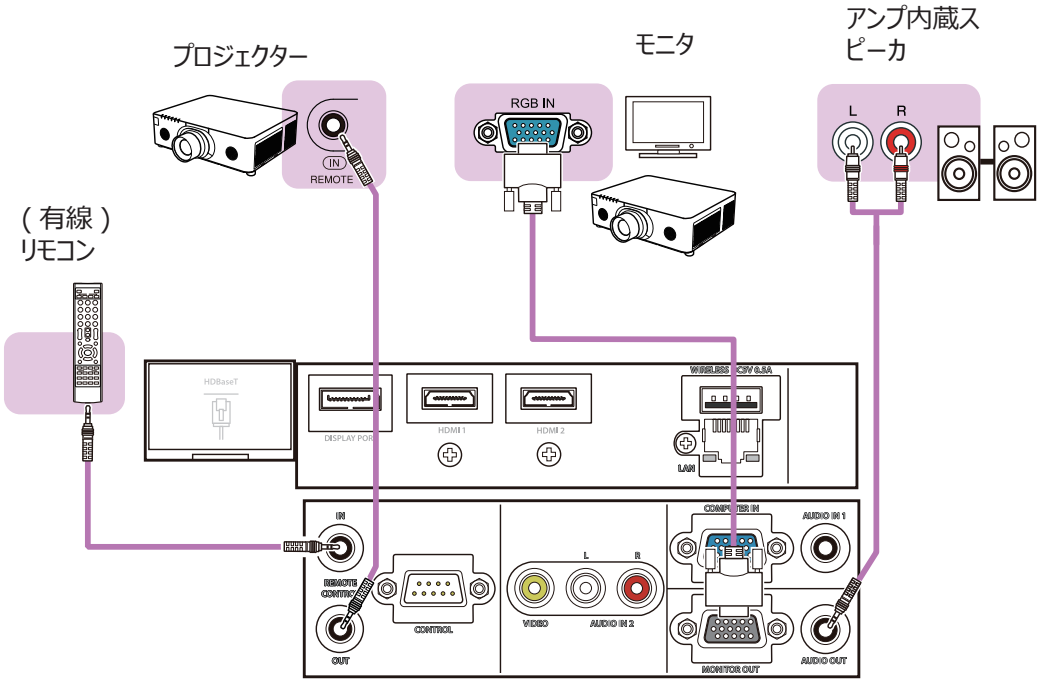
● **LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談する**
ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、**LAN** 端子に接続しないでください。

● **USB ワイヤレスアダプターは、所定のものを使用する**
USB ワイヤレスアダプターは、型名（📖**1-33**）を販売店に指定してご購入ください。
接続する前に、本機の電源をオフにしてから行ってください。
USB ワイヤレスアダプターご使用の際は、延長ケーブルでの接続はしないでください。

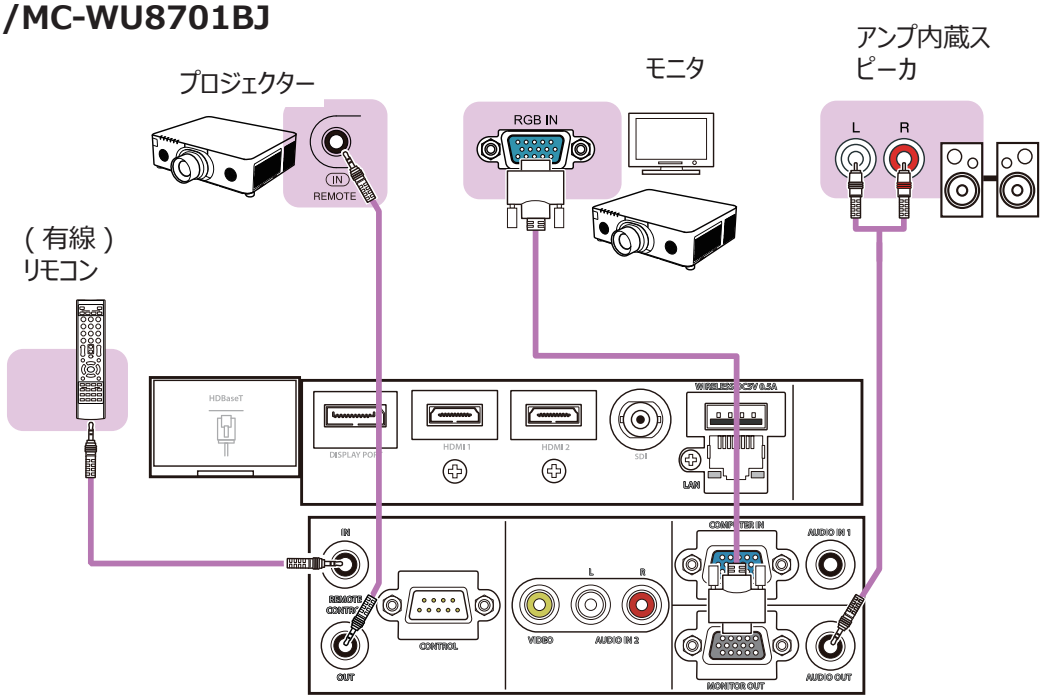
その他の入出力機器と接続する

・簡易スタックで連結モードで使用する場合は、プロジェクターの **CONTROL** 端子同士を接続してください。
・**REMOTE CONTROL IN** 端子には、リモコンを有線接続することができます。また、**REMOTE CONTROL OUT** 端子には、他の **REMOTE CONTROL (IN)** 端子を持つプロジェクターを接続し、本機をリモコンリレーとして使用することができます。

MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ



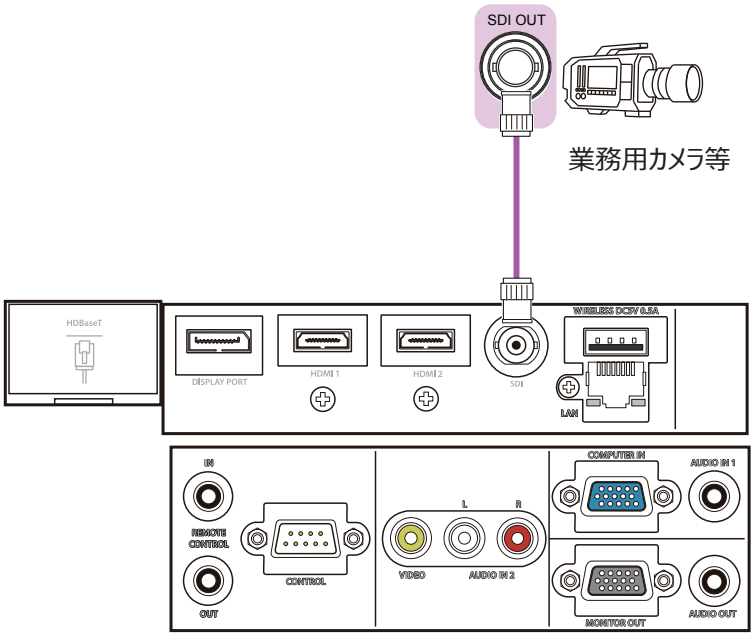
MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ



〈お知らせ〉

• 本機の **REMOTE CONTROL IN** 端子と、リモコンの接続端子をφ 3.5 ステレオミニプラグ付ケーブルで接続すると、有線リモコンとしてもご使用いただけます。さらに、本機の **REMOTE CONTROL OUT** 端子と他のプロジェクターの REMOTE CONTROL（IN）端子を接続すると、本機をリモコンリレーとして使用し、接続したプロジェクターを有線リモコンで一度に操作することができます。

MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ



〈お知らせ〉

・本機の SDI 端子は以下の SDI 信号に対応しています。

- SD-SDI 信号：SMPTE ST 259-C 規格準拠
YCBCR 4:2:2 10-bit
480i, 576i

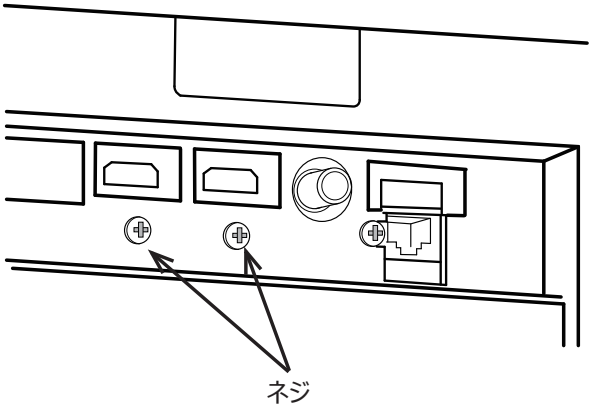
- シングルリンク HD-SDI 信号：SMPTE ST 292 規格準拠
YPBPR 4:2:2 10-bit
720p@50/60, 1035i@60, 1080i@50/60, 1080p@24/25/30, 1080sf@24/25/30

- 3G-SDI 信号：SMPTE ST 424 規格準拠
YPBPR 4:2:2 10-bit
1080p@50/60

- 本機を SDI 端子のある周辺機器に接続できます。ただし、一部の機器では正しく動作しない場合があります。
- 接続ケーブルは、画像を正しく伝達するために、5CFB 以上 (5CFB, 7CFB など)、または Belden 1694A 以上のケーブルをご使用ください。また、接続ケーブルの長さは 100m 以下のものを使用してください。
- 接続する外部機器によってはメニューでの設定が必要です。

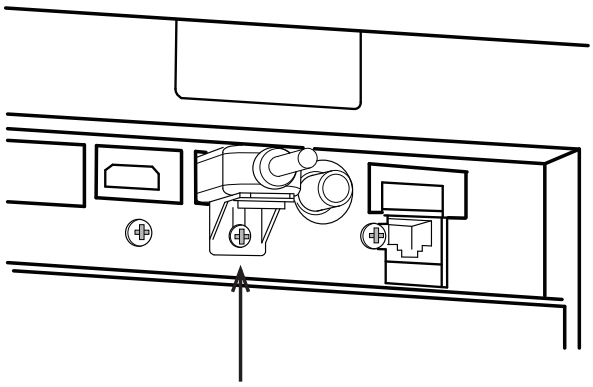
HDMI® ケーブルを固定する

HDMI® **端子の下側にあるネジを外し、**HDMI® ケーブルホルダーの取り付けに使用してください。

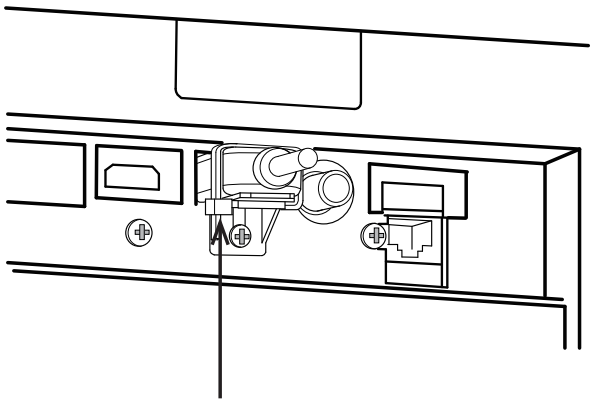


HDMI® ケーブルの抜け防止のため、 同梱の HDMI® ケーブルホルダーと結束バンドを使用して図のように固定することをおすすめします。 結束バンドはサイズ 2.0 x 4.0mm 以下のものを使用してください。

結束バンドなし



結束バンドあり



⚠ 警 告

- **HDMI® ケーブル以外のケーブルを固定しないで下さい。**

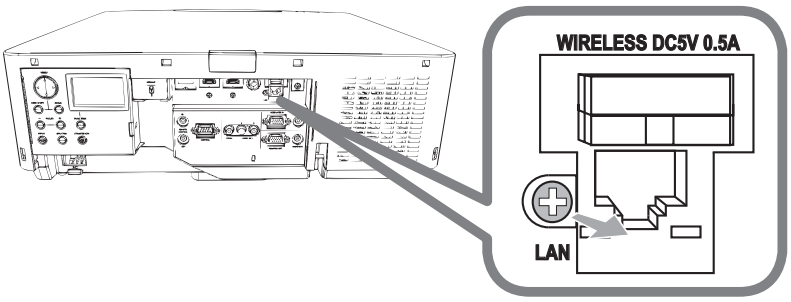
⚠ 注 意

- **同梱の、もしくはサイズ 2.0 x 4.0mm 以下のプラスチック製**結束バンド**を使用してケーブルを固定して下さい。**
  ▶結束バンドは金属製のものを使用しないでください。
- **ケーブルをきつく締めつけない**
  ケーブルを結束バンドできつく締めすぎると、ケーブルや結束バンド用穴が破損する場合があります。

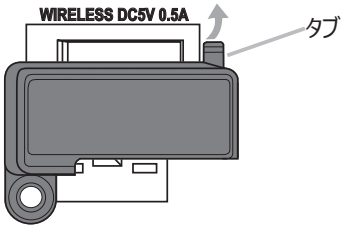
アダプターカバーを取り付ける

USB ワイヤレスアダプターを使用する場合は、やけど防止のため、アダプターカバーを必ず取り付けてください。
USB ワイヤレスアダプター：USB-WL-11N
使用温度範囲：0 ～ 45 ℃ (動作)

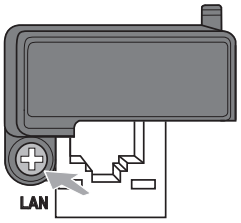
1．**WIRELESS** 端子の左下にあるネジを取り外してください。



2．矢印の方向に、アダプターカバーの突起を **WIRELESS** 端子の右上にある穴へ差し込んでください。



3．カバーと本体のねじ穴を合わせ、ネジを元の通りにしめなおしてください。



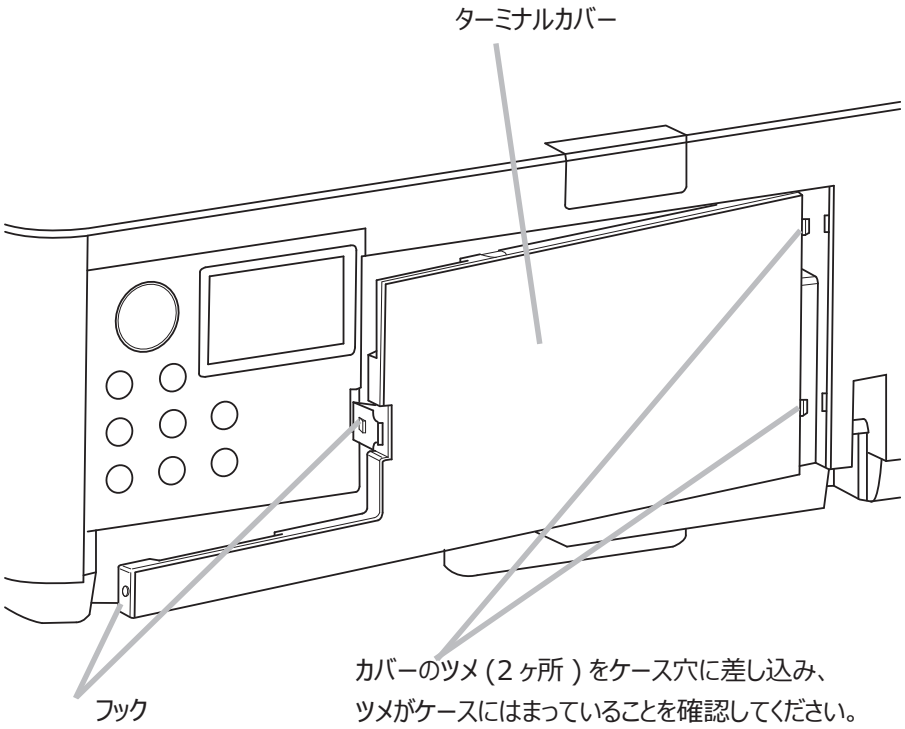
⚠ 警 告

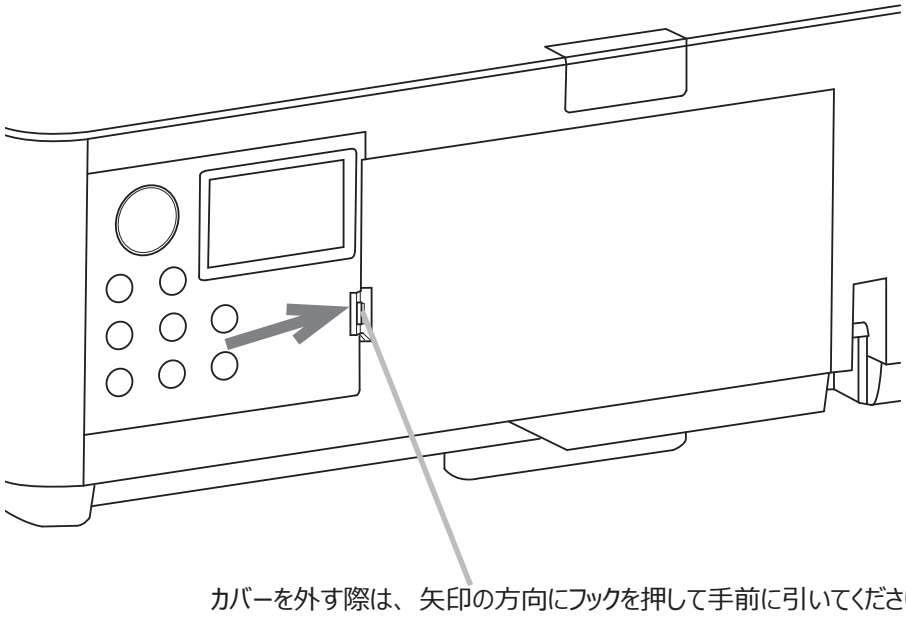
●子どもやペットに注意する
電池やその他の小さな部品は、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。お子様やペットが届かないところに設置、保管してください。
万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

高温注意

●高温に注意する
USB ワイヤレスアダプターは、使用中高温になる場合があり、触れるとやけどの原因となることがあります。
USB ワイヤレスアダプターを使用する場合は、やけど防止のため、アダプターカバーを必ず取り付けてください。

ターミナルカバーを取り付ける



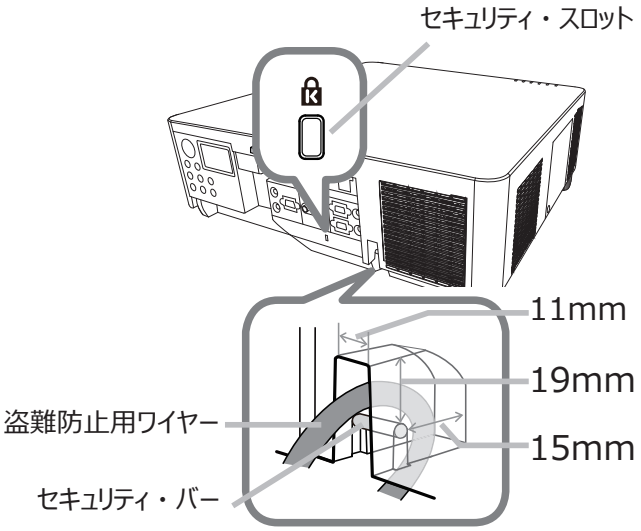


〈お知らせ〉

- ターミナルカバーを使用する際は、 アダプターカバーは取付けないでください。

セキュリティ・スロット／バーを使う

セキュリティ・バーを、転倒・落下防止用などの本機を支える目的で使用する場合は、販売店にご相談ください。



⚠ 警 告

セキュリティ・スロットを、転倒・落下防止用などの本機を支える目的で使用しないでください。

⚠ 注意

高温注意

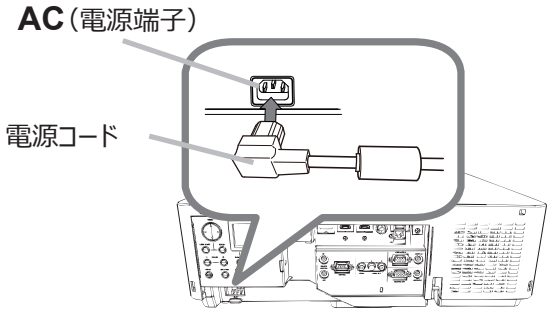
● **盗難防止用ワイヤー／チェーンを排気口に近づけない**
盗難防止用ワイヤー／チェーンを排気口の前や近くに置くと、高温になり、触れるとやけどの原因になる場合があります。

〈お知らせ〉
● 本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策の 1 つとしてご使用ください。

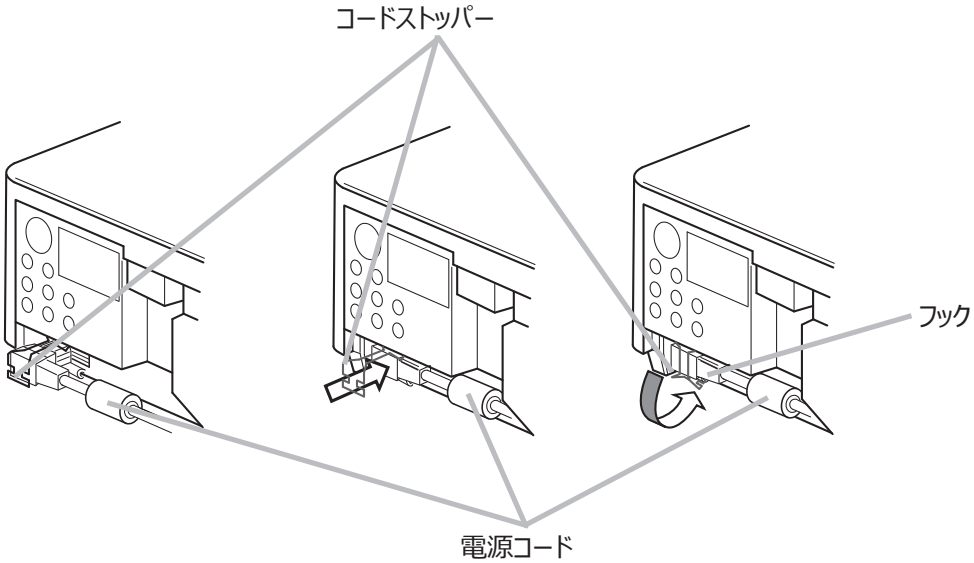
電源に接続する

本機の **AC**（電源端子）と AC（交流）100V の電源コンセントを、付属の電源コードと必要に応じて電源アダプターで接続してください。

1．電源コードのコネクタ側を本機の電源端子に接続してください。



2．コードストッパーをフックが引っ掛かるまで押し込みます。

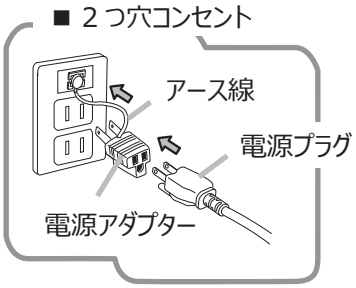


■ 2 つ穴コンセントをご使用のとき

3-1．電源コードのコネクタ側を本機の電源端子に接続してください。

3-2．電源アダプターのアース線をコンセントのアース端子に接続してください。

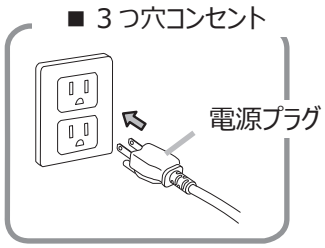
3 -3．電源アダプターをコンセントに接続してから、電源プラグを電源アダプターに接続してください。



■ 3 つ穴コンセントをご使用のとき

3-1．電源コードのコネクタ側を本機の電源端子に接続してください。

3-2．電源プラグをコンセントに接続してください。



電源が接続されると、本機はスタンバイ状態となり、**POWER** インジケータが橙色に点灯します。

⚠ 警 告

- **本機の電源プラグは、アース付き 3 芯プラグです。**
  機器の安全確保のため、アースは確実にとってご使用ください。
- **電源コードは、束ねたまま使用しないでください。**
  束ねると、電源コードの発熱による発煙、発火の危険が生じます。
- **レンズが取り付けられていない状態で電源コードを接続しない**
  電源コードを接続の際、事前にレンズを取付けてください。
- **電源プラグは、指定（本体に表示）の電源電圧のコンセントに、根元まで確実に差し込んで使用する**
  電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。また、指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。
  必ず、**交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。**
- **ぬれた手で電源を接続したり外したりしない**
  ぬれた手で電源コードを取り扱わないでください。

  ぬれ手禁止
- **電源コードは同梱品のみを使用する**
  電源コードは本機に付属のものをご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。
  本機に付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。
- **指定の電源電圧で使用する**
  必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。
  たこ足配線はしないでください。

⚠ 注意

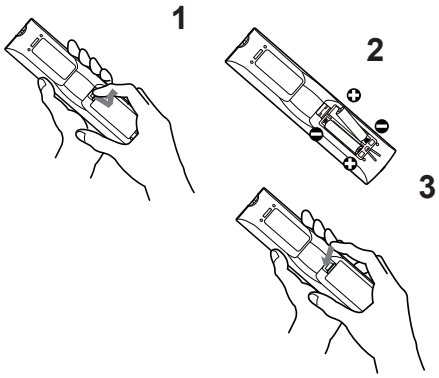
- **機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。**
- **電源コードのプラグをコンセントに接続するときは、奥までしっかり差し込んでください。電源コードのプラグとコンセントの接続がゆるいと、プラグ部分が発熱し、やけどや事故の原因となることがあります。**

リモコンを準備する

付属のリモコンは単 3 型乾電池 2 本を使用します。ご使用の前に電池をリモコンに入れてください。
リモコンの誤動作やうまく動かない等の問題がある場合は、電池の交換を試してください。
リモコンを長期間ご使用にならない場合は、電池を外した状態で保管してください。

電池は法令に沿って適正な非充電式のマンガンまたはアルカリの単 3 型乾電池を使用してください。

1．電池カバーのつまみを軽く手前に引きながら電池カバーを外してください。
2．リモコンの中に表示された極性表示（⊕、⊖）を確認し、電池の向きを合わせて入れてください。
3．電池カバーを元のように閉じてください。



⚠ 警 告

破裂注意

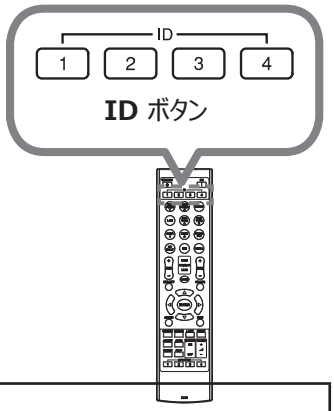
●**電池の取扱いに注意する**

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。
また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。
万一、電池を飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。
液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

▶電池は、必ず指定のタイプ（📖 **上記**）の新しい電池を使用してください。損傷のある電池は使用しないでください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。
▶電池ケースの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。
▶子どもやペットが届かないところに保管してください。
▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどをしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。
▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

リモコン ID を設定する

ID（1 ～ 4）ボタンを使って、操作するプロジェクターを区別することができます。
複数台のプロジェクターを同時にご使用の場合に便利です。
リモコンを使用する前に、操作するプロジェクターのリモコン ID と同じ番号の **ID** ボタンを押してください。プロジェクターのリモコン ID は、「 その他 」メニューの「 特別な設定」 –「 リモコン ID」（📖**2-37**）で設定します。

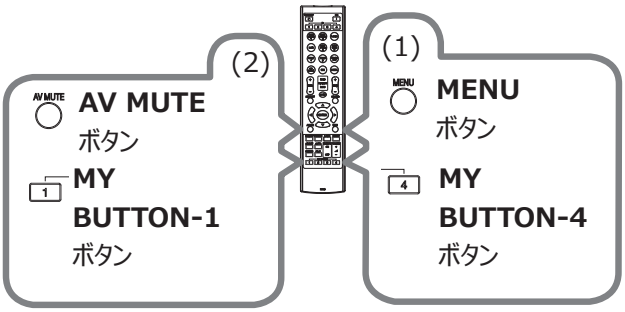


〈お知らせ〉
●リモコンの **ID** ボタン以外のボタンを押すと、リモコンに設定されている番号のボタンが光ります。
●プロジェクターがランプ点灯中に、リモコンの **ID** ボタンのうちどれかを 3 秒間押下すると、そのプロジェクターのリモコン ID が画面に表示されます。

リモコン信号の周波数を切り替える

付属のリモコンは、2 種類の信号周波数を切り替えてご使用になれます。リモコンが利きにくいときや正常に動作しないとき、周波数を切り替えると改善される場合があります。

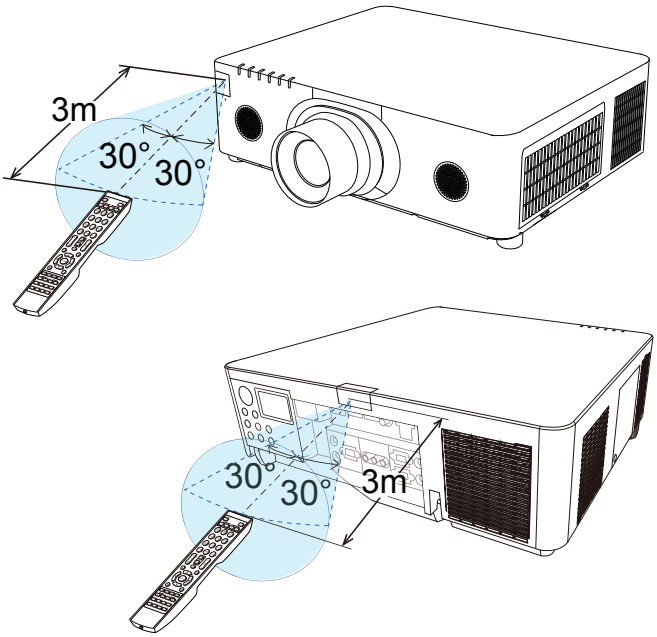
1．リモコンの周波数を変更するには、以下の 2 つのボタンを同時に約 3 秒間押し続けてください。
（1）モード 1（標準）：
MENU ボタンと **MY BUTTON-4** ボタン
（2）モード 2（高）：
AV MUTE ボタンと **MY BUTTON-1** ボタン



2．本機の受光部を設定してください。
「その他」メニューの「特別な設定」－「リモコン周波数」（📖**2-37**）で、リモコンの設定に合ったモードを有効にしてください。

リモコン信号について

付属のリモコンは、本機のリモコン受光部へ信号を送って機能します。リモコン信号は、受光部への入射角度上下左右に各 30°、距離約 3 mの範囲で有効です。

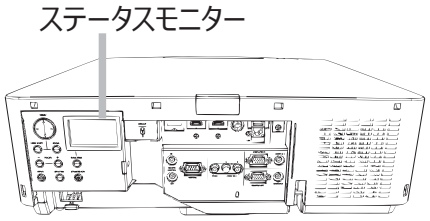


〈お知らせ〉

- リモコン受光部は、「その他」－「特別な設定」－「リモコン受光部」から、どちらかを無効にすることができます。（📖**2-37**）
- リモコン信号は、スクリーンなどに反射させて操作できる場合もあります。（反射面によっては反射できない場合もあります。）また、受光部に蛍光灯などの不要な光が入ると、リモコンが正常に動作しないことがあります。この場合には本機の位置を調節してみてください。
- リモコンは、赤外線（クラス 1　LED）を使用し信号を本機に送っています。
リモコン使用の際、壁や妨げとなるものが無いようにご注意ください。
- 本機のリモコン受光部に直接強い光、またはインバーター蛍光からの至近距離の光を受けますと、リモコンでの操作が正しく動作できない場合があります。その場合は、本機が影響を受けない位置に移動してください。
- 本機がリモコンから直接操作中の場合、本機と HDBaseT ™で接続されている機器からのリモコン操作はできません。
- 本機と HDBaseT ™で接続されている機器からのリモコン操作は、電源立上げ直後はできません。

ステータスモニター

ステータスモニターは、背面にあるサブ液晶ディスプレイです。
ステータスモニターは、エラー、設定情報、エラー履歴を含む本機の現在の状態を表示します。



〈お知らせ〉
- 「設置」メニューの「スタンバイモード」（📖**2-21**）を「省電力」に設定していると、スタンバイ時、ステータスモニターには何も表示されず、操作パネルやリモコンでの操作もできません。
- 「設置」メニューの「設置方法」（📖**2-21**）を「前面投射／天吊り」または「背面投射／天吊り」に設定すると、ステータスモニターの表示も上下逆さまになります。

通常表示（本機の状態表示）

表示操作を行っていない場合には、ステータスモニターには以下のように本機の状態が表示されます。

■本機が通常状態のとき
本機の状態を３行で表示します。

S	T	A	N	D	B	Y					
#	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	A	B
								2	3	°	C

表示例：状態表示（通常）

一行目：本機の状態を表示します。
ランプ点灯中は、選択されている（映像）端子を表示します。

表示される状態は以下の通りです。
「STANDBY」：本機はスタンバイ状態です。
「WARM UP」：本機はウォームアップ（ランプ点灯動作）中です。
「SEARCHING」：本機は映像入力信号を検索しています。
「COOL DOWN」：本機は冷却動作中です。

二行目：ランプ点灯中は、検出した映像入力信号の状態を表示します。
本機がそれ以外の状態の場合は、本機の製造番号を表示します。

表示される状態は以下のとおりです。
「SYNC OUT」：検出された入力信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。
「NO SIGNAL」：入力信号が見つかりません。
<LAN 端子選択時 >
「CONNECTED」：本機がネットワーク、またはコンピュータに接続され、本機へ映像が転送されています。
「HOLD」：本機がネットワークに接続され、映像の転送を待っています（待機中）。
「NOT CONNECTED」：本機はネットワーク、またはコンピュータに接続されていません。

三行目：ランプ点灯中、電源電圧と周囲の温度を表示します。

〈お知らせ〉
- 映像信号の検索中は、二行目には何も表示されません。
- ステータスモニターに表示される周囲温度は、本機内部で測定した温度を表示しているため、実際とは異なる場合があります。

（次ページにつづく）

■本機に何らかの問題が発生したとき
発生した問題（エラー）を大きな字で警告表示します。各エラーについては、トラブルシューティングおよびインジケータランプについての項目をご参照ください。

注意表示：

「AIR」（AIR FLOW）：内部温度が上昇しています。「インジケータ表示」の「本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。」をご参照ください。（📖**4-48**）

「COLD」：内部温度が下がりすぎている可能性があります。
LAMP と **TEMP** インジケータが交互に点滅する場合を参照してください。

「FILTR」：エアーフィルターのお手入れ時期です。
LAMP と **TEMP** インジケータが同時に点滅する場合を参照してください。

「SHADE」：レンズシェードにエラーが発生しました。販売店にご相談ください。

「SHIFT」：レンズシフトにエラーが発生しました。販売店にご相談ください。

「インジケータ表示」（📖**4-47 ～ 51**）を参照してください。

エラー表示：

「COVER」：ランプカバーが正しく取り付けられていません。
LAMP インジケータが点滅する場合を参照してください。

「FAN」：冷却ファンが動作していません。**TEMP** インジケータが点滅する場合を参照してください。

「LAMP」：ランプが点灯しません。**LAMP** インジケータが点灯する場合を参照してください。

「TEMP」：本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。
TEMP インジケータが点灯する場合を参照してください。

「ACBLK」：電源が瞬間的に遮断され、本機がスタンバイ状態に戻りました。
LAMP インジケータが点灯する場合を参照してください。

「OTHER」：上記以外のエラーが発生しました。

「インジケータ表示」（📖**4-47**）を参照してください。

〈お知らせ〉
● FAN、LAMP、COVER、TEMPエラーが起きた場合は、ステータスモニターへのエラーの表示と同時に、バックライトが点滅します。

（次ページにつづく）

表示の切替

ステータスモニターの表示を、操作パネルやリモコンのボタンで操作し、本機の設定情報や使用状況、エラーの履歴などを表示することができます。

〈お知らせ〉
- 本機がウォームアップ（ランプ点灯動作）中は、ボタンでの操作はできません。
- 「設置」メニューの「スタンバイモード」（📖**2-21**）が「省電力」モードに設定され、本機がスタンバイモードの時には、ステータスモニターには何も表示されないか、ボタン操作が有効になりません。
- ステータスモニターと OSD メニューは、同時に操作できません。

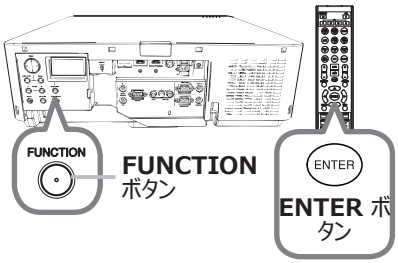
本機が通常状態または AIR、COLD または FILTR エラーが表示されている場合以下から 1 つを選び、ボタンを押してください。

・操作パネルの **FUNCTION** ボタン

・リモコンの **ENTER** ボタンを 3 秒間

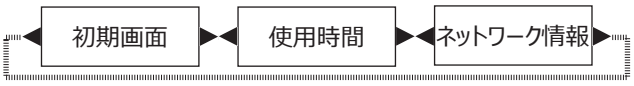
・ステータスモニターとして割り当てた **MY BUTTON** ボタン

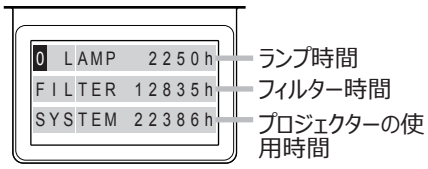
ステータスモニターのバックライトが点灯します。



❍ **使用時間を含む設定情報を表示する**

◀／▶ボタンで表示を切り替えます。



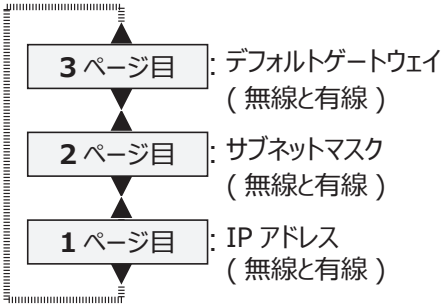


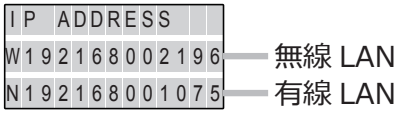
表示例：使用時間

使用時間：ステータスモニターはランプ時間（現在のランプの使用時間）、フィルター時間（エアーフィルターの使用時間）とプロジェクターの使用時間を表示します。

ネットワーク設定情報：

ネットワーク設定情報は、3 種類（3 ページ）表示されます。有線や無線設定の各 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの参照ができます。ページを切り替えるには、カーソルボタン▲／▼を使用してください。以下のような情報が表示されます。





表示例：
ネットワーク設定情報

（次ページにつづく）

〈お知らせ〉
- カーソルボタン以外のボタンが押された時またはボタン操作が３０秒以上なかった場合、ステータスモニターとバックライトは **FUNCTION** または **ENTER** ボタンが押される前の状態に戻ります。
- プロジェクターの使用時間は、本機が製造された時からのランプ使用時間の合計になります。「設置」メニュー > ランプ & フィルター > ランプ時間にてリセットはできません。
- 使用時間の表示中に▲／▼ボタンが押されると、過去のエラー発生時の使用時間に切り替わります。

❍ エラー履歴を表示する

以前のエラー履歴を表示するには▲ボタンを押してください。

警告表示が表示された場合、最初のエラー履歴は現在発生しているエラーになります。

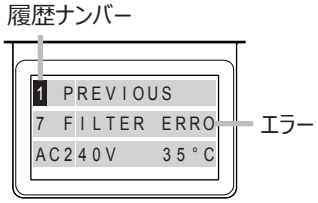
ステータスモニターは履歴ナンバー、発生したエラー、電源電圧とその時の周囲温度を表示します。

▶ボタンを押して、各エラー発生時の使用時間を表示してください。

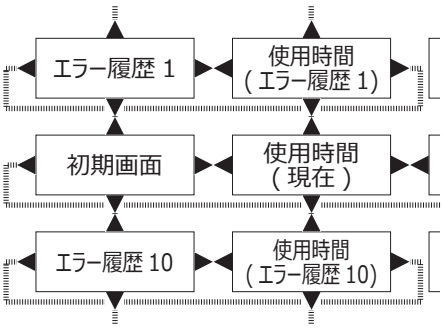
▲ / ▼ボタンで履歴を切り替えてください。

◀ / ▶ボタンで各履歴ごとの内容を切り替えます。

現在を含めて最大１０のエラー履歴を表示することができます。



表示例：エラー履歴



〈お知らせ〉
- カーソルボタン以外のボタンが押された時またはボタン操作が３０秒以上なかった場合、ステータスモニターとバックライトは **FUNCTION** または **ENTER** ボタンが押される前の状態に戻ります。
- エラーが発生していないか、１０個未満である場合、まだ記録されていないエラー履歴には”NO DATA” が表示されます。

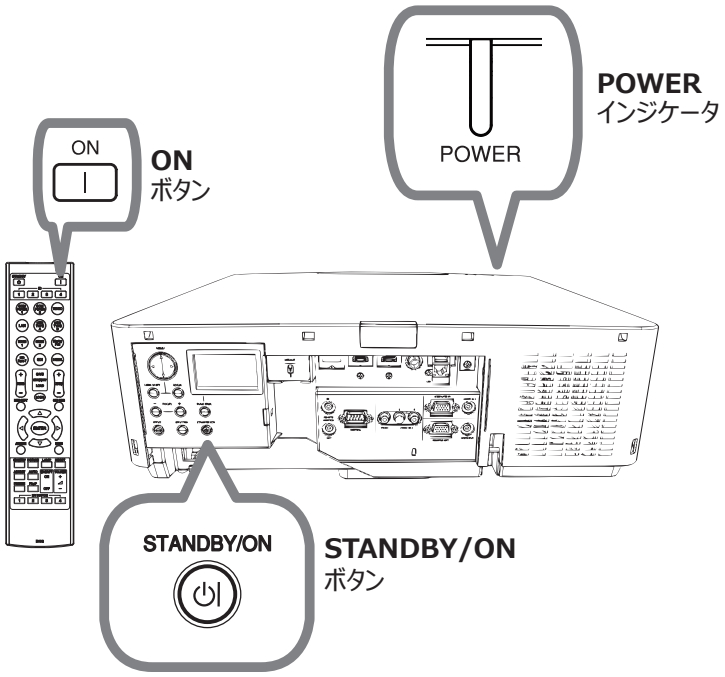
基本操作

電源を入れる

1．電源コードが正しく接続されていることを確認してください。

2．**POWER** インジケータが橙色に点灯していることを確認してください。

3．リモコンの **ON** ボタン、または操作パネルの **STANDBY/ON** ボタンを押してください。
POWER インジケータが緑色に点滅し始め、ランプは点灯動作（ウォームアップ）を開始します。
ランプが点灯すると、初期画面が表示されます。**POWER** インジケータは点滅をやめ緑色に点灯します。



⚠ 警 告

●レンズをのぞかない
本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

高温注意

●高温に注意する
使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。

〈お知らせ〉

●本機の電源は他の機器より先に入れてください。
接続している他の機器（コンピュータやビデオプレーヤなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

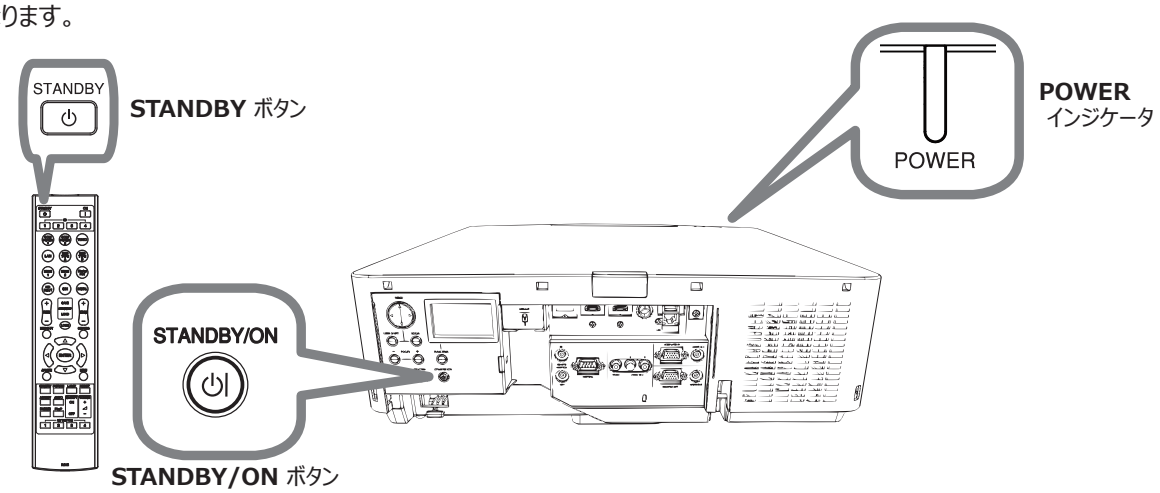
●「その他」メニューの「ダイレクトパワーオン」を「有効」に設定している場合、電源を入れる操作を行わなくても自動的に本機の電源が入ることがあります。（📖**2-30**）

電源を切る

1．リモコンの **STANDBY** ボタンまたは操作パネルの **STANDBY/ON** ボタンを押してください。
「電源を切りますか？」のメッセージが、約 5 秒表示されます。

2．メッセージが表示されている間に、もう一度 **STANDBY** または **STANDBY/ON** ボタンを押してください。
ランプが消灯し、本機は冷却動作を開始して **POWER** インジケータが橙色に点滅し始めます。ランプの冷却が終わると本機はスタンバイ状態となり、**POWER** インジケータは点滅をやめて橙色に点灯します。

ランプが点灯してから短い時間のうちに電源を切らないでください。また、電源を切った後 10 分間は電源を入れないでください。電源の入れたり切ったりを、高温状態で行ったり、短い時間に続けて行ったりすると、ランプが不点灯となったり、ランプの寿命を縮める原因となります。



⚠ 警 告

高温注意

●高温に注意する
使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。

電源プラグを
コンセント
から抜け

●使用しないときは電源プラグを抜く
本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

お守りください

●電源を入れるときは他の機器より先に、切るときは他の機器より後に行ってください
接続している他の機器（コンピュータやビデオプレーヤなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

● 電源は正しい手順で切ってください
正しい手順をふまずに電源プラグを抜いたりすると、冷却が正常に行われず、本機の寿命を縮めたり、投写ランプがつきにくくなることがあります。非常時を除き、電源は決められた手順（📖 **上記**）で切ってください。
▶ 停電によって、正しい手順をふまずに電源を切った（切れた）場合は、電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。

〈お知らせ〉
●「その他」メニューの「オートパワーオフ」（📖**2-30**）を「有効」に設定していると、電源を切る操作を行わなくても自動的に本機の電源が切れることがあります。

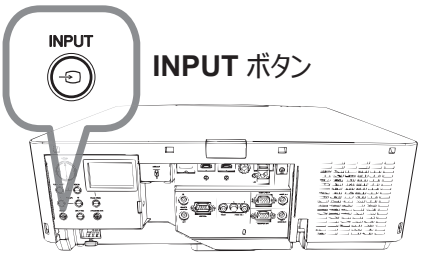
入力信号を選ぶ

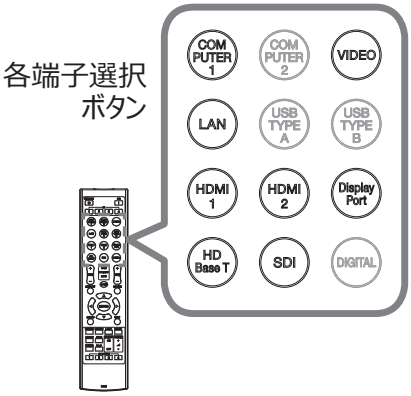
1．信号出力元を起動し、本機に信号を入力します。

2．本機の操作パネルの **INPUT** ボタンを押します。
操作パネルの **INPUT** ボタンを押すごとに、入力端子を切り替えることができます。なお、リモコンからも入力信号の選択ができます。以下のように入力信号をボタンより選択してください。

LAN ⇨ **COMPUTER IN** ⇨ **HDMI 1** ⇨ **HDMI 2**
⇧ ⇩
VIDEO ⇦ **SDI** ＊ ⇦ **HDBaseT** ⇦ **DisplayPort**

＊MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ

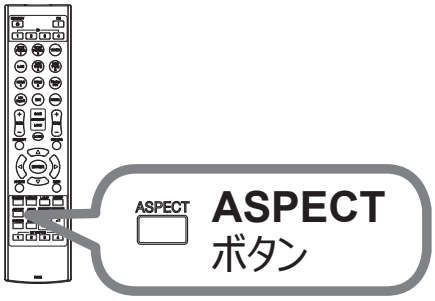




〈お知らせ〉
- 「その他」メニューの「チャンネルスキップ」より「スキップ」と設定した端子は選択できません。
- 「その他」メニューの「オートサーチ」（📖**2-29**）が「有効」に設定されている場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。

アスペクト（画面の縦横比）を選ぶ

1．リモコンの **ASPECT** ボタンを押します。
　ボタンを押すごとに、本機はアスペクト（画面の縦横比）を切り替えます。



■コンピュータ信号を表示しているとき

MC-X8801WJ/MC-X8801BJ

ノーマル → 4：3 → 16：9 → 16：10

MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ/
MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/
MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ

ノーマル → 4：3 → 16：9 → 16：10 → リアル

■ HDMI® , HDBaseT™, DisplayPort 信号を表示しているとき

MC-X8801WJ/MC-X8801BJ

ノーマル → 4：3 → 16：9 → 16：10 → 14：9

MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ/MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ

ノーマル → 4：3 → 16：9 → 16：10 → 14：9 → リアル

■ビデオ信号を表示しているとき

MC-X8801WJ/MC-X8801BJ

4：3 → 16：9 → 14：9

MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ/MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ

4：3 → 16：9 → 16：10 → 14：9 → リアル

■ SDI 信号を表示しているとき（MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ **のみ）**

ノーマル → 4：3 → 16：9

■ LAN 端子からの信号を表示しているとき、または信号の入力がないとき

MC-X8801WJ/MC-X8801BJ

4：3（固定）

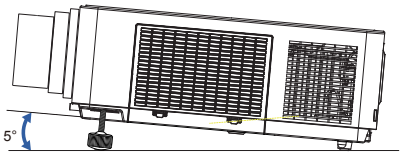
MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ/MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ

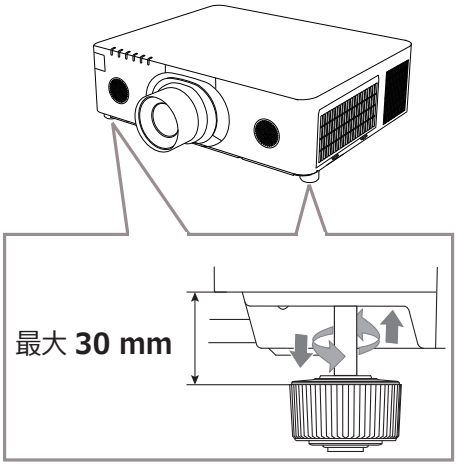
16：10（固定）

〈お知らせ〉
- 正常な信号の入力がないときは、**ASPECT** ボタンは動作しません。
- 「ノーマル」を選択すると、受信中の映像信号そのままの縦横比で表示されます。

傾きを調節する

スクリーンなどの投写面に傾きがある場合は、アジャスタ脚を使って本機のレンズ面と投写面をできるだけ平行にしてください。アジャスタ脚は本機の底面前寄りの左右に 1 つずつあり、各々、ねじのように回すと長さを調節できます。





⚠ 警 告

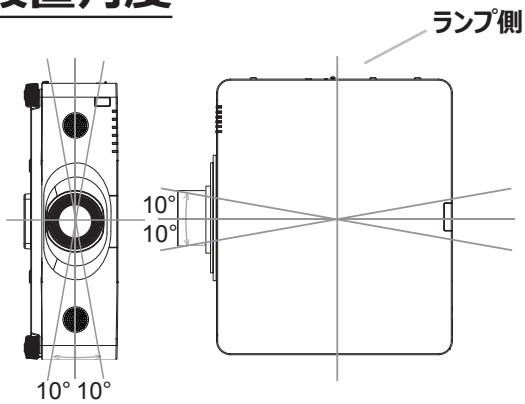
●衝撃をあたえない
アジャスタ脚は本体が不安定にならないように、しっかり支えた状態で操作してください。

●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない
アジャスタ脚は伸ばしすぎると外れますので、30mm 以上には伸ばさないでください。本機が落ちたり倒れたりすると、けがや故障の原因となります。

⚠ 注意

●傾けて使用しない
傾けての使用は、前後方向 (前上がり)5°以内で設置してください。5°以上の角度に傾けた状態でのご使用は故障や寿命を縮める原因となります。アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。

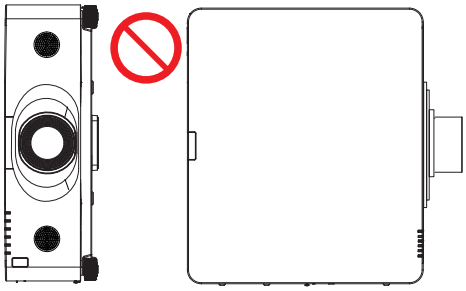
設置角度



・ポートレートモードでの水平 / 垂直方向

水平角度± 10°で設置可能です。

垂直角度± 10°で設置可能です。

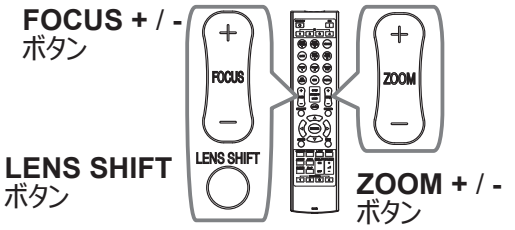


〈お知らせ〉
- 縦置き時は**ランプ**側が上になるようにしてください。
- 「その他のエラー」が発生した場合、本機の設置状態を確認してください。適切に設置した後に再起動してください。
- ポートレートモードで使用する場合、ランプの寿命は短くなります。

レンズを調節する

ズーム（表示倍率）とフォーカス（焦点）を調節する

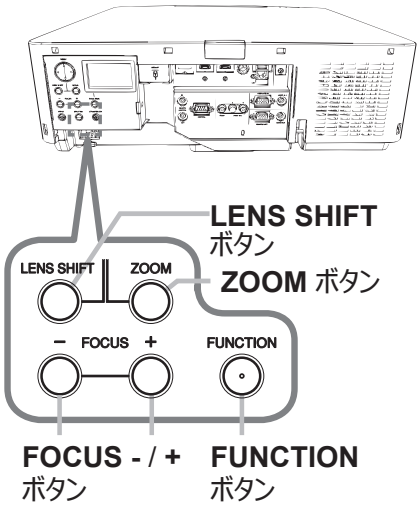
ZOOM ボタン、**ZOOM ＋／－**ボタン、**FOCUS ＋／－**ボタンのいずれかが押されますと、ズームおよびフォーカスダイアログが表示されます。
1. スクリーンサイズ調整の場合は、**ZOOM ＋／－**ボタンを押します。
2. 映像へのフォーカスは、**FOCUS ＋／－**ボタンを押します。



〈お知らせ〉
- レンズが動いている間は、動作中のレンズの操作以外のボタン操作は無効になります。

画面の位置（レンズシフト）を調節する

LENS SHIFT ボタンを押すと、レンズシフトダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で画面の位置を調節してください。
基本的に、レンズが正しく中心に設定されていますとより良い映像が得られます。
もう一度 **LENS SHIFT** ボタンを押すと、レンズシフトが終了します。



■センタリング機能

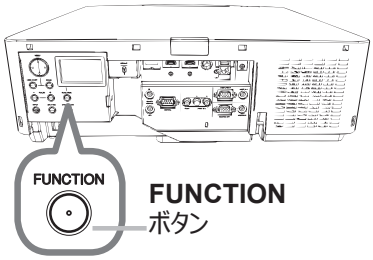
ENTER ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。
確認のダイアログが表示されますので、カーソルボタン▶を押してください。レンズが水平、垂直の中心に移動します。
プロジェクターがスタンバイ状態のときは、**FUNCTION** ボタンと **LENS SHIFT** ボタンを同時に 3 秒間押すと、センタリング機能を実行することもできます。

⚠ 警 告

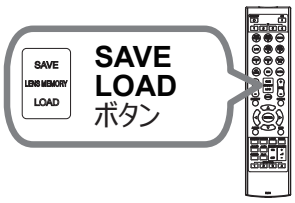
- レンズ周りに手やものが触れないようにしてください。
  レンズが動いている際に指やものを挟むと、怪我の原因となります。

〈お知らせ〉
- センタリングには、時間がかかる場合があります。レンズが動いている間は、画面に砂時計アイコンが表示されます。
- レンズが動いている間は、動作中のレンズの操作以外のボタン操作は無効になります。
- 本機がスタンバイ状態のときにセンタリング機能を実行するには、操作パネルの **FUNCTION** ボタンと **LENS SHIFT** ボタンを同時に 3 秒間押してください。ただし、「 設置 」メニューの「スタンバイモード」（📖**2-21**）が「 省電力 」に設定されているときは、動作しません。
- レンズシフトの調節範囲は、搭載されているレンズユニットによって異なるため、レンズシフトダイアログの端までアイコンが届かない場合がありますが、故障ではありません。

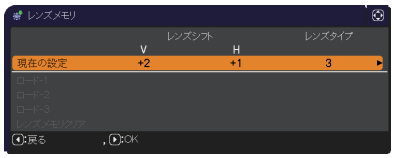
レンズメモリ機能



本機はレンズ調整（レンズシフトとレンズタイプ）のメモリ機能を備えています。
最大 3 組の設定を保存できます。
レンズメモリ機能をご使用になるには、リモコンの **LENS MEMORY-SAVE/LOAD** ボタンを押すか、レンズシフトダイアログ表示中に操作パネルの **FUNCTION** ボタンを押すか、ズームもしくはフォーカスダイアログ表示中にカーソルボタン▲を押します。
そうしますと、レンズメモリダイアログが表示されます。
「現在の設定」の行には、現在のレンズシフトの調節値が表示されます。
既に記憶されている設定に関しては、「セーブ」もしくは「ロード -1」～「ロード -3」の行に表示されます。



■セーブ：
レンズメモリ機能で設定をセーブするには、レンズメモリダイアログ表示中にカーソルボタン ▶ を押す、もしくは、リモコンの **SAVE** ボタンを押します。現在の設定を保存するには､レンズメモリダイアログ表示中に「セーブ -1」～「セーブ 3」のどれかを選び､カーソルボタン ▶ もしくは **ENTER** ボタンを押します。保存先に設定が保存されている場合は、上書きされます。



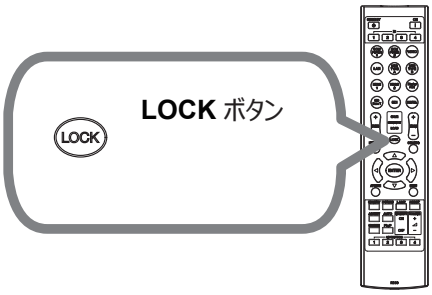
■ロード：
設定を読み出すには、レンズメモリダイアログ表示中に、「ロード -1」～「ロード -3」のどれかを選び、カーソルボタン ▶ もしくは **ENTER** ボタンを押します。設定を読み出すと、「現在の設定」は、読み出された設定に上書きされます。
現在の設定を残したい場合は、保存をしてから他の設定を読み出してください。

■レンズメモリクリア：
全ての設定を削除するには、レンズメモリダイアログ表示中にレンズメモリクリアを選び、カーソルボタン ▶ もしくは **ENTER** ボタンを押します。カーソルボタン ▶ を押すと、確認のダイアログが表示されます。カーソルボタン ▶ をもう一度押して、全ての設定を削除します。

〈お知らせ〉
●レンズが動いている間は、動作中のレンズの操作以外のボタン操作は無効になります。

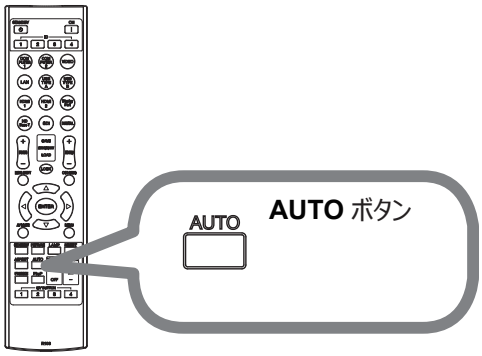
レンズロック機能

LOCK ボタンを押すとレンズロック機能を有効／無効に設定できます。「有効」に設定した場合は、**ZOOM**、**ZOOM ＋／－**、**FOCUS ＋／－**、**LENS SHIFT** と **LENS MEMORY** ボタンはご使用になれません。



画面の自動調節機能を使う

リモコンの **AUTO** ボタンを押すと、以下の自動調節が実行されます。



■コンピュータ信号を表示しているとき

画面の垂直位置、水平位置、クロック位相が自動的に調節されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調節されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。

■ビデオ信号を表示しているとき

入力信号に最も合うビデオフォーマットが自動的に選択されます。この機能は、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」（📖**2-16**）が「オート」に設定されているときのみ有効になります。画面の水平位置と垂直位置が自動的に初期設定に戻ります。

■コンポーネントビデオ信号を表示しているとき

画面の垂直位置、水平位置が自動的に初期設定に戻ります。クロック位相は自動的に設定されます。

〈お知らせ〉

- 自動調節には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調節できないことがあります。
- ビデオ信号を表示しているときに画面の自動調節を実行すると、映像の外側に線などが表示される場合があります。
- コンピュータ信号を表示しているときに画面の自動調節を実行すると、コンピュータの機種によっては、画面の縁に黒い枠が表示されることがあります。
- 「その他」メニューの「特別な設定」－「オートアジャスト」（📖**2-35**）で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調節される項目が変わります。

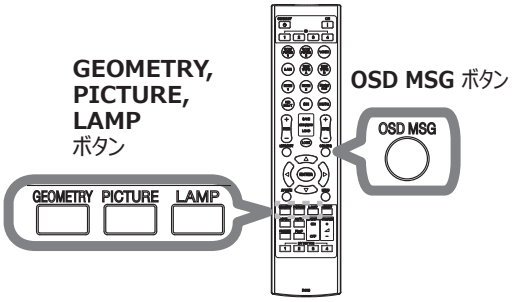
その他のボタン

OSD MSG: OSD メッセージメニューを表示します。
ボタンを押すごとに機能が切り替わります。
ノーマル ⇔ 限定 ⇔ 禁止

「禁止」選択時は、全てのメッセージ機能が表示されません。

• 以下の方法で設定の変更ができます。

1. リモコンの **OSD** ボタンを 3 秒間押し続けます。
2. 「禁止」OSD が表示されます。
   OSD 表示中に、**OSD** ボタンをもう一度押します。
3. 他の機能を選択します。



GEOMETRY: 幾何学補正メニューを表示します。

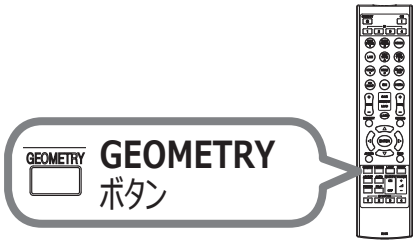
PICTURE: 映像モードを切り替えます。

スタンダード ⇔ ナチュラル ⇔ シネマ ⇔ ダイナミック
⇕ ⇕
ユーザー -3 黒板（黒）
⇕ ⇕
ユーザー -2 黒板（緑）
⇕ ⇕
ユーザー -1 ⇔ DICOM SIM. ⇔ デイタイム ⇔ ホワイトボード

LAMP: ランプ＆フィルターのメニューが表示されます。

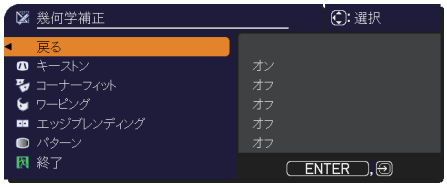
画面のひずみを補正する

「キーストン」、「コーナーフィット」、「ワーピング」のいずれかを選択して画面のひずみを補正することができます。
GEOMETRY ボタンを押してください。幾何学補正メニューが表示されますので、カーソルボタン▲ / ▼で選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。



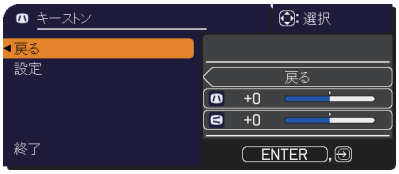
■「キーストン」：垂直、水平方向の調整ができます。
■「コーナーフィット」：画面の四隅の位置、および四辺のたわみを各々独立して調節することができます。
■「ワーピング」：様々な種類のスクリーンへの映像投写ができます。

＊ 3 つのうち 1 つを選択すると、他は使えません。



〈お知らせ〉
●何も操作をしないと、数秒後にメニューもしくはダイアログが自動的に消えます。
または、**GEOMETRY** ボタンを再度押すか、「終了」にカーソルを合わせカーソルボタン ◀ または **ENTER** ボタンを押すと、同様にメニューもしくはダイアログが閉じます。

■「キーストン」：
「キーストン」でカーソルボタン ▶ または **ENTER** ボタンを押すと、キーストンダイアログが表示されます。
1. カーソルボタン ▼/▲ で「設定」を選択し、カーソルボタン ▶ または **ENTER** ボタンを押します。
2. 垂直もしくは水平キーストン (/) をカーソルボタン ▼/▲ で選択します。
3. カーソルボタン◀ / ▶でキーストンのゆがみを調整します。



〈お知らせ〉
●ズーム調節が TELE（小さく表示）側に調節されていると、過補正となることがあります。できるだけズーム調節を WIDE（大きく表示）に調節してお使いください。
●水平レンズシフトが中心に設定されていない場合は、この機能は正しく動作しません。
●キーストンメニューに戻るには、カーソルボタン▲ / ▼で「戻る」を選択し、カーソルボタン◀または **ENTER** ボタンを押してください。

（次ページにつづく）

■「コーナーフィット」：

「コーナーフィット」でカーソルボタン ▶ または ENTER ボタンを押すと、コーナーフィットダイアログが表示されます。本機は、テストパターンを備えております。カーソルボタン ▼/▲ でパターンを選択し、カーソルボタン ◀/▶ で調整します。

1. カーソルボタン ▼/▲ で「設定」を選択し、カーソルボタン ▶ または ENTER ボタンを押します。
2. カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、調節する隅または辺を選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。

3. 以下の選択箇所を調整します。
   - 隅はカーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で位置が移動します。
   - 上下辺はカーソルボタン▲ / ▼でひずみを調整します。
   - 左右辺はカーソルボタン◀ / ▶でひずみを調整します。
   - 再度調整する場合は、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押し、手順 2 から操作を参照してください。
4. 本機は、コーナーフィットの調節設定を 3 つまでメモリに保存することができます。

■ セーブ - 1 ～ 3 ：

コーナーフィットの調節設定を保存するには、カーソルボタン▲ / ▼でセーブ -1 ～ 3 のなかから 1 つ選択し、カーソルボタン▶、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押します。保存先に設定が保存されている場合は、上書きされます。

■ ロード - 1 ～ 3 ：

メモリに保存されている調節設定を読み出すには、カーソルボタン▲ / ▼で、ロード -1 ～ 3 のどれかにカーソルを移動し、カーソルボタン▶、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。設定を読み出すと、「現在の設定」は読み出された設定に上書きされます。現在の設定を残したい場合は、保存をしてから他の設定を読み出してください。

〈お知らせ〉

- 設定を保存していないメモリのロード番号は、選択できません。
- 設定をメモリから読み出す時に画面が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

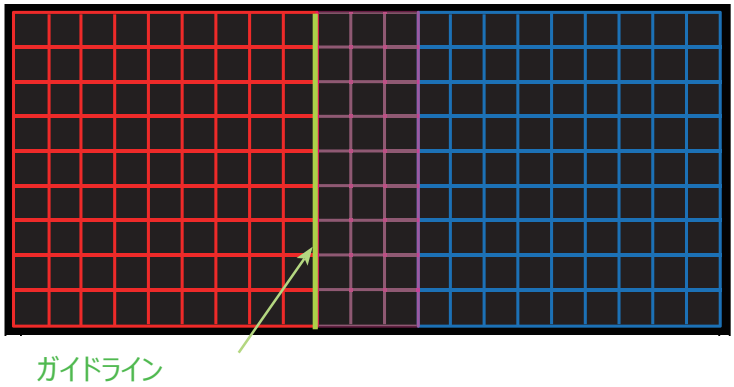
■「ワーピング」：

ワーピング 機能を使うことで、様々な種類のスクリーンへの映像投写が可能になります。
専用の PC ツール "Projector Warping Tool" によって操作します。
この機能を使用するには、PC と本機を LAN ケーブルで接続する必要があります。
操作方法は、アプリケーションマニュアルを参照ください。

エッジブレンディング機能を使用する

1．モード（マニュアル／カメラ）
　オフ：ブレンディング機能を無効にします。
　マニュアル：ブレンディング領域またはブレンディングレベルをメニューで調整できます。
　カメラ：Projector Blending Tool でカメラ機能を使用して自動調整ができます。
＊ブレンディング機能が OFF 以外に設定されている時は、イメージオプティマイザは選択できません。
＊ブレンディング機能が OFF 以外に設定されている時は、「エコモード」（📖**2-20**）で「エコ」を選択することはできません。
＊ブレンディング機能でカメラを選択している時は、キーストン／コーナーフィット／ワーピングは選択できません。

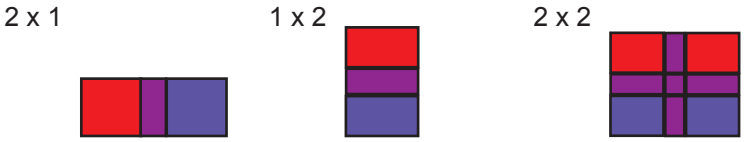
2．ブレンディング領域
2．1ブレンディング領域の指定
カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で 4 辺を選択し、**ENTER** ボタンまたは **INPUT** ボタンを押してください。
左右の辺の場合はカーソルボタン◀ / ▶、上下の辺はカーソルボタン▲ / ▼でブレンディング領域を指定することができます。2 台のプロジェクターにそれぞれ、ブレンディング領域を指定してください。調整の際に表示されるガイドに沿って設定してください。
＊ブレンディング領域の最低値は 200 ドットです。



（次ページにつづく）

３．切り出し領域

ブレンディングしているプロジェクターそれぞれに同じ映像を入力している場合、入力映像の一部をそれぞれのプロジェクターが切り抜いて表示し、１つの映像を大画面表示にすることができます。以下のパターンをサポートします。



３．１　切り出し領域メニューを表示する

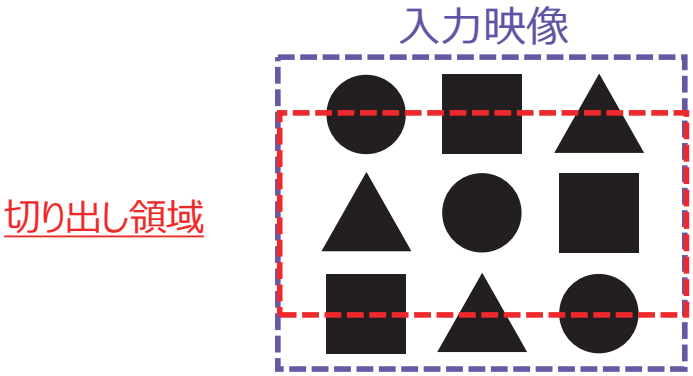
カーソルボタン▲ / ▼で、「切り出し領域」を選択し、カーソルボタン▶、**ENTER** ボタンまたは **INPUT** ボタンを押してください。

３．２　切り出し領域を設定する

カーソルボタン▲ / ▼で「モード」を選択し、カーソルボタン◀ / ▶で「オン」にしてください。
ブレンディング領域の設定に応じて、自動的に入力映像を切り出します。

３．３　切り出し領域を調整する

入力映像の一部を切り出したい場合には、切り出し領域を調整します。
カーソルボタン▲ / ▼で、「設定」を選択し、カーソルボタン▶、**ENTER** ボタンまたは **INPUT** ボタンを押してください。
＊この時「モード」が一時的に「オフ」になり、切り出し領域のガイドが表示されます。
カーソルボタン▲ / ▼で、「LT」/「ＷＨ」を選択し、**ENTER** ボタンまたは **INPUT** ボタンを押してください。
カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶でガイド表示を動かし、切り出したい画面の領域を選択してください。
ENTER ボタンまたは **INPUT** ボタンを押して、カーソルボタン◀を押しますと「設定」にカーソルが戻り、「モード」が自動的に「オン」になります。



（次ページにつづく）

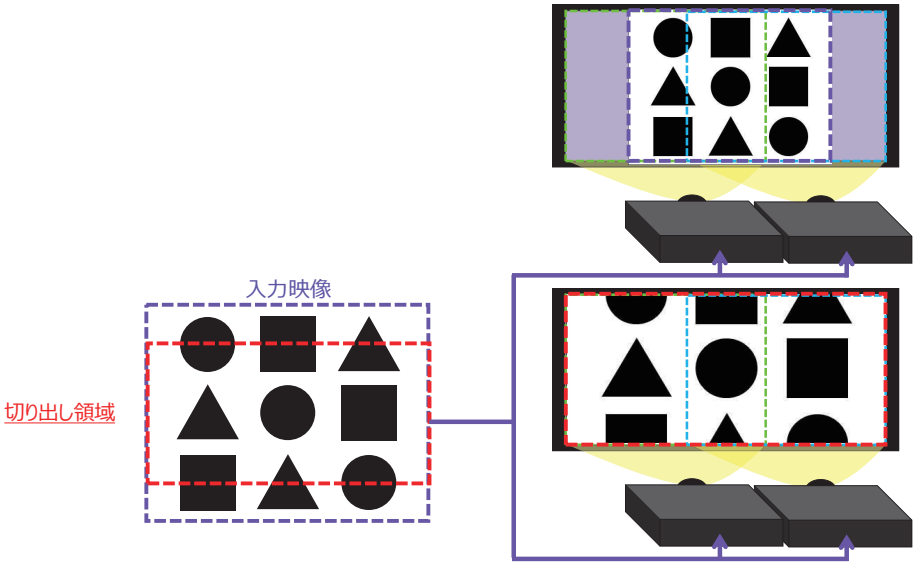
3．切り出し領域（つづき）

3．4　もう 1 台のプロジェクターの切り出し領域を調整する。

1 台目のプロジェクターの切り出し領域と同じ設定値を、もう 1 台のプロジェクターに設定してください。

ブレンディング領域の設定に応じて、自動的に入力映像を切り出します。

＊設定の最中、入力映像が見えない状態にしておきたい場合、BLANK を「ON」にしてください。



4．ブレンディングレベルを選択する

カーソルボタン▲ / ▼で、「ブレンディングレベル」を選択してください。

カーソルボタン◀ / ▶で「1 - 25」から選択できます。

設定に応じてブレンディング領域の明るさを調整します。

5．調光レベル

ブレンディングしているそれぞれのプロジェクターの明るさを合わせるために調光します。

カーソルボタン◀ / ▶で調光レベルを調整します。

6．ホワイトバランス

画面全体のホワイトバランスを調整します。

6．1　オフセット

全階調の色温度を変更します。

6．2　ゲイン

主に明るい階調の色温度を変更します。

7．黒レベル

ブレンディングしているそれぞれのプロジェクターの黒レベルを調整します。

W を選択している時は R/G/B の調整値を同時に調整します。

R/G/B それぞれを選択している時は R/G/B の調整値を個別に調整します。

〈お知らせ〉

●設置後、時間の経過により画面がズレることがあります。その際は再度画面調整を行ない、ズレを修正してください。

画面を拡大する

1. リモコンの **MAGNIFY ON** ボタンを押すと、画面が拡大表示され、「拡大」ダイアログが表示されます。

2. ダイアログが表示されている間、**MAGNIFY ON** ボタンを押すたびに、以下のように画面の拡大倍率が切り替わります。

■コンピュータ信号、HDMI®(RGB) 信号、HDBaseT™ 信号、DisplayPort 信号、および LAN 端子からの映像信号を表示しているとき

1.5 倍 → 2 倍 → 3 倍 → 4 倍 → 等倍

■ビデオ信号、HDBaseT™ 信号、DisplayPort 信号、HDMI® 信号、および SDI 信号を表示しているとき

1.5 倍 → 2 倍 → 等倍

3. また、カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で拡大位置を移動することができます。ダイアログ内に表示される三角マークの方向に、拡大画面を移動することができます。
4. 画面の拡大を終了するには、リモコンの **MAGNIFY OFF** ボタンを押してください。

〈お知らせ〉
- 「拡大」ダイアログは、数秒間何も操作をしないと消えます。拡大画面を操作するには、もう一度 **MAGNIFY ON** ボタンを押してください。
- 入力信号が変化したときや表示状態を変更する操作（画面の自動調節やアスペクトの切替えなど）を実行したときには、画面の拡大は終了します。
- 画面を拡大すると、画面のひずみ補正の状態が正しく表示されないことがありますが、拡大を解除すると、元の状態に戻ります。
- 画面を拡大すると、水平の縞模様が現れることがあります。
- 対応していない信号が入力されている、または信号の入力が無いときには、この機能で画面を拡大することはできません。

映像を静止させる

リモコンの **FREEZE** ボタンを押すと「静止」ダイアログが表示され、映像が静止します。
「設置」メニューの「OSD メッセージ」（📖**2-22**）を「限定」に設定していると、「静止」ダイアログは表示されません。映像の静止を解除するには、もう一度 **FREEZE** ボタンを押してください。

〈お知らせ〉
- 操作パネルのボタンを押したときにも、映像の静止を終了します。
- 本機は同じ映像を長時間表示し続けると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがあります。映像を静止させたまま放置したり、終了するのを忘れたりしないようご注意ください。
- 静止している映像が劣化して見えることがありますが、故障ではありません。

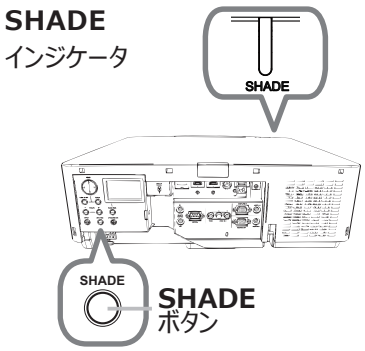
映像、音声出力を隠す

AV ミュート機能を使う

AV MUTE ボタンを押すと音声が消え、ブランク画面が表示されます。
ブランク画面については、「スクリーン」メニューの「ブランク」
（📖**2-24**）をご参照ください。リモコン、操作パネルのどれかの
ボタンを押すと、AV ミュート機能は終了し、元の音声と映像が復帰します。

レンズシェードを閉じる

操作パネルの **SHADE** ボタンを押すと、レンズシェードが閉じ、画面が
真っ暗になります。
レンズシェードが閉じている間は、**SHADE** インジケータが黄色に
点滅します。
もう一度 **SHADE** ボタンを押すと元の映像表示に戻ります。



⚠ 注 意

●ランプ点灯中に映像を消すには、指定の方法を使用する
ランプ点灯中に映像を消したい場合には、上記の AV ミュート機能、またはレンズシェードを使用してください。レンズの前に物を置いたり、レンズに紙や布などを貼ったりすると、レンズを損傷するおそれがありますので、おやめください。

〈お知らせ〉

- レンズシェードを閉じたまま「その他」メニューの「シェードタイマー」（📖**2-30**）で設定した時間を過ぎると、自動的に本機の電源が切れます。
- レンズシェードを閉じたまま通常の手順で本機の電源を切ると、自動的にレンズシェードが開きます。また、レンズシェードが閉じる、または開く途中で本機の AC 電源が切れた場合は、その場ではレンズシェードの動作は止まりますが、次回本機の電源を入れた時には、レンズシェードが開いて起動します。
- 「その他」メニューの「マイボタン」（📖**2-31**）で、「消音」を割りあてた **MY BUTTON（1 ～ 4）**を押すと、音声だけを消すことができます。

点検とお手入れ

ランプを交換する

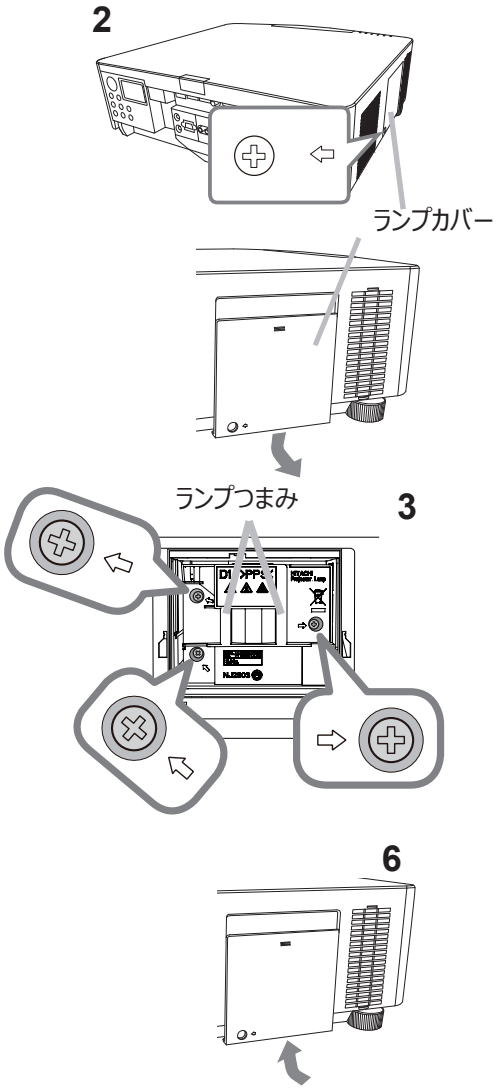
ランプは使用時間の経過に伴い、徐々に映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりすることがあります。また、ランプの寿命にはばらつきがあり、ご使用開始から比較的短時間で破裂したり、不点灯となったりすることがあります。あらかじめ交換用のランプをご用意いただき、お早めに交換いただくことをお勧めします。
交換用のランプは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

	ランプ型名
MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ/ MC-MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/ MC-X8801WJ/MC-X8801BJ	DT01881
MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/ MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ	DT01871

次のような場合は、ランプユニットの交換を必ず販売店へご依頼ください。
・ランプが破裂した、あるいは破裂したおそれがある場合
・プロジェクター―が金具で固定設置されている場合

交換手順（ご自分でランプを交換する場合）

1．本機の電源を切って電源プラグを抜き、45 分以上放置して冷ましてください。
2．右図を参考に、ランプカバーのネジ（⇦）を緩め、ランプカバーを外してください。
3．ランプを固定している 3 つのネジ（ ⇦）を緩め、ランプつまみを持って、ランプをまっすぐに引き抜いてください。
4．用意した新しいランプの型名が、上記の型名と一致することをご確認のうえ、ランプの下側を本体の底面側のみぞに沿わせて、軽く押しつけるようにして入れてください。
5．3 つのネジ（⇦）をもとのように締めて固定してください。
6．ランプカバーを閉じて、もとのようにネジ（⇦）を締めて固定してください。
7．以下の手順に従い、本機のメニューを使ってランプ時間を初期化してください。
(1) **MENU** ボタンを押します。
(2) カーソルボタンで以下メニューに沿って選択します。
簡単メニュー > 詳細メニュー > 設置 > ランプ＆フィルター
(3) カーソルボタンで「ランプ時間」を選択します。
(4) ダイアログの「OK」を選んでカーソルボタン▶を押すと、ランプ時間が初期化されます。



（次ページにつづく）

⚠ 注意

● **内部に触らない**
ランプを取り出したり取り付けたりする際、本機の内部に触れないでください。故障、映像不良の原因となることがあります。

お守りください

● ランプ時間の初期化は正しく行ってください。ランプユニットを交換したら必ずランプ時間を初期化してください。ランプを交換せずにランプ時間を初期化しないでください。ランプ時間は、初期または前回ランプ時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。ランプ時間の初期化を正しく行わないと実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。

（次ページにつづく）

ランプについてのご注意

警告　感電注意　高温注意　破裂注意

本機のランプは、ガラス製で内部圧力の高い水銀ランプです
このランプは、衝撃や傷、高温状態での取扱い、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命を終える特性があります。寿命の長さはランプによって大きな差があり、使用後まもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。
ランプが破裂すると、本機の内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが本機の通風孔から出たりすることがあります。ご使用の前に、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜け

●ランプが破裂したら、使用を中止して電源プラグを抜き、販売店に連絡する
飛び散ったガラス片によってけがや本機の内部を傷つける原因となることがあります。
▶ランプが破裂した、または破裂したおそれのある場合は、必ず電源を切って電源プラグを抜き、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。
▶ランプの破裂によって水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが排出されることがあります。換気を十分にして、目や鼻、口から入らないようにご注意ください。万一、入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

電源プラグをコンセントから抜け

●ランプの交換は、電源プラグを抜き、十分冷ましてから行う
電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態でランプを取り扱うと、やけどやランプが破裂する原因となります。
▶ランプの交換の際は、初めに本機の電源を切り、電源プラグを抜いて放置し、ランプや本機内部を十分冷ましてください。

●天井設置や高所設置では、ランプの交換は販売店にご依頼ください
万一、ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。また高所での作業には転落などの危険が伴います。
▶ランプが破裂していない場合でも、ランプの交換は必ず販売店にご依頼ください。ランプカバーは開けないでください。

●ランプは指定品を使用する
ランプを交換するときは、本書に指定された型名とご使用になるランプの型名が一致することを事前にご確認ください。本機の仕様に合わないランプを使用すると、火災や故障の原因となったり、本機の寿命を縮める原因となることがあります。

●ランプやランプカバーは正しく取り付けて使用する
正しく取り付けられていなかったりネジがゆるんでいたりすると、ランプカバーやランプが外れて、けがや故障の原因となることがあります。
▶ランプを交換した後は、固定用のネジがしっかり締められ、ランプカバーがきちんと閉じられていることを確認してください。

●ランプは取扱いに注意し、正しく使用してください
ランプは衝撃を加えたり傷つけたり、寿命を超えてご使用になったりすると、破裂したり、不点灯となることがあります。ランプは丁寧に取り扱ってください。
▶古いランプ（中古品）は破裂し易いのでご使用にならないでください。
▶映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりしたら、お早めに交換してください。

●使用済みのランプは正しく廃棄してください
本機は水銀ランプを使用しています。廃棄は、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従って正しく行ってください。

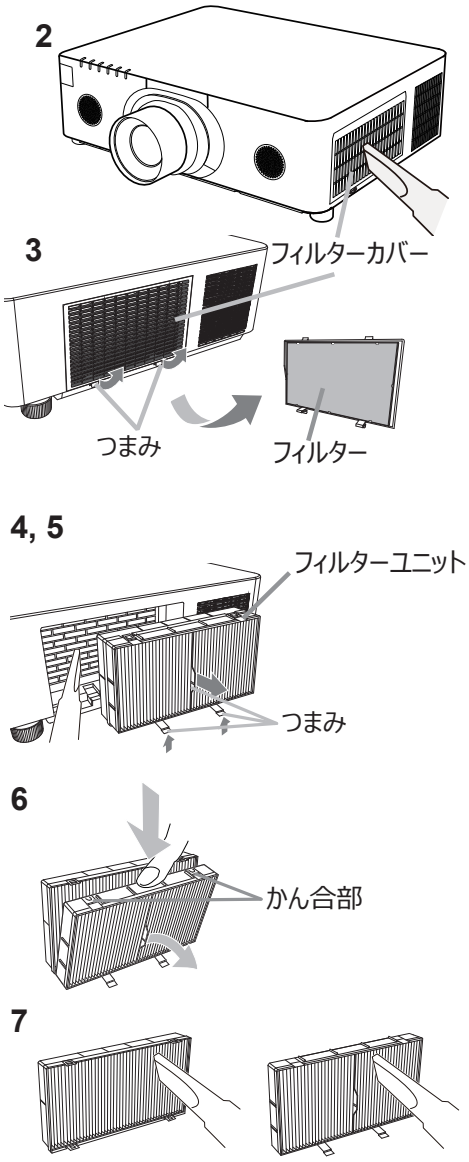
エアーフィルターを掃除／交換する

本機内部の換気と正常な動作を維持するため、定期的な確認とお手入れをお勧めします。
エアーフィルターの掃除や吸気口のチェックをお願いするメッセージが表示された場合や、**FILTER** または **TEMP** インジケータが赤く点灯した場合は、すぐにエアーフィルターの掃除、または交換を行ってください。
エアーフィルターが傷んでいたり、汚れがひどくて掃除しきれない場合は、エアーフィルターを取り替えてください。あらかじめ交換用のエアーフィルターをご用意いただくことをお勧めします。交換用のエアーフィルターは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

型名：MC-WX8750BJ 002（UX40821）

お手入れ手順

1．本機の電源を切って電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2．フィルターカバーとその周辺を、掃除機で掃除してください。
3．フィルターカバーつまみを引き上げ、フィルターカバーをプロジェクター本体から外してください。
4．フィルターユニットの下部にあるフィルターつまみを押し上げてフィルターユニットの固定を外しながら、ユニット中央のフィルターつまみを引いて、フィルターユニットを本体から外してください。
5．本機の吸気口 (フィルターユニットが取り付けられていた奥）と、フィルターユニットの両面、外側を、掃除機で掃除してください。
6．フィルターユニット上部の、かん合部付近を押して固定を外し、フィルターユニットを 2 つに分離してください。
7．2 つのエアーフィルターの間、内側を掃除機で掃除してください。フィルターが痛んでいたり汚れがひどい場合は新しいものに取り替えてください。
8．フィルターユニットを元のように組み立ててください。
9．フィルターユニット、およびフィルターカバーをもとのように本体に取り付けてください。
10．本機の電源を入れ、「簡単メニュー」の「フィルター時間」（📖**2-7**）を使って、フィルター時間を初期化してください。
   1）**MENU** ボタンを押します。
   2）カーソルボタン▲ / ▼でフィルター時間を選択し、カーソルボタン ► （もしくは **ENTER** か **RESET**）を押します。
   3）カーソルボタン ► で OK を選択し、フィルター時間のリセットを実行します。



（次ページにつづく）

⚠ 警 告

電源プラグを
コンセント
から抜け

●フィルターユニットを交換する前に、電源プラグを抜き、十分冷ます
フィルターユニットを交換する前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機内部を十分に冷ましてください。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因になります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。

●フィルターユニットは正しく使用し、定期的に交換する
▶フィルターユニットは必ず指定のフィルターユニットを正しくご使用ください。
▶フィルターユニットがほこりや汚れで詰まったり、正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて本機の電源が自動的に切れたり、火災、故障の原因となることがあります。

お守りください

●フィルター時間の初期化は正しく行ってください。
フィルターユニットを交換したら必ずフィルター時間を初期化してください。フィルターユニットを交換せずにフィルター時間を初期化しないでください。フィルター時間は、初期または前回フィルター時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。フィルター時間の初期化を正しく行わないと実際のフィルターユニットの使用時間とフィルター時間の値が一致しません。

〈お知らせ〉
●本機の「その他」メニューの「フィルター掃除通知」機能をご使用になると、交換時期をお知らせするメッセージを表示することもできます。（📖**2-20**）
●「吸気口をチェックしてください」メッセージが表示されたときは、いったん本機の電源を切って、内部の温度を冷ましてください。

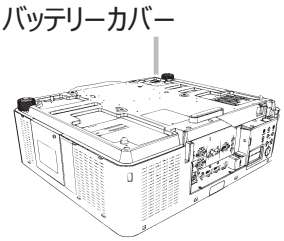
内蔵時計用電池を取り付ける／交換する

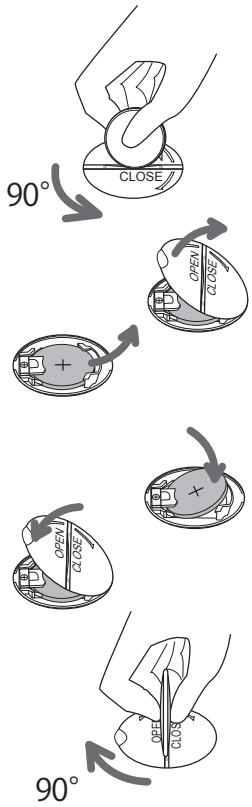
スケジュール機能など、内蔵時計を使用する機能をご利用の場合は、内蔵時計用の電池を取り付ける必要があります。下記の従って電池を取り付けてください。
また、電池が消耗して時計がずれたり止まったりしたら、
新しいボタン型電池と交換してください。
電池は必ず下記のものをご使用ください。

型名：MAXELL、**CR2032** または **CR2032H**

作業手順

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. 本機の底面を上に向けて置いてください。
3. 電池カバーを外します。図を参考に、電池カバーの溝にコインなどを合わせて「OPEN」と表示されている方向に回し、電池カバーが浮いてきたらつまみあげて外してください。
4. 古い電池は電池ケースから取り外します。図に従って電池を取り出してください。金属製の道具は使用しないでください。
5. 新しい電池を入れます。電池ケースの中の極性表示⊖に従って、電池の－側を下（中）に、＋側を上（カバー側）にして入れてください。電池を軽く押し、電池ケースに固定してください。
6. 電池カバーを閉じます。電池カバーの溝にコインなどを合わせて「CLOSE」と表示されている方向に回し、元のように固定してください。





⚠ 警 告

破裂注意

●**電池の取扱いに注意する**
取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。
また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。
万一、電池を飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。
液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。
▶電池は、必ず指定のタイプ（📖 **上記**）の新しい電池を使用してください。損傷のある電池は使用しないでください。
▶子どもやペットが届かないところに保管してください。
▶電池ケースの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。
▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。
▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

その他のお手入れ

内部の点検とお手入れ

内部にホコリがたまった状態で本機を使用し続けると、火災や感電、故障や映像不良の原因となることがあります。
安全なご使用のため、1 年に 1 度を目安に、販売店に内部の清掃・点検をご依頼ください。
内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。

レンズのお手入れ

レンズが傷ついていたり、くもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となります。

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）でレンズを軽く拭いてください。レンズを傷つけないように、また、素手で触らないようにご注意ください。

キャビネットとリモコンのお手入れ

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。
   汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で軽く拭いた後、別の乾いたやわらかい布で軽く拭いて仕上げてください。

⚠ 警 告

電源プラグをコンセントから抜け

●お手入れの前に、電源プラグを抜き、十分冷ます
お手入れの前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。使用中や使用後しばらくは、レンズやその周辺は高温になります。高温状態での取扱いはやけどの原因となります。
また、電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。

●ランプ点灯中はレンズをのぞかない
ランプの点灯中はレンズから強い光が出ます。視力障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

●本機内部に水や洗剤を入れない
万一、水や洗剤が入ってしまったら、販売店にご連絡ください。
▶スプレー（エアゾール製品）を本機に向けて使ったり、本機の周辺で使用しないでください。

⚠ 注 意

●レンズのクリーニングに掃除機を使わない
掃除機を使うと故障の原因となる場合がありますので、使用しないでください。

●本機（キャビネット、レンズ）およびリモコンを傷つけない
硬いものを当てたり、こすったりして傷つけないようにご注意ください。破損や故障、映像不良の原因となることがあります。

●内部の点検とお手入れは、販売店に依頼する
お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。

お守りください

●本書に指定されているもの以外の洗剤、薬品は使用しないでください。
表面が変質することがあります。また、水や水で薄めた中性洗剤も、キャビネットとリモコンのお手入れ以外には使用しないでください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤は使用しないでください。化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

仕様

一般仕様

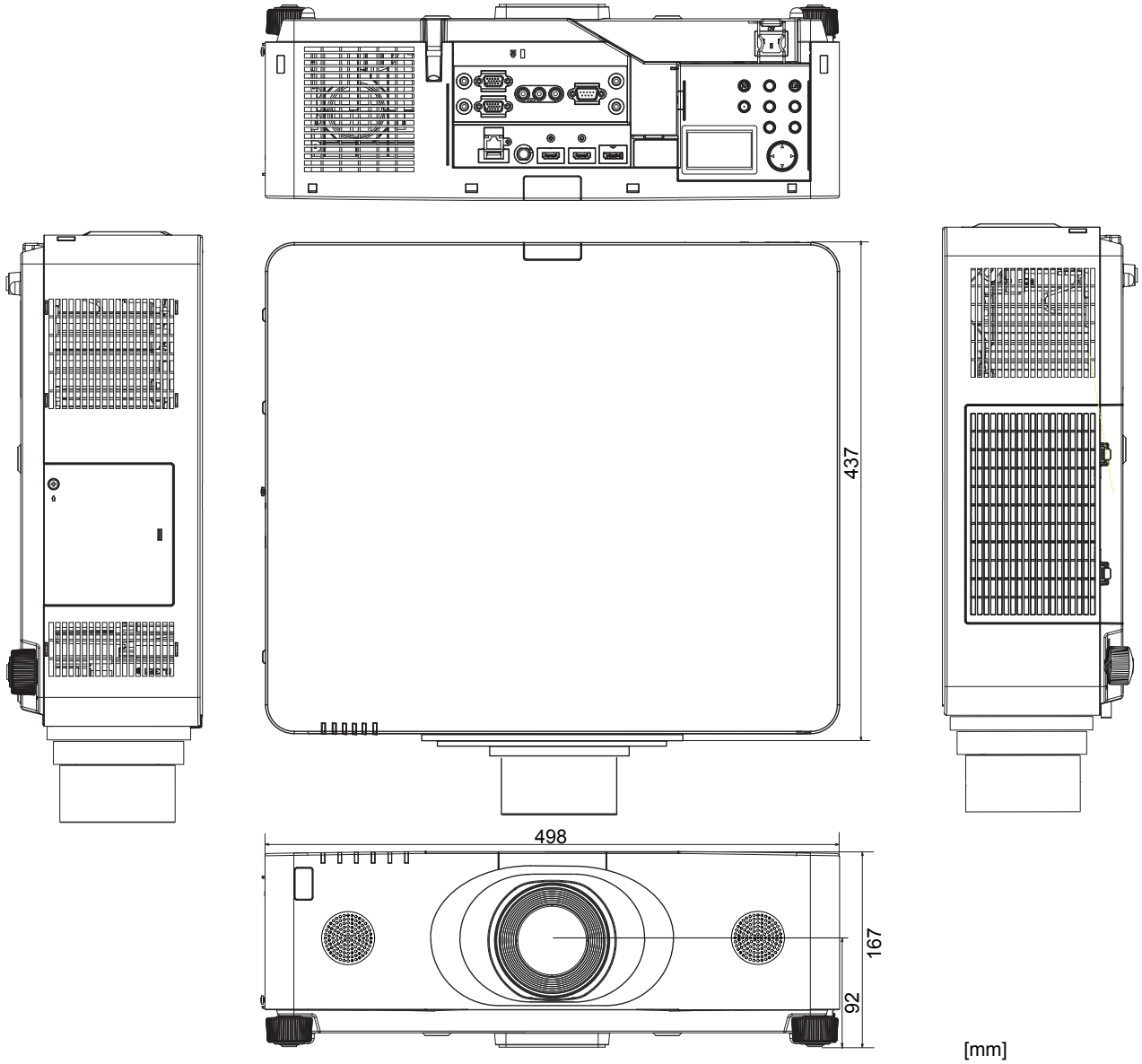
項目	仕様
投写方式	透過型液晶パネル 3 板式
表示素子 （液晶パネル）	**MC-X8801WJ/MC-X8801BJ** 786,432 画素（1024 × 768）× 3 枚　アスペクト比 4：3 **MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ** 1024,000 画素（1280 × 800）× 3 枚　アスペクト比 16：10 **MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ** 2,304,000 画素（1920 × 1200）× 3 枚　アスペクト比 16：10
光源	高圧水銀ランプ（UHP） **MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ** 370W **MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJJ/ MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/ MC-X8801WJ/MC-X8801BJ** 430W
スピーカ	8W x2
電源／消費電力	**MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ** AC100V、50/60Hz、5.2A ／ 510W **MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJJ/ MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/ MC-X8801WJ/MC-X8801BJ** AC100V、50/60Hz、5.9A ／ 580W
使用温度範囲	「エコモード」（📖**2-20**）に「ノーマル」を選択時：0 ～ 40℃ 「エコモード」（📖**2-20**）に「エコ」を選択時：0 ～ 45℃ 高地：0 ～ 40℃ ＊高地での使用時に、温度が 40℃を超えている場合は、光学部品の寿命が短くなることがあります。 40℃以下の場所で使用することをお勧めします。
標準外形寸法	W 498mm × H 167mm × D 437mm（突起部含まず） 本書後部の（📖**1-69**）をご参照ください。
質量	約 11.1kg

（次ページにつづく）

項目	仕様
端子	COMPUTER IN ･･ D サブ 15 ピンミニ× 1 HDMI 1 ･･HDMI® × 1 HDMI 2 ･･HDMI® × 1 HDBaseT･･ RJ45 × 1 SDI（MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ）･･････････････････････････BNC × 1 DisplayPort ･･ DisplayPort コネクタ× 1 MONITOR OUT ･･････････････････････････････････････ D サブ 15 ピンミニ× 1 VIDEO ･･･RCA × 1 AUDIO IN1･･ステレオミニ× 1 AUDIO IN2（L, R）･･･RCA × 2 AUDIO OUT ･･ステレオミニ× 1 WIRELESS ･･･ WIRELESS コネクタ× 1 CONTROL･･ D サブ 9 ピン× 1 LAN ･･･ RJ45 × 1 REMOTE CONTROL IN ･･････････････････････････････････ステレオミニ× 1 REMOTE CONTROL OUT ････････････････････････････････ステレオミニ× 1
別売品	・交換用ランプ MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ/ MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/ MC-X8801WJ/MC-X8801BJ ：**DT01881** MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/ MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ ：**DT01871** ・交換用エアーフィルター MC-WX8750BJ 002（UX40821） ・交換用エアーフィルター **：** ・オプションレンズ： FL-710 (超短焦点固定ズームレンズ) FL-701 (固定短焦点ズームレンズ) USL-701 (超短焦点ズームレンズ) SL-712 (短焦点ズームレンズ) ML-713 (中焦点ズームレンズ) LL-704 (長焦点ズームレンズ) UL-705 (超長焦点ズームレンズ) ・天井用取付け金具： HAS-9110 (天吊り用ブラケット) HAS-204L (低天井用金具) HAS-304H (高天井用パイプ金具) ・USB ワイヤレスアダプター **：** **USB-WL-11N** 使用温度範囲：0 ～ 45℃ ※その他については販売店にご相談ください。

（次ページにつづく）

外形寸法



取扱説明書

プロジェクター

MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ
MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ
MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ

（形名： MC-WU8701W/MC-WU8701B/MC-WU8601W/MC-WU8601B/
MC-WX8751W/MC-WX8751B/MC-WX8651W/MC-WX8651B/
MC-X8801W/MC-X8801B）

【応用編】

詳細な設定や調節を行うメニューなどについて説明します。

⚠ 警 告

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

設定・調節…… 2 - 3
- メニュー機能の使いかた…… 2 - 3
- 簡単メニュー …… 2 - 6
- 映像メニュー …… 2 - 8
- 表示メニュー ……2 - 12
- 入力メニュー ……2 - 15
- 設置メニュー ……2 - 19
- オーディオメニュー ……2 - 23
- スクリーンメニュー ……2 - 24
- その他メニュー ……2 - 29
- ネットワークメニュー……2 - 41
- セキュリティメニュー ……2 - 42

2画面表示……2 - 50

簡易スタック ……2 - 54
- はじめに……2 - 54
- 準備 ……2 - 56
- 設置 ……2 - 57
- スタックメニュー設定 ……2 - 64
- ケーブルを接続する ……2 - 71
- メニューを使って入力端子の設定をする…2 - 73
- スケジュール機能の制限について ……2 - 77
- 故障かなと思ったら ……2 - 78

〈お知らせ〉

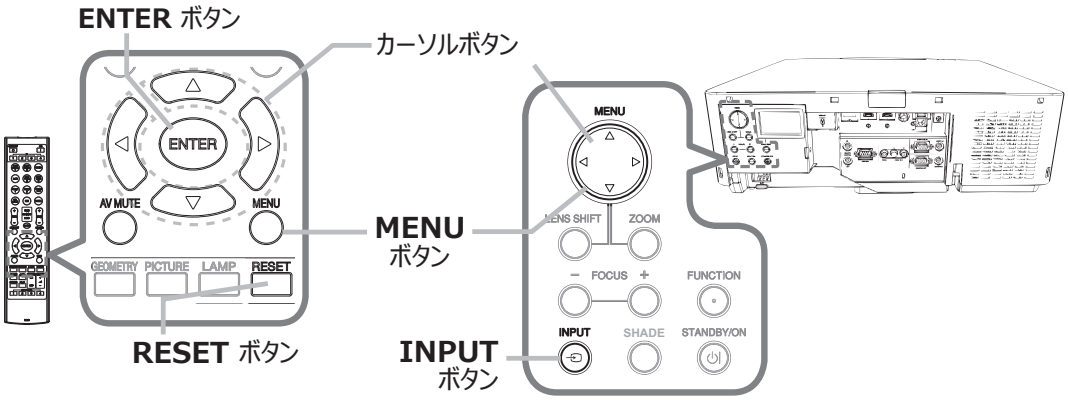
- 説明書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 説明書の内容の一部、あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。
- 本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のプロジェクターとは若干の相違がある場合があります。

設定・調節

メニュー機能の使いかた

本機には、「映像」「表示」「入力」「設置」「オーディオ」「スクリーン」「その他」「ネットワーク」「セキュリティ」「簡単メニュー」のメニューがあります。

本機には、よく使われる機能をまとめた「簡単メニュー」と、その他のメニューに関しては「詳細メニュー」があります。どのメニューも基本操作は同様です。メニュー表示中に操作パネルの MENU ボタン (カーソルボタン▲ / ▼ /◀ /▶) は、カーソルボタンとしてご使用いただけます。下記をご参考に操作してください。



1. はじめに、操作パネルの **MENU** ボタンまたはリモコンの **MENU** ボタンを押してください。「簡単メニュー」または「詳細メニュー」のどちらか、前回ご使用になっていた方のメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず「簡単メニュー」が表示されます。

2. **簡単メニューの操作**

   （1）カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選んでください。「詳細メニュー」に切り替えたいときは、「詳細メニュー」を選びます。

   （2）カーソルボタン◀ /▶で、選択した項目を設定、調節および実行することができます。

   詳細メニューの操作

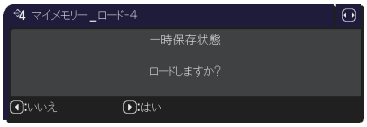
   （1）カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選んでください。「簡単メニュー」に切り替えたいときは、「簡単メニュー」を選びます。

   （2）カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択カーソルが右側に移ります。操作したい項目をカーソルボタン▲ / ▼で選択してください。カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択した項目を実行、もしくは操作するためのダイアログやサブメニューが表示されます。

   （3）画面表示に従って操作してください。

3. メニュー操作を終了するには、もう一度リモコンの MENU ボタンを押すか、「終了」を選んでカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押します。また、何も操作しない状態が約 30 秒間続くと、自動的に終了します。

メニューやダイアログなどのオンスクリーン表示の単語について



表示	動作
終了	メニュー操作を終了します。 **MENU** ボタンを押すことと同じになります。
戻る	前のメニューに戻ります。
初期化しない／いいえ	現在の操作をキャンセルして、前のメニューに戻ります。
OK ／はい	用意された機能を実行するか、次のメニューに移行します。

〈お知らせ〉

- 受信信号によっては、実行できない機能があります。
- メニューの操作にどのボタンを使用するかは、メニューおよびダイアログの右上または底部、カーソル表示の左右などにも表示されますので、操作の際にご参照ください。
- 操作中の項目を元に戻したいときには、**RESET** ボタンを押してください。ただし、いくつかの項目（「表示言語」、「音量」など）はリセットできません。
- 詳細メニューを操作中に前の表示に戻りたいときには、カーソルボタン◀を押してください。

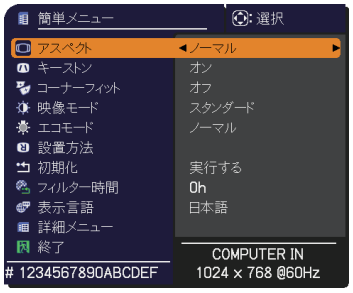
各メニューの項目

各メニューの項目は、以下となります。

設定項目	項目
簡単メニュー	アスペクト、キーストン、コーナーフィット、映像モード、エコモード、設置方法、初期化、フィルター時間、表示言語、詳細メニュー、終了
映像メニュー	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色あい、画質、アクティブアイリス、ピクチャークオリティ、マイメモリー
表示メニュー	アスペクト、オーバースキャン、垂直位置、水平位置、クロック位相、水平サイズ、オートアジャスト実行
入力メニュー	プログレッシブ、VIDEO NR、色空間、ビデオフォーマット、デジタルフォーマット、デジタルレンジ、COMPUTER- イン、フレームロック、解像度、PbyP/PinP 設定
設置メニュー	幾何学補正、ランプ & フィルター、イメージオプティマイザ、画像表示位置、設置方法、スタンバイモード、カラーユニフォミティ、OSD メッセージ
オーディオメニュー	音量、スピーカー、音声入力設定
スクリーンメニュー	表示言語、メニュー位置、ブランク、オートブランク、初期画面、マイスクリーン、マイスクリーンロック、入力チャンネル名、テンプレート、C.C.
その他メニュー	チャンネルスキップ、オートサーチ、ダイレクトパワーオン、オートパワーオフ、シェードタイマー、マイボタン、スケジュール、特別な設定
ネットワークメニュー	プロジェクター名、無線 LAN 設定、有線 LAN 設定、ネットワークインフォメーション、SNTP セットアップ、マイイメージ、外部機器接続、プレゼンテーション、有線ネットワーク
セキュリティメニュー	セキュリティパスワード変更、マイスクリーンパスワード、暗証コードロック、状態監視、マイテキストパスワード、マイテキスト表示、マイテキスト入力、セキュリティインジケータ、スタックロック

簡単メニュー

簡単メニューでは、下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、下表およびメニュー表示に従って操作してください。



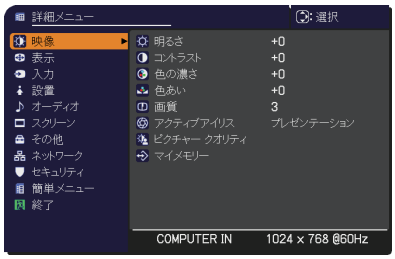
設定項目	操作内容
アスペクト（画面の縦横比）	カーソルボタン◀ / ▶で、アスペクト（画面の縦横比）を選択できます。 詳細は、「表示」メニューの「アスペクト」（📖**2-12**）をご参照ください。
キーストン	カーソルボタン▶を押すと、調整ができます。 詳細は、「画面のひずみを補正する」の「キーストン」（📖**1-53**）をご参照ください。
コーナーフィット	カーソルボタン▶を押すと、「コーナーフィット」ダイアログを表示します。詳細は、「画面のひずみを補正する」の「コーナーフィット」（📖**1-53**）をご参照ください。
映像モード	カーソルボタン◀ / ▶で、映像モードを選択できます。 映像モードは、ガンマモード、色温度モードと ACCENTUALIZER の組み合わせです。下表をご参考に、映像に合わせてお選びください。 **スタンダード** ↔ **ナチュラル** ↔ **シネマ** ↔ **ダイナミック** ↕ ↕ **ユーザー -3** **黒板（黒）** ↕ ↕ **ユーザー -2** **黒板（緑）** ↕ ↕ **ユーザー -1** ↔ **DICOM SIM** ↔ **デイタイム** ↔ **ホワイトボード** ユーザー -1、-2、-3 の詳細は、「ピクチャー クオリティ」（📖**2-9**）をご参照ください。 ●映像モードを選択した瞬間に、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。 ●「DICOM SIM.」は、本機における、DICOM®（Digital Imaging and Communication in Medicine) 近似表示モードです。このモードは DICOM 規格での規定に近似して表示します。本機は医療用機器ではなく、また、DICOM 規格に準拠しておりませんので、実際の診断などの医療行為にはご利用頂けません。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
エコモード	カーソルボタン◀ / ▶で、本機使用中のエコモードを選択できます。 詳細は、「設置」メニューの「ランプ & フィルター」（📖**2-20**）をご参照ください。
設置方法	カーソルボタン◀ / ▶で、映像を上下左右に反転させることができます。 詳細は、「設置」メニューの「設置方法」（📖**2-21**）をご参照ください。
初期化	「簡単メニュー」の設定を一括して初期化できます。 カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、確認のダイアログが表示されます。 **初期化しない → OK** 初期化を実行するときは、カーソルボタン▶を押して「OK」を選択してください。 ● 「フィルター時間」と「表示言語」は初期化されません。
フィルター時間	メニューに表示されている数字は、エアーフィルターの使用時間です。 カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、フィルター時間初期化確認のダイアログが表示されます。 フィルター時間の初期化については、「設置」メニューの「ランプ & フィルター」（📖**2-20**）をご参照ください。
表示言語	カーソルボタン◀ / ▶で、メニューなどのオンスクリーン表示の表示言語を選択できます。 詳細は、「スクリーン」メニューの「表示言語」（📖**2-24**）をご参照ください。
詳細メニュー	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「簡単メニュー」を「詳細メニュー」（「映像」、「表示」、「入力」、「設置」、「オーディオ」、「スクリーン」、「その他」、「ネットワーク」、「セキュリティ」メニュー）に切り替えられます。
終了	カーソルボタン◀または **ENTER** ボタンを押すと、操作を終了し、メニューを閉じます。

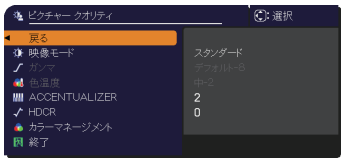
映像メニュー

「 映像 」メニューでは、表示中の映像設定について下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。
下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
明るさ	カーソルボタン◀ / ▶で、映像の明るさを調節できます。 **暗く** ↔ **明るく**
コントラスト	カーソルボタン◀ / ▶で、コントラストを調節できます。 **弱く** ⇔ **強く**
色の濃さ	カーソルボタン◀ / ▶で、色の濃さを調節できます。 **淡く** ↔ **濃く** ●ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ調節できます。 ● HDMI® 、HDBaseT™、DVI-D 信号受信時は、以下の（1）または（2）の条件を満たす際に調整可能です。 （1）「入力」メニューの「デジタルフォーマット」（📖**2-16**）を「VIDEO」に設定している場合。 （2）「入力」メニューの「デジタルフォーマット」（📖**2-16**）を「 オート 」に設定している場合。 ただし、本機がフォーマットを「VIDEO」と認識した場合。
色あい	カーソルボタン◀ / ▶で、色あいを調節できます。 **赤っぽく** ↔ **緑っぽく** ●ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号、HDMI® 信号を受信しているときのみ調節できます。 ● HDMI® 、HDBaseT™、DVI-D 信号受信時は、以下の（1）または（2）の条件を満たす際に調整可能です。 （1）「入力」メニューの「デジタルフォーマット」（📖**2-16**）を「VIDEO」に設定している場合。 （2）「入力」メニューの「デジタルフォーマット」（📖**2-16**）を「 オート 」に設定している場合。 ただし、本機がフォーマットを「VIDEO」と認識した場合。
画質	カーソルボタン◀ / ▶で、画質を調節できます。 **やわらかく** ↔ **くっきり** ●調節した瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが、故障ではありません。
アクティブ アイリス	カーソルボタン▲ / ▼で、アクティブアイリスモードを切り替えられます。 **プレゼンテーション** ↔ **シアター** ↔ **オフ** ■ **「プレゼンテーション」モード**：映像に白ピーク映像が無い場合にアイリスを閉じます。プレンゼンテーション映像に適しています。 ■ **「シアター」モード**：映像の平均的な明るさに連動してアイリスを制御します。自然画、動画の表示に適しています。 ■ **「オフ」モード**：アクティブアイリスは常時オープンです。 ●「プレゼンテーション」および「シアター」モードを選択した場合に画面にフリッカーが見えることがあります。気になる場合は「オフ」を選択してください。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ピクチャー クオリティ	本項目を選択しますと、「ピクチャー クオリティ」のメニューが表示されます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。 
	映像モード **スタンダード ↔ ナチュラル ↔ シネマ ↔ ダイナミック** **↕ ↕** **ユーザー -3 黒板（黒）** **↕ ↕** **ユーザー -2 黒板（緑）** **↕ ↕** **ユーザー -1 ↔ DICOM SIM ↔ デイタイム ↔ ホワイトボード** ユーザー -1、-2、-3 を選択後、以下の機能調整が可能です。 **ガンマ、色温度**
	ガンマ 本機能は、ユーザー -1/-2/-3 が選択されていることで調整可能です。 カーソルボタン▲ / ▼でガンマモードを切り替えます。 **デフォルト -1 ↔ カスタム -1 ↔ デフォルト -2 ↔ カスタム -2** **↕ ↕** **カスタム -8 デフォルト -3** **↕ ↕** **デォルト - 8 カスタム -3** **↕ ↕** **カスタム -7 デフォルト -4** **↕ ↕** **デォルト -7 カスタム -4** **↕ ↕** **カスタム -6 ↔ デフォルト -6 ↔ カスタム -5 ↔ デフォルト -5**

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ピクチャークオリティ（つづき）	**ガンマ**（つづき） カスタムモード（“カスタム” のつくモード）を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、調節メニューが表示されます。この機能を使うと、特定の階調の明るさを変更できます。 カーソルボタン◀ / ▶で調節したい項目を選択し、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。 ●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。
	色温度 本機能は、ユーザー -1/-2/-3 が選択されていることで調整可能です。 カーソルボタン▲ / ▼で色温度モードを切り替えます。 **高** ↔ **カスタム -1** ↔ **中 -1** ↔ **カスタム -2** ↔ **中 -2** ↔ **カスタム -3** ↔ **低** ↕ ↕ **カスタム -7** **カスタム -4** ↕ ↕ **ハイブライト -3** ↔ **カスタム -6** ↔ **ハイブライト -2** ↔ **カスタム -5** ↔ **ハイブライト -1** カスタムモード（“カスタム” のつく各モード）を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択したモードのオフセットとゲインを調節するメニューが表示されます。 この調節機能を使うと、オフセット調節は、テストパターンの全階調の色温度を変更できます。またゲイン調節は、主にテストパターンの明るい階調の色温度を変更できます。 カーソルボタン◀ / ▶で各色のオフセットまたはゲインを選び、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。 ●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。

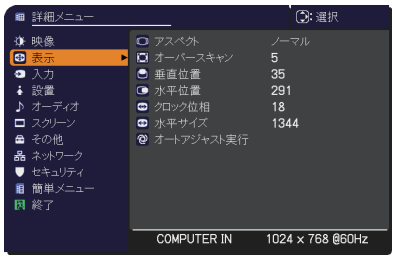
（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ピクチャークオリティ（つづき）	**ACCENTUALIZER** 本機能は、読みやすさを向上させるための機能です。 カーソルボタン◀ / ▶で調整します。 **弱く ↔ 強く** ●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。 ●イメージオプティマイザ（📖**2-21**）が有効に設定されている場合、本機能が正しく動作しないことがあります。
	HDCR 明るい部屋でよりはっきりとした映像にするための機能です。 カーソルボタン◀ / ▶で調整します。 ●イメージオプティマイザ（📖**2-21**）が有効に設定されている場合、本機能が正しく動作しないことがあります。
	カラーマネージメント 赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの各色に対して色相、彩度、輝度を個別に調整します。
マイメモリー	本機は 1 から 4 の番号のついた 4 つのメモリを備えており、「映像」メニューの設定を最大 4 組まで記憶保存することができます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択した項目の機能を実行します。 **セーブ -1 ↔ セーブ -2 ↔ セーブ -3 ↔ セーブ -4** **↕ ↕** **ロード -4 ↔ ロード -3 ↔ ロード -2 ↔ ロード -1** **■セーブ操作** 「セーブ -1」、「セーブ - 2」、「セーブ - 3」、「セーブ - 4」を実行すると、対応する番号のメモリに現在の「映像」メニューの全設定データを記憶します。 ●既にデータが記憶されているメモリにセーブ操作を行うと、メモリにデータが上書きされますのでご注意ください。 **■ロード操作** 「ロード -1」、「ロード - 2」、「ロード - 3」、「ロード - 4」を実行すると、対応する番号のメモリからデータを呼び出し、そのデータに応じて映像を自動調整します。 ●対応する番号のメモリに設定データが記憶されていない場合は選択できません。 ●ロード操作を行うと、メモリに記憶されている設定が現在の設定に上書きされますので、ご注意ください。現在の設定を保存したいのであれば、ロード操作を行う前にセーブ操作を行ってください。 ●ロード操作を行った瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが故障ではありません。 ● **MY BUTTON（1 ～ 4）**を押してロード操作を行うこともできます。詳細は「その他」メニューの「マイボタン」（📖**2-31**）をご覧ください。

（次ページにつづく）

表示メニュー

「 表示 」メニューでは、表示画面に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
アスペクト （画面の縦横比）	カーソルボタン▲ / ▼で、アスペクト（画面の縦横比）を選択できます。 **■コンピュータ信号を表示しているとき** **MC-X8801WJ/MC-X8801BJ** **ノーマル ↔ 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10** **MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/ MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ/MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ** **ノーマル ↔ 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10 ↔ リアル** **■ HDMI® , HDBaseT™, DisplayPort 信号を表示しているとき** **MC-X8801WJ/MC-X8801BJ** **ノーマル ↔ 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10 ↔ 14 : 9** **MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/ MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ/MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ** **ノーマル ↔ 4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10 ↔ 14 : 9 ↔ リアル** **■ビデオ信号を表示しているとき** **MC-X8801WJ/MC-X8801BJMC-X8801WJ/MC-X8801BJ** **4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 14 : 9** **MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/ MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ/MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ** **4 : 3 ↔ 16 : 9 ↔ 16 : 10 ↔ 14 : 9 ↔ リアル** **■ SDI 信号を表示しているとき（MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ）** **ノーマル ↔ 4 : 3 ↔ 16 : 9** **■ LAN 端子からの信号を表示しているとき、または信号の入力がないとき** **MC-X8801WJ/MC-X8801BJ** **4 : 3（固定）** **MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/ MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ/MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ** **16 : 10（固定）** **〈お知らせ〉** ● 「ノーマル」は入力信号そのままの縦横比です。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
オーバースキャン	カーソルボタン◀ / ▶で、オーバースキャン（表示率）を調節できます。 **小さく（**画像は大きくなります） ↕ **大きく（**画像は小さくなります） ●ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号、HDMI® 信号を受信しているときのみ調節できます。 ● HDMI® 、HDBaseT™、DVI-D 信号受信時は、以下の（1）または（2）の条件を満たす際に調整可能です。 （1）「入力」メニューの「デジタルフォーマット」（📖**2-16**）を「VIDEO」に設定している場合。 （2）「入力」メニューの「デジタルフォーマット」（📖**2-16**）を「 オート 」に設定している場合。 ただし、本機がフォーマットを「VIDEO」と認識した場合。
垂直位置	カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を上下に調節できます。 **下へ ↔ 上へ** ●位置を動かしすぎると、画像のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、**RESET** ボタンを押して初期設定に戻してください。 ●ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」（📖**2-13)** の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合は、調節できません。 ● **LAN** 端子、**HDMI 1 ／ 2** 端子、**HDBaseT ™**端子、**DisplayPort** 端子、**SDI** 端子からの映像信号を受信しているときは調節できません。
水平位置	カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を左右に調節できます。 **右へ ↔ 左へ** ●位置を動かし過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、**RESET** ボタンを押して初期設定に戻してください。 ●ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」（📖**2-13)** の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合は、調節できません。 ● **LAN** 端子、**HDMI 1 ／ 2** 端子、**HDBaseT ™**端子、**DisplayPort** 端子、**SDI** 端子からの映像信号を受信しているときは調節できません。

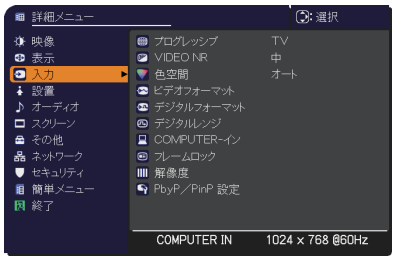
（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
クロック位相	カーソルボタン◀ / ▶で、クロック位相を調節し、画面のちらつきを低減できます。 **右へ ↔ 左へ** ●コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ調節が可能です。 **LAN** 端子、**HDMI 1 ／ 2** 端子、**HDBaseT ™**端子、**DisplayPort** 端子、**SDI** 端子からの映像信号を受信しているときは調節できません。
水平サイズ	カーソルボタン◀ / ▶で、画面の横幅を調節できます。 **小さく ↔ 大きく** ●コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ調節が可能です。 **LAN** 端子、**HDMI 1 ／ 2** 端子、**HDBaseT ™**端子、**DisplayPort** 端子、**SDI** 端子からの映像信号を受信しているときは調節できません。 ●大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると、映像が正しく表示されない場合があります。 このような場合には、**RESET** ボタンを押して初期設定に戻してください。 ●調節時に映像が劣化してみえる場合がありますが、故障ではありません。
オート アジャスト 実行	カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、画面の自動調整を実行できます。 **■コンピュータ信号を受信している場合** 「垂直位置」（📖**2-13**）、「水平位置」（📖**2-13**）、「クロック位相」（📖**2-14**）が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。 **■ビデオ信号を受信している場合** 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」（📖**2-16)** が「オート」に設定されていると、受信している信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。 「垂直位置」「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。 ●自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。 ●ビデオ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。 ●コンピュータ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、コンピュータのモデルによっては画面の縁に黒いフレームが映る場合があります。 ●「その他」メニューの「特別な設定」－「オートアジャスト」（📖**2-35**）で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。

（次ページにつづく）

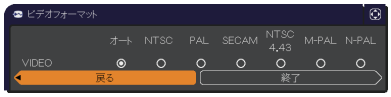
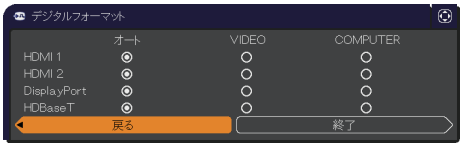
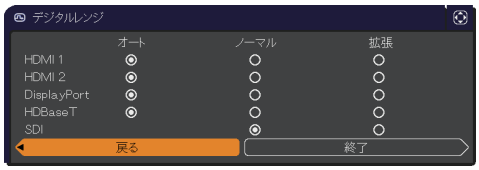
入力メニュー

「 入力 」メニューでは、入力信号に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

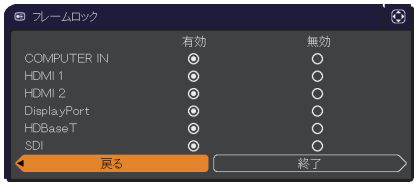


設定項目	操作内容
プログレッシブ	カーソルボタン▲ / ▼で、プログレッシブモードを選択できます。 **TV** ↔ **フィルム** ↔ **オフ** ●この機能は、ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60、HDMI® 信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60、HDBaseT ™のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60 を受信している場合に動作します。 ●「TV」、「フィルム」を選択すると、より鮮明な映像になります。「フィルム」は 2-3 プルダウン変換システムに適応しますが、物体がすばやく移動するシーンで線がギザギザになるなど、表示に不具合が出ることがあります。このような場合には「オフ」を選択してください。
VIDEO NR	カーソルボタン▲ / ▼で、映像ノイズの低減レベルを選択できます。 **強** ↔ **中** ↔ **弱** ●この機能は、ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60、HDMI® 信号のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60、HDBaseT ™のうち 480i@60、576i@50、1080i@50/60 を受信している場合に動作します。
色空間	カーソルボタン▲ / ▼で、色空間モードを選択できます。 **オート** ↔ **RGB** ↔ **SMPTE240** ↔ **REC709** ↔ **REC601** ●コンピュータ信号を受信しているときのみ選択が可能です。**LAN** 端子および **HDBaseT™** 端子からの映像信号を受信しているときは選択できません。 ●「オート」を選択すると適切なモードが自動的に選択されます。 ●信号によっては「オート」が正しく動作しない場合があります。 このような場合には、「オート」以外で入力信号に合う設定を選択してください。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ビデオ フォーマット	**VIDEO** 端子から受信する映像信号のビデオフォーマット（信号方式）を設定できます。 カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から受信する映像信号のビデオフォーマットを選択してください。  **オート** ↔ **NTSC** ↔ **PAL** ↔ **SECAM** ↔ **NTSC 4.43** ↔ **M-PAL** ↔ **N-PAL** ●この機能は、通常、**VIDEO** 端子からの映像信号を受信しているときのみ動作します。 ●「 オート 」を選択すると、入力信号のビデオフォーマットが自動的に選択されます。 ●入力信号によっては正しく機能しない場合があります。画像が不安定な場合（画像が乱れる、色がつかないなど）には、オート以外で、入力信号に合った信号モードを選択してください。
デジタル フォーマット	**HDMI 1 ／ 2** 端子、**HDBaseT ™端子**または **DisplayPort** 端子からのデジタル入力映像信号のフォーマットを選択できます。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、フォーマットを選択します。  2）カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から受信する映像信号のフォーマットを選択します。 **オート** ↔ **VIDEO** ↔ **COMPUTER** ■ **「オート」**：入力信号の HDMI® フォーマットが自動的に選択されます。 ■ **「VIDEO」**：DVD の信号として映像処理を行います。 ■ **「COMPUTER」**：コンピュータ信号として映像処理を行います。 **〈お知らせ〉** ●「COMPUTER」を選択しているときは「オーバースキャン」（📖**2-13**）の調節はできません。
デジタル レンジ	**HDMI 1 ／ 2** 端子、**HDBaseT ™端子**、**DisplayPort** 端子または **SDI** 端子からのデジタル入力映像信号のレンジを選択できます。 **MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/ MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/ MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/ MC-X8801WJ/MC-X8801BJ** **MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ**  1）カーソルボタン▲ / ▼で、フォーマットを選択します。 2）カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から受信する映像信号のデジタル信号モードを選択します。 **オート** ↔ **ノーマル** ↔ **拡張** ■ **「オート」**：自動的に入力信号レベルに合わせます。 ■ **「ノーマル」**：DVD 信号レベル（16-235）に合わせます。 ■ **「拡張」**：コンピュータ信号レベル（0-255）に合わせます。 （SDI は（1-254）） 映像のコントラストが強すぎたり弱すぎたりするときに、この設定を切り替えると改善される場合があります。

（次ページにつづく）

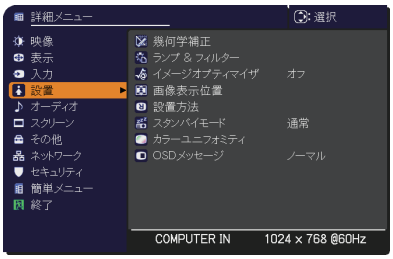
設定項目	操作内容
COMPUTER- イン	**COMPUTER IN** 端子から入力される映像信号（コンピュータ信号）の信号受信モードを設定できます。 カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から入力される映像信号の受信モードを選択してください。 **オート ↔ SYNC ON G オフ** ●「オート」モードに設定すると、その端子からの SYNC ON G 信号、およびコンポーネントビデオ信号を受信できるようになります。 ●正常な入力信号が検出されないときに「SYNC ON G オフ」モードに設定する場合は、いったん信号ケーブルを外して無信号の状態にし、「SYNC ON G オフ」に設定してから、信号を再入力してください。
フレームロック	フレームロック機能は、動画をよりスムーズに表示する為の機能です。 各端子から入力される映像信号のフレームロック機能の有効 / 無効が設定できます。 **MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/ MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/ MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/ MC-X8801WJ/MC-X8801BJ** **MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ**  1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。 2) カーソルボタン◀ / ▶で、フレームロック機能の有効 / 無効を選択してください。 **有効 ↔ 無効** ●この機能は、垂直周波数が 49 ～ 51、59 ～ 61Hz の信号を受信しているときのみ有効です。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
解像度	**COMPUTER IN** 端子から入力される映像信号の解像度を設定できます。 カーソルボタン▲ / ▼で設定したい解像度を選択します。 （1）「入力」メニューから「解像度」をカーソルボタン▲ / ▼で選択し、カーソルボタン▶を押します。「解像度」メニューが表示されます。 （2）メニューから選択します。 「**オート**」は、入力信号に適切な解像度が自動的に設定されます。 （3）「**標準**」選択の場合は、設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。 入力 _ インフォメーションダイアログが表示されます。 （4）「**カスタム**」選択の場合は、「解像度 _ カスタム」設定ダイアログが表示されます。カーソルボタン◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、「水平」と「垂直」の解像度を入力してください。本機能は、全ての解像度をサポートしていません。 （5）入力が終わりましたら、カーソルを「OK」に置き、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。「解像度設定を変更しますか？」というメッセージが表示されます。変更した設定を保存するには、カーソルボタン▶を押してください。設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。 入力 _ インフォメーションダイアログが表示されます。 （6）設定を保存せずに以前の解像度に戻る場合は、カーソルを「取消」に置き、カーソルボタン◀または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。設定は変更されず、「解像度」メニューに戻ります。 ●すべての解像度が保証されているわけではありません、信号によっては正しく動作しない場合があります。 標準 ⇩ カスタム ⇩
PbyP/PinP 設定	**PinP 位置** リモコンのカーソルボタン▲ / ▼で PinP 位置モードにて、サブエリアの位置を切り替えます。
	PbyP/PinP フレームロック PbyP または PinP 使用時に、フレームロック機能を適用する画面を選択します。 左 / 親画面：PbyP 画面の左側、または PinP の親画面にフレームロックを適用します。 右 / 子画面：PbyP 画面の右側、または PinP の子画面にフレームロックを適用します。

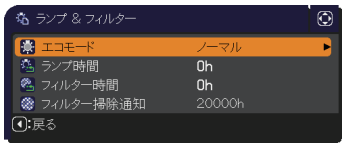
設置メニュー

「 設置 」メニューでは、設置状態に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

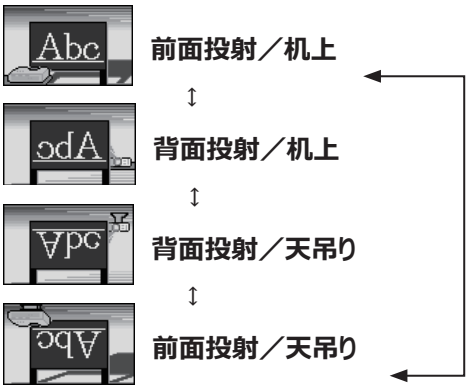


設定項目	操作内容
幾何学補正	**キーストン** 本項目を選択すると、「キーストン」ダイアログが表示されます。 詳細は「画面のひずみを補正する」の「キーストン」（📖**1-53**）をご参照ください。 ●できるだけズーム調節を WIDE（大きく表示）に調節してお使いください。ズーム調節が TELE（小さく表示）側に調節されていると、過補正となることがあります。 ●水平レンズシフトが真ん中に調節されていないと、正しく補正できないことがあります。 ●本項目は、「コーナーフィット 」もしくは「ワーピング」と同時に設定することはできません。
	コーナーフィット 本項目を選択すると、「コーナーフィット」ダイアログが表示されます。 詳細は、「画面のひずみを補正する」の「コーナーフィット」（📖**1-53 ～ 54**）をご参照ください。 ●本項目は、「キーストン 」もしくは「ワーピング」と同時に設定することはできません。
	ワーピング 本項目を選択すると、「ワーピング」ダイアログが表示されます。 詳細はアプリケーションマニュアルをご参照ください。 ●本項目は、「キーストン 」もしくは「コーナーフィット」と同時に設定することはできません。
	エッジブレンディング 本項目を選択すると、「エッジブレンディング」ダイアログが表示されます。 詳細は「エッジブレンディング機能を使用する」（📖**1-55 ～ 57**）をご参照ください。
	パターン カーソルボタン▲ / ▼でパターンを選択します。 カーソルボタン◀ / ▶でパターン [Off/1/2/3/4/5/6] を切り替えます。 パターン 1: フレーム パターン 2: 格子（赤） パターン 3: 格子（緑） パターン 4: 格子（青） パターン 5: 垂直 9 ステップ パターン 6: 水平 9 ステップ OFF　　：入力信号を表示します。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ランプ & フィルター	本項目を選択すると、「ランプ & フィルター」メニューが表示されます。 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。 
	エコモード カーソルボタン▲ / ▼で、エコモードを切り替えます。 **ノーマル ↔ エコ** 「エコ」モードを選択すると、本機使用中の消費電力を抑え、動作音を低減できます。
	ランプ時間 初期、または前回ランプ時間を初期化した時から現在までのランプの点灯時間を 1 時間単位で表示します。 **RESET** ボタンまたはカーソルボタン▶を押すと、ランプ時間初期化確認ダイアログが表示されます。 カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ランプ時間を初期化することができます。 **初期化しない → OK** ●ランプを交換したときは必ずランプ時間を初期化してください。ランプの交換に合わせて初期化しないと、実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。 ●ランプ交換の際は必ず「ランプを交換する」（📖**1-60, 61**）をお読みください。 ●ステータスモニターでもランプ時間を確認することができます。 ●ランプの交換に合わせてランプ時間を初期化しないと、イメージオプティマイザ（📖**2-21**）は正しく動作しません。
	フィルター時間 初期、または前回フィルター時間を初期化した時から現在までの使用時間を 1 時間単位で表示します。 **RESET** ボタンまたはカーソルボタン▶を押すと、フィルター時間初期化確認ダイアログが表示されます。 カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、フィルター時間を初期化することができます。 **初期化しない → OK** ●エアーフィルターを掃除または交換したときは必ずフィルター時間を初期化してください。エアーフィルターの掃除または交換に合わせて初期化しないと、実際の稼働時間とフィルター時間の値が一致せず、また、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージが正しく表示されません。 ●エアーフィルターの掃除または交換については、「エアーフィルターを掃除／交換する」（📖**1-63**）をお読みください。 ●ステータスモニターでもフィルター時間を確認することができます。
	フィルター掃除通知 カーソルボタン▲ / ▼で、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージが表示されるまでの時間を設定できます。 **1000h ↔ 2000h ↔ 5000h ↔ 10000h ↔ 15000h ↔ 20000h ↔ 25000h ↔ 30000h ↔ 無効** エアーフィルターを清潔に保てるよう、本機のご使用環境に合わせて設定してください。「無効」以外を設定すると、フィルター時間の値が設定した時間に達したとき、エアーフィルターの掃除をお願いするメッセージが表示されます。「無効」が設定されていると、このお知らせメッセージは表示されません。「**フィルター掃除通知**」をご使用環境にあわせて設定することで、フィルターをきれいに保つことができます。 ●お掃除メッセージが表示されなくても、エアーフィルターは定期的に掃除してください。エアーフィルターがホコリなどでつまると、本機の内部温度が上がり過ぎて、故障や本機の寿命を縮める原因となることがあります。 ●ご使用環境やエアーフィルターの状態に気を付けてご使用ください。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
イメージ オプティマイザ	本機能を有効にすると、ランプの消耗に合わせて自動的に画像補正を行い、視認性を維持します。 ● HDCR、ACCENTUALIZER が 0 以外の場合には、正しく動作しないことがあります。 ●ランプの交換に合わせてランプ時間を初期化しないと、正しく動作しません。
画像表示位置	カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、画像の表示位置を選択できます。 本機能は以下のときには動作しません。 ●画面の中に映像非表示エリア（黒画面 / 背景画面）が無い、もしくは表示されないとき。 ●以下のいずれかのメッセージが表示されているとき。 「信号が入力されていません」 「信号が同期範囲外です」 「入力信号が不安定です」 ●ブランク画面、またはテンプレート画面が表示されているとき。
設置方法	カーソルボタン▶を押すと、設置方法を選択するダイアログが表示されます。  ▲ / ▼で、画面の設置方法モードを選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 **〈お知らせ〉** ●「セキュリティ」メニューの「状態監視」（📖**2-45**）を「 有効 」に設定している状態で反転モードを変更し、電源を完全に切って（📖**1-45**）から再度電源を入れると、状態監視アラームが表示されます。
スタンバイモード	カーソルボタン▲ / ▼で、本機がスタンバイ状態の時の動作を選択します。 **通常 ↔ 省電力** 「省電力」を選択すると、スタンバイ中の機能は以下のように制限されますが、これらの機能をご使用にならない場合には、本機の消費電力を抑えることができます。お客様のご使用方法に合わせて選択してください。 - ネットワークに接続できません。 - パワーオン、およびスタンバイモードの切替以外の RS-232C コマンドの送受信ができなくなります。「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「通信タイプ」（📖**2-38**）が「ネットワークブリッジ」に設定されている場合は、全ての RS-232C コマンドが送受信できません。 - **AUDIO OUT** 端子、および **MONITOR OUT** 端子から信号が出力されなくなります。 - センタリング機能（📖**1-49**）が動作しなくなります。 - ステータスモニターを操作できなくなります。 - HDMI® リンクおよび HDBaseT™ 機能が使用できなくなります。 - スケジュール機能 (例：電源－オン) は動作しなくなります。
カラー ユニフォミティ	補正したい映像レベルと領域を選択し色合いを調整します。画面を 9 領域に分割し、それぞれの領域において R、G、B のゲインを調整します。

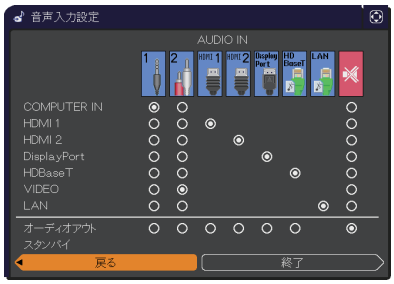
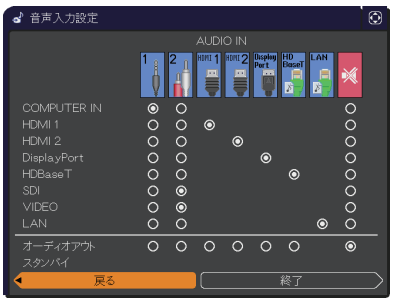
（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
OSD メッセージ	カーソルボタン▲ / ▼で、メッセージモードを選択できます。 **ノーマル** ↔ **限定** ↔ **禁止** ■ **限定**：以下のメッセージが表示されません。 ・「 オート 実行中 」 ・「 信号が入力されていません 」 ・「 信号が同期範囲外です 」 ・「入力信号が不安定です」 ・「操作できないボタンが入力されました」 ・「 検索中…」 ・「 信号検出中…」 ・「◁ ZOOM ▷」（ズームダイアログ） ・「+++FOCUS+++」（フォーカスダイアログ） ・入力切替による入力信号表示 ・アスペクトの変更による縦横比の表示 ・「映像モード」の変更による表示 ・「アクティブアイリス」の変更による表示 ・「マイメモリー」の変更による表示 ・**FREEZE** ボタンを押したときの「静止」 ・「テンプレート」の変更による表示 ・「 エコモード 」 ■ 禁止：全てのメッセージが表示されません。 以下のボタンのみが機能します。 **STANDBY, ON, OSD MSG** ステータスモニターは操作可能です。 • 本機能の切り替えは、以下の手順となります。 1. リモコンの **OSD MSG** ボタンを 3 秒間ほど押します。 2.「禁止」の OSD が表示されます。 表示中にもう一回 **OSD MSG** ボタンを押します。 3. ダイアログが表示され、切り替わります。 **ノーマル** ↔ **限定** ↔ **禁止**

（次ページにつづく）

オーディオメニュー

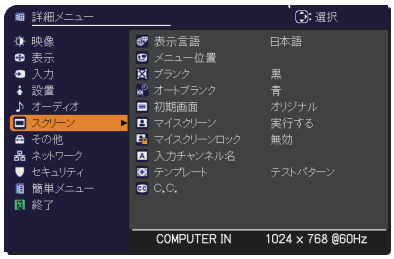
「オーディオ」メニューでは、音声に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

設定項目	操作内容
音量	カーソルボタン◀ / ▶で、オーディオ出力の音量を調節できます。 小さく (－側) ↔ 大きく (＋側)
スピーカー	カーソルボタン▲ / ▼で、内蔵スピーカーの有効／無効を選択できます。 オン ↔ オフ 無効が選択されているときは、内蔵スピーカーから音声が出力されません。
音声入力設定	(1) で選択した入力端子からの画像信号が表示されているあいだ、(2) で選択した入力端子からの音声信号が本機の内蔵スピーカーと AUDIO OUT 端子の両方から出力されます。ただし、スピーカーがオフに設定されている場合は内蔵スピーカーは動作しません。 **MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/ MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/ MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/ MC-X8801WJ/MC-X8801BJ**  **MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ**  (1) カーソルボタン▲ / ▼で、映像の入力端子を選択してください。本機がスタンバイ状態のときの音声出力を選択するには、「スタンバイ」を選択してください。 (2) カーソルボタン◀ / ▶で、音声入力端子または消音のアイコンを選択してください。 ● **HDMI 1/2、DisplayPort、HDBaseT、LAN** 端子からの音声は、各 (映像) 端子にのみ選択できます。 ● 消音「 」を選択し、「スクリーン」メニューの「C.C. 」－「ディスプレイ」に「オート」を選択している場合、C.C. を含む入力信号（NTSC、480i）を受信した時、自動的に C.C. 機能が有効となります。

（次ページにつづく）

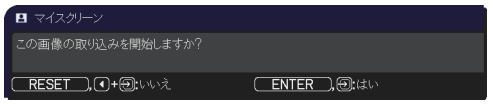
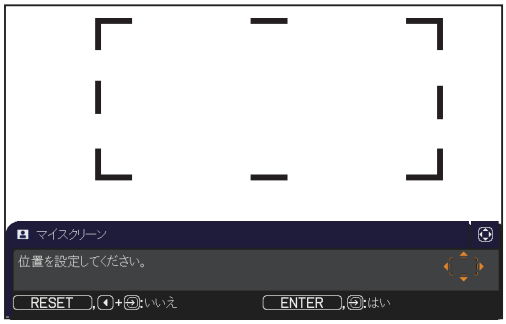
スクリーンメニュー

「スクリーン」メニューでは、スクリーン表示に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
表示言語	カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、メニュー等の画面表示言語を選択できます。 ENGLISH ↔ FRANÇAIS ↔ DEUTSCH ↔ ESPAÑOL (表示言語ダイアログの表示) 選択した表示言語を適用するには、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。
メニュー位置	カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、メニュー位置を調節できます。操作を終了するには、リモコンの **MENU** ボタンを押すか、約 10 秒間何も操作しないと終了します。
ブランク	カーソルボタン▲ / ▼で、ブランク画面を選択できます。 「ブランク画面」は一時的に表示される画面です。 **マイスクリーン** ↔ **オリジナル** ↔ **青** ↔ **白** ↔ **黒** ■ **「マイスクリーン」**:「マイスクリーン」（📖**2-25**）で登録したお好みの映像が表示されます。 ■ **「オリジナル」**: 本機の標準映像が表示されます。 ■ **「青、白、黒」**: 各色の無地画面が表示されます。 ●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分で無地の画面に変わります。
オートブランク	カーソルボタン▲ / ▼で、オートブランク画面を選択できます。 **青** ↔ **白** ↔ **黒** ●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、以下の条件で「オートブランク」で指定のブランク画面色に数分後に画面が変わります。 –「マイスクリーン」もしくは「オリジナル」がブランク画面として表示されたとき。 –初期画面が表示されたとき。
初期画面	カーソルボタン▲ / ▼で、初期画面を選択できます。 「初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない（入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わないなど）ときに投映される映像です。 **マイスクリーン** ↔ **オリジナル** ↔ **表示しない** ■ **「マイスクリーン」**:「マイスクリーン」（📖**2-25**）で登録したお好みの映像が表示されます。 ■ **「オリジナル」**: 本機の標準映像が表示されます。 ■ **「表示しない」**: 黒の無地画面が表示されます。 ●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「初期画面」は「オートブランク」画面へ数分後に切り替わります。 ●マイスクリーンパスワード機能（📖**2-43**）が有効に設定されているときは、初期画面は「マイスクリーン」に固定されます。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイ スクリーン	ブランク画面や初期画面用に、お好みの画像 (マイスクリーン) を登録することができます。あらかじめ、登録したい映像信号を入力・選択してください。 1) 「マイスクリーン」を選択してダイアログを表示させ、「マイスクリーン」に登録したい映像が画面に表示されるのを待って **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。  映像が静止し、登録する画像の位置を指定するための枠が表示されます。 タイミングを間違えた、他の画面を登録したい、という場合は **RESET** ボタンを押してください。 2) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で登録する画像の位置を調節してください。（受信中の信号によっては、位置調節ができない場合があります。） 位置調節が終わったら、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して画像の取り込みを開始してください。 画像の位置を元に戻したい、または前のダイアログに戻りたい場合は **RESET** ボタンを押してください。  画像の取り込みには数分ほどかかります。取り込みが完了すると、登録した画像と「マイスクリーンの画像登録が完了しました」のメッセージが数秒間表示され、通常画面に戻ります。 取り込みに失敗すると、「画像の取り込みエラーです。もう一度やり直してください。」のメッセージが数秒間表示されて通常画面に戻りますので、最初からやり直してください。 ●この項目は、「マイスクリーンロック」（📖**2-25**）が「有効」に設定されているときは選択できません。 ●この項目は、「マイスクリーンパスワード機能」（📖**2-43**）が「有効」に設定されているときは選択できません。 ● **LAN** 端子、**HDMI 1** ／ **2** 端子、**HDBaseT** 端子、**SDI** 端子からの映像信号は、マイスクリーンに登録できません。
マイスクリーン ロック	カーソルボタン▲ / ▼で、マイスクリーンの上書き防止機能を設定できます。 **有効** ↔ **無効** 「有効」に設定すると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。 ●この項目は、マイスクリーンパスワード機能（📖**2-43**）が有効に設定されているときは選択できません。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
入力 チャンネル名	本機の入力端子にチャンネル名（アイコン、番号、名称）を割り当てることができます。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、「スクリーン」メニューの「入力チャンネル名」メニューを選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。「入力チャンネル名」メニューが表示されます。 2）カーソルボタン▲ / ▼で、チャンネル名を付けたい端子を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。カスタム入力チャンネル名ダイアログが表示されます。 **MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/ MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/ MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/ MC-X8801WJ/MC-X8801BJ** **MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ** 3）カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、選択した端子に割り振りたいアイコンを選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。アイコンに応じた端子の名称が、右側の「プレビュー」に表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で、選択した端子に割り振りたい番号を選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 4）チャンネル名を決定するには、「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押します。 変更を保存しない場合は、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押します。 5）端子の名称を手動入力で変更したい場合は、「名称変更」を選択して **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。名称入力ダイアログが表示されます。 **MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/ MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/ MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/ MC-X8801WJ/MC-X8801BJ** **MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ**

（次ページにつづく）

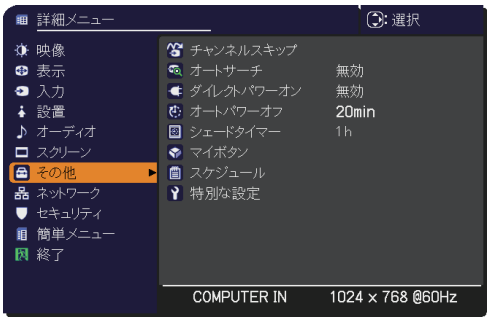
設定項目	操作内容
入力チャンネル名（つづき）	6）端子の名称を入力する 最初の行（下線付き）に現在の名称が表示されます。カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して入力してください。**RESET** ボタンを押す、またはカーソルボタン◀と **INPUT** ボタンを同時に押す、もしくは「消去」を選択して **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押すと、1 文字削除することができます。また、「全消去」を選択して **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押すと、表示されている文字を全て削除することが出来ます。端子の名称は最大 16 文字入力できます。 7）端子の名称を編集する カーソルボタン▲ / ◀ / ▶で、名称が表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して選択します。選択した文字を、名称を入力するときと同じ手順で編集してください。 8）端子の名称を保存する 名称の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。
テンプレート	カーソルボタン▲ / ▼で、テンプレート画面のパターンを選択できます。 選択したテンプレート画面を表示させるには、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。カーソルボタン◀を押すと、表示画面からパターン選択画面に戻ります。テンプレート画面は、テンプレート機能を割り当てた **MY BUTTON**（📖**2-31**）を押すことによっても表示できます。表示されるのは **MY BUTTON** を押す直前に選択していたテンプレート画面となります。 **テストパターン** ↔ **点線 1** ↔ **点線 2** ↔ **点線 3** ↔ **点線 4** ↕ ↕ **スタック** ↔ **地図 2** ↔ **地図 1** ↔ **円 2** ↔ **円 1** 「地図 1」および「地図 2」では、地図を水平にスクロールしたり、上下をさかさまにすることができます。「地図 1」または「地図 2」を表示中に **RESET** ボタンを 3 秒間以上押してください。操作のガイダンスが表示されます。

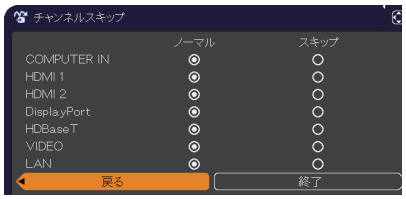
（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
C.C. (Closed Caption)	この項目を選択してカーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、 「C.C.」メニューが表示されます。 クローズドキャプション（C.C.）は、ビデオやテレビ番組、 ファイルなどの、音声情報やその他の付加的な文字情報を、 表示ガイドや字幕などの視覚的な情報として画面に写す 機能です。この機能をお使いいただくためには、C.C. に対応した NTSC 方式のテレビ（ビデオ）信号や 480i@60 コンポーネントビデオ信号が必要です。接続している機器や信号源によっては適切に動作しない場合があります。この場合は C.C. をオフにしてください。
	ディスプレイ カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの表示設定を切り替えられます。 **オート** ↔ **有効** ↔ **無効** ■ **「オート」：**音声が消音になると、自動的にクローズドキャプションを表示します。 ■ **「有効」：**クローズドキャプションを表示します。 ■ **「無効」：**クローズドキャプションを表示しません。 ●画面にメニュー表示が出ている間は、クローズド・キャプションは表示されません。 ●クローズドキャプション (C.C.) は、テレビ信号やその他のビデオ信号に含まれる対話やナレーションの内容、効果音等の情報を文字で画面に表示する機能です。本機能をお使いになるには、C.C. 機能に対応した映像信号が必要です。
	モード カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの表示モードを選択できます。 **キャプション** ↔ **テキスト** ■ **「キャプション」**：音声情報の字幕を表示します。 ■ **「テキスト」**：報道内容や番組ガイド等の文字情報を、スクリーン全体を使って表示します。 C.C. 機能に対応したすべての映像信号が「テキスト」に対応しているわけではありません。
	チャンネル カーソルボタン▲ / ▼で、クローズドキャプションの言語チャンネルを設定できます。 **1** ↔ **2** ↔ **3** ↔ **4** ■ **「1」**：チャンネル 1　第 1 チャンネル / 主言語 ■ **「2」**：チャンネル 2 ■ **「3」**：チャンネル 3 ■ **「4」**：チャンネル 4 使用するチャンネル、言語は、ご覧になるビデオやテレビ番組などによって異なります。

その他メニュー

「その他」メニューでは下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
チャンネルスキップ	入力信号の自動検索機能（オートサーチ）で信号を検索する対象となる端子を選択できます。 **MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/ MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/ MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/ MC-X8801WJ/MC-X8801BJ**  **MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ** 1）カーソルボタン▲ / ▼で、設定する端子を選択します。 2）カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子の検索設定を選択します。 **ノーマル ↔ スキップ** 「スキップ」に設定した端子は、信号の自動検索機能での対象から外れます。全ての端子を「スキップ」に設定することはできません。 ●簡易スタックで連結モード（📖**2-56**）使用時は、この設定は無効になります。 ● 2 画面表示モード（📖**2-50 ～ 53**）では、この設定は無効になります。
オートサーチ	カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号の自動検索機能の有効 / 無効を設定できます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」を選択すると、信号を受信できなくなったとき、本機は自動的に他の端子からの入力信号を検索し始めます。正常な入力信号が見つかると、検索をやめ、その映像が表示されます。 検索実行前に選択されていた入力端子から、正常な入力信号を検出するまで、次の順序で繰り返し行われます。 **LAN → COMPUTER IN → HDMI 1 → HDMI 2** **↑ ↓** **VIDEO ← SDI * ← HDBaseT ← DisplayPort**

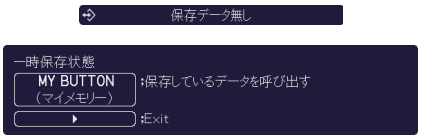
*MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
ダイレクト パワーオン	カーソルボタン▲ / ▼で、ダイレクトパワーオン機能の有効／無効を設定できます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」に設定すると、本機の使用中（ランプ点灯中）に、テーブルタップのスイッチやブレーカーをご使用になって電源を切ったあと、再度電源に接続したときにボタン操作無しで電源が入り、ランプが自動的に点灯します。 ●以下のいずれかの手順で電源を切った場合は、電源に接続してもランプは自動的に点灯しません。通常の手順（📖**1-44**）で電源を入れてください。 ・通常の手順でランプを消灯したとき。 ・オートパワーオフ機能（📖 **下記**）で電源が切れたとき。 ●ダイレクトパワーオン機能で電源が入ってから約 30 分間、何も信号が入力されなかったり、何も操作をされなかった場合は、オートパワーオフ機能が無効設定になっていても、自動的にランプが消灯します。
オート パワーオフ	カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号が検出されなくなってから自動的に電源を切る（ランプを消灯し、冷却動作を始める）までの待ち時間を設定できます。 **長く**（最長 99 分） ↔ **短く**（最短 1 分、0 分：無効） 例 オートパワーオフ機能は 1 ～ 99 分に設定されているときのみ有効です。0 に設定すると無効になります。有効に設定（待ち時間を設定）すると、入力信号が検出されない場合、設定時間経過後に自動的に電源が切れます。 ●リモコンまたは操作パネルのボタンを押すか、または、Get コマンド以外のコマンドを送受信すると、その時点から再び設定時間が経過するまでオートパワーオフ機能は動作しません。 ●手動で電源を切る方法については「 電源を切る 」（📖**1-45**）をご参照ください。
シェード タイマー	カーソルボタン▲ / ▼で、レンズシェードを閉じてから本機の電源を自動的に切るまでの時間を設定できます。 **1h ↔ 3h ↔ 6h** ●電源を入れ直した時には、レンズシェードは自動的に開きます。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイボタン	リモコンの **MY BUTTON（1 ～ 4）** ボタンに機能を割り当てることができます。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、設定するマイボタン（1 ～ 4）を選択し、カーソルボタン▶を押してマイボタンセットアップダイアログを表示します。 2）カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、選択したボタンに割り当てる機能を選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 ■ **「マイ イメージ」:** マイ イメージメニューを表示します。 ■ **「メッセンジャー」:** メッセンジャーテキストを表示します。表示するデータがないときは、メッセージを表示します。 ■ **「ブランク」:** ブランク機能のオン / オフを切り替えます。 ■ **「シェード」:** レンズシェードを開閉します。 ■ **「PbyP/PinP 画面入れ換え」:** 2 画面表示モードで、左右の画面を入れ替えます。 ■ **「PinP 位置」:** PinP 画面を切り替えます。 ■ **「ステータスモニター」:** ステータスモニターバックライトのオン / オフを切り替えます。 この機能は、スタンバイモードで「省電力」が選択されているときは動作しません。 ■ **「インフォメーション」:** ボタンを押すたびに、「システム _ インフォメーション」ダイアログ、「入力 _ インフォメーション」ダイアログ（📖**2-40**）、「無線 LAN インフォメーション」ダイアログ（📖**3-23**）、「有線 LAN インフォメーション」ダイアログ（📖**3-24**）を表示します。 ■ **「マイメモリー」:** 「マイメモリー」で記憶した設定のロード操作を行います。（📖**2-11**） **マイメモリーを設定したときのマイボタン動作** **MY BUTTON** を押したときの「映像」メニューの設定とロードしようとする設定が異なると、右のようなダイアログが表示されます。 設定データがメモリに保存されていれば、 **MY BUTTON** を押すたびに、順次設定データを呼び出し、適用します。メモリに設定データが保存されていないときは「保存データ無し」ダイアログが表示されます。現在の設定を保持したい場合は、カーソルボタン▶で「EXIT」を選択します。データを呼び出した場合は、現在の設定が上書きされます。 ■ **「アクティブアイリス」:** アクティブアイリスモードを変更します。（📖**2-8**） ■ **「映像モード」:** 映像モードを変更します。（📖**2-9**） ■ **「フィルターリセット」:** フィルター時間の初期化確認ダイアログを表示します。（📖**2-20**） ■ **「テンプレート」:** テンプレート画面を表示します。（📖**2-27**） ■ **「消音」:** 音声のオン／オフを切り替えます。（📖**2-23**） ■ **「解像度」:** 画面の解像度の設定メニューを表示します。（📖**2-18**） ■ **「エコモード」:** エコモードを変更します。（📖**2-20**） ■ **「ACCENTUALIZER」:** ACCENTUALIZER ダイアログを表示します。（📖**2-11**） ■ **「HDCR」:** HDCR ダイアログを表示します。（📖**2-11**）



（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>操作内容</th></tr>
<tr><td>スケジュール</td><td>
本項目を設定することで、いくつかの機能を自動的に起動させることができます。

■ 項目の設定方法

1. カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で選択および調整をします。
2. 「OK」選択し、設定を終了します。

〈お知らせ〉

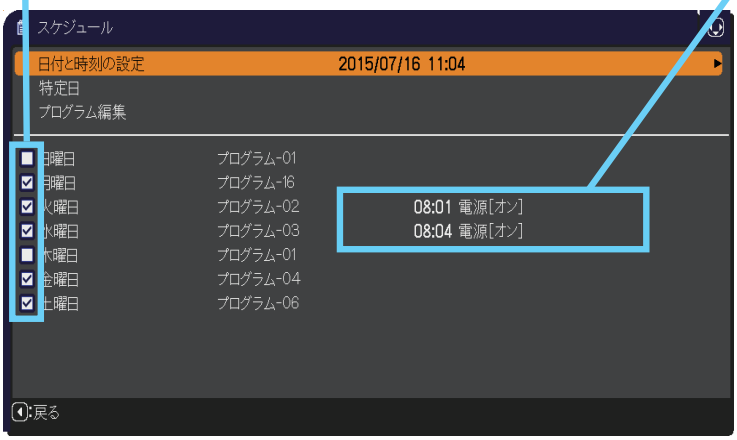
●適切な操作のために、実際の表示メニュー（OSD）に従って操作してください。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>日付と
時刻の設定</td><td>日付（年 / 月 / 日）および時間（24 時間表記）を設定します。</td></tr>
<tr><td>特定日</td><td>特定日 1 から 10 を設定します。</td></tr>
<tr><td>プログラム編集</td><td>プログラム 1 から 16 の時間とイベントの編集ができます。</td></tr>
</table>

■ 適用方法（日付と時刻の設定 / 特定日）

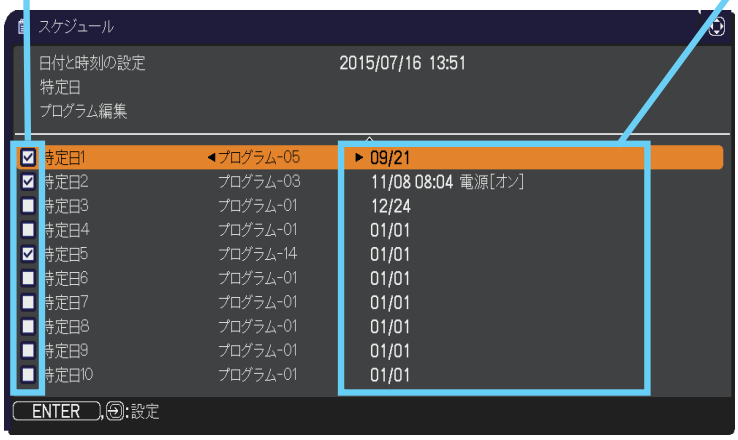
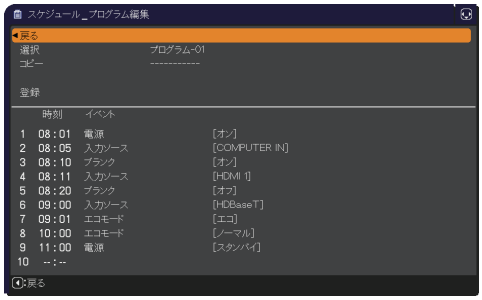
チェックボックスにチェックを入れます。

チェックがある箇所の日付や最初の設定情報が表示されます。

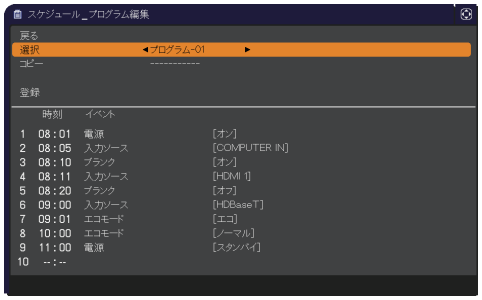
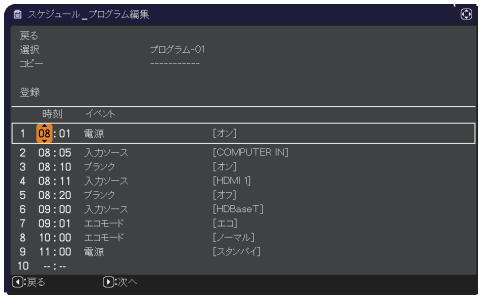


1/2 ページ（日付（年 / 月 / 日）および時間（24 時間表記）を設定します。）
</td></tr>
</table>

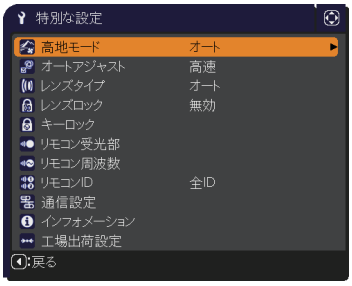
（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
スケジュール （つづき）	チェックボックスにチェックを入れます。 チェックがある箇所の日付や最初の設定情報が表示されます。  2/2 ページ（特定日 1 から 10 を設定します。） “土曜日” を選択した状態でカーソルボタン▼を押すと 1/2 ページから 2/2 ページへ移動します。 **■ プログラム編集** プログラム 1 から 16 の時間とイベントの編集ができます。 • 戻る 「スケジュール」メニューに戻ります。 • 選択 プログラム－ 01 から 16 を編集します。 各プログラムは 20 まで設定が可能です。 • コピー 選択したプログラム（時間およびイベントを設定済）は、他のプログラムへコピーできます。 • 登録 調整および設定が全て登録されます。 

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
スケジュール （つづき）	**■ 選択プログラムの編集方法** 1. イベントの 1 ～ 20 から選択します。 カーソルボタン▲ / ▼で選択します。 カーソルボタン▶で時間と イベントを設定します。 2. カーソルボタン◀ / ▶で選択します。 3. カーソルボタン▲ / ▼で調整します。 「イベント」は、以下の中から選択できます。 ◦ 電源 – オン, スタンバイ ◦ 入力ソース – "入力ソース"チャンネル ◦ マイイメージ – マイイメージ-1 から 4, 表示オフ ◦ メッセンジャー – テキスト-1から 12, 表示オフ ◦ エコモード – ノーマル, エコ ◦ ブランク – オン, オフ 4. カーソルボタン▶で設定を終了します。 5.「登録」を選択すると、設定の保存ができます。   **〈お知らせ〉** ●適切な操作のために、実際の表示メニュー（OSD）に従って操作してください。 ●スタンバイモードが「省電力」設定となっている場合には、スタンバイ時のスケジュール機能 (例：電源 – オン) は動作しません。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
特別な設定	この項目を選択してカーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「 特別な設定 」メニューが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、その項目のサブメニュー、またはダイアログが表示されます。 
	高地モード カーソルボタン▲ / ▼で、冷却ファンの回転速度モードを選択できます。 **高地 -2** ↔ **高地 -1** ↔ **標準** ↔ **オート** ■ **「オート」：** 本機が自動的に標高を判断し、最適なファン速度を設定します。 工場出荷時は、「オート」に設定されています。「オート」に設定していると問題がある場合を除き、設定を変更しないでください。誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。 ■ **「標準」：** 標高 1600m 以下の場所でご使用ください。 ■ **「高地 -1」：** 標高 1600m ～ 2300m の場所でご使用ください。 ■ **「高地 -2」：** 標高 2300m 以上の場所でご使用ください。
	オートアジャスト カーソルボタン▲ / ▼で、画面の自動調整を実行する際に自動的に調整、あるいは初期設定に戻す項目を設定できます。 **詳細** ↔ **高速** ↔ **無効** 自動的に調整される項目は、受信中の信号によって異なります。 ■ **「詳細」：** 画面の自動調整を実行すると、各項目が自動的に調整されます。 ■ **「高速」：** 画面の自動調整を実行すると、自動的に調整される項目のうち、「水平サイズ」は初期設定に戻り、残りの項目は自動的に調整されます。 ■ **「無効」：** 画面の自動調整を実行すると、各項目が初期設定に戻ります。 ● 入力信号、信号ケーブル、接続機器の状態によっては正常に機能しない場合があります。その場合は、「無効」に設定してから、手動で調節してください。

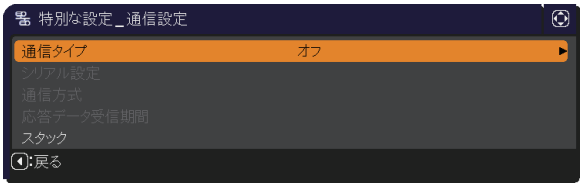
（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
特別な設定 （つづき）	**レンズタイプ** 使用するレンズユニットを設定します。 1）カーソルボタン▲ / ▼で、使用しているレンズの型名を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。「オート」を選択すると、本機が自動的に型名を判断します。 2）確認のダイアログが表示されますので、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。 ●この設定は、キーストン補正などに影響します。 ●本機が自動的に判断したレンズの型名は、「オート」の右側に表示されます。 ●本機がレンズの型名を判断できない場合は、「レンズタイプが判定出来ません」と表示されます。 ●レンズユニット（別売品）については、販売店にご確認ください。
	レンズロック カーソルボタン▲ / ▼で、レンズの調節に使用するボタンをロックすることができます。 **有効** ↔ **無効** 「有効」に設定すると、**ZOOM**、**ZOOM ＋／－**、**FOCUS ＋／－**、**LENS SHIFT**、**LENS MEMORY** の各ボタンが無効になります。
	キーロック 操作パネル、またはリモコンのボタン（キー）をロックすることができます。 1) カーソルボタン▲ / ▼で、ボタンをロックする方を選択します。 **コントロールパネル**（操作パネル） ↔ **リモコン** 2) カーソルボタン◀ / ▶でキーロック機能の有効／無効を設定します。 **有効** ↔ **無効** 「有効」を選ぶと、リモコンの **ON** ボタン、**STANDBY** ボタン、および操作パネルの **STANDBY/ON** ボタン以外の各ボタンが無効になります。 ●いたずらや誤操作を防止したい場合に、この機能をご使用ください。 ●操作パネルとリモコンの両方を「有効」（ロック）に設定することはできません。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
特別な設定 （つづき）	**リモコン受光部** 1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定するリモコン受光部を選択します。 **前面 ↔ 背面 ↔ HDBaseT** 2) カーソルボタン◀ / ▶でリモコン受光部の有効 / 無効を切り替えてください。 **有効 ↔ 無効** ●前面と背面の両方の受光部を「無効」に設定することはできません。
	リモコン周波数 1) カーソルボタン▲ / ▼で、信号受信周波数モードを選択します。 **1: 標準 ↔ 2: 高** 2) カーソルボタン◀ / ▶で周波数モードの有効 / 無効を切り替えてください。 **有効 ↔ 無効** リモコンが正常に機能しない場合、「1：標準 」または「2：高 」だけを有効にしてみてください。「1：標準」と「2：高」の両方を無効にすることはできません。
	リモコン ID 1) カーソルボタン▲ / ▼で、本機に設定するリモコン ID を選択してください。 **全 ID ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4** 2) 設定を保存するには、カーソルボタン▶を押してください。 本機は、同じ ID 番号を設定したリモコンでしか操作できなくなります。「全 ID」を設定した場合は、どの ID を設定されたリモコンでも操作できます。

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">操作内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">**特別な設定**
（つづき）</td><td colspan="2">**通信設定**
この項目を選択してカーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「 通信設定 」メニューが表示されます。「通信設定」メニューでは、**CONTROL** 端子を経由する通信の設定を行うことができます。
カーソルボタン▲ / ▼で設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、その項目のサブメニュー、またはダイアログが表示されます。
 

または、カーソルボタン◀を押しますと、設定を変更せずに一つ前のメニューに戻ります。
●「 通信タイプ 」（📖 **下記**）を「 オフ 」に設定していると、「通信設定」メニュー内の、「スタック」（📖**2-39**）以外の項目は選択できません。
●シリアル通信機能に関しては、ネットワーク編をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>**通信設定**</td><td>**通信タイプ**
カーソルボタン▲ / ▼で、**CONTROL** 端子を経由する伝達通信タイプを選択できます。
ネットワークブリッジ（無線） ↔ **ネットワークブリッジ（有線）** ↔ **オフ**
■ **「ネットワークブリッジ」**：
コンピュータから本機を経由して、外部機器をネットワーク端末として制御したい時に選択してください。接続状況に合わせて、無線または有線を選択してください。**CONTROL** 端子は、RS-232C コマンドを受け付けません。
詳細は、【ネットワーク編】「ネットワークブリッジ」（📖**3-67～69**）をご参照ください。
■ **「オフ」**：
CONTROL 端子をコンピュータに接続して RS-232C 通信を行うときに選択してください。
●工場出荷時は、「オフ」に設定されています。
●「ネットワークブリッジ」を選択するときは、「通信方式」（📖**2-39**）をご確認ください。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

設定項目		操作内容
特別な設定（つづき）	通信設定	**シリアル設定** **CONTROL** 端子の通信状態を選択することができます。 ■**ボーレート** **4800 bps ↔ 9600 bps ↔ 19200 bps ↔ 38400 bps** ■**パリティ** **なし ↔ 奇数 ↔ 偶数** ●「通信タイプ」（📖**2-38**）が「オフ」に設定されているときは、ボーレートは「19200bps」、パリティは「なし」に固定されます。
		通信方式 この項目は、「通信タイプ」（📖**2-38**）で「ネットワークブリッジ」が選択されている時のみ設定できます。 カーソルボタン▲ / ▼で、ネットワークブリッジでの、**CONTROL** 端子からの伝達用の通信方式を選んでください。 **半二重通信 ↕ 全二重通信** ■**「半二重通信」**：データの送信、受信を交互に行います。 ■**「全二重通信」**：データの送受信を同時に行います。 **〈お知らせ〉** ●工場出荷時は、「半二重通信」に設定されています。 ●「半二重通信」を選択する時ときは、「応答データ受信期間」（📖 **下記**）をご確認ください。
		応答データ受信期間 カーソルボタン▲ / ▼で、外部機器からの応答待機時間を選択してください。 **オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s** ■**「オフ」**：コンピュータから連続してデータを送信することができます。送信先の外部機器からの応答データを確認しなくてもよい場合に選択してください。 ■ **1s/2s/3s**：データ送信先の外部機器からの応答待機時間を設定します。設定された時間は、**CONTROL** 端子からデータが送信されません。 ●本メニューは、「通信タイプ」（📖**2-38**）が「ネットワークブリッジ」に設定され、さらに「通信方式」（📖**2-39**）が「半二重通信」に設定されている時にのみ有効となります。 ●工場出荷時は、「オフ」に設定されています 。
		スタック この項目を選択してカーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「スタック」メニューが表示されます。 「スタック」メニューでは、簡易スタック機能に関する設定を行うことができます。 簡易スタック機能の詳細は、「簡易スタック」（📖**2-54～78**）をご参照ください。 ●「スタックモード」が「メイン」または「サブ」に設定のときは、「通信設定」メニューで使用できなくなる項目があります。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
特別な設定 （つづき）	**インフォメーション** この項目を選択すると「入力 _ インフォメーション」のダイアログが表示されます。このダイアログには現在受信中の映像信号についての情報が表示されます。 ● " フレームロック" と表示されている場合は、フレームロック機能が動作していることを示します。 ●正常な信号を受信していない状態では、この項目は選択できません。 ●「セキュリティ」メニューの「マイテキスト表示」（📖**2-47**）が「有効」に設定されていると、「入力 _ インフォメーション」ダイアログには、登録したマイテキストも一緒に表示されます。
	工場出荷設定 カーソルボタン▶を押して、「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。 **初期化しない → OK** ● 「ランプ時間」、「フィルター時間」、「表示言語」、「オートブランク」、「フィルター掃除通知」、「スタンバイモード」、「通信設定」、「ネットワーク」および「セキュリティ」の各項目の設定は初期化されません。

ネットワークメニュー

ネットワーク機能の詳細については、【ネットワーク編】をご参照ください。
本機をネットワークに接続するには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

セキュリティメニュー

「セキュリティ」メニューでは、本機のセキュリティ機能の設定を行うことができます。パスワード、暗証コードのお問い合わせの際に必要となりますので、保証書は大切に保管してください。
「セキュリティ」メニューを操作するには、以下の手順に従い、セキュリティパスワードを入力してください。

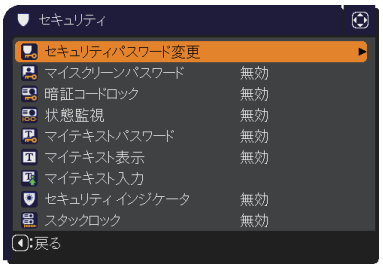
1．「パスワードを入力してください。」を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されます。

2．カーソルボタン◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、登録されているセキュリティパスワードを入力してください。
工場出荷時のセキュリティパスワードは以下です。

MC-X8801WJ/MC-X8801BJ:　1211

MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ:　9610

MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ:　1311



セキュリティパスワードは変更できます。
カーソルを「OK」に移動して、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「セキュリティ」メニューが表示されます。間違ったパスワードを入力すると、ダイアログが再度表示されます。

- 工場出荷時のパスワードはできるだけ早く変更してください。
- 間違ったパスワードを 3 回入力すると、電源が切れます。それ以降は、パスワードの入力を間違えるたびに電源が切れます。

3. 下記表の項目が操作できます。

■セキュリティパスワードを忘れた場合

1. 「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されている間に、**RESET** ボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶と **INPUT** ボタンを同時に 3 秒間押すと、「セキュリティ／照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁のセキュリティパスワード照合コードが表示されています。
2. 10 桁のセキュリティパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて、「お客様ご相談窓口」（📖**5-2**）までご連絡ください。確認後、パスワードをご連絡いたします。

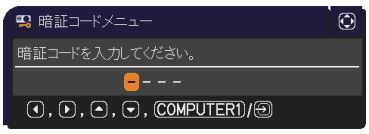
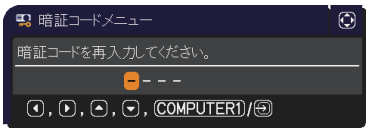
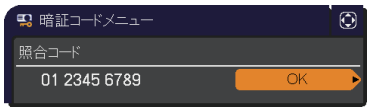
- 「セキュリティパスワード / 照合コード」ダイアログが表示されているときに一定時間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。

設定項目	操作内容
セキュリティ パスワード変更	セキュリティパスワードを変更することができます。 1)「セキュリティ」メニューで「セキュリティパスワード変更」を選択し、「新パスワードを入力してください」ダイアログを表示させます。 2) カーソルボタン▲ / ▼で新パスワードを入力してください。 3) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードを再度入力してください。 4) カーソルを「OK」に移動して、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、新しいセキュリティパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。 このダイアログにはパスワードが表示されています。この間に新しいパスワードをメモしてください。**ENTER** ボタンまたはカーソルボタン▶を押すと、ダイアログが閉じます。 ● セキュリティパスワードを忘れないようにしてください。

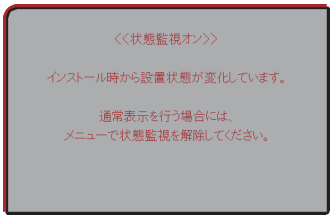
（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイスクリーンパスワード	マイスクリーンパスワード機能でマイスクリーンへのアクセスを禁止し、登録されている映像の上書きを防ぐことができます。 **1. マイスクリーンパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）** 1-1) カーソルボタン▲ / ▼で、「セキュリティメニュー」の「マイスクリーンパスワード」を選択し、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。 1-2) カーソルボタン▲ / ▼で、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューで「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。 「新パスワードを入力してください」（小） 1-3) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶でカーソルを移動させながら、パスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。 1-4) 同じパスワードを再度入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、マイスクリーンパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。 カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。 ●マイスクリーンパスワードを設定すると、「スクリーン」メニューの「マイスクリーン」（📖**2-25**）、および「マイスクリーンロック」（📖**2-25**）を操作できなくなり、「初期画面」が「マイスクリーン」に固定されます。「マイスクリーンパスワード」を「無効」にすることで、上記の操作ができるようになります。 ●マイスクリーンパスワードを忘れないようにしてください。 **2. マイスクリーンパスワード機能を無効にする** 2-1) 上記の 1-1 をご参照のうえマイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。 2-2) メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。 登録されたマイスクリーンパスワードを入力すると、マイスクリーンパスワード機能は無効になり、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。 間違ったパスワードを入力するとメニューが閉じます。 「マイスクリーンパスワードを入力してください」（大） **3. マイスクリーンパスワードを忘れた場合** 3-1) 上記の 1-1 をご参照のうえマイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。 3-2) カーソルボタン▲ / ▼で、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューで「無効」を選択し、「マイスクリーンパスワードを入力してください」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードが表示されています。 3-3)10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて、「お客様ご相談窓口」（📖**5-2**）までご連絡ください。確認後、マイスクリーンパスワードをご連絡いたします。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
暗証コードロック	暗証コードロックは、登録された暗証コードが入力されない限り、本機を使用できないようにする機能です。 **1. 暗証コードロック機能を有効にする（暗証コードを設定・登録する）** 1-1) カーソルボタン▲ / ▼で「セキュリティメニュー」の「暗証コードロック」を選択し、暗証コードロック 有効 / 無効メニューが表示されます。 1-2)「有効」を選択すると、「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。 1-3) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶と、**COMPUTER 1** ボタンまたは **INPUT** ボタンで、4 つのパートからなる暗証コードを入力してください。「暗証コードを再入力してください。」ダイアログが表示されます。同じ暗証コードを再度入力してください。暗証コードの登録が完了します。   ●「暗証コードを入力してください」ダイアログ、および「暗証コードを再入力してください」ダイアログは、表示されてから約 55 秒何も入力しないと閉じます。 暗証コードロック機能を有効にすると、本機を電源につないで最初に電源を入れるたびに、暗証コードを確認するダイアログが表示され、登録された暗証コードを 5 分間以内に入力しない限り本機を使用できなくなります。 この機能は、一度本機の電源を完全に切った（📖**1-45**）後で、再度電源を入れないと有効になりません。 ●暗証コードを忘れないようにしてください。 **2. 暗証コードロック機能を無効にする** 2-1) 上記の 1-1 をご参照のうえ暗証コードロック 有効 / 無効メニューを表示させます。 2-2) カーソルボタン▼で、暗証コードロック有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。登録された暗証コードを入力すると、暗証コードロック機能は無効になります。間違った暗証コードが入力されると、ダイアログが再度表示されます。間違った暗証コードを 3 回入力すると、本機の電源が切れます。 **3. 暗証コードを忘れた場合** 1) 本機の電源を入れ、暗証コードを確認するダイアログが表示されている間に、**RESET** ボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶と **INPUT** ボタンを同時に、3 秒間押してください。「暗証コードメニュー／照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁の暗証コード照合コードが表示されています。  2)10 桁の暗証コード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて、「お客様ご相談窓口」（📖**5-2**）までご連絡ください。確認後、暗証コードをご連絡いたします。

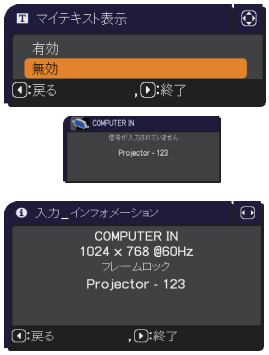
（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
状態監視	本機の設置状態が変更されたときに、状態監視のアラームを表示し、この機能を無効にしない限り本機を使用できないようにすることができます。  **1. 状態監視機能を有効にする** 1-1) カーソルボタン▲で、状態監視 有効 / 無効メニューで「有効」を選択してください。現在の設置状態が記録され、状態監視パスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。 1-2) カーソルボタン◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼でパスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードを再度入力してください。 「新パスワードを入力してください」（小） 1-3) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、状態監視パスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、状態監視 有効 / 無効メニューに戻ります。 ●状態監視パスワードを忘れないようにしてください。 ●この機能は、一度本機の電源を完全に切った（📖**1-45**）後で、再度電源を入れないと有効になりません。 ●状態監視 有効 / 無効メニューで「有効」を選択したときに、本機が安定した状態で設置されていないと、この機能は正常に動作しません。 ●状態監視のアラームが約 5 分間表示された後、ランプが消灯します。 **2. 状態監視機能を無効にする** 2-1) カーソルボタン▲で、状態監視 有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。 「パスワードを入力してください」（大） 2-2) 登録された状態監視パスワードを入力すると、状態監視機能は無効になり、状態監視 有効 / 無効メニューに戻ります。 間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。 **3. 状態監視パスワードを忘れた場合** 3-1) カーソルボタン▲ / ▼で、状態監視 有効 / 無効メニューで「無効」を選択し、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁の状態監視パスワード照合コードが表示されています。 3-2)10 桁のパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて、「お客様ご相談窓口」（📖**5-2**）までご連絡ください。確認後、状態監視パスワードをご連絡いたします。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイテキスト パスワード	マイテキストの上書きや表示設定の変更を防止することができます。 ●表示設定の変更を防ぐため、「マイテキスト表示」メニューが使用できなくなります。 ●「マイテキスト」の上書きを防ぐため、「マイテキスト入力」が使用できなくなります。 **1. マイテキストパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）** 1-1) カーソルボタン▲ / ▼で、「セキュリティメニュー」の「マイテキストパスワード」を選択し、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。 1-2) カーソルボタン▲で、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューで「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。 「新パスワードを入力してください」（小） 1-3) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶でカーソルを移動させながら、パスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードを再度入力してください。 1-4) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、マイテキストパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。 カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。 **2. マイテキストパスワード機能を無効にする** 2-1) 上記の 1-1 をご参照のうえ、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。 2-2) カーソルボタン▼で、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。登録されたマイテキストパスワードを入力すると、マイテキストパスワード機能は無効になり、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。 「パスワードを入力してください」（大） **3. マイテキストパスワードを忘れた場合** 3-1) 上記の 1-1 をご参照のうえマイテキストパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。 3-2) カーソルボタン▲ / ▼で、マイテキストパスワード 有効 / 無効メニューで「無効」を選択し、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには、10 桁のマイテキストパスワード照合コードが表示されています。 3-3)10 桁のマイテキストパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて、「お客様ご相談窓口」（📖**5-2**）までご連絡ください。確認後、マイテキストパスワードをご連絡いたします。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
マイテキスト表示	マイテキストの表示／非表示を切り替えられます。 **有効 ↔ 無効** 「有効」に設定すると、初期画面 (📖**2-24**) と「入力＿インフォメーション」ダイアログ (📖**2-40**) に、登録したマイテキストが表示されます。 ● 「マイテキストパスワード」（📖**2-46**）が「無効」に設定されているときのみ、「マイテキスト表示」の設定を変更できます。 
マイテキスト入力	(1) カーソルボタン▲ / ▼で、「セキュリティメニュー」の「マイテキスト入力」を選択し、マイテキスト入力ダイアログを表示させます。 (2) **マイテキストを入力する** 最初の 3 行（下線付き）に現在のマイテキストが表示されます。マイテキストをまだ登録していないときは、最初の 3 行は空白です。 カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して入力してください。 **RESET** ボタンを押して、またはカーソルボタン◀と **INPUT** ボタンを同時に押して、もしくは「消去」にカーソルを合わせて **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押すと、1 文字削除することができます。また、「全消去」にカーソルを合わせて **ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押すと、表示されている文字を全て削除することが出来ます。 マイテキストは 1 行につき最大 24 文字入力できます。 (3) **マイテキストを編集する** カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、マイテキストが表示されている行の、変更／削除する文字へカーソルを移動し、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押して選択します。選択した文字を、マイテキストを入力するときと同じ手順で編集してください。 (4) **マイテキストを保存する** テキストの入力・編集が終わったら、1 番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶か、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀か、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 ●この項目は、「マイテキストパスワード」（📖**2-46**）が「無効」になっているときのみ操作できます。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容
セキュリティ インジケータ	カーソルボタン▲ / ▼で、**SECURITY** インジケータでの、本機のセキュリティ表示の有効／無効を設定できます。 **有効** ↔ **無効** 「有効」に設定すると、「暗証コードロック」または「状態監視」が有効で、本機がスタンバイ状態のとき、**SECURITY** インジケータ（📖**1-12**）が黄色に点滅します。
スタックロック	「スタックロック」メニューの表示をすることができます。 簡易スタック機能についての詳細は「簡易スタック」をご参照ください。

仕様

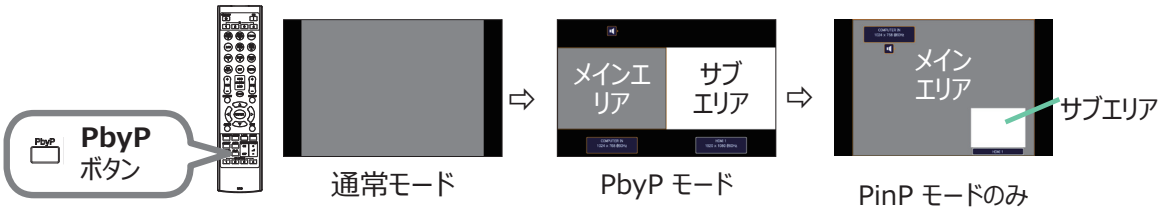
仕様は、基本編をご参照ください。

プロジェクターソフトウェアのライセンス情報について：

- プロジェクターに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールは、それぞれに弊社または第三者の著作権が存在します。

2 画面表示

PbyP/PinP 機能は、2 画面表示でメイン、サブの 2 つのエリアに分割された画面に、2 つの異なる映像信号を表示する機能です。



リモコンの **PbyP** ボタンを押すと、2 画面表示モードを開始します。また **PbyP** ボタンを押すと、PinP モードに切り替わります。
PbyP ボタンが押される前に表示していた映像がメインエリアに表示されます。
ほとんどの操作は、メインエリアにのみ有効です。
2 画面表示を終了するには、もう一度 **PbyP** ボタンを押してください。

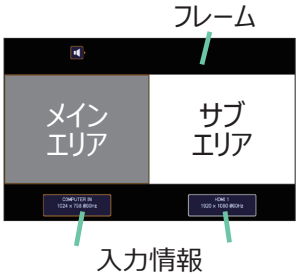
〈お知らせ〉

- **LAN** 端子からの映像を表示している時に **PbyP** ボタンを押すと、メインエリア、サブエリアともに、異なる端子からの映像が表示されます。
- 2 画面表示モード中に本機のメニューを表示させるには、リモコンの **MENU** ボタンまたは、操作パネルの▲ / ▼ボタンを押します。
- 2 画面表示モード中は、画面や映像の操作で使用できない機能もありますので、ご注意ください。
- 2 画面表示モード中のみ使用できないボタンを押した場合には、無効なボタンが押された時のメッセージ（📖**4-46**）が表示されない場合があります。
- 2 画面表示モード中、使用できない機能は、本機のメニュー上で灰色表示され、選択することができません。

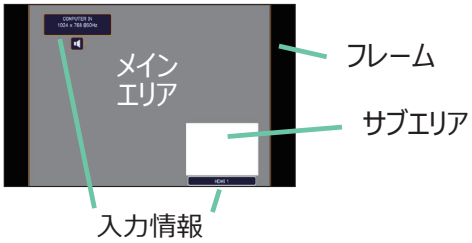
（次ページにつづく）

■ **設定情報**

2 画面機能の使用開始と同時に設定情報がしばらく表示されます。
各エリアの入力情報が表示されます。メインエリアには、黄色枠が表示されます。
この表示が消えた後は、カーソルボタン◀ / ▶で再表示できます。



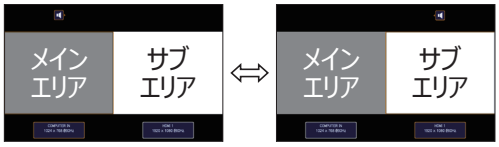
PbyP モード



PinP モード

■ **メインエリアの切り替え**

設定情報が表示中にメインエリアの表示位置をカーソルボタン◀ / ▶で切り替えられます。
併せて黄色枠も切り替わります。



PbyP モード

PinP モード

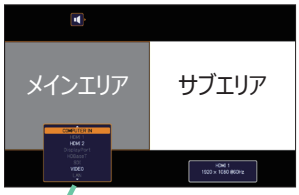
（次ページにつづく）

■ 入力信号の切り替え

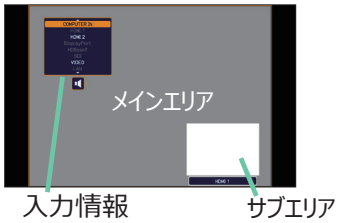
2 画面表示モード中に、リモコンの各映像入力端子を選択するボタンや、操作パネルの **INPUT** ボタンを押すと、メインエリア側の入力信号を選択するダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で信号を選択してください。サブエリア側の入力信号を変更したい場合は、カーソルボタン◀ / ▶でメインエリアを交替させてから、入力信号を選択してください。
同じ入力信号を左右両方の画面に表示させることはできません。同時に表示できる信号の組み合わせは下表の通りです。×印の付いている組み合わせは、表示できません。

メインエリア ＼ サブエリア	COMPUTER IN	LAN	HDMI 1	HDMI 2	DisplayPort	HDBaseT	SDI ＊	VIDEO
COMPUTER IN		X	O	O	O	O	O	X
LAN	X		X	X	X	X	X	X
HDMI 1	O	X		O	X	X	X	O
HDMI 2	O	X	O		O	O	O	O
DisplayPort	O	X	X	O		X	X	O
HDBaseT	O	X	X	O	X		X	O
SDI ＊	O	X	X	O	X	X		O
VIDEO	X	X	O	O	O	O	O	

＊ MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ



PbyP モード



PinP モード

〈お知らせ〉

- 「その他」メニューの「チャンネルスキップ」（📖**2-29**）が「スキップ」に設定されている端子の組み合わせでも、上表で○印が付いているものは表示することができます。

（次ページにつづく）

■PbyP / PinP 画面入れ替え

PbyP / PinP 画面入れ替えに指定した **MY BUTTON** ボタンを押します。設定に影響せずエリアが入れ替わります。

〈お知らせ〉

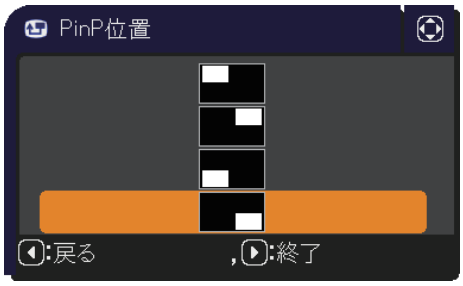
- 信号によっては、通常モードで適切に表示することができても、PbyP/PinP モードでは正確に表示できない場合があります。
- 「設置メニュー」の「幾何学補正」-「エッジブレンディング」-「モード」（📖**1-55**）が「マニュアル」に設定されている場合は、PbyP/PinP は使用できません。

■PbyP モードのサイズ変更

PbyP モード時、リモコンのカーソルボタン▲ / ▼でメインエリアのサイズ変更ができます。

■PinP モードでの位置変更

PinP 位置に指定した **MY BUTTON** ボタンを押してください。
または、以下の手順に沿って切り替えます。
簡単メニュー > 詳細メニュー > 入力 >PbyP/PinP 設定 >PinP 位置



簡易スタック

簡易スタック機能は、本機を 2 台使用して 1 つの画面を投射する機能です。
2 台のプロジェクターを同時に動作させて 2 台分の明るい画面を投射することができます。2 台を RS-232C クロスケーブルで接続すると連結モードとなります。これらの機能を簡易スタックと呼び、様々な使用法を提供します。

はじめに

簡易スタック時のご注意

簡易スタックの準備を始める前に、以下のご注意をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。その他に必要な情報がある場合は、販売店にご相談ください。

お守りください

- ●連結モードは同じ機種 (2 台) の組み合わせでのみ動作可能です。
- ●本機を一方のプロジェクターの上に直接置かないでください。
- ●簡易スタックには、必ずフラットスクリーンをご使用ください。
  ご使用になるスクリーンがたわんでいたり、破損していたり、傾いていたりすると、2 台の画面がきれいに重なり合わないことがあります。
- ▶本機の電源を入れてすぐは、本機内部の温度が上昇し、画面の位置や焦点がずれる場合がありますので、電源を入れて 20 分以上たってから、2 台の画面を重ね合わせてください。
- ▶簡易スタックでご使用になる場合は、特に安定した場所に設置してください。また、本書に指定がある場合を除き、本機に触ったり、物をぶつけないようご注意ください。温度の変化や振動や衝撃を与えると、本機の位置が動き、重ね合わせた画面がずれることがあります。画面がずれた場合は、周囲が安定してからもう一度画面を重ね合わせてください。
- ▶接続ケーブルの重みや突っ張りで、時間がたつと重ねた画面が動いてずれてしまうことがあります。ケーブルは、本機に負担がかからないよう接続してください。
- ▶ 2 台のプロジェクターが RS-232C ケーブルで接続され、メイン機がサブ機を制御する状態を連結モードといいます。連結モードをご使用になる場合は、外部から **CONTROL** 端子を経由して RS-232C コマンドを受け取ることができません。コマンドを使用して本機を制御する場合は、メイン機をネットワークに接続し、**LAN** 端子を経由してコマンドを送信してください。
- ▶連結モードでご使用になる場合は、操作と設定の一部が制限されます。詳しくは（📖**2-77**）をご参照ください。

⚠警 告

電源プラグを
コンセント
から抜け

●**異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く**
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

●**ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かない**
▶設置器具は、本書の指定品をご使用になり、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。
▶天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
▶本書に指定がある場合を除き、本機に触ったり、物をぶつけて落とさないようご注意ください。

●**クリップやピンなどの金属の小物や、紙片などの燃え易いものを本機の上や近くに置かない**

●**調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しない**

●**水をかけたり、水や雨のかかる場所に置いたりしない**

⚠注 意

● **通風孔をふさがない**
▶周辺の壁や物から 50cm 以上離して設置してください。
▶ 2 台を並べて使用する場合は、お互いに 50cm 以上離して設置してください。
▶通風孔をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
▶本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。

● **煙や湿気、ほこりの多いところには置かない**
▶超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。

お守りください

●光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。
●電波を発生する装置の近くに設置しないでください。

準備

簡易スタック

簡易スタックを使用すると、2 台のプロジェクターの画面を簡単に重ねることができます。

連結モードと単体モード

簡易スタック機能には 2 つの使用モードがあります。
連結モードでは、2 台のプロジェクターを RS-232C（クロス）ケーブルで接続し、必要な設定を行うことで、2 台を連携して使用できます。2 台を自動的に交代させて使用する場合に便利です。
単体モードでは、2 台のプロジェクターを RS-232C（クロス）ケーブルで接続せずに、各々独立して使用します。

連結モードと単体モードの遠隔操作について

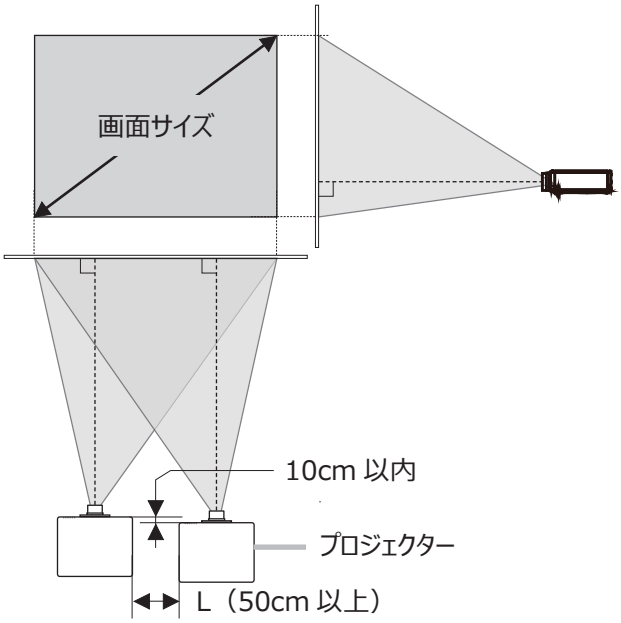
連結モードでは、片方のプロジェクターをメイン機に、もう一方をサブ機に設定します。リモコン操作はメイン機のみ動作し、サブ機の操作はメイン機を通して行います。メイン機、サブ機とも、操作するにはメイン機の操作パネルを操作するか、リモコンをメイン機に向けて操作します。詳しくは「連結モードの重要なお知らせ」（📖**2-69, 70**）をご覧ください。
リモコンによる誤操作を防止するため、操作パネルによる操作や、有線リモコンでの操作を推奨します。また、キーロック機能（📖**2-36**）やリモコン ID 機能（📖**2-37**）もご利用いただけます。

設置

安全にご使用いただくため、「簡易スタック時のご注意」（📖**2-54, 55**）に加え、以下の簡易スタックの正しい使い方についてもお読みください。

- 同じ機種のプロジェクターをご使用ください。
- プロジェクターを 2 台横に並べて設置してください。
- スクリーンがプロジェクターに対し直角であることを確認してください。
- ご使用になるレンズタイプによって、プロジェクターの相対位置の許容誤差が異なります。
- リモコンによる誤操作を防止するため、操作パネルによる操作や、有線リモコンでの操作を推奨します。また、キーロック機能（📖**2-36**）やリモコン ID 機能（📖**2-37**）もご利用いただけます。
- 時間がたつと重ねた画面が動いてずれてしまう場合があります。その際はもう一度画面を重ね合わせてください。
- 2 台のプロジェクターの間隔に対し、以下の推奨画面サイズ以上の大きさに画面を投射してください。

L：間隔［cm］	推奨画面サイズ［型］
50	250
100	380



連結モードの準備

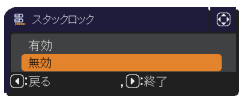
RS-232C ケーブルを接続して連結モードをご使用になる場合は、2 台のプロジェクターに以下の設定がされていることをご確認ください。正しく設定されていない場合、連結モードは正常に動作しません。

- 「設置」メニューの「スタンバイモード」（📖**2-21**）を「通常」に設定する。
- 「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「通信タイプ」（📖**2-38**）を「オフ」に設定する。
- 「セキュリティ」メニューの「スタックロック」（📖**2-48**）を「無効」に設定する。

「スタックロック」が「有効」に設定されている場合、簡易スタック関係のメニューは操作できません。以下の手順に従って、設置および設定の間はスタックロックを「無効」に設定してください。

(1) カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「セキュリティ」メニュー（パスワードを入力）-「スタックロック」
「スタックロック」ダイアログが表示されます。

(2) カーソルボタン ▲ / ▼で「無効」を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を完了させてください。



片方のプロジェクターの設置

設置位置を決める

片方のプロジェクターの設置位置と投射角度を決めます。詳細は「傾きを調節する」（📖**1-48**）をご参照ください。

⚠注 意

▶本書の指定品の設置器具を使用すると、任意の方向に設置することができます。このような特殊な設置については、必ず事前に販売店にご相談ください。

〈お知らせ〉

●片方のプロジェクターは前上がり 5°以内で設置してください。

片方のプロジェクターを準備する

1. 片方のプロジェクターの電源を入れてください。
2. 「設置」メニューの「設置方法」（📖**2-21**）の設定を変更すると、画面の位置がずれる場合があります。
   あらかじめ「設置方法」を設定してください。
3. ズーム、フォーカス、レンズシフトを使用して片方のプロジェクターの画面サイズと映像の焦点、画面の垂直／水平方向の位置を調節してください。（📖**1-49**）また、必要に応じて、キーストン、コーナーフィットを使い画面の位置および形状を調節してください。（📖**1-53~54**）

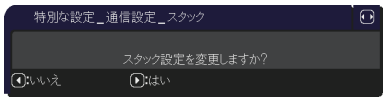
〈お知らせ〉

●キーストン、コーナーフィット、ワーピングの機能を同時に使用することはできません。適切な機能を使用してください。
●単体モードでご使用になる場合は「他方のプロジェクターの設置」（📖**2-59**）へ進んでください。

4. **MENU** ボタンでメニューを表示させてください。「メニュー機能の使い方」（📖**2-3, 4**）をご参照ください。
5. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。
   「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「スタック」（📖**2-39**）
   スタックメニューが表示されます。

6. カーソルボタン ▲ / ▼で「スタックモード」を選択し、カーソルボタン▶を押して「スタックモード」ダイアログを表示させてください。
   カーソルボタン ▲ / ▼で「サブ」を選択し、カーソルボタン▶を押してください。

7. カーソルボタン▶を押した後、表示されている設定の保存を確認するダイアログが表示されます。
   カーソルボタン▶を押して設定を完了させてください。



〈お知らせ〉

●リモコンによる誤操作を防止するため、操作パネルによる操作や、有線リモコンでの操作を推奨します。また、キーロック機能（📖**2-36**）やリモコン ID 機能（📖**2-37**）もご利用いただけます。

他方のプロジェクターの設置

設置位置を決める

他方のプロジェクターの設置位置と投射角度を決めます。詳細は「傾きを調節する」（📖**1-48**）をご参照ください。

⚠注 意

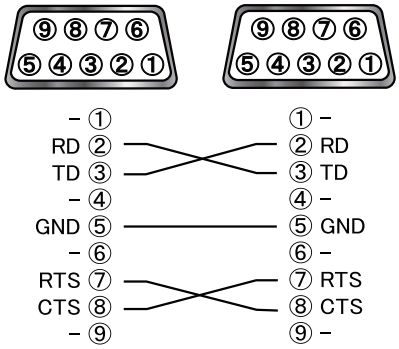
▶本書の指定品の設置器具を使用すると、任意の方向に設置することができます。このような特殊な設置については、必ず事前に販売店にご相談ください。

〈お知らせ〉

●他方のプロジェクターは前上がり 5°以内で設置してください。

プロジェクターを接続する

連結モードでご使用になる場合は、サブのプロジェクターの **CONTROL** 端子とメインのプロジェクターの **CONTROL** 端子を RS-232C ケーブルで接続してください。



他方のプロジェクターを準備する

1．他方のプロジェクターの電源を入れてください。

〈お知らせ〉

●画面が片方のプロジェクターの画面に対して大きく傾いている場合は、アジャスタ脚で傾きを調節してください。

2．「キーストン」、「コーナーフィット」の調整を一度リセットしてください。（📖**1-53~54, 2-4**）

〈お知らせ〉

●キーストン、コーナーフィット、ワーピングの機能を同時に使用することはできません。適切な機能を使用してください。

●「設置」メニューの「設置方法」（📖**2-21**）の設定を変更すると、画面の位置がずれる場合があります。あらかじめ「設置方法」を設定してから画面を重ね合わせてください。

（次ページにつづく）

3．サブのプロジェクターの画面にうまく重なるように、ズーム、フォーカス、レンズシフトを使用してメインのプロジェクターの画面サイズと映像の焦点、画面の垂直／水平方向の位置を調節してください (📖**1-49**)。

〈お知らせ〉

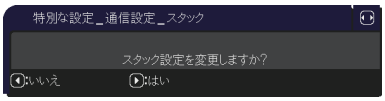
- キーストン、コーナーフィットを使い、画面の位置、形状を調節してください。キーストン、コーナーフィットでは画面のサイズを大きくすることはできません。あらかじめ、他方のプロジェクターの画面の中に、片方のプロジェクターの画面が完全に含まれるように設置しておくことが重要です。
- 他方のプロジェクターをリモコンで操作する際に、片方のプロジェクターも反応してしまう場合があります。誤操作を防止するため、操作パネルによる操作や、有線リモコンでの操作を推奨します。また、キーロック機能（📖**2-36**）やリモコン ID 機能（📖**2-37**）もご利用いただけます。
- 単体モードを使用する場合は、「単体モードの場合」(📖**2-63**) へ進んでください。

4．**MENU** ボタンでメニューを表示させてください。「メニュー機能の使い方」(📖**2-3, 4**) をご参照ください。

5．カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」 – 「通信設定」 – 「スタック」(📖**2-39**)
スタックメニューが表示されます。

6．カーソルボタン ▲ / ▼で「スタックモード」を選択し、カーソルボタン▶を押して「スタックモード」ダイアログを表示させてください。
カーソルボタン ▲ / ▼で「メイン」を選択し、カーソルボタン◀を押して前のメニューに戻ってください。

7．カーソルボタン▶を押した後、表示されている設定を保存するかを確認するダイアログが表示されます。
カーソルボタン▶を押して設定を完了させてください。



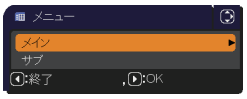
メイン機とサブ機の設定確認

1．メイン機を操作するため、リモコンの **MENU** ボタンを押してください。

〈お知らせ〉

●連結モードでご使用になる場合、メイン機はリモコン信号を受信することができますが、サブ機はリモコン信号には反応しません。

2．下のダイアログが画面の右下に表示されます。



メイン機

サブ機

3．カーソルボタン▶を押すとダイアログは閉じ、「メイン」を選択していた場合はメイン機のメニューが表示されます。
カーソルボタン◀を押すとダイアログは閉じ、メニューも消えます。

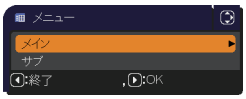
〈お知らせ〉

●これらのダイアログが表示されない場合は、RS-232C ケーブルの接続 (📖**2-59**) を確認し、「スタックモード」ダイアログでメイン機およびサブ機の設定を確認してください (📖**2-39**)。

画面位置の微調節

2 台のプロジェクターの画面を重ね合わせるには、「コーナーフィット」を使ってメイン機の画面サイズと位置を調節します。

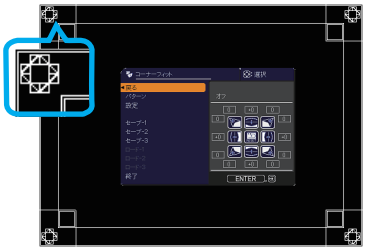
連結モードの場合



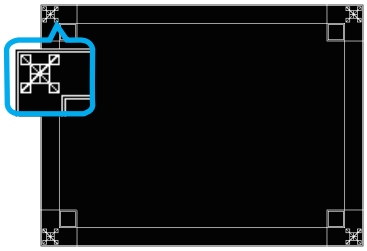
メイン機の画面
（他方のプロジェクター）

1．リモコンまたはメイン機の操作パネルの **MENU** ボタンを押してください。
「メニュー」ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で「メイン」を選択してカーソルボタン▶を押してください。メイン機のメニューが表示されます。

2．リモコンまたはメイン機の操作パネルのカーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶ で「簡単メニュー」、または「詳細メニュー」の「設置」メニューを表示させ、「コーナーフィット」を選択してカーソルボタン▶を押してください。メイン機、サブ機の画面にそれぞれの連結モード用のテンプレート画面が表示され、メイン機の画面には「コーナーフィット」ダイアログが表示されます。「スタック」のテンプレート画面には、四隅に、画面を重ね合わせるための目安が表示されます。

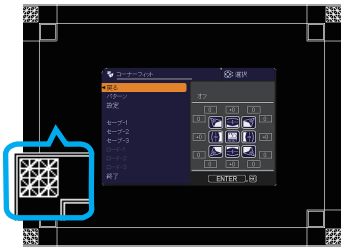

メイン機の画面
（他方のプロジェクター）

3．「 画面のひずみを補正する」(📖**1-53, 54**) を参考に、四隅の目安がきれいに重なるよう、メイン機の画面のサイズと形状をサブ機の画面に合わせてください。
まずは左上隅→右上隅→右下隅→左下隅の順で粗く合わせた後で、同じ順番で細かく合わせてください。


サブ機の画面
（片方のプロジェクター）

〈お知らせ〉

●次ページの「お知らせ」をご覧ください。


重なった画面

単体モードの場合

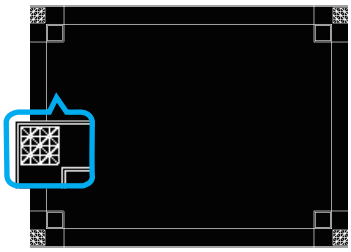
1．サブのプロジェクターに向けてリモコンの **MENU** ボタンを押してください。
メニューが表示されます。

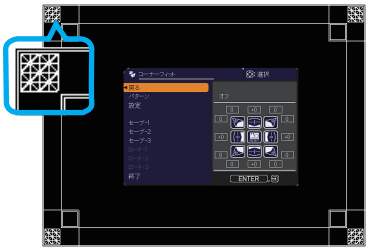
2．カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で「詳細メニュー」を表示させ、「スクリーン」メニューの「テンプレート」(📖**2-27**) で「スタック」を選択し、テンプレート画面を表示させてください。

3．メインのプロジェクターの操作パネルの **MENU** ボタンを押してください。
メニューが表示されます。

4．カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶ で「簡単メニュー」、または「詳細メニュー」の「設置」メニューを表示させ、「コーナーフィット」を選択してカーソルボタン▶を押してください。
「スタック」のテンプレート画面と「コーナーフィット」ダイアログが表示されます。
「スタック」のテンプレート画面には、四隅に、画面を重ね合わせるための目安が表示されます。
調整用テストパターンを表示させるには、パターン設定をオンにしてください。

5．「画面のひずみを補正する」(📖**1-53, 54**) を参考に、もう片方の画面に、サイズと形状を合わせてください。
まずは左上隅→右上隅→右下隅→左下隅の順で粗く合わせた後で、同じ順番で細かく合わせてください。


スタックのテンプレート


コーナーフィット

〈お知らせ〉

- 「コーナーフィット」の詳細については、「画面のひずみを補正する」の「コーナーフィット」(📖**1-54**) をご参照ください。
- 必ずフラットスクリーンをご使用ください。スクリーンがたわんでいたり、破損していたり、傾いていたりすると、「コーナーフィット」で四辺のたわみを調節しても、画面をきれいに重ね合わせるのは大変難しくなります。
- 「コーナーフィット」で画面を重ね合わせた後でも、入力信号によっては映像がずれてしまうことがあります。その際は、以下の方法を試してください。
  - AUTO ボタンまたは「表示」メニューの「オートアジャスト実行」(📖**2-14**) で画面の自動調整を実行する。
  - 「表示」メニューの「垂直位置」、「水平位置」(📖**2-13**) を調節する。
  - 「入力」メニューの「解像度」(📖**2-18**) を 2 台共同じ設定にする。

スタックメニュー設定

「スタック」メニューを使って連結モードの設定をします。

〈お知らせ〉

- 単体モードでご使用になる場合は、本章を読んでいただく必要はありません。
- 「連結モードの重要なお知らせ」をお読みください。(📖**2-69, 70**)

スタックメニューを表示する

カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。

「詳細メニュー」-「その他」メニューの
「特別な設定」 – 「通信設定」 – 「スタック」(📖**2-39**)

画面に「スタック」メニューが表示されます。
連結モードの設定は本メニューで行います。

〈お知らせ〉

- 2 台のプロジェクターで以下の設定を確認してください。正しく設定されていない場合、「スタック」メニューは選択できません。
  - -「設置」メニューの「スタンバイモード」(📖**2-21**) ： 「通常」
  - -「その他」メニューの「特別な設定」 – 「通信設定」 – 「通信タイプ」(📖**2-38**) ： 「オフ」
  - -「セキュリティ」メニューの「スタックロック」(📖**2-48**) ： 「無効」

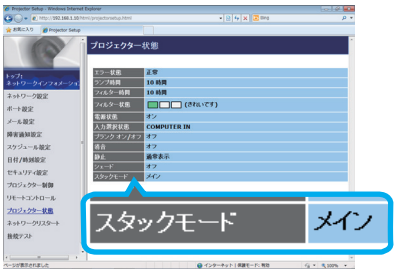
メイン、サブまたはオフを選択する

連結モードでご使用になる場合は、「メイン」または「サブ」を選択してください。「スタックモード」ダイアログで、片方のプロジェクターが「メイン」に設定され、他方のプロジェクターが「サブ」に設定されると連結モードが始動します。連結モードを使用しないときは「オフ」を選択してください。

1．カーソルボタン▲ / ▼ で「スタック」メニューの「スタックモード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと「スタックモード」ダイアログが表示されます。
2．カーソルボタン▲ / ▼でダイアログの「メイン」、「サブ」または「オフ」を選択して下さい。
オフ：連結モードを終了します。
メイン：プロジェクターをメイン機に設定します。
サブ：プロジェクターをサブ機に設定します。
3．カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください

〈お知らせ〉

● 「スタックモード」の設定は、Web コントロール画面 (📖**3-27**) からも確認できます。「プロジェクター Web コントロール」-「プロジェクター状態」を選択し、「スタックモード」を確認してください。本項目は、スタックモードが「メイン」または「サブ」に設定されている時だけ表示されます。



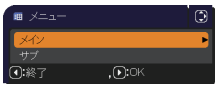
ランプモードを選択する

同時点灯モードまたは交互点灯モードを選択します。

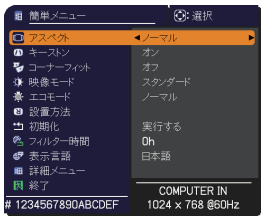
1．カーソルボタン▲ / ▼で「スタック」メニューの「ランプモード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと「ランプモード」ダイアログが表示されます。
2．カーソルボタン▲ / ▼で「同時点灯」または「交互点灯」を選択してください。
同時点灯： 2 台のプロジェクターを同時にランプ点灯します。
交互点灯： 2 台のプロジェクターを交互にランプ点灯します。
3．カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。

〈お知らせ〉

- 「同時点灯」が選択された場合、プロジェクターの操作パネルまたはリモコンのボタンが押されると、「メイン」と「サブ」を選択する画面が表示されます。以下の例のように操作したいプロジェクターを選択してください。
  - **MENU** ボタンを押すと、「メイン」と「サブ」を選択する画面が表示されます。「メイン」を選択すると、メイン機の「簡単メニュー」または「詳細メニュー」が表示されます。
  - **GEOMETRY**、**FOCUS+ / -**、**ZOOM**、**ZOOM+ / -**、**LENS SHIFT** ボタンのどれかを押すと、「メイン」または「サブ」を選択するメニューが表示されます。「メイン」を選択するとメイン機の各メニューまたはダイアログが表示されます。
  - **ENTER** ボタンを 3 秒押すと、「メイン」または「サブ」を選択するメニューが表示されます。「メイン」を選択するとメイン機の「ステータスモニター」を操作することができます。
- 「ランプモード」で「同時点灯」が選択された場合、以下のような動作の制限があります。
  - メイン機、サブ機共、オートパワーオフ機能と映像の静止機能が無効になります
  - ランプ点灯が完了するまでの所要時間が長くなります。
- 「同時点灯」が選択された場合、OSD が表示されているときに画面が暗くなることがあります。
- PbyP、PinP 表示時、メニューなどの OSD を表示させると、一方のプロジェクターが黒表示となるため、画面が暗くなることがあります。



「メイン」および
「サブ」の選択画面



メイン機のメニュー画面

- 「ランプモード」を「同時点灯」に設定するときは、メイン機とサブ機の画面を合わせるため、以下の通り設定を変更してください。
  - 「初期画面」と「テンプレート」の設定を同じ設定にする。
  - マイスクリーン (📖**2-25**) に同じ画面を登録する。
  - 同じマイ イメージ (📖**3-63**)、および同じメッセンジャーテキスト (📖**3-64**) を登録する。

「メイン」および
「サブ」の選択画面

メイン機のメニュー画面

- 「ランプモード」を「同時点灯」に設定するときは、画面の位置がずれて画質が劣化する場合があります。画面の位置を調節する前に、「設置」メニューの「設置方法」(📖**2-21**) を設定してください。
- 「交互点灯」が選択された場合、ランプが点灯中のプロジェクターに何らかのエラーが発生し、ランプが消灯されたときに、自動的にもう片方のランプが点灯するようになります（フェールセーフ機能）。しかし、RS-232C ケーブルが接続されていない、または AC 電源が供給されていない場合は、もう片方のプロジェクターのランプは点灯されません。
- 2 台のプロジェクターの「暗証コードロック」または「状態監視」が有効に設定されている場合、交互点灯が選択されていても、はじめは両方のプロジェクターのランプを点灯させます。両方のプロジェクターに正しい暗証コードを入力すると、片方のプロジェクターがランプ消灯し、1 台だけ点灯した状態になります。
- 連結モードでは、重ねて使用する場合にサブ機のインジケータが見えにくくなるため、メイン機のインジケータ表示が通常と異なる動作になります。メイン機とサブ機の両方がスタンバイ状態の場合、リモコンの ON ボタンまたはメイン機の STANDBY/ON ボタンが押されると、メイン機が「スタックモード」の設定によりどちらのプロジェクターを点灯させるかを決めます。
  - メイン機の POWER インジケータが緑色に点滅してる間は、メイン機がどちらのプロジェクターを点灯させるか決めます。
  - メイン機のランプを点灯させた場合、メイン機の POWER インジケータは通常状態であれば緑色に点灯したままです。
  - サブ機のランプを点灯させた場合、メイン機の POWER インジケータは橙色に点灯します。
  - メイン機でエラーが起きた場合には、メイン機の POWER インジケータは赤色に点滅します。

交互点灯モードを選択する

「ランプモード」で「交互点灯」(📖**2-65**) を選択した場合、「交互点灯モード」の「オート」または「ノーマル」を選択してください。

1．カーソルボタン▲ / ▼で「スタック」メニューの「交互点灯モード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと「交互点灯モード」ダイアログが表示されます。

2．カーソルボタン▲ / ▼でダイアログの「オート」または「ノーマル」を選択して下さい。
オート：ランプの使用時間が短い方を点灯させます。
ノーマル：前回点灯していなかった方を点灯させます。

3．カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。

〈お知らせ〉

- 「交互点灯モード」ダイアログは「ランプモード」ダイアログで「交互点灯」が選択されている場合にメイン機において操作することができます。
- 「オート」に設定しても、本機の画質や信頼性を維持するため、ランプ使用時間の長い方が点灯する場合があります。

サブ機の入力信号を選択する

1．カーソルボタン▲ / ▼で「スタック」メニューの「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと「サブ入力チャンネル」ダイアログが表示されます。

2．カーソルボタン▲ / ▼でダイアログの「連動」または「固定（COMPUTER IN）」を選択して下さい。
連動：メイン機と連動して、メイン機と同じ入力端子に切り替えます。
固定（COMPUTER IN）：**COMPUTER IN** 端子からの入力に固定されます。**COMPUTER IN** 端子には、メイン機の **MONITOR OUT** 端子からの入力を接続してください。

3．カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。

〈お知らせ〉

- PbyP/PinP モード使用の場合、「サブ入力チャンネル」は「連動」に設定されます。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN）」に設定すると、メイン機の、COMPUTER IN 端子からの映像信号しか選択できなくなります。連結モードで使用中は、リモコンの入力端子を切り替えるボタン、またはメイン機の INPUT ボタンを押すと、映像入力信号を選択するダイアログが表示されます。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN）」に設定する場合は、メイン機の COMPUTER IN 端子に映像信号を入力し、メイン機の MONITOR OUT 端子とサブ機の COMPUTER IN 端子を接続してください。メイン機に入力された信号は、メイン機の MONITOR OUT 端子から出力され、サブ機の COMPUTER IN 端子に入力されます。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN）」に設定すると、メイン機の COMPUTER IN 端子（とサブ機の COMPUTER IN 端子）にビデオ信号を入力できるようになります。COMPUTER IN 端子にビデオ信号を入力する場合は、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(📖**2-16**) および「COMPUTER- イン」(📖**2-17**) でビデオ信号について設定してください。

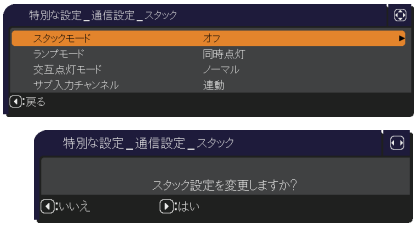
連結モードのメニューを終了する

連結モードのメニュー操作を終了する前に、「スタック」メニューの全ての設定を確認して下さい。「スタック」メニュー内の各ダイアログは、カーソルボタン◀を押して「スタック」メニューへ戻ることができます。以下を参考に連結モードのメニュー操作を終了してください。

「スタック」メニュー

各設定を変更した後にカーソルボタン◀（「戻る」機能として動作）を押すと、確認ダイアログが表示されます。

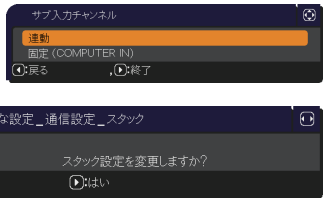
- カーソルボタン▶（「はい」機能として動作）を押すと、設定を保存し、ダイアログを閉じます。設定が更新される間、一旦黒画面になります。しばらくお待ちください。
- カーソルボタン◀（「いいえ」機能として動作）を押すと、設定を保存せずに「通信設定」(📖**2-38**) へ戻ります。



「スタック」メニューより呼び出されたダイアログ

各設定を変更した後にカーソルボタン▶（終了機能として動作）を押すと、確認ダイアログが表示されます。

- カーソルボタン▶（「はい」機能として動作）を押すと、設定を保存し、ダイアログを閉じます。設定が更新される間、一旦黒画面になります。しばらくお待ちください。
- カーソルボタン◀（「いいえ」機能として動作）を押すと、設定を保存せずにダイアログを閉じます。



連結モードの重要なお知らせ

ここではメイン機およびサブ機を設定するにあたり、メニュー操作の説明以外の重要な情報を記載しています。よくお読みになり、連結モードをご使用ください。

- 連結モードでご使用になるには、片方のプロジェクターをメイン機に設定し、他方のプロジェクターをサブ機に設定する必要があります。
- 連結モード設定が完了すると、サブ機は、操作パネルの **STANDBY/ON** ボタン以外は直接操作できなくなります。サブ機の操作はメイン機の操作パネルを使用して行います。リモコンもメイン機に向けて操作してください。
- サブ機の操作パネルの **STANDBY/ON** ボタンでは、メイン機、サブ機共点灯させることはできません。また、サブ機の操作パネルの **STANDBY/ON** ボタンでランプを消灯させるには、3 秒以上押し続けてください。本操作により、メイン機、サブ機ともにランプを消灯します。
- メイン機はリモコンで操作することができますが、サブ機はリモコンで操作できないため、リモコンはメイン機に向けて操作してください。
- 各ステータスモニターは、メイン機およびサブ機それぞれの操作パネルから操作することができます。点灯中のプロジェクターのモニターのみ、リモコンで操作することができます。
- 有線リモコンをご使用になる場合は、メイン機にケーブルを接続してください。
- 連結モードでご使用になる場合は、「オートサーチ」(📖**2-29**) 機能は無効になります。
- サブ機をネットワークに接続しても、Web コントロールでサブ機の電源を入れることはできません。また、Web コントロールのリモートコントロール (📖**3-50**) でサブ機は操作できません。
- メッセンジャー機能（📖**3-64**）で、優先度の高いテキストデータを、強制的に電源を入れて表示しようとすると、連結モードが強制解除され、メッセンジャーテキストを表示します。もう一度連結モードに設定するには、「スタックモード」でメイン機を「メイン」に設定し直すか、いったん 2 台共電源を切って、電源を入れ直してください。
- 連結モード設定が完了すると、以下の設定・操作が共通になります。
  - AV ミュート機能、および画面の拡大機能
  - 「アスペクト」(📖**2-12**)、「オーバースキャン」(📖**2-13**)、「COMPUTER- イン」(📖**2-17**)、「OSD メッセージ」(📖**2-22**)、「マイボタン」(📖**2-31**)、「テンプレート」(📖**2-27**)、「レンズシェード」(📖**1-59**)、「シェードタイマー」(📖**2-30**)、「2 画面表示」(📖**2-50 ～ 53**)
- 連結モード設定が完了すると、以下の機能は無効になります。
  - 「スタンバイモード」(📖**2-21**)
  - 「オートサーチ」(📖**2-29**)
  - 「ダイレクトパワーオン」(📖**2-30**)
  - 「オートパワーオフ」(📖**2-30**)
  - 「通信タイプ」(📖**2-38**)
  - 「チャンネルスキップ」(📖**2-29**)
- 連結モードでは、**LAN** 端子からの映像信号を選択できません。
- PbyP/PinP モードを使用している場合、「サブ入力チャンネル」（📖**2-67**）は「連動」に設定されます。
- 連結モードで使用中に、何らかのエラーが起きると、アイコン付のメッセージが画面に表示されます。
  このメッセージは、約 20 秒間何もボタン操作が無ければ、小さなアイコンダイアログに変化します。アイコンダイアログが表示されているときにカーソルボタン◀を押すと、元のメッセージダイアログが表示されます。
  アイコンに添えられた番号、「1」はメイン機、「2」はサブ機を示します。
  メッセージが表示されたら、次ページの表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。

大きいダイアログ

小さい
ダイアログ

（次ページにつづく）

メッセージ	説　明
カバーエラー :終了	ランプカバーがきちんと装着されていません。ランプカバーを装着し直してください。
ランプエラー :終了	ランプが点灯しません。 ランプおよび本機内部が高温になっている可能性があります。
ファンエラー :終了	冷却ファンが動作していません。
温度エラー :終了	本機内部が高温になっています。
エアフローエラー :終了	本機内部の温度が上がっています。 通風口の周囲に障害物がないか確認し、エアーフィルターをお手入れしてください。
フィルターエラー :終了	エアーフィルターの使用時間が「フィルター掃除通知」（📖**2-20**）での通知設定時間を超えました。
低温エラー :終了	本機の内部温度が低すぎます。
シェードエラー :終了	レンズシェードが動作していません。
レンズシフトエラー :終了	レンズシフトが動作していません。
電源瞬断エラー :終了	電源供給が瞬間的に遮断されました。
その他のエラー :終了	上記以外のエラー。

- 何らかの理由でプロジェクターの電源ケーブルを抜く、あるいはテーブルタップのスイッチなどで電源を切るときは、次に電源を入れたときに正しく連結モードで起動させるため、片方だけでなく、2 台両方の電源を切ってください。
- 2 台のプロジェクターにセキュリティ（暗証コードロック機能（📖**2-44**））が設定されている場合、メイン機のパスワードまたは暗証コードを入力した後にサブ機のパスワードまたは暗証コードを入力してください。
- 片方のプロジェクターにのみセキュリティ（暗証コードロック機能（📖**2-44**））が設定されている場合、セキュリティを設定しているプロジェクターのパスワードまたは暗証コードを入力してください。

ケーブルを接続する

2 台のプロジェクターの画面を重ねるためには、メイン機とサブ機に同じ信号を入力する必要があります。ここでは信号の入力方法について説明します。必要に応じて方法を選択してください。

〈お知らせ〉

- 単体モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機の設定がないため、以下ではメイン機を片方のプロジェクター、サブ機を他方のプロジェクターとしてお読みください。
- プロジェクターへのケーブルの接続については「他の機器と接続する」(📖**1-22 ～ 31**) を、入出力端子の仕様については「入出力信号端子」(📖**4-6 ～ 11**) をご参照ください。

RS-232C ケーブルを接続する

連結モードでご使用になる場合、2 台のプロジェクターの **CONTROL** 端子を RS-232C（クロス）ケーブルで接続してください(📖**2-59**)。単体モードでご使用の場合はこの接続は必要ありません。

〈お知らせ〉

- 連結モードで使用中にメイン機とサブ機を接続する RS-232C ケーブルが外れてしまうと、自動的に単体モードに切り替わります。再度連結モードに設定するには、ケーブルを外したまま 10 秒以上置いてから、いったん 2 台の電源を切って冷まし、再度 RS-232C ケーブルを接続して電源を入れてください。

信号ケーブルを接続する

サブ機へ信号を入力するには、下記 2 つの方法があります。
- メイン機の **MONITOR OUT** 端子からサブ機へ信号を入力する。
- 2 台にそれぞれ同じ信号を入力する。

メイン機からサブ機へ信号を入力する

1. メイン機の **MONITOR OUT** 端子とサブ機の **COMPUTER IN** 端子を、ケーブルで接続してください。

2. 映像信号を出力する外部機器を、メイン機の入力端子のいずれかに接続してください。

〈お知らせ〉

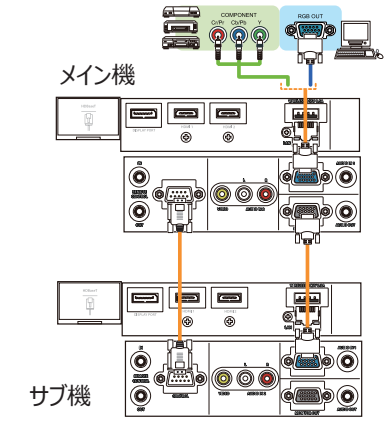
連結モードの場合

●連結モードでは、メイン機の **COMPUTER IN** 端子のみ入力端子として使用できます。他の端子は映像信号入力端子としては使用できません。
- コンポーネントビデオ信号を **COMPUTER IN** 端子に入力することができます。
- ビデオ信号は、**COMPUTER IN** の Y 端子に入力してください。

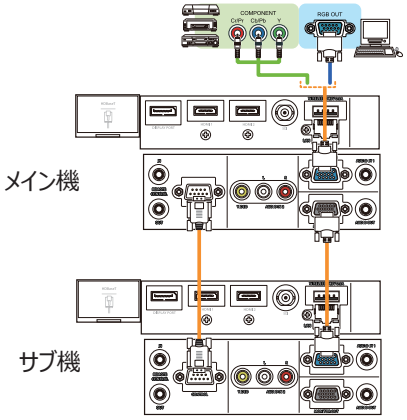
単体モードの場合

● MONITOR OUT 端子からは COMPUTER IN 端子から入力された映像信号のみ出力できます。他の入力端子を使用する場合は、2 台のプロジェクターにそれぞれ映像信号を入力してください。

MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/
MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ



MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ



連結モードの接続例

メイン機とサブ機へそれぞれ信号を入力する

1. 信号分配器などを使用して映像機器の出力信号を 2 つに分配してください。

2. 映像機器の出力をメイン機およびサブ機の同じ入力端子へ接続して下さい。

〈お知らせ〉

連結モードの場合

●連結モードでは、LAN 端子をメイン機の入力端子として使用することはできません。

単体モードの場合

●全ての入力端子を使用することができます。2 台のプロジェクターに同じ信号を入力してください。

メニューを使って入力端子の設定をする

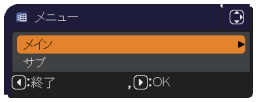
メニュー操作の準備

単体モードでご使用になる場合、リモコンの入力端子を選択するボタンまたは操作パネルの **INPUT** ボタンを押すと、ケーブルを接続する端子を選択することができます。
単体モードをご使用の場合の設定は終了です。
連結モードでご使用になる場合、連結モードのメニュー操作に関する全ての設定と変更はメイン機で行ってください。メイン機は連結モードの入力設定に従って動作します。

メイン機の動作状態を確認する

連結モードでご使用になる場合、連結モードのメニュー操作に関する全ての設定と変更はメイン機で行ってください。連結モードのメニューを操作する前に、メイン機が動作していることを確認してください。

1. リモコンの **MENU** ボタンを押してください。
2. 右図のようなメニューダイアログが現れた場合は、2 台のプロジェクターには「同時点灯」モードが設定されています。「メニューを設定する」(📖**2-74**) へ進んでください。

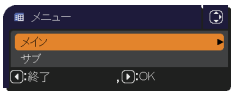


3. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」 –「通信設定」 –「スタック」(📖**2-39**)
「スタック」メニューが表示されます。
4. 「スタック」メニューで「スタックモード」の設定を確認して下さい。
-「メイン」が表示されれば、メイン機として動作しています。
「メニューを設定する」(📖**2-74**) へ進んでください。
-「サブ」が表示されれば、メイン機は電源が切れており、サブ機が動作しています。

メニューを設定する

連結モードでご使用になる場合は、以下をお読みください。
メイン機を経由してサブ機へ映像信号を入力する場合、コンピューター信号とビデオ信号（コンポーネントビデオ信号またはビデオ信号）の場合で操作が異なります。

メイン機からサブ機へ映像信号を入力する - コンピューター信号



1. 「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順 3 へ進んでください。
   表示されていない場合はリモコンの **MENU** ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼ で「メイン」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。

2. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。
   「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」 – 「通信設定」 – 「スタック」(📖**2-39**)
   「スタック」メニューが表示されます。

3. カーソルボタン▲ / ▼で「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して「サブ入力チャンネル」ダイアログを表示させてください。

4. カーソルボタン▲ / ▼で「固定（COMPUTER IN）」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了してください。

5. リモコンの入力端子を選択するボタンか、またはメイン機の **INPUT** ボタンを押すと、「メイン入力チャンネル」ダイアログが表示されます。
   カーソルボタン▲ / ▼で信号を入力する端子を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。

MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/
MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ

MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ

〈お知らせ〉

- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN）」に設定すると、**COMPUTER IN** 端子からの映像信号しか選択できなくなります。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定（COMPUTER IN）」に設定すると、リモコンの入力端子を選択するボタン、またはメイン機の **INPUT** ボタンが押された場合、入力信号を選択するダイアログが表示されます。

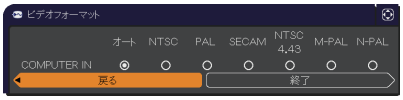
メイン機からサブ機へ映像信号を入力する
- ビデオ信号（コンポーネントビデオ信号またはビデオ信号）

1. 「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順 3 へ進んでください。表示されていない場合はリモコンの **MENU** ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼ で「メイン」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。

2. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「COMPUTER- イン」(📖**2-17**)
   ダイアログを表示させてください。

3. **COMPUTER IN** 端子へコンポーネントビデオ信号を入力する場合は、「オート」に設定してください。その後で、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「終了」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。
   COMPUTER IN 端子へビデオ信号を入力する場合は、「VIDEO」に設定してください。ビデオフォーマットを設定する必要がある場合は、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「戻る」を選択し、カーソルボタン◀を押して「入力」メニューを表示させてください。ビデオフォーマットを設定する必要がなければ、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「終了」を選択し、カーソルボタン ▶を押して設定を終了させてください。

4. 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」を選択するため、「ビデオフォーマット」ダイアログを表示させてください。
   「オート」または入力するビデオ信号に適切なフォーマットを選択してください。
   その後、カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で「終了」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。



メイン機とサブ機へそれぞれ信号を入力する

1. 「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順 3 へ進んでください。表示されていない場合はリモコンの **MENU** ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼ で「メイン」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。

2. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」 – 「通信設定」 – 「スタック」(📖**2-39**)
「スタック」メニューが表示されます。

3. カーソルボタン▲ / ▼で「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して「サブ入力チャンネル」ダイアログを表示させてください。

4. カーソルボタン▲ / ▼で「連動」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了してください。

5. リモコンの入力端子を選択するボタンまたはメイン機の **INPUT** ボタンを押すと、「メイン入力チャンネル」ダイアログが表示されます。
カーソルボタン▲ / ▼で信号を入力する端子を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了させてください。

MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/
MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ

MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ

〈お知らせ〉

- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、メイン機またはサブ機の入力端子はもう片方のプロジェクターと同じ端子に自動的に設定されます。
- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、LAN 端子は選択できません。
- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、リモコンの入力端子を選択するボタン、またはメイン機の INPUT ボタンが押されると、入力信号を選択するダイアログが表示されます。

スケジュール機能の制限について

連結モードで使用中は、以下のように Web コントロールで登録、実行するスケジュール機能が、一部制限を受けます。コマンドの内容については、「スケジュール設定」(📖**3-32 ～ 34**) をご参照ください。単体モードの場合、制限はありません。
連結モードおよび単体モードのどちらをご使用の場合でも、使用前にスケジュール設定をご確認ください。
スタック機能を使用することで設定が変更されていることがあります。
連結モードに関する制限については下表をご覧ください。単体モードをご使用の場合は、本章を読んでいただく必要はありません。

メイン機の制限

機能	電源状態	メイン機	オン	オフ
		サブ機	オン	オフ
電源　オン			1	1
電源　オフ			1	1
入力ソース			2	2
マイ イメージ			1	3
メッセンジャー			1	3
ブランク			1	3
エコ			1	1

サブ機の制限

機能	電源状態	メイン機	オン	オフ
		サブ機	オン	オフ
電源　オン			4	4
電源　オフ			1	1
入力ソース			2	2
マイ イメージ			1	3
メッセンジャー			1	3
ブランク			1	3
エコ			1	1

1: 連結モード動作中でもメニューおよび Web コントロールで登録、実行することができます。
2: スケジュール機能によって切り替える端子が選択可能であれば、スケジュールは実行されます。選択不可である場合はスケジュールは実行されません。
3: 本機のランプがオフのときは、マイ イメージおよびメッセンジャーは実行されません。
4: 連結モード動作中は、メニューおよび Web コントロールでの登録も実行もできません。

〈お知らせ〉

- スケジュールが実行できなかった場合は、エラーの自動通知が設定されていれば、スケジュール実行エラーが通知されます(📖**3-65**)。
- メイン機で電源オンのコマンドが実行されると、「ランプモード」(📖**2-20**) の設定に従って 2 台とも、あるいはどちらかのみの電源が入ります。
- どちらかのプロジェクターのメニュー画面を表示していると、もう片方のプロジェクターでは、マイ イメージ、およびメッセンジャーのコマンドは実行されません。
- 表中の「電源オフ」は、連結モードの設定に従って、リモコンの STANDBY ボタンまたはメイン機の STANDBY/ON ボタンを押したときにランプを消灯してスタンバイ状態になることを示します。
- 連結モードではサブ機のスケジュール機能を使って電源オンすることはできません。必要であればメイン機のスケジュールに電源オンのイベントを登録してください。

故障かなと思ったら

以下のような現象は故障ではない場合があります。
修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。
処置後も現象が改善しない場合は販売店または「お客様ご相談窓口」(📖**5-2**) にご相談ください。

故障と間違いやすい現象

現象	確認内容	参照頁
連結モードが正しく動作しない	メイン機およびサブ機の電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。 連結モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機の両方に電源を供給する必要があります。どちらか片方にしか電源が供給されていない場合、連結モードは動作しません。	📖**1-36**
	メイン機およびサブ機に RS-232C ケーブルは正しく接続されていますか？ RS-232C ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。 連結モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機を RS-232C クロスケーブルで接続する必要があります。RS-232C ケーブルが接続されていない場合、メイン機はサブ機を制御できません。	📖**2-59**
	連結モードのメニュー設定は正しくされていますか？ メイン機とサブ機の「スタック」メニューの設定を確認してください。 連結モードでご使用になる場合、片方のプロジェクターをメイン機に設定し、もう片方をサブ機に設定する必要があります。	📖**2-64**
	信号ケーブルが正しく接続されていますか？ ケーブルの接続、およびメニューの端子設定が正しくされているかを確認してください。	📖**2-71 ～ 76**
メイン機とサブ機が同時に動作しない	メイン機およびサブ機に RS-232C ケーブルは正しく接続されていますか？ RS-232C ケーブルを正しく接続し、メイン機の電源を再度入れてください。	📖**2-59**
「スタック」メニューが選択できない	メイン機およびサブ機に連結モードの設定はされていますか？ メイン機およびサブ機において、以下の設定を確認してください。 -「設置」メニューの「スタンバイモード」(📖**2-21**) を「通常」に設定する。 -「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「通信タイプ」(📖**2-38**) を「オフ」に設定する。 -「セキュリティ」メニューの「スタックロック」(📖**2-48**) を「オフ」に設定する。	📖**2-21, 38, 48**
リモコンを使ってプロジェクターを操作できない	サブ機に向けてリモコン操作をしていませんか？ 連結モードでは、メイン機のみリモコン信号受信が可能です。リモコンを使用する場合はメイン機に向けて使用してください。	📖**2-69**
2 台のプロジェクターの画像のフォーカス（焦点）が合わない、またはうまく重ならない	2 台のプロジェクターの画像が正しく重なっていません。 画面のサイズ（ズーム）とフォーカス、画面の位置（レンズシフト）を調節してください。 必要であれば「コーナーフィット」および「キーストン」を調節してください。	📖**1-49** 📖**1-53, 54**
微調整をしても 2 台のプロジェクターからの画像が重ならない	2 台の画像の調節で異なっている点はありませんか？ 問題解決のために以下の方法を試してみてください。 - リモコンの **AUTO** ボタンを押すか、それぞれのプロジェクターで「オートアジャスト実行」を行い、画面の自動調整をしてください。 - それぞれのプロジェクターの「垂直位置」および「水平位置」を調節してください。 -「入力」メニューの「解像度」を確認し、メイン機とサブ機で異なっている場合は同じ設定にしてください。	📖**2-14** 📖**2-13** 📖**2-18**

取扱説明書

プロジェクター

MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ
MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ
MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ

（形名：MC-WU8701W/MC-WU8701B/MC-WU8601W/MC-WU8601B/
MC-WX8751W/MC-WX8751B/MC-WX8651W/MC-WX8651B/
MC-X8801W/MC-X8801B）

【ネットワーク編】

本製品のネットワーク機能について説明します。

⚠ 警 告

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

はじめに …… **3 - 2**
使用上のご注意 …… 3 - 2
ネットワーク機能の概要 …… 3 - 3
ネットワークへの接続 …… **3 - 6**
必要なシステム環境について …… 3 - 6
ネットワーク接続手順 …… 3 - 7
アプリケーション …… 3 - 13
ネットワークメニュー …… **3 - 15**
Web コントロール …… **3 - 27**
プロジェクター Web コントロール …… 3 - 29
Crestron e-Control® …… 3 - 53
ネットワークプレゼンテーション …… **3 - 60**
マイ イメージ …… **3 - 63**
メッセンジャー …… **3 - 64**
ネットワークブリッジ …… **3 - 67**
その他の機能 …… **3 - 70**
ネットワークからのコマンド制御 …… **3 - 77**
トラブルシューティング …… **3 - 82**

はじめに

使用上のご注意 ＜必ずお読みください＞

⚠ 警 告

高温注意

●高温に注意する
別売品の USB ワイヤレスアダプターは、使用中高温になる場合があり、触れるとやけどの原因となることがあります。USB ワイヤレスアダプターを使用する場合は、**WIRELESS** 端子に直接接続し、アダプターカバーを必ず取り付けてください。
本機を電源に接続した状態で、USB ワイヤレスアダプターを抜き差ししないでください。

⚠ 注 意

● USB ワイヤレスアダプターは、所定のものを使用する
USB ワイヤレスアダプターは、型名（USB-WL-11N）を販売店に指定してご購入ください。

● LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談する
ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、**LAN** 端子に接続しないでください。
▶公衆回線に接続する場合は、必ず電気通信事業法認定のルータ等に接続してください。
▶ネットワークをご使用になるには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。 誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

お守りください

●無線 LAN で通信を行う場合は、SSID、暗号化などのセキュリティ対策をしてください。セキュリティ対策をしない場合、通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されるなどの問題が発生する可能性があります。無線 LAN に関するセキュリティについては、「ネットワーク設定」（📖**3-31**）および【応用編】「ネットワークメニュー」の「無線 LAN 設定」（📖**3-17 ～ 22**）をご参照ください。
●無線 LAN で通信を行う場合は、Wi-Fi 認定の無線 LAN モジュール、アダプターなどをご使用ください。

別売品の IEEE802.11b/g/n 対応 USB ワイヤレスアダプターは、2.4GHz 帯域の電波を使用します。特に無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容をご理解のうえご使用ください。

●下記の機器、施設の近くでは使用しないでください。
・電子レンジ
・産業・科学・医療機器
・特定小電力無線局
・構内無線局
電波の干渉により、通信速度が遅くなったり通信できなくなる可能性があります。

●お使いになる場所によっては電波の状態が悪くなり、通信速度が遅くなったり通信できなくなることがあります。特に鉄筋、金属、コンクリートなどは電波を通さないため、ご利用の際はご注意ください。

● USB ワイヤレスアダプターが国内で使用できる 2.4GHz 帯域のチャンネル（実際の周波数範囲を複数に分けたもの）は、1 ～ 11 です。

● USB ワイヤレスアダプターは、国外に持ち出すとその国の電波法に抵触する恐れがあります。

ネットワーク機能の概要

ネットワーク機能の概要について説明します。

Web コントロール

ネットワークで接続したコンピュータの Web ブラウザを使用して、本機を制御したり、各種設定の確認や変更をすることが出来ます。
" プロジェクター Web コントロール " および "Crestron e-Control" の 2 つのインタフェースを使用できます（📖3-27）。

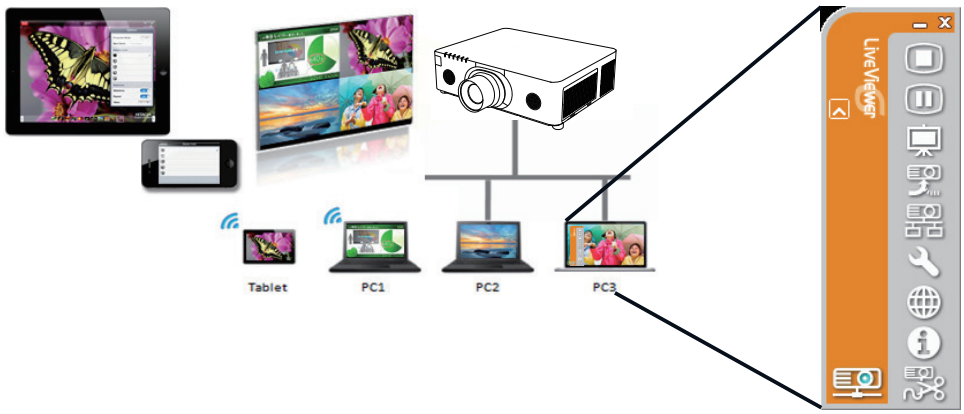
プロジェクター Web コントロール

Crestron e-Control

ネットワークプレゼンテーション

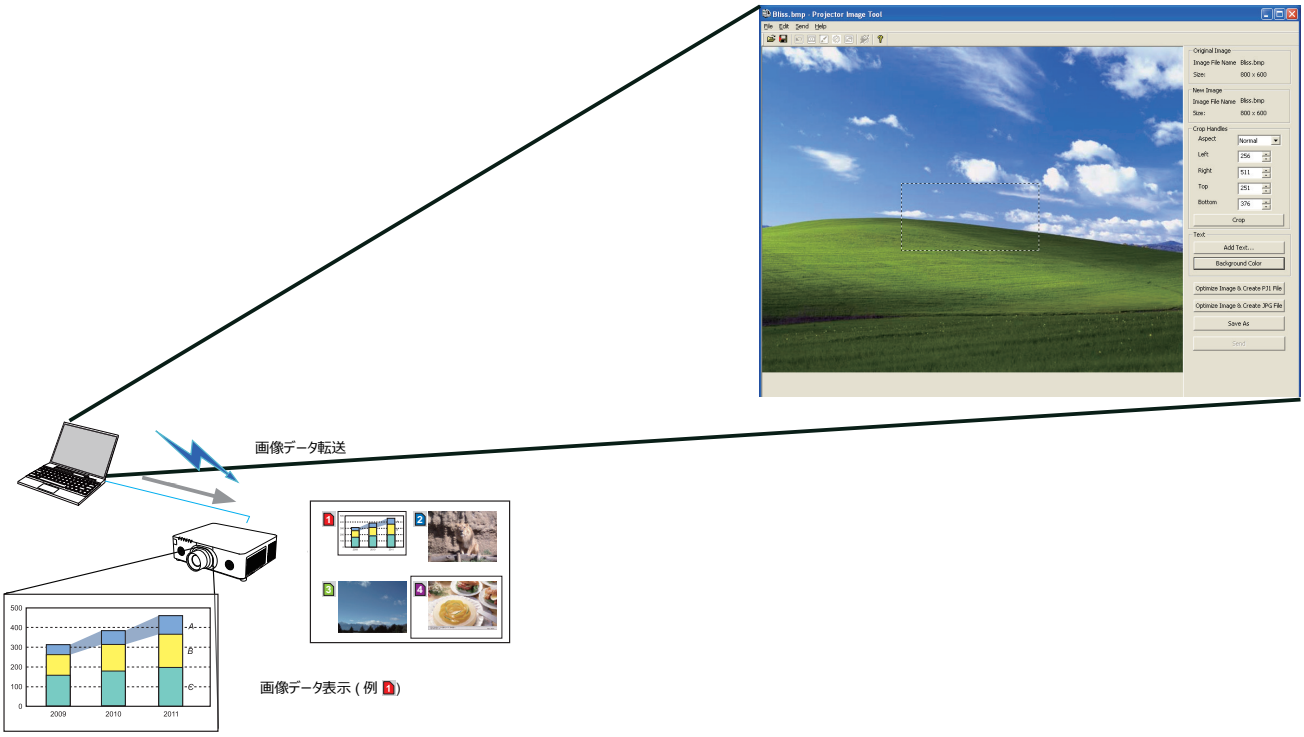
コンピュータの画面や音声をネットワーク経由で本機に転送し、表示または再生することができます。
ネットワークプレゼンテーション機能を使用するには、以下の専用アプリケーションが必要です。

OS	アプリケーション
Windows®	LiveViewer
Mac OS X®	LiveViewer
iOS(iPhone/iPad)	Projector Quick Connection
Android	Projector Quick Connection



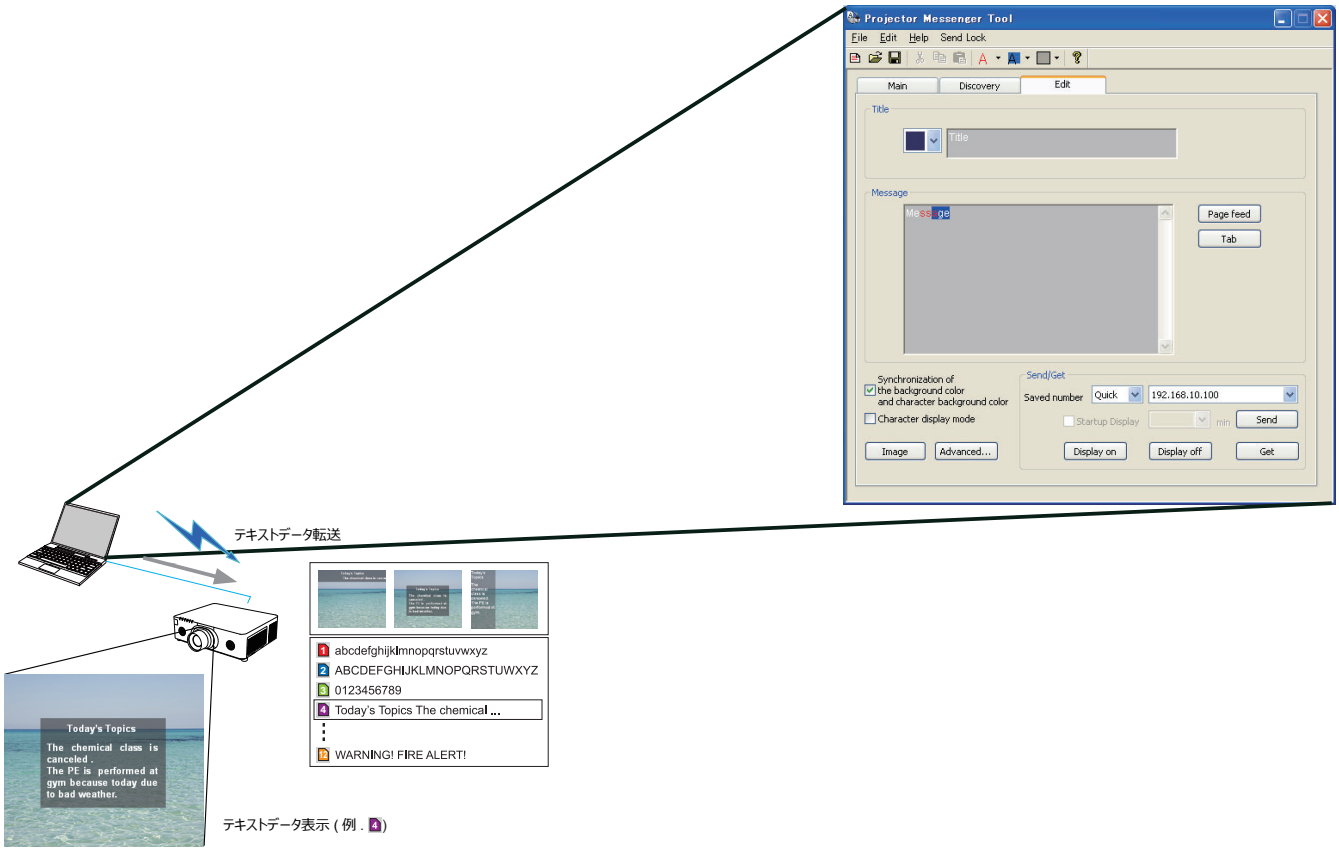
マイ イメージ

コンピュータからネットワーク経由で静止画像（マイ イメージ）を本機に転送し、表示することができます。
最大 4 つの画像データを本機に転送、登録することができます。
マイ イメージの転送には、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。



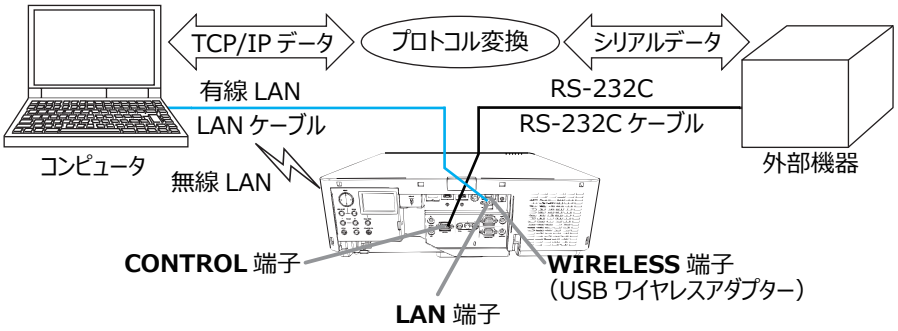
メッセンジャー

テキストデータをネットワーク経由で本機に転送し、表示させることができます。また、音声データを本機内部で再生することができます。本機には最大 12 個のテキストデータを登録することができます。



ネットワークブリッジ

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインタフェースの相互変換を行うネットワークブリッジ機能に対応しています。
ネットワークブリッジ機能を使うと、本機と RS-232C 通信で接続した外部機器を、本機とネットワーク（有線 / 無線 LAN）で接続したコンピュータから、ネットワーク端末と同様に制御することができます。



その他の機能

電子メール機能による自動通知

本機にメンテナンスが必要な場合やエラーが発生したとき、指定したメールアドレスに自動的に警告メッセージを送信させることができます（📖**3-70, 71**）。

SNMP によるプロジェクター管理

SNMP (Simple Network Management Protocol) により、本機のエラー / 警告情報をネットワークに接続されたコンピュータから管理することができます。本機能を使用するには、SNMP マネージャがコンピュータにインストールされている必要があります（📖**3-72, 73**）。

スケジュール設定

スケジュール機能により電源オン / オフなどのイベントを設定することができ、本機の " 自己管理 " を可能にします。スケジュールは、プロジェクター Web コントロールまたは本機の「その他」-「スケジュール」メニューで設定することができます（📖**3-74 ～ 76**）。

ネットワークからのコマンド制御

ネットワーク経由で RS-232C コマンドを使用し、本機を操作、設定することができます（📖**3-77 ～ 80**）。

ネットワークへの接続

必要なシステム環境について

本機をネットワークに接続するには、以下のものが必要です。

■プロジェクター（本機）

■コンピュータ

■本機とコンピュータの接続機器

＜有線 LAN を使用する場合＞
LAN ケーブル（CAT-5e 以上）
※ 100Base-TX または 10Base-T に準拠した通信環境が必要です。

＜無線 LAN を使用する場合＞
本機側：IEEE802.11b/g/n 対応 USB ワイヤレスアダプター（別売品：USB-WL-11N）
コンピュータ（ネットワーク）側：IEEE802.11b/g/n 対応無線 LAN アダプター
※ INFRASTRUCTURE モードで使用する場合は、アクセスポイントもご用意ください。

ご使用できる暗号方式は以下の通りです。その他の暗号方式を使用している無線ネットワークには接続できません。

	Simple Access Point モード	Infrastructure モード
WPA2-PSK (AES)	✓	✓
WPA2-PSK (TKIP)	✓	✓
WPA-PSK (AES)	✓	✓
WPA-PSK (TKIP)	✓	✓
WEP 128bit	—	✓
WEP 64bit	—	✓

■ Web ブラウザ

Web コントロールをご利用になるには、コンピュータに Web ブラウザが必要です。

■ アプリケーション

ネットワークプレゼンテーション、マイ イメージ、メッセンジャーの機能をご利用になるには、コンピュータに専用のアプリケーションが必要です（📖**3-13, 14**）。

Mac OS® をご使用の方へ：Mac OS® は一部のアプリケーションには対応しておりません。接続設定を行う前に、
" アプリケーション動作環境 "（📖**3-13, 14**）をご覧ください。

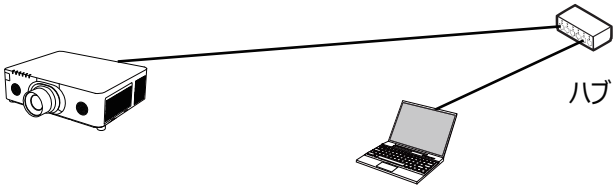
〈お知らせ〉

- コンピュータに無線 LAN 機能が搭載されていても、本機と、一部の無線 LAN モジュールやコンピュータとの間で正常に通信できない場合があります。通信問題の発生を防ぐために、Wi-Fi 認定の無線 LAN モジュール／アダプターをご使用ください。
- ネットワークをご使用になるには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。 誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。
- 「設置」メニューの「スタンバイモード」（📖**2-21**）が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときにネットワーク機能は使用できません。ネットワークに接続する前に、「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。

ネットワーク接続手順

本機を既存のネットワークに接続する時は、ネットワーク管理者に確認の上、プロジェクターの有線 LAN の設定を行ってください。

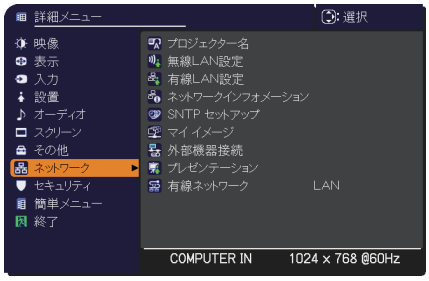
有線 LAN で接続する

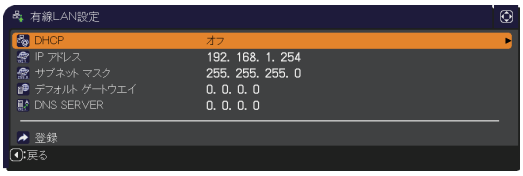


有線 LAN の接続設定

1) LAN ケーブル（CAT-5e 以上）を使用し、ハブを介して本機とコンピュータを接続します。

2) リモコンまたは本機のコントロールパネルの **MENU** ボタンを押します。
前回使用した MENU が表示されます。
カーソルボタンで以下を選択してください。
簡単メニュー ＞ 詳細メニュー ＞
ネットワーク ＞ 有線 LAN 設定





3)「有線 LAN 設定」で以下を設定してください。
・ DHCP
・ IP アドレス
・ サブネットマスク
・ デフォルトゲートウェイ
・ DNS SERVER

IP アドレスの設定に関しては、“IP アドレスについて”（📖**3-8**）をご覧ください。

「登録」を選択し、**ENTER** ボタンを押して設定を反映してください。

[IP アドレスについて]

■手動設定

コンピュータに設定する IP アドレスのネットワーク部分、およびサブネットマスクは、本機と同じとなるようにしてください。ただし、コンピュータの IP アドレス全体が、本機を含む他のネットワーク機器と同じになるようには設定しないでください。

例）本機の有線 LAN 設定が次のようになっている場合。
IP アドレス：192.168.1.254
サブネットマスク：255.255.255.0
このときのネットワークアドレスは、IP アドレスの下線部分、「192.168.1」です。
従って、以下のようにコンピュータの IP アドレスを設定します。
IP アドレス：192.168.1.xxx（xxx の部分は 10 進数）
サブネットマスク：255.255.255.0

IP アドレスの“xxx”部分には、本機を含め、他のネットワーク機器と重複しない 1 ～ 254 の数値（10 進数）を指定します。例の場合、プロジェクターの IP アドレスが 192.168.1.254 に設定されているので、コンピュータには 1 ～ 253 の間の数値を設定します。

■自動設定

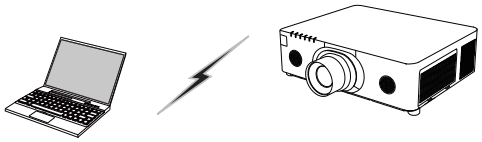
接続しているネットワーク内に DHCP サーバーが存在する場合は、コンピュータとプロジェクターに、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。DHCP サーバーが存在しない場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定してください。

〈お知らせ〉

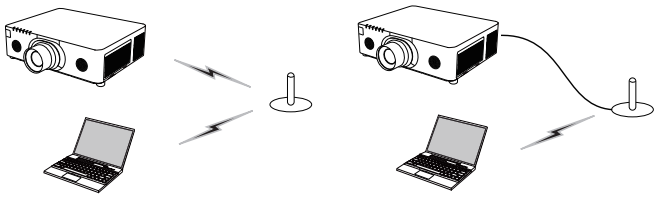
- 工場出荷時は有線 LAN の DHCP 設定が ON に設定されています。IP アドレスをネットワークから自動で取得しない場合は、有線ネットワークの DHCP 設定を OFF に設定し、ネットワーク管理者に確認のうえ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定してください。
- 有線 LAN は **HDBaseT** 端子と **LAN** 端子でご使用になれますが、同時に使用することはできません。ネットワークメニューの有線ネットワークで設定された端子に LAN ケーブルを接続してください。
- 無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。
- 本機とコンピュータを同じネットワークに接続する場合（ネットワークアドレスが同じ場合）は、デフォルトゲートウェイを設定する必要はありませんので、空白のままにしてください。
- 本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルトゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

無線 LAN で接続する

オプション品の USB ワイヤレスアダプター（USB-WL-11N）を接続すると、無線 LAN での接続ができます。
無線 LAN での接続には Simple Access Point 接続と Infrastructure 接続の 2 つがあります。



アクセスポイントを使用しない通信（Simple Access Point）



アクセスポイントを使用する通信（Infrastructure）

* Simple Access Point モードは、コンピュータと直接接続するモードです。本機は、最大 11 台の機器に IP アドレスを割り当てることができます。
* Infrastructure モードは、アクセスポイントを使用して通信する接続モードで、多数の機器を接続する場合に便利です。

〈お知らせ〉

- ネットワークの設定はプロジェクター Web コントロールの " ネットワーク設定 " からも変更することができます。
- 本機の無線 LAN 設定は、工場出荷時、以下のようになっています。
  モード：Simple Access Point
  DHCP: オフ
  IP アドレス：192.168.10.1
  サブネットマスク：255.255.255.0
  デフォルトゲートウェイ：0.0.0.0
  DNS SERVER: 0.0.0.0
  SSID: SimpleAccessPoint ※
  SSID ブロードキャスト：オン
  暗号方式：オフ
  チャンネル：11
  ※ご使用になる前に重複しない SSID に変更してください。
- 無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。
- Simple Access Point モードで使用している場合、接続機器の台数によって、プロジェクターの通信速度が低下することがあります。
- Simple Access Point モードのプロジェクターに接続している機器間でネットワーク通信を行うことはできません。

無線 LAN の接続設定

Simple Access Point で接続する

Simple Access Point でプロジェクターとコンピュータを接続する場合は、以下の設定を行います。

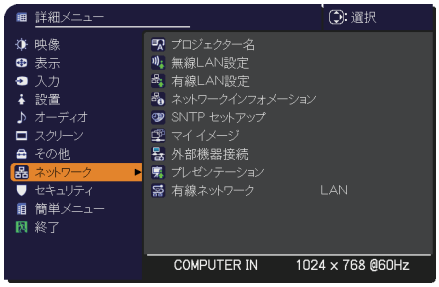
プロジェクターの設定

[USB ワイヤレスアダプターの脱着に関する制限事項]

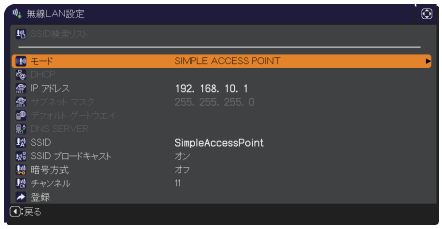
本機で USB ワイヤレスアダプターを脱着する前に、本機の電源をオフにして、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。本機に電源が供給されているとき、本機に接続されている USB ワイヤレスアダプターに触れないでください。

本機に USB ワイヤレスアダプターを接続する場合、延長ケーブルまたは延長器を使用しないでください。

1) USB ワイヤレスアダプターをプロジェクターの **WIRELESS** 端子に接続します。
2) プロジェクターの電源をオンにします。
3) リモコンまたは本機のコントロールパネルの **MENU** ボタンを押します。
   前回使用したメニューが表示されます。
   カーソルボタンで以下を選択してください。
   簡単メニュー ＞ 詳細メニュー ＞ ネットワーク ＞ 無線 LAN 設定



4)「無線 LAN 設定」で以下を設定してください。
   ・モード : SIMPLE ACCESS POINT
   ・IP アドレス
   ・SSID
   ・SSID ブロードキャスト
   ・暗号方式
   ・チャンネル



「登録」を選択し、**ENTER** ボタンを押して設定を反映してください。

ネットワーク設定について
・プロジェクターの IP アドレスの第 4 オクテットは 1 に固定されています。
・プロジェクターのサブネットマスクは 255.255.255.0 に固定されています。

コンピュータの設定

1) プロジェクターの DHCP サーバー機能は常に有効です。コンピュータの DHCP 機能を有効に設定してください。
2) コンピュータの無線接続手順に従い、プロジェクターに設定した SSID を選択します。 暗号の設定をしている場合は、コンピュータの指示に従い、暗号キーを入力してください。

〈お知らせ〉

●コンピュータのネットワーク設定手順および無線接続手順については、コンピュータまたは無線 LAN デバイスのマニュアルを参照してください。

Infrastructure で接続する

Infrastructure でプロジェクターをアクセスポイントへ接続する場合は、以下の設定を行います。

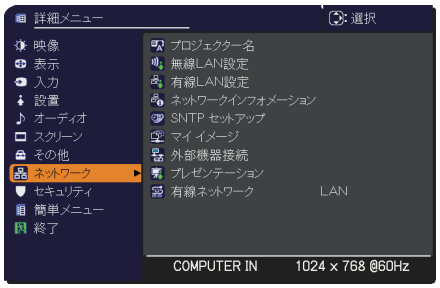
プロジェクターの設定

[USB ワイヤレスアダプターの脱着に関する制限事項]

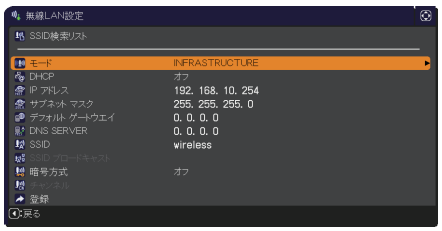
本機で USB ワイヤレスアダプターを脱着する前に、本機の電源をオフにして、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。本機に電源が供給されているとき、本機に接続されている USB ワイヤレスアダプターに触れないでください。

本機に USB ワイヤレスアダプターを接続する場合、延長ケーブルまたは延長器を使用しないでください。

1) USB ワイヤレスアダプターをプロジェクターの **WIRELESS** 端子に接続します。
2) プロジェクターの電源をオンにします。
3) リモコンまたは本機のコントロールパネルの **MENU** ボタンを押します。
   前回使用したメニューが表示されます。
   カーソルボタンで以下を選択してください。
   簡単メニュー ＞ 詳細メニュー ＞ ネットワーク ＞ 無線 LAN 設定



4)「無線 LAN 設定」で以下を設定してください。
- モード：INFRASTRUCTURE
- DHCP
- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- DNS SERVER
- SSID
- 暗号方式



IP アドレスの設定に関しては、“IP アドレスについて”（📖**3-8**）をご覧ください。

「登録」を選択し、**ENTER** ボタンを押して設定を反映してください。

SSID 検索リストから接続する

無線 LAN 設定で SSID および暗号方式を設定しなくても、SSID 検索リストから選択して接続を行うことができます。SSID 検索リストからの接続手順は以下の通りです。

1) ネットワークメニューの無線 LAN 設定で SSID 検索リストを選択します。無線ネットワークの SSID が一覧表示されます。
2) SSID 検索リスト画面で接続する無線ネットワークの SSID を選択します。暗号設定されている場合は、暗号キー入力画面が表示されますので、ソフトウェアキーボードを使用して、暗号キーを入力します。
3) 接続が完了すると、SSID 検索リスト画面に接続状態を示すアイコン ( ) が表示されます。

〈お知らせ〉

- アクセスポイントの設定によっては通信速度が遅くなる場合があります。
- 本機とコンピュータを同じネットワークに接続する場合（ネットワークアドレスが同じ場合）は、デフォルトゲートウェイを設定する必要はありませんので、空白のままにしてください。
- 本機とコンピュータが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルトゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 既存のネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従い、プロジェクターの無線 LAN 設定を行ってください。
- WEP 暗号化にはオープンシステム認証を使用しており、共有キー認証には対応しておりません。オープンシステム認証を使用するため、不正な暗号キーを入力した場合でもアクセスポイントとの認証は成功し、接続が正常に行われたと判断しますが、実際にはデータの送信は行えません。
- DHCP が無効の場合、あらかじめ IP アドレス , サブネットマスク および デフォルトゲートウェイ を設定して下さい。

アプリケーション

各種アプリケーションソフトの最新版は、弊社のホームページ（📖**5-2**）よりダウンロードできます。

iOS/Android 用のネットワークプレゼンテーションソフト Projector Quick Connection の詳細およびダウンロード先については、弊社のホームページ（📖**5-2**）を参照してください。

[アプリケーション動作環境]

アプリケーション名	動作環境
LiveViewer	[Windows®] OS: Windows® 7 Windows® 8.1 Windows® 10
LiveViewer	[Mac®] Mac OS X® 10.6 Mac OS X® 10.7 Mac OS X® 10.8 Mac OS X® 10.9 Mac OS X® 10.10 Mac OS X® 10.11 Mac OS X® 10.12

（次ページにつづく）

アプリケーション動作環境（つづき）

アプリケーション名	動作環境
Projector Quick Connection	[iOS] iOS 8 以降 [Android] Android OS 5.0 以降
Projector Image Tool (PJImg)	OS: Windows® 7 Windows® 8.1 Windows® 10
Projector Messenger Tool (PJMessenger)	OS: Windows® 7 Windows® 8.1 Windows® 10

ネットワークメニュー

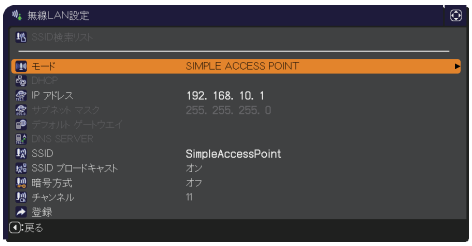
誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因になることがあります。本機をネットワーク内の既存のアクセスポイントに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。
「ネットワーク」メニューでは、ネットワーク機能に関する下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

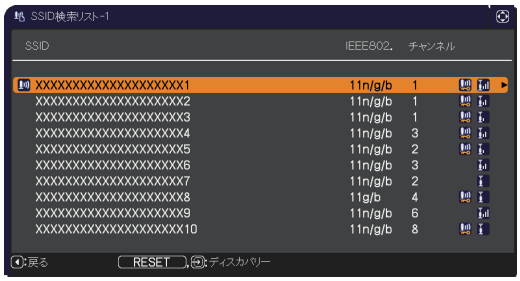
〈お知らせ〉

- 有線 LAN をご使用の場合は、始めに有線ネットワークメニューで **LAN** 端子と **HDBaseT** 端子のどちらを使用するか選択してください。
- 本機の無線 LAN 機能を使用するには、別売品の USB ワイヤレスアダプターが必要です。本機に USB ワイヤレスアダプターを接続する場合に延長ケーブルを使用しないでください。
- 本機は、無線 LAN と有線 LAN で同じネットワークに接続することはできません。
- 無線 LAN と有線 LAN に同じネットワークアドレスを設定しないでください。
- ご利用のネットワークが SNTP に非対応の場合は、日時を設定する必要があります（📖**3-44**）。
- 「設置」メニューの「スタンバイモード」（📖**2-21**）が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときネットワークの通信はできません。スタンバイモードを「通常」に設定してから本機をネットワークに接続してください（📖【応用編】「設置メニュー」）。

項　目	説　明
プロジェクター名	プロジェクターに任意の名前を設定することで、ネットワーク上のプロジェクターを識別することができます。 (1)「プロジェクター名」を選択し、カーソルボタン▶を押します。 「プロジェクター名」画面が表示されます。 プロジェクター名を入力するためには、表示されているソフトウェアキーボードを使用します。 消去：一文字消去します。 全て消去：全部の文字を消去します。 取消：入力した文字を破棄してネットワークメニューにもどります。 OK：入力した文字を保存してネットワークメニューにもどります。 (2) 最初の 3 行に現在のプロジェクター名が表示されます。特定のプロジェクター名があらかじめ設定されています。 **ENTER** ボタンまたは **INPUT** ボタンで各文字を選択し、入力してください。 1 文字削除するには、**RESET** ボタンを押す、もしくはカーソルボタン ◀ と **INPUT** ボタンを同時に押します。また、画面上の「消去」または「全消去」にカーソルを合わせて **ENTER** または **INPUT** ボタンを押すと、1 文字または全ての文字を削除することができます。「プロジェクター名」は最大 64 文字まで入力できます。 (3) 既に入力された文字を変更するには、最初の 3 行のうちの 1 行にカーソルを移動し、変更したい文字にカーソルを移動します。**ENTER** または **INPUT** ボタンを押すと、文字が選択されます。その後、上記 (2) と同じ手順に従ってください。 (4) プロジェクター名の入力・編集が終わったら、「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶か、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。 変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀か、**ENTER** ボタン（または **INPUT** ボタン）を押してください。

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">説　明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">無線 LAN 設定</td><td colspan="2">無線ネットワークの設定を行います。設定変更後は、登録を実行してください。
登録を実行しないと、入力した設定値が反映されません。
 

〈お知らせ〉
●登録を実行する前にメニューが消えると、入力した設定値は反映されません。
●設定を変更した場合は、必ず登録を実行してください。</td></tr>
<tr><td>SSID 検索リスト</td><td>利用できる無線ネットワークの検索を行って SSID の一覧を表示します。
一覧から SSID を選択して接続することができます。
(1) SSID 検索リストを選択してカーソルボタン▶を押すと、利用できる無線ネットワークの SSID が一覧表示されます。
 

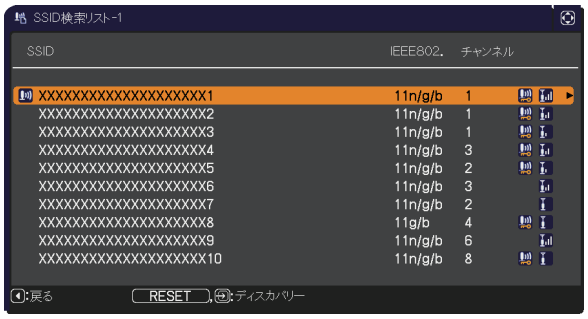
〈お知らせ〉
●プロジェクターで対応していない暗号方式が使用されている無線ネットワークは検索リストに表示されません。
● AdHoc のネットワーク機器は、SSID 検索リストに表示されません。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td>無線 LAN
設定
（つづき）</td><td>SSID 検索
リスト
（つづき）</td><td>
<table>
<tr><th>アイコン</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td></td><td>無線ネットワークと接続していることを示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>暗号化設定されている無線ネットワークであることを示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>電波強度を示します。</td></tr>
</table>
(2) 接続したい SSID を選択し、カーソルボタン ▶ か **ENTER** ボタンを押します。暗号設定されている場合、暗号キー入力画面が表示されます。ソフトウェアキーボードを使用して、文字を入力してください。
入力が終わりましたら、OK にカーソルを合わせて、カーソルボタン ▶ もしくは **ENTER** もしくは **INPUT** ボタンを押してください。

〈お知らせ〉
● [文字を非表示にする] のチェックボックスをオンにすると、文字が非表示になります。
</td></tr>
</table>

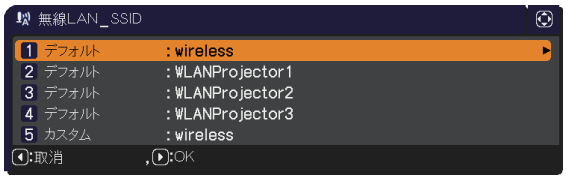
（次ページにつづく）

項　目		説　明
無線 LAN 設定（つづき）	SSID 検索リスト（つづき）	(3) 接続処理中は以下の OSD が表示されます。 接続中… 接続処理中は、**RESET** ボタン以外のキー操作を行うことができません。**RESET** ボタンを押すと接続処理を中断します。 接続処理が完了すると以下の OSD が表示されます。 接続成功 ：接続成功 正しく接続できなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。 接続失敗 ：接続失敗 ENCRYPTION ロック ：暗号ロックが有効 **〈お知らせ〉** ●プロジェクター Web コントロール画面のネットワーク設定 – 無線 LAN 設定で暗号ロックの設定が有効のときは、暗号の設定を変更することができません。暗号ロックの詳細は、Web コントロールのネットワーク設定 – 無線 LAN 設定の項を参照してください（📖**3-32**）。 ● WEP 暗号化にはオープンシステム認証を使用しており、共有キー認証には対応しておりません。オープンシステム認証を使用するため、不正な暗号キーを入力した場合でもアクセスポイントとの認証は成功し、接続が正常に行われたと判断しますが、実際にはデータの送信は行えません。 (4) 接続が完了すると、SSID 検索リストに接続状態を示すアイコン ( ) が表示されます。  SIMPLE ACCESS POINT モードの場合、本機能は使用できません。

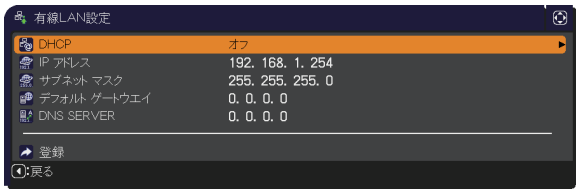
（次ページにつづく）

項　目		説　明
無線 LAN 設定（つづき）	モード	SIMPLE ACCESS POINT と INFRASTRUCTURE の切り替えを行います。 ご利用のコンピュータに合わせてネットワーク通信方式を選択してください。 **SIMPLE ACCESS POINT ↔ INFRASTRUCTURE** 設定を保存するには、カーソルボタン ▶ を押してください。 **〈お知らせ〉** ● [登録] を選択せずにモードの選択を切り替えると、直前までに変更した設定はキャンセルされます。 ●モードを切り替えた場合、無線 LAN が使用できるまでに約 60 秒かかります。その間、動作速度が低下しネットワークインフォメーションが正しく表示されないことがあります。
	DHCP	IP アドレスを自動で取得するかどうかの設定を行います。 カーソルボタン ▲ / ▼ で、DHCP のオン / オフを選択してください。 **オン ↔ オフ** SIMPLE ACCESS POINT モードの場合、本機能は使用できません。
	IP アドレス	[SIMPLE ACCESS POINT] （📖**3-10**）を参照してください。 [INFRASTRUCTURE] DHCP が無効の場合、IP アドレスを設定します。 IP アドレスを入力してください。 この項目は「DHCP」（📖 **上記**）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。
	サブネットマスク	[SIMPLE ACCESS POINT] 本設定は、255.255.255.0 で固定です。 [INFRASTRUCTURE] DHCP が無効の場合、サブネットマスクを設定します。 サブネットマスクを入力してください。 この項目は「DHCP」（📖 **上記**）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。
	デフォルトゲートウェイ	DHCP が無効の場合、デフォルトゲートウェイを設定します。 デフォルトゲートウェイのアドレスを入力してください。 この項目は「DHCP」（📖 **上記**）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。 SIMPLE ACCESS POINT モードの場合、本機能は使用できません。
	DNS SERVER	DNS サーバーのアドレスを設定します。 DNS サーバーのアドレスを入力してください。 SIMPLE ACCESS POINT モードの場合、本機能は使用できません。 **〈お知らせ〉** ●本設定を自動で取得することはできません。

（次ページにつづく）

項　目		説　明
無線 LAN 設定（つづき）	SSID	SSID の設定を行います。  [SIMPLE ACCESS POINT] ソフトウェアキーボードを使用して SSID を入力します。ソフトウェアキーボードの使い方は、「プロジェクター名」（📖**3-16**）の項目をご参照ください。 プロジェクターの Simple Access Point モードの SSID の初期値は [SimpleAccessPoint] です。 ご使用になる前に重複しない SSID に変更してください。 [INFRASTRUCTURE] 「デフォルト」（#1 ～ #4）を選択して、カーソルボタン ► または **ENTER** ボタンを押してください。 [カスタムの設定] 「カスタム」（#5）を選択する場合、カーソルボタン ► または **ENTER** ボタンを押してください。「カスタム」メニューが表示されます。 ソフトウェアキーボードを使用して SSID を入力します。ソフトウェアキーボードの使い方は、「プロジェクター名」（📖**3-16**）の項目をご参照ください。
	SSID ブロードキャスト	SSID ブロードキャストの設定を行います。 コンピュータなどでプロジェクターの SSID を無線接続リストに表示しないようにする場合は、本設定をオフにしてください。
	暗号方式	使用する暗号方式を選択してください。 **WPA2-PSK(AES)** ↔ **WPA2-PSK(TKIP)** ↕ ↕ **オフ** **WPA-PSK(AES)** ↕ ↕ **WEP 64bit** ↔ **WEP 128bit** ↔ **WPA-PSK(TKIP)** ※ WEP 64bit、WEP 128bit は、INFRASTRUCTURE モードのときのみ使用可能です。 オフ以外を選択した場合は、暗号キーを入力する必要があります。 **〈お知らせ〉** ● IEEE802.11n の暗号化方式は WPA2-PSK (AES) が推奨されています。 他の暗号化を設定している場合 (WEP、WPA-PSK (TKIP)、WPA2-PSK (TKIP))、IEEE802.11n の通信速度が遅くなる場合があります。「AES」以外の暗号化を設定している場合は、「AES」に設定を変更することをおすすめします。 ●選択項目にない暗号方式は使用することができません。

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">説　明</th></tr>
<tr><td>無線 LAN
設定
（つづき）</td><td>チャンネル</td><td>「モード」（📖3-20）が SIMPLE ACCESS POINT に設定されている場合、
使用する無線 LAN のチャンネルを選択してください。
1 ～ 11 のチャンネルを選択できます。設定を保存するには、カーソルボタン ▶ を押してください。
使用できるチャンネルは地域によって異なります。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">有線 LAN
設定</td><td colspan="2">有線ネットワークの設定を行います。
設定変更後は登録を実行してください。登録を実行しないと入力した設定値が反映されません。
 

〈お知らせ〉
●登録を実行する前にメニューが消えると、入力した設定値は反映されません。
●設定を変更した場合は、必ず登録を実行してください</td></tr>
<tr><td>DHCP</td><td>IP アドレスを自動で取得するかどうかの設定を行います。
カーソルボタン ▲ / ▼ で、DHCP のオン / オフを選択してください。
オン ↔ オフ</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td>DHCP が無効の場合、IP アドレスを設定します。
IP アドレスを入力してください。
この項目は「DHCP」（📖 上記）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>DHCP が無効の場合、サブネットマスクを設定します。
サブネットマスクを入力してください。
この項目は「DHCP」（📖 上記）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</td></tr>
<tr><td>デフォルト
ゲートウェイ</td><td>DHCP が無効の場合、デフォルトゲートウェイを設定します。
デフォルトゲートウェイのアドレスを入力してください。
この項目は「DHCP」（📖 上記）が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</td></tr>
<tr><td>DNS
SERVER</td><td>DNS サーバーのアドレスを設定します。
DNS サーバーのアドレスを入力してください。
〈お知らせ〉
●本設定を自動で取得することはできません。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">説　明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ネットワーク
インフォ
メーション</td><td colspan="2">無線 LAN および有線 LAN の設定を表示します。カーソルボタン ▲ / ▼でページを切り替えてください。
最初のページは本機の無線 LAN の設定を表示します。2 ページ目は有線 LAN、3 ページ目は共通の設定項目のページです。</td></tr>
<tr><td>無線 LAN
インフォ
メーション</td><td>以下の情報が表示されます。
・パスコード
・モード
・IP アドレス
・サブネットマスク
・デフォルトゲートウェイ
・DNS SERVER
・MAC ADDRESS
・SSID
・SSID ブロードキャスト
・暗号方式
・チャンネル
・通信速度

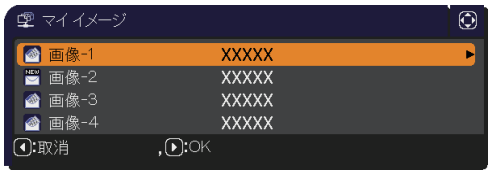
パスコードは、ネットワークプレゼンテーションを行う際に使用する、プロジェクターとコンピュータの接続をサポートするものです。詳細はネットワークプレゼンテーションの項目 をご参照ください（📖**3-60 ～ 62**）。

〈お知らせ〉
● 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」は、以下の場合、それぞれ “0.0.0.0” と表示されます。
(1) USB ワイヤレスアダプターが接続されていない場合。
(2)「DHCP」（📖**3-20**）を「オン」に設定しているのに、本機が DHCP サーバーからアドレスを取得できていない場合。
● USB ワイヤレスアダプターが接続されていないと、「チャンネル」と「通信速度」には何も表示されません。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

項　目		説　明
ネットワーク インフォ メーション （つづき）	有線 LAN インフォメー ション	以下の情報が表示されます。 ・パスコード ・IP アドレス ・サブネットマスク ・デフォルトゲートウェイ ・DNS SERVER ・MAC ADDRESS パスコードは、ネットワークプレゼンテーションを行う際に使用する、プロジェクターとパソコンのネットワーク接続をサポートするものです。詳細はネットワークプレゼンテーションの項目をご参照ください（📖**3-60 ～ 62**）。 **〈お知らせ〉** ● 「DHCP」（📖**3-22**）を「オン」に設定しているのに、本機が DHCP サーバーからアドレスを取得できていない場合、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」は、それぞれ “0.0.0.0” と表示されます。
	その他 インフォメー ション	以下の情報が表示されます。 ・プロジェクター名 ・日付と時刻の設定 ・SNTP サーバー ・時差 プロジェクター名と SNTP サーバーは、設定している文字数が多い場合、省略されて表示されることがあります。
SNTP セットアップ	SNTP SERVER	ネットワーク経由で時刻を取得する場合、SNTP サーバーを IP アドレスかドメイン名で指定します。ドメイン名は 255 文字まで入力可能です。 入力はソフトウェアキーボードを用いて行います。ソフトウェアキーボードの使い方は、プロジェクター名（📖**3-16**）の項目をご参照ください。 **〈お知らせ〉** ● SNTP を使用する場合は、時差の設定も行ってください。
	時差	時差の設定を行います。 ご利用のコンピュータと同じ時差を設定してください。コンピュータの設定が不明な場合はネットワーク管理者にお尋ねください。 設定後にカーソルボタン ▶ でメニューに戻ります。

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項 目</th><th colspan="2">説 明</th></tr>
<tr><td>マイ イメージ</td><td colspan="2">マイ イメージメニューを表示します。画像データの転送には、ホームページからダウンロードしたアプリケーションを使用してください。
 

マイ イメージについての詳細は、マイ イメージ（📖3-63）をご参照ください。
表示したい画像データを選択し、カーソルボタン ▶ または ENTER ボタンを押すと、画像を表示できます。
• 静止画像が登録されていない項目は選択できません。
• 表示できる画像ファイル名は半角で 16 文字以内です。
マイ イメージの切り替え
カーソルボタン▲ / ▼を使用してください。
メニューに戻る
リモコンのカーソルボタン ◀ を押してください。

マイ イメージの削除
(1) 画像表示中に RESET ボタンを押すと、マイ イメージ消去確認ダイアログが表示されます。
(2) カーソルボタン ▶ を押すと、削除できます。
削除したくない場合は、カーソルボタン ◀ を押してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">外部機器接続</td><td>AMX D.D.
(AMX Device Discovery)</td><td>カーソルボタン▲ / ▼で、AMX デバイスディスカバリーのオン / オフを切り替えます。
オン ↔ オフ
オンに設定すると、同じネットワークに接続した AMX コントローラで本機を検出することができるようになります。AMX デバイスディスカバリーについての詳細は、以下の AMX ホームページをご覧ください。
URL: http://www.amx.com/</td></tr>
<tr><td>CRESTRON</td><td>カーソルボタン▲ / ▼で、Crestron Connected™ のオン / オフを切り替えます。
オン ↔ オフ
オンに設定すると、同じネットワークに接続した Crestron 機器を使用してプロジェクターの管理、制御を行うことができるようになります。Crestron Connected™ についての詳細は、以下のホームページをご覧ください。
URL: http://www.crestron.com/</td></tr>
<tr><td>EXTRON</td><td>カーソルボタン▲ / ▼で、Extron のオン / オフを切り替えます。
オン ↔ オフ
オンに設定すると、HDBaseT 端子を介して接続した Extron 機器がプロジェクターを検出することができるようになります。Extron についての詳細は、以下のホームページをご覧ください。
URL: http://www.extron.com/
〈お知らせ〉
●この機能は、「有線ネットワーク」（📖3-26）で HDBaseT 端子が選択されているときのみ有効です。</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">説　明</th></tr>
<tr><td rowspan="4">プレゼンテーション</td><td colspan="2">ネットワークプレゼンテーションを使用するには、専用のアプリケーションをインストールする必要があります。弊社のホームページ（📖5-2）から最新版のアプリケーションおよび関連情報をご利用ください。
ネットワークプレゼンテーションについての詳細は、ネットワークプレゼンテーション（📖3-60 ～ 62）をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>プレゼンターモード解除</td><td>本機をプレゼンターモードで使用しているコンピュータがある場合、他のコンピュータから本機へのアクセスはブロックされます。
本機能を使用すると、プレゼンターモードを解除し、他のコンピュータからアクセスできるようにします。
本項目を選択するとダイアログが表示されます。
カーソルボタン ▶ で「OK」を選択すると、プレゼンターモードを解除し、メッセージを表示します。</td></tr>
<tr><td>マルチ PC モード</td><td>1 台以上のコンピュータをマルチ PC モードに設定し、本機に画像を送信する場合、以下の 2 通りの表示モードを選択することができます。
- シングル PC モード：選択したコンピュータからの映像をフルスクリーンで表示します。
- マルチ PC モード：最大 4 台のコンピュータからの映像を、4 分割した画面に表示します。
本項目を選択するとダイアログが表示されます。
以下の説明に従い、ダイアログで表示モードを切り替えてください。
• マルチ PC モードからシングル PC モードに切り替えるには、カーソルボタン▲ / ▼ /◀/▶ で 1 台のコンピュータを選択し、ENTER ボタンまたは INPUT ボタンを押します。
カーソルボタン ▶ で「OK」を選択し、再度 ENTER ボタンまたは INPUT ボタンを押します。選択されたコンピュータの映像がフルスクリーンで表示されます。
• シングル PC モードからマルチ PC モードに切り替えるには、カーソルボタン ▶ で「OK」を選択し、ENTER ボタンまたは INPUT ボタンを押します。
表示モードが切り替わります。
• 表示モードをシングル PC モードに変更すると、選択されたコンピュータでのプレゼンターモード設定が有効になります。また、表示モードがマルチ PC モードに変更されると、コンピュータでの設定にかかわりなくプレゼンターモード設定は無効になります。

</td></tr>
<tr><td>ユーザー名表示</td><td>本項目を選択するとユーザー名を表示します。 この機能により、現在の画像がどのコンピュータのものか判別できます。</td></tr>
<tr><td>有線ネットワーク</td><td colspan="2">LAN 端子と HDBaseT 端子のどちらを使用するか選択します。
LAN ↔ HDBaseT
〈お知らせ〉
●ネットワークへの接続は、LAN 端子と HDBaseT 端子のどちらか一方しか使用できません。ご使用になる環境に合わせて切り替えを行ってください。</td></tr>
</table>

Web コントロール

同じネットワークに接続したコンピュータから、Web ブラウザを使用して本機の設定または制御を行うことができます。

■プロジェクター Web コントロール

プロジェクター Web コントロール画面では、プロジェクターの制御、ランプ時間などの状態取得、E メール、スケジュールなどの設定を行うことができます。

推奨ブラウザ

・Internet Explorer® 8/ 9/ 10/ 11

〈お知らせ〉

- 推奨ブラウザ以外の Web ブラウザをご使用の場合、正しく動作しないことがあります。
- Web ブラウザの設定で、JavaScript® を有効にしてください。JavaScript® が無効になっていると、Web コントロールの画面が正しく表示されないことがあります。JavaScript® を有効にする方法については、Web ブラウザのヘルプをご覧ください。
- Web ブラウザの更新プログラムは、すべて適用してください。
- 無線 LAN と有線 LAN から同時にデータが送信された場合、本機でデータを正常に処理できない場合があります。

■ Crestron e-Control®

Crestron e-Control® は、Crestron 社の提供する Web ブラウザを使用した制御インタフェースです。
Crestron e-Control® を使用して、プロジェクターの制御、監視を行うことができます。

〈お知らせ〉

- Crestron e-Control® は、Flash® を使用して作成されています。Crestron e-Control® を使用するには、ご使用のコンピュータに Adobe® Flash® Player をインストールしてください。 Flash® に対応していないブラウザでは表示されません。
- 以下のいずれかの場合、次ページの図のような選択画面は表示されず、プロジェクター Web コントロールのログイン画面が表示されます。
  - プロジェクター Web コントロールの「ネットワーク設定」-「その他の設定」-「Crestron e-Control」（📖**3-35**）が無効に設定されている。
  - プロジェクター Web コントロールの「ネットワーク設定」-「共通設定」-「Crestron」（📖**3-31**）が「オフ」に設定されている。
  - ネットワークメニューの「外部機器接続」-「CRESTRON」（📖**3-25**）が「オフ」に設定されている。

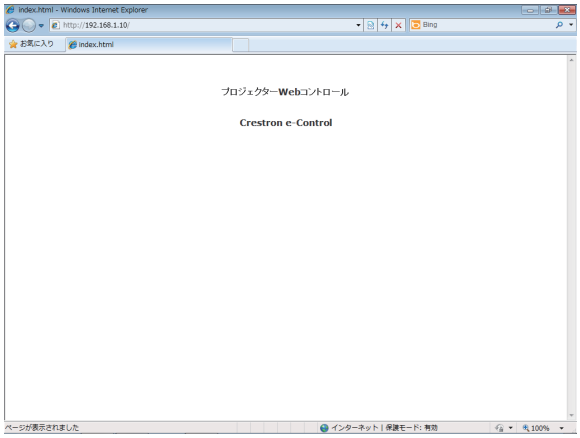
（次ページにつづく）

Web コントロール（つづき）

コンピュータとプロジェクターがネットワークで接続されていることを確認し、Web ブラウザを起動してください。
以下の例のように、プロジェクターの IP アドレスを Web ブラウザの URL バーに入力し、**ENTER** キーを押すか、あるいは ➔ をクリックしてください。

例）本機の IP アドレスが "192.168.1.10" の場合
Web ブラウザの URL 入力ボックスに
http://192.168.1.10/
を入力し、**ENTER** キーを押すか、あるいは ➔ をクリックしてください。

正しい URL が入力され、本機とコンピュータが同じネットワークに接続されている場合、選択画面が表示されます。



〈お知らせ〉

- 本機のメニュー、リモコンと、Web コントロールは同時に使用しないでください。同時に使用すると誤動作するおそれがあります。
- プロジェクター Web コントロールは、本機に設定された OSD の表示言語と同じ言語で表示されます。プロジェクター Web コントロール画面の表示言語を変更するには、本機の「簡単メニュー」（📖2-6, 7）または「スクリーン」メニューの「表示言語」（📖2-24）を変更するか、Web コントロールの［プロジェクター制御］で、［表示言語］（📖3-49）を変更してください。

プロジェクター Web コントロール

ログイン

プロジェクター Web コントロールを使用するには、このログイン画面でユーザー名とパスワードを入力する必要があります。
工場出荷時、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。

ユーザー名	Administrator
パスワード	（設定されていません）

ログイン画面

ユーザ名とパスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。
ログインが成功すると、下図の画面が表示されます。

画面左側のメインメニューから設定・操作したいメニュー項目を選んでクリックしてください。

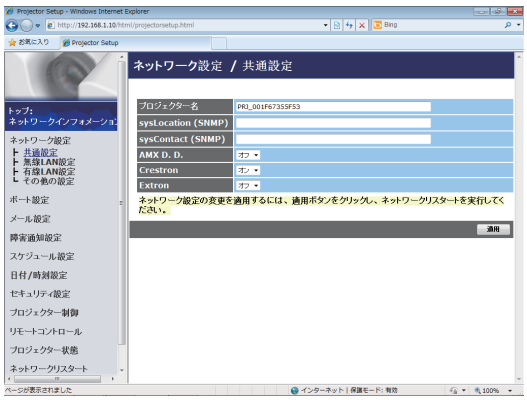
ネットワークインフォメーション

本機のネットワーク設定を表示します。

項　目	説　明
共通インフォメーション	無線 LAN と有線 LAN で共通の情報を表示します。
プロジェクター名	本機に登録されたプロジェクター名です。
無線 LAN インフォメーション	本機の無線 LAN に関する設定を表示します。
モード	本機の無線接続モードを表示します。
DHCP	本機の DHCP 設定です。
IP アドレス	本機の IP アドレスです。
サブネットマスク	本機のサブネットマスクです。
デフォルトゲートウェイ	本機のデフォルトゲートウェイです。
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスです。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスです。
SSID	本機の使用している SSID です。
SSID ブロードキャスト	本機の使用している SSID ブロードキャスト設定です。
暗号方式	本機の暗号方式設定です。
チャンネル	無線 LAN で使用しているチャンネルです。
通信速度	無線 LAN 通信速度を表示します。
有線 LAN インフォメーション	本機の有線 LAN に関する設定を表示します。
DHCP	本機の DHCP 設定です。
IP アドレス	本機の IP アドレスです。
サブネットマスク	本機のサブネットマスクです。
デフォルトゲートウェイ	本機のデフォルトゲートウェイです。
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスです。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスです。

ネットワーク設定

ネットワーク設定の表示および設定を行います。



項　目	説　明
共通設定	無線 LAN と有線 LAN で共通の機能の設定を行います。
プロジェクター名	プロジェクター名を設定します。 最大 64 文字まで設定できます。使用できるのは、英数字、スペース、および以下の記号のみで、全て半角で入力してください。 !"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~ 特定のプロジェクター名があらかじめ設定されています。
sysLocation (SNMP)	SNMP 使用時に参照する設置場所情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。英数字 "0 ～ 9"、"a - z" および "A - Z" のみ使用できます。
sysContact (SNMP)	SNMP 使用時に参照する連絡先情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。英数字 "0 ～ 9"、"a - z" および "A - Z" のみ使用できます。
AMX D.D. (AMX Device Discovery)	AMX デバイスディスカバリーの設定を行います。この項目をオンに設定すると、同じネットワークに接続した AMX コントローラで、本機を検出することができるようになります。AMX デバイスディスカバリーについての詳細は、以下の AMX ホームページをご覧ください。 URL: http://www.amx.com
Crestron	Crestron の設定を行います。この項目をオンに設定すると、同じネットワークに接続した Crestron 機器で、本機を検出することができるようになります。Crestron Connected™ についての詳細は、以下のホームページをご覧ください。 URL: http://www.crestron.com/
Extron	Extron の設定を行います。この項目をオンに設定すると、HDBaseT 端子を介して同じネットワークに接続した Extron 機器で、本機を検出することができるようになります。Extron についての詳細は、以下のホームページをご覧ください。 URL: http://www.extron.com/

（次ページにつづく）

項　目	説　明
無線 LAN 設定	本機の無線 LAN 設定を行います。
モード	"Simple Access Point" もしくは "Infrastructure" を選択します。. **〈お知らせ〉** ●モードを切り替えた場合、無線 LAN が使用できるまでに約 60 秒かかります。その間、動作速度が低下しネットワークインフォメーションが正しく表示されないことがあります。
暗号ロック	無線接続に関連する以下の項目について、設定変更を許可または禁止するための機能です。 ・モード ・SSID ・SSID ブロードキャスト ・暗号方式 ・暗号キー（WEP キー、WPA パスフレーズ） 暗号ロックをオンに設定した場合、プロジェクター本体のメニューでこれらの設定は変更できません。 **〈お知らせ〉** ●暗号ロックがオンの時は、現在の設定を変更せずに接続できる時に限り、無線接続が行われます。

（次ページにつづく）

項　目	説　明
無線 LAN 設定	本機の無線 LAN 設定を行います。
Simple Access Point	Simple Access Point モードに関する設定を行います。
IP 設定	ネットワーク設定を行います。.
IP アドレス	本機の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	本機のサブネットマスクは 255.255.255.0 に固定されています。
SSID	SSID を入力します。 SSID は最大 32 文字まで設定できます。 英数字、スペース、および以下の記号のみ使用できます。全て半角で入力してください。 !"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~ プロジェクターの Simple Access Point モードの SSID の初期値は [SimpleAccessPoint] です ご使用になる前に重複しない SSID に変更して下さい。
SSID ブロードキャスト	SSID ブロードキャストの設定を行います。 コンピュータなどでプロジェクターの SSID を無線接続リストに表示しないようにする場合は、本設定をオフにしてください。
暗号方式	暗号方式を選択します。
WPA パスフレーズ	WPA パスフレーズを設定します。 8 文字以上、63 文字以下の間で設定することができます。英数字、スペース、および以下の記号のみ使用できます。全て半角で入力してください。 !"#$%&'()*+,-./:;<=>?@ [¥]^_`{|}~
チャンネル	Simple Access Point モードで使用するチャンネルを、1 ～ 11 の間で選択します。 **〈お知らせ〉** ●日本国内で使用できるチャンネルは 1 ～ 11 です。また、規格によってはご利用のコンピュータに、別途ワイヤレスネットワークカードが必要になる場合があります。

（次ページにつづく）

<table>
<tr><th>項　目</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td>無線 LAN 設定（つづき）</td><td>本機の無線 LAN 設定を行います。</td></tr>
<tr><td>Infrastructure</td><td>Infrastructure モードに関する設定を行います。</td></tr>
<tr><td>IP 設定</td><td>ネットワーク設定を行います。</td></tr>
<tr><td>DHCP オン</td><td>DHCP を有効にします。.</td></tr>
<tr><td>DHCP オフ</td><td>DHCP を無効にします。.</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td>DHCP を無効にしたときの、本機の IP アドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>DHCP を無効にしたときの、本機のサブネットマスクを設定します。</td></tr>
<tr><td>ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ</td><td>DHCP を無効にしたときの、本機のデフォルトゲートウェイを設定します。</td></tr>
<tr><td>DNS サーバーアドレス</td><td>DNS サーバーのアドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>SSID</td><td>リストより SSID を選択します。
リストに無い SSID を設定する場合は“カスタム”を選択し、以下の規則に従って設定してください。
SSID は最大 32 文字まで設定できます。
英数字、スペース、および以下の記号のみ使用できます。全て半角で入力してください。
!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~</td></tr>
<tr><td>暗号方式</td><td>暗号方式を選択します。</td></tr>
<tr><td>WEP キー</td><td>WEP キーを設定します。
WEP キーには、ASCII 文字、または 16 進数を使用できます。ただし、ASCII 文字と 16 進数を組み合わせて使用することはできません。選択した暗号方式または使用する文字方式によって下表のように設定できる文字の長さが異なります。
<table>
<tr><th>暗号方式</th><th>ASCII 文字</th><th>16 進数</th></tr>
<tr><td>WEP 64bit</td><td>5 文字</td><td>10 文字</td></tr>
<tr><td>WEP 128bit</td><td>13 文字</td><td>26 文字</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>WPA パスフレーズ</td><td>WPA パスフレーズを設定します。
8 文字以上、63 文字以下の間で設定することができます。英数字、スペース、および以下の記号のみ使用できます。全て半角で入力してください。
!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@ [¥]^_`{|}~</td></tr>
</table>

（次ページにつづく）

項　目	説　明
有線 LAN 設定	本機の有線 LAN 設定を行います。
IP 設定	ネットワーク設定を行います。
DHCP オン	DHCP を有効にします。.
DHCP オフ	DHCP を無効にします。.
IP アドレス	DHCP を無効にしたときの、本機の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	DHCP を無効にしたときの、本機のサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	DHCP を無効にしたときの、本機のデフォルトゲートウェイを設定します。
DNS サーバーアドレス	DNS サーバーのアドレスを設定します。
その他の設定	その他の設定を行います。
Crestron e-Control	Crestron e-Control® の有効 / 無効を設定します。 無効を選択すると、Web コントロールの最初に選択画面が表示されず、プロジェクター Web コントロールのログイン画面が表示されます。

設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

〈お知らせ〉

- 新しい設定はネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖3-51）。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。
- WEP キー、WPA パスフレーズおよび SSID に無効な文字を使用した場合は、設定できません。
- 本機は、無線 LAN と有線 LAN で同じネットワークに接続することはできません。無線 LAN と有線 LAN に同じネットワークアドレスを設定しないでください。

ポート設定

通信ポートの表示および設定を行います。

項　目	説　明
ネットワーク制御ポート 1（ポート :23）	ネットワーク制御ポート 1（ポート :23）を設定します。
ポートオープン	ポート :23 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
ネットワーク制御ポート 2（ポート :9715）	ネットワーク制御ポート 2（ポート :9715）を設定します。
ポートオープン	ポート :9715 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
PJLink ™ ポート（ポート :4352）	PJLink ™ ポート（ポート :4352）を設定します。
ポートオープン	ポート :4352 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
マイ イメージポート（ポート :9716）	マイ イメージポート（ポート :9716）を設定します。
ポートオープン	ポート :9716 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
メッセンジャーポート（ポート :9719）	メッセンジャーポート（ポート :9719）を設定します。
ポートオープン	ポート :9719 を使用するには、[有効] チェックボックスをオンにします。
認証	このポートで認証を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。

（次ページにつづく）

項　目	説　明
SNMP ポート	SNMP ポートを設定します。
ポートオープン	SNMP を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。
トラップアドレス	SNMP トラップ宛先の IP アドレスを設定します。 " ネットワーク設定 " で DNS サーバーのアドレスを設定した場合は、IP アドレスだけでなくドメイン名もお使いいただけます。ホストまたはドメイン名は半角英数字で 255 文字まで入力できます。
MIB ファイルのダウンロード	MIB ファイルを本機からダウンロードします。
ネットワークブリッジポート	ネットワークブリッジポートを設定します。
ポート番号	ネットワークブリッジポートの番号を設定します。 1024 ～ 65535 のうち、4352、5500、5900、9715、9716、9719、9720、41794 以外の番号を設定してください。 初期設定では 9717 が設定されています。

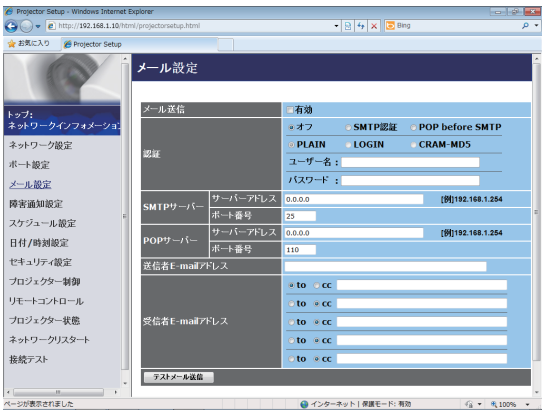
設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

〈お知らせ〉

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖**3-51**）。

メール設定

電子メール機能の表示および設定を行います。



項　目	説　明
メール送信	電子メール機能を使用する場合は、[有効] チェックボックスをオンにします。電子メールの送信条件については、" 障害通知設定 " で設定してください。
認証	認証方式を選択します。 ユーザー名には SMTP サーバーまたは POP サーバーに設定しているユーザー名を入力します。 パスワードには SMTP サーバーまたは POP サーバーに設定しているパスワードを入力します。 最大 63 文字まで設定できます。 英数字、スペース、および以下の記号のみ使用できます。全て半角で入力してください。 !"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~
SMTP サーバー	SMTP サーバーの設定を行います。
サーバーアドレス	SMTP サーバーの IP アドレスを設定します。 " ネットワーク設定 " で DNS サーバーのアドレスを設定した場合は、IP アドレスだけでなくドメイン名もお使いいただけます。ホストまたはドメイン名は、半角英数字と "-" または "." の記号を使用して 255 文字まで入力できます。
ポート番号	SMTP サーバーのポート番号を設定します。 初期設定では 25 が設定されています。
POP サーバー	POP サーバーの設定を行います。
サーバーアドレス	POP サーバーの IP アドレスを設定します。 " ネットワーク設定 " で DNS サーバーのアドレスを設定した場合は、IP アドレスだけでなくドメイン名もお使いいただけます。ホストまたはドメイン名は、半角英数字と "-" または "." の記号を使用して 255 文字まで入力できます。
ポート番号	POP サーバーのポート番号を設定します。 初期設定では 110 が設定されています。

（次ページにつづく）

項　目	説　明
送信者 E-mail アドレス	送信者の電子メールアドレスを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
受信者 E-mail アドレス	受信者（最大 5 名）の電子メールアドレスを設定します。各アドレスの [to] または [cc] を指定することもできます。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
Send Test Mail	設定した宛先にテストメールを送信します。

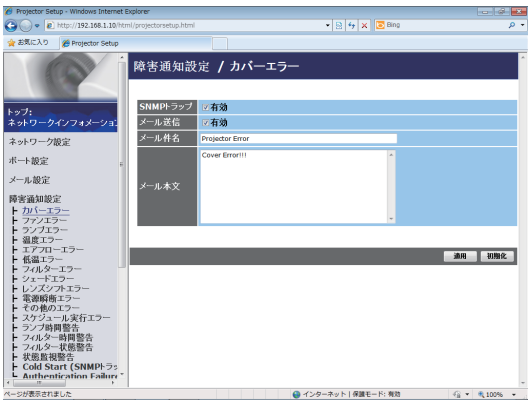
設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

[初期化] ボタンをクリックすると、メール設定を初期化します。

〈お知らせ〉

- メール設定が正しく機能するかどうかは、[テストメール送信] ボタンをクリックして確認できます。[テストメール送信] ボタンをクリックする前に、" メール送信 " の [有効] チェックボックスをオンにしてください。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。

障害通知設定



エラー / 警告通知の表示および設定を行います
以下のエラー / 警告について、E メールや SNMP トラップなどの通知設定を行うことができます。

・カバーエラー
・ファンエラー
・ランプエラー
・温度エラー
・エアフローエラー
・低温エラー
・フィルターエラー
・シェードエラー
・レンズシフトエラー
・電源瞬断エラー
・その他のエラー
・スケジュール実行エラー
・ランプ時間警告
・フィルター時間警告
・フィルター状態警告
・状態監視警告
・ Cold Start
・ Authentication Failure

各エラー／警告の詳細については、「電子メール機能による自動通知」を参照してください（📖**3-70, 71**）。

障害通知に関する設定項目は以下です。

項　目	説　明
警告時間	警告を通知する時間を設定します。 この項目は、" ランプ時間警告 " と " フィルター時間警告 " にのみ表示されます。
SNMP トラップ	SNMP トラップによる自動通知を有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。
メール送信	電子メール機能による自動通知を有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。 この項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" には表示されません。
メール件名	送信する電子メールの件名を設定します。 半角で 100 文字まで設定できます。全角などの文字を使用する場合、設定できる文字数が 100 文字より少なくなります。 この項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" には表示されません。
メール本文	送信する電子メールの本文を設定します。 半角で 1024 文字まで設定できます。 全角などの文字を使用する場合、設定できる文字数が 1024 文字より少なくなります。 この項目は、"Cold Start" と "Authentication Failure" には表示されません。

設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。
[初期化] ボタンをクリックすると、設定を初期化します。

スケジュール設定

スケジュール機能の表示および設定を行います。

〈お知らせ〉

- スケジュール設定を有効にする前に、必ず日付 / 時刻を設定してください（📖**3-44**）。
- スケジュール機能に関する詳細は、「スケジュール機能」（📖**3-74 ～ 76**）を参照してください。

1) スケジュール管理

項　目	説　明
日曜日	各曜日に実行するスケジュールの設定です。
月曜日	
火曜日	
水曜日	
木曜日	
金曜日	
土曜日	
特定日 1	指定した特定の日に実行するスケジュールの設定です。 最大 10 まで特定日を指定できます。
特定日 2	
特定日 3	
特定日 4	
特定日 5	
特定日 6	
特定日 7	
特定日 8	
特定日 9	
特定日 10	
スケジュール	実行するスケジュールのチェックボックスをオンにします。
プログラム	使用するプログラムを選択します。各プログラムに登録されているイベントの詳細を、画面下側に表示されているプログラムリストで確認することができます。
日付（月 / 日）	特定日 1 ～ 10 は、スケジュールを実行する日付（月／日）を入力します。

設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

[更新] ボタンをクリックすると、画面を最新の状態に更新します。
[プログラム編集] ボタンをクリックすると、選択しているプログラムの編集画面を表示します。
[コピー] ボタンをクリックすると、コピー元（左側のリスト）のプログラムの内容を、コピー先（右側のリスト）のプログラムにコピーします。コピー元とコピー先に同じ番号のプログラムを選択することはできません。

2) プログラム編集

設定されたイベントが表示されます。新たなイベントを追加する場合は、以下の項目を設定してください。

〈お知らせ〉

- スケジュールのプログラムは最大 16 通りまで作成することができます。また、 1 つのプログラムに対して最大 20 個のイベントを登録することができます。

項　目	説　明
時刻	イベントを実行する時刻を設定します。
イベント [パラメータ]	実行するイベントを設定します。
電源	電源制御に関するパラメータを設定します。
スタンバイ	
オン	
入力ソース	入力切り替えに関するパラメータを設定します。
COMPUTER IN	
HDMI 1	
HDMI 2	
DisplayPort	
HDBaseT	
SDI*	
VIDEO	
LAN	
マイ イメージ	マイ イメージのデータ表示に関するパラメータを設定します。
表示オフ	
画像 -1	
画像 -2	
画像 -3	
画像 -4	

* MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ

（次ページにつづく）

項　目	説　明
メッセンジャー	メッセンジャーのデータ表示に関するパラメータを設定します。
表示オフ	
テキスト -1	
テキスト -2	
テキスト -3	
テキスト -4	
テキスト -5	
テキスト -6	
テキスト -7	
テキスト -8	
テキスト -9	
テキスト -10	
テキスト -11	
テキスト -12	
エコモード	エコモードの切り替えに関するパラメータを設定します。
ノーマル	
エコ	
ブランク	ブランク画面のオン / オフ制御に関するパラメータを設定します。
オフ	
オン	

新しいイベントを追加するには、［登録］ボタンをクリックしてください。
イベントを削除するには［削除］ボタンをクリックしてください。
[全て削除] ボタンをクリックすると、現在選択しているプログラムに登録されている全てのイベントを削除します。
[戻る] ボタンをクリックすると、スケジュール管理画面に戻ります。

日付 / 時刻設定

日付 / 時刻の表示および設定を行います。

項　目				説　明
現在日付				年 / 月 / 日の形式で本日の日付を設定します。
現在時刻				時：分：秒の形式で現在時刻を設定します。
サマータイム				サマータイムを有効にするには、[有効] チェックボックスをオンにします。
	開始			サマータイムを開始する日時を設定します。
		月		サマータイムを開始する月（1 ～ 12）を設定します。
		週		サマータイムを開始する日の曜日が、その月で何週目か（最初、2、3、4、最後）を設定します。
		日		サマータイムを開始する日の曜日（日、月、火、水、木、金、土）を設定します。
		時刻	時	サマータイムを開始する " 時 "（0 ～ 23）を設定します。
			分	サマータイムを開始する " 分 "（0 ～ 59）を設定します。
	終了			サマータイムを終了する日時を設定します。
		月		サマータイムを終了する月（1 ～ 12）を設定します。
		週		サマータイムを終了する日の曜日が、その月で何週目か（最初、2、3、4、最後）を設定します。
		日		サマータイムを終了する日の曜日（日、月、火、水、木、金、土）を設定します。
		時刻	時	サマータイムを終了する " 時 "（0 ～ 23）を設定します。
			分	サマータイムを終了する " 分 "（0 ～ 59）を設定します。
時差				グリニッジ標準時に対する時差（時：分）を設定します。コンピュータの設定と同じ時差を設定してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
SNTP	SNTP サーバーアドレス			SNTP サーバーの IP アドレスを設定します。 " ネットワーク設定 " で DNS サーバーのアドレスを設定した場合は、IP アドレスだけでなくドメイン名もお使いいただけます。ホストまたはドメイン名は半角英数字で 255 文字まで入力できます。
	周期			SNTP サーバーから日時の情報を受け取る間隔（時：分）を設定します。

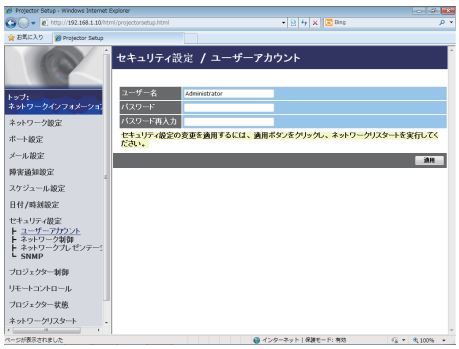
設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

〈お知らせ〉

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖**3-51**）。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、サーバーのアドレスを設定する前にネットワーク管理者にご相談ください。
- SNTP 機能を有効にするには、時差を設定する必要があります。
- 接続したネットワークが SNTP 対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。
- 本機の内蔵時計の時間はずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めします。
- 日付時刻を設定してもすぐに時間がずれるような時は、内蔵電池の交換が必要です。

セキュリティ設定

パスワードおよびその他のセキュリティ設定の表示および設定を行います。



項　目	説　明
ユーザーアカウント	ユーザー名とパスワードを設定します。
ユーザー名	ユーザー名を設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
パスワード	パスワードを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
パスワード再入力	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
ネットワーク制御	ネットワーク制御ポート 1（ポート：23）、ネットワーク制御ポート 2（ポート：9715）、PJLink ™ Port（ポート：4352）、マイ イメージポート（ポート：9716）、メッセンジャーポート（ポート：9719）（📖**3-36**）の認証パスワードを設定します。
認証パスワード	認証パスワードを設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
認証パスワード再入力	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
ネットワーク プレゼンテーション	ネットワークプレゼンテーション機能で使用する認証パスワードを設定します。 認証パスワードを設定しない場合は、認証機能が無効になります。
認証パスワード	認証パスワードを設定します。 半角英数字で 15 文字まで設定できます。
認証パスワード再入力	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
SNMP	SNMP 使用時のコミュニティ名を設定します。
コミュニティ名	コミュニティ名を設定します。 半角英数字で 64 文字まで設定できます。

設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

〈お知らせ〉

- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖**3-51**）。
- 英数字 "0 ～ 9"、"a - z" および "A - Z" のみ使用できます。

プロジェクター制御

画面上の項目に関してプロジェクター制御を行います。

項目のカテゴリーがメインメニュー表示されます。大半のカテゴリーにはサブメニューがあります。詳細は下表をご参照ください。

〈お知らせ〉

- プロジェクター Web コントロールを使用中に、本機のメニューやリモコンで設定を変更した場合、ウィンドウの表示と実際の設定が一致しないことがあります。その場合には [更新] ボタンをクリックして本機の設定を再読み込みしてください。

	項　目
メイン	電源
	入力ソース
	ブランク オン / オフ
	消音
	静止
	拡大
	拡大位置 V
	拡大位置 H
	テンプレート
	シェード [オン]: 閉 / [オフ]: 開
	ズーム ⇤ / ⇥ : 可動範囲の上限または下限までレンズを回転します。 ■ : レンズの回転を停止します。 « / ‹ / › / » : 2 段階で微調整を行うことができます。
	FOCUS ⇤ / ⇥ : 可動範囲の上限または下限までレンズを回転します。 ■ : レンズの回転を停止します。 « / ‹ / › / » : 2 段階で微調整を行うことができます。
	レンズシフト V レンズシフト H ⇤ / ⇥ : 可動範囲の上限または下限までレンズを回転します。 ■ : レンズの回転を停止します。 « / ‹ / › / » : 上下左右に 2 段階で微調整を行うことができます。
	レンズメモリ
	画面設定 - オフ / PbyP / PinP ドロップダウンリストから 2 画面表示モード（オフ / PbyP/ PinP）を選択し、[適用] ボタンで決定します。PbyP または PinP の表示モード中に、[Edit] ボタンをクリックすると、詳細設定を行う画面が表示されます。
	マイ イメージ
	マイ イメージ削除

（次ページにつづく）

項　目		
映像	ピクチャー クオリティ	映像モード
		ガンマ
		色温度
		ACCENTUALIZER
		HDCR
		カラーマネージメント
	明るさ	
	コントラスト	
	色の濃さ	
	色あい	
	画質	
	アクティブアイリス	
	マイメモリー	
表示	アスペクト 入力信号によっては選択したパラメータが設定できないことがあります。	
	オーバースキャン	
	垂直位置	
	水平位置	
	クロック位相	
	水平サイズ	
	オートアジャスト実行	
入力	プログレッシブ	
	VIDEO NR	
	色空間	
	ビデオフォーマット	
	デジタルフォーマット	
	デジタルレンジ	
	COMPUTER- イン	
	フレームロック	

（次ページにつづく）

項　目		
設置	キーストン	キーストン V
		キーストン H
	コーナーフィット	設定 - Corner Position/Line Distortion
	ワーピング	モード
	エッジブレンディング	モード
		ブレンディングレベル
		ブレンディング領域
		切り出し
		調光レベル
		ホワイトバランス - ゲイン
		ホワイトバランス - オフセット
		黒レベル
	ランプ＆フィルター	エコモード
		フィルター掃除通知
	イメージオプティマイザ	
	画像表示位置	
	設置方法	
	スタンバイモード **〈お知らせ〉** ● 「スタンバイモード」が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態のときにネットワーク機能は使用できません。ネットワークに接続する前に、「スタンバイモード」を「通常」に設定してください（📖**2-21**）。	
	OSD メッセージ	
オーディオ	音量	
	スピーカー	
	音声入力設定	

（次ページにつづく）

項　目	
スクリーン	表示言語 ［ 適用 ］ボタンをクリックすると、プロジェクターの表示言語の設定と合わせて、 Web 画面の表示言語も選択した言語に切り替わります。
	メニュー位置 V メニュー位置 H
	ブランク
	オートブランク
	初期画面
	マイスクリーンロック
	テンプレート
	C.C. - ディスプレイ
	C.C. - モード
	C.C. - チャンネル
その他	チャンネルスキップ
	オートサーチ
	ダイレクトパワーオン
	オートパワーオフ
	シェードタイマー
	マイボタン － 1 / 2 / 3 / 4
	リモコン受光部
	リモコン周波数
	リモコン ID
特別な設定	プレゼンターモード解除 プレゼンターモードを強制的に解除します。プレゼンターモードの詳細については「ネットワークプレゼンテーション」を参照してください（📖**3-60 ～ 62**）。

リモートコントロール

MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ/
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ/
MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ/
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ

MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ

同梱のリモコンの機能を Web リモートコントロール画面で使用できます。

本機の付属品のリモコンと WEB リモコンを同時に使用して本機を操作しないでください。同時に使用すると誤動作するおそれがあります。

- スタンバイ
- オン
- COMPUTER IN
- HDMI 1
- HDMI 2
- DisplayPort
- HDBaseT
- SDI (MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ)
- VIDEO
- LAN
- AV ミュート
- 静止
- ▲ / ▼ / ◀ / ▶
- 決定
- メニュー
- 初期化

〈お知らせ〉

- 一回のクリックでは一回の操作しか行うことができません。連続して操作するにはボタンを繰り返しクリックする必要があります。
- ボタンを連続してクリックすると一部のコマンドが正常に送信されないことがあります。少し間をおいて再度クリックしてください。
- [スタンバイ] または [オン] ボタンをクリックすると、本機の電源を入れる / 切るの確認メッセージが表示されます。そのまま電源の操作を行うには [OK] ボタンを、元の状態に戻すには [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

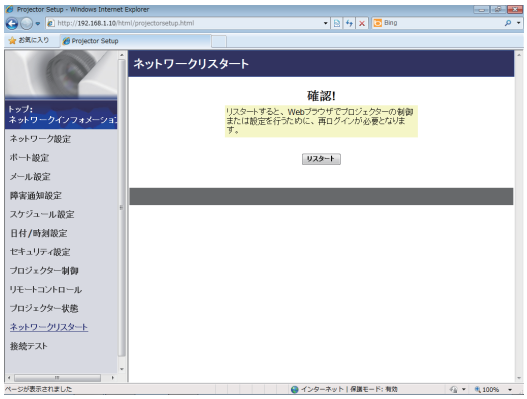
プロジェクター状態

本機の現在の設定および状態を表示します。

項　目	説　明
エラー状態	現在起きているエラー状況を表示します。
ランプ時間	ランプの経過使用時間を表示します。
フィルター時間	エアーフィルターの経過使用時間を表示します。
フィルター状態	エアーフィルターのお手入れレベルを表示します。
電源状態	本機の電源の状態を表示します。
入力選択状態	選択されている映像入力端子を表示します。
ブランク オン / オフ	ブランク画面のオン / オフ状態を表示します。
消音	消音のオン / オフ状態を表示します。
静止	映像の静止 / 通常表示の状態を表示します。
シェード	レンズシェードの状態を表示します。

ネットワークリスタート

本機のネットワーク接続を再起動します。



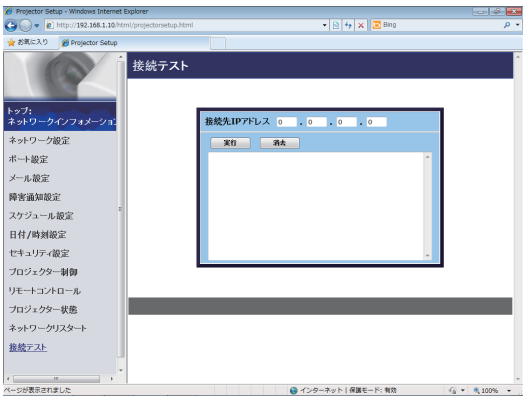
項　目	説　明
リスタート	保存した新しい設定を有効にするために、ネットワーク接続を再起動します。

〈お知らせ〉

●ネットワーク接続を再起動した後、再び Web コントロールで設定を変更、あるいは本機を操作するには、再起動して 30 秒以上経ってから再度ログインする必要があります。

接続テスト

DNS サーバー、SNTP サーバーなどと、ネットワークが接続しているかどうかを確認することができます。



項　目	説　明
接続先 IP アドレス	接続先の IP アドレスを入力し、[実行] ボタンをクリックすると、接続テストを実行します。

接続できた場合の表示例：

```
PING 192.168.1.200 (192.168.1.200): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.1.200: seq=0 ttl=128 time=2.136 ms
64 bytes from 192.168.1.200: seq=1 ttl=128 time=0.524 ms

--- 192.168.1.200 ping statistics ---
2 packets transmitted, 2 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.524/1.330/2.136 ms
```

接続できなかった場合の表示例：

```
PING 192.168.100.200 (192.168.100.200): 56 data bytes

Destination host unreachable.
```

〈お知らせ〉

- 接続先の IP アドレスの情報は、IT 管理者に問い合わせてください。
- ファイアーウォールやパケットフィルタリングなどの設定により、接続確認用のパケットが接続先に到達する前に破棄された場合、接続が正しく行われていても接続テストの結果がエラーとなることがあります。
- 接続テストの結果の表示は英語のみとなります。

Crestron e-Control®

上図のメイン画面が最初に表示されます。ただし、Tools 画面（📖**3-56, 57**）で "User Password" を有効に設定していると、右図のようにパスワードの入力を要求するダイアログが表示され、入力するまで操作は有効となりません。設定したパスワード入力後にダイアログが消えて、メイン画面が表示されます。
下記のようにメイン画面の右上にあるタブをクリックして、以下の各画面に表示を切り替えることができます。

タブ	説　明
Log Out	e-Control® からログアウトします。 このタブは、Tools 画面で "User Password" が有効に設定されているときのみ、表示されます。
Tools	Tools 画面を開きます（📖**3-56, 57**）。
Info	Info 画面を開きます（📖**3-58**）。
Contact IT Help	Help Desk ボックスを開きます（📖**3-59**）。

〈お知らせ〉

- 以下のいずれかの場合、選択画面（📖**3-28**）は表示されず、プロジェクター Web コントロールのログイン画面が表示されます。
  - プロジェクター Web コントロールの「ネットワーク設定」-「その他の設定」-「Crestron e-Control」（📖**3-35**）が無効に設定されている。
  - プロジェクター Web コントロールの「ネットワーク設定」-「共通設定」-「Crestron」（📖**3-31**）が「オフ」に設定されている。
  - ネットワークメニューの「外部機器接続」-「CRESTRON」（📖**3-25**）が「オフ」に設定されている。
- Crestron e-Control® は、英語でのみ表示されます。
- Crestron e-Control® を使用中に接続が切断されると、"Loading..." の画面が表示されます。本機とコンピュータの接続を確認して、Web 画面を再表示してください。
- Crestron e-Control® の制御は、有線 LAN 経由のみの対応となります。

メイン画面

メイン画面では、プロジェクターの基本的な制御を行うことができます。

〈お知らせ〉

●プロジェクターがスタンバイ状態のときは、Power ボタンのみ有効です。

1. 各ボタンで以下の操作を行うことができます。

ボタン	説　明
Power	本機の電源（ランプ）のオン / オフを設定します。
Vol - / Vol +	音量を調整します。
Mute	消音のオン／オフを設定します。

2. 入力端子

ボタンをクリックして映像の入力端子を切り替えることができます。
現在選択されている映像入力端子に追従してカーソル位置が移動します。

ボタン	説　明
Computer In	**COMPUTER IN** 端子からの入力を選択します。
HDMI 1	**HDMI 1** 端子からの入力を選択します。
HDMI 2	**HDMI 2** 端子からの入力を選択します。
DisplayPort	**DisplayPort** 端子からの入力を選択します。
HDBaseT	**HDBaseT** 端子からの入力を選択します。
SDI*	**SDI** 端子からの入力を選択します。
Video	**VIDEO** 端子からの入力を選択します。
LAN	**LAN** 端子からの入力を選択します。

* MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ

（次ページにつづく）

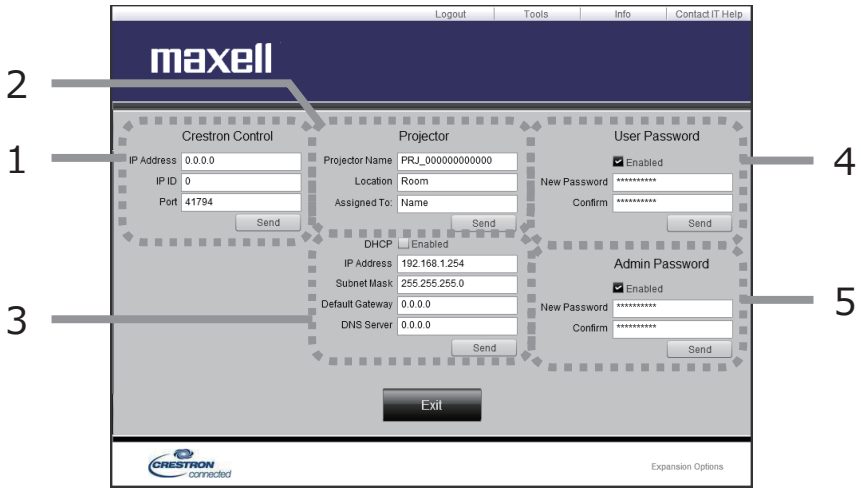
3. 各ボタンで、以下の操作を行うことができます。表示されていないボタンは、（ボタンの）左右端にあるアイコン ◀ / ▶ をクリックすると表示されます。

ボタン	説　明
Freeze	画面の静止のオン / オフを設定します。
Contrast	コントラストを調節します。
Brightness	明るさを調整します。
Color	色の濃さを調整します。
Sharpness	画質を調整します。
Magnify	画面の拡大設定を ＋ / - ボタンで操作します。 ▲ / ▼ /◀/▶ ボタンで、拡大箇所を移動できます。
Auto	画面の自動調整を実行します。
Blank	ブランクのオン / オフを設定します。

4. 付属品のリモコンのボタンと同じように操作することができます。

ボタン	説　明
Menu	**MENU** ボタンと同様に動作します。
Enter	**ENTER** ボタンと同様に動作します。
Reset	**RESET** ボタンと同様に動作します。
▲	カーソルボタン▲と同様に動作します。
▼	カーソルボタン▼と同様に動作します。
◀	カーソルボタン ◀ と同様に動作します。
▶	カーソルボタン ▶ と同様に動作します。

Tools 画面



Tools 画面では、本機と Crestron® コントロールシステムの設定を行います。
メイン画面に戻るには、[Exit] ボタンをクリックしてください。

〈お知らせ〉

- 全角文字を使用すると、入力された文字は正しく設定されません。
- 全項目とも空欄のまま設定することはできません。

1. Crestron Control
Crestron® コントロールシステムに関する設定を行います。

項　目	説　明
IP Address	コントロールシステムの IP アドレスを設定します。
IP ID	コントロールシステムの IP ID を設定します。
Port	コントロールシステムの通信に使用するポート番号を指定します。

設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

2. Projector
本機のネットワーク設定を行います。

項　目	説　明
Projector Name	プロジェクター名を設定します。半角英数字で最大 64 文字まで入力できます。
Location	設置場所名を設定します。半角英数字で最大 32 文字まで入力できます。
Assigned To:	利用者名を設定します。半角英数字で最大 32 文字まで入力できます。

以下の文字とスペースを使用できます。

!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~

設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

（次ページにつづく）

3. Projector
本機のネットワーク設定を行います。

項　目	説　明
DHCP	DHCP を有効にします。
IP Address	DHCP が無効の場合の IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	DHCP が無効の場合のサブネットを設定します。
Default Gateway	DHCP が無効の場合のデフォルトゲートウェイを設定します。
DNS Server	DHCP が無効の場合の DNS サーバーのアドレスを設定します。

設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

4. User Password
User Password を設定します。Crestron e-Control® を開始するときに User Password を要求するには、チェックボックスにチェックを入れてください。

項　目	説　明
New Password	パスワードを設定します。 半角英数字で最大 26 文字まで入力できます。以下の文字とスペースを使用できます： !"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~
Confirm	確認のためパスワードを再入力します。パスワードが一致しないとエラーメッセージが表示されます。

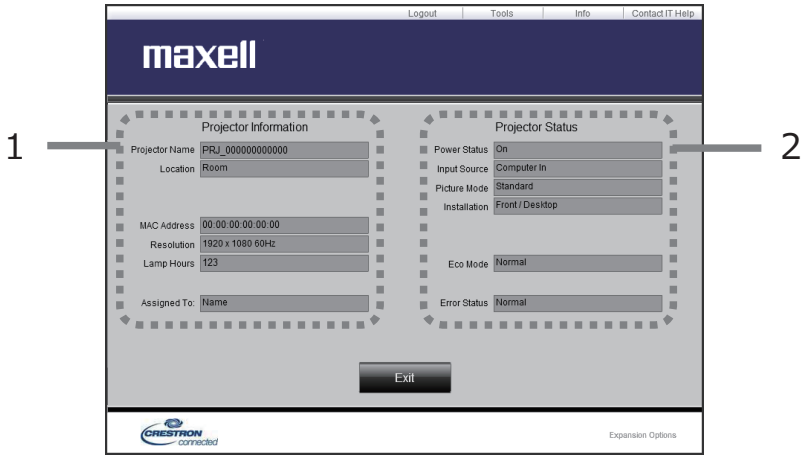
設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

5. Admin Password
Admin Password を設定します。Tools 画面を表示する前に Admin Password の入力を要求するには、チェックボックスにチェックを入れてください。

項　目	説　明
New Password	パスワードを設定します。 半角英数字で最大 26 文字まで入力できます。以下の文字とスペースを使用できます： !"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~
Confirm	確認のためパスワードを再入力します。パスワードが一致しないとエラーメッセージが表示されます。

設定を反映させるには、[Send] ボタンをクリックしてください。

Info 画面



1. Projector Information

項　目	説　明
Projector Name	プロジェクター名（📖**3-56**）を表示します。
Location	本機に設定した設置場所名（📖**3-56**）を表示します。
MAC Address	本機の有線 LAN MAC アドレスを表示します。
Resolution	現在入力されている信号の解像度と垂直周波数を表示します。
Lamp Hours	現在のランプの使用時間を表示します。
Assigned To:	本機に設定した利用者名（📖**3-56**）を表示します。

2. Projector Status

項　目	説　明
Power Status	本機の電源の状態を表示します。
Input Source	選択されている映像入力端子を表示します。
Picture Mode	現在の映像モードの設定を表示します。
Installation	現在の設置方法の設定を表示します。
Eco Mode	現在のエコモードの設定を表示します。
Error Status	現在起きているエラー状況を表示します。

〈お知らせ〉

- "Projector Name"、"Location"、および "Assigned To:" に設定している文字数が多い場合、途中までしか画面に表示されない場合があります。

Help Desk ボックス

Crestron RoomView® Express の管理者との間で、メッセージを送受信することができます。

ボタン	説　明
Send	メッセージを送信します。
✉	受信したメッセージを確認します。

緊急警告表示

Crestron RoomView® Express の管理者が緊急メッセージを送信すると、e-Control® の画面上にメッセージが表示されます。この緊急メッセージには、チャット形式で返信メッセージを送ることができます。
緊急メッセージの下に表示されているボックスにメッセージを入力し、[Send] ボタンをクリックしてください。

〈お知らせ〉

- 緊急警告表示についての詳細は、Crestron RoomView® Express の説明書を参照してください。
- Crestron RoomView® からの緊急メッセージは、メッセンジャー機能（📖**3-64 ～ 66**）のリアルタイムテキストと同様にプロジェクターの画面に表示されます。他のリアルタイムテキストが表示されているときは、この緊急メッセージによってデータが上書きされます。ただし、表示優先度の高いリアルタイムテキストが表示されている場合は上書きされず、緊急メッセージは表示されません。詳細はメッセンジャー機能のアプリケーションに付属の説明書をご参照ください。

ネットワークプレゼンテーション

概要

コンピュータ画面や音声を本機へネットワーク経由で転送し、本機で表示または再生することができます。本機能により、プレゼンテーションや会議を円滑に行うことができます。

ネットワークプレゼンテーション機能を使用するには、専用のアプリケーション、"LiveViewer" が必要です。"LiveViewer" は弊社のホームページ（📖**5-2**）から最新版をダウンロードして、ご使用のコンピュータにインストールしてください。

"LiveViewer" のインストール、および "LiveViewer"、ネットワークプレゼンテーションについての詳細は、"LiveViewer" の説明書をご参照ください。

〈お知らせ〉

- 使用できる "LiveViewer" のバージョンは、ご使用のプロジェクターの機種によって異なります。最新版をご使用の際、"LiveViewer" の説明書で適合する機種グループをご確認ください。本機の所属する機種グループはグループ H です。
- Mac OS® をご利用の方は、ウェブサイトよりソフトウェアをダウンロードしてください。詳細は「アプリケーション」（📖**3-13, 14**）をご参照ください。

表示モード

LiveViewer にはシングル PC モードとマルチ PC モードの 2 種類の表示形式があります。

シングル PC モード

コンピュータ / スイッチャーからの映像を、無線 LAN または有線 LAN 経由でフルスクリーンで表示します。

■プレゼンターモード

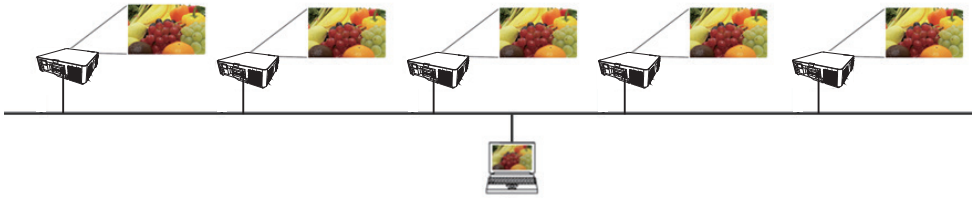
シングル PC モード時、LiveViewer にてプレゼンターモードが ON の場合、他のコンピュータから本機へのアクセスはブロックされます。プレゼンテーション中に他のコンピュータからの映像が送信されて不意に画面が切り替わることはありません。プレゼンターモードは LiveViewer のオプションメニューで ON にすることができます。

マルチ PC モード

最大 4 台のコンピュータからの映像を同時に表示することができます。

マルチプロジェクターモード

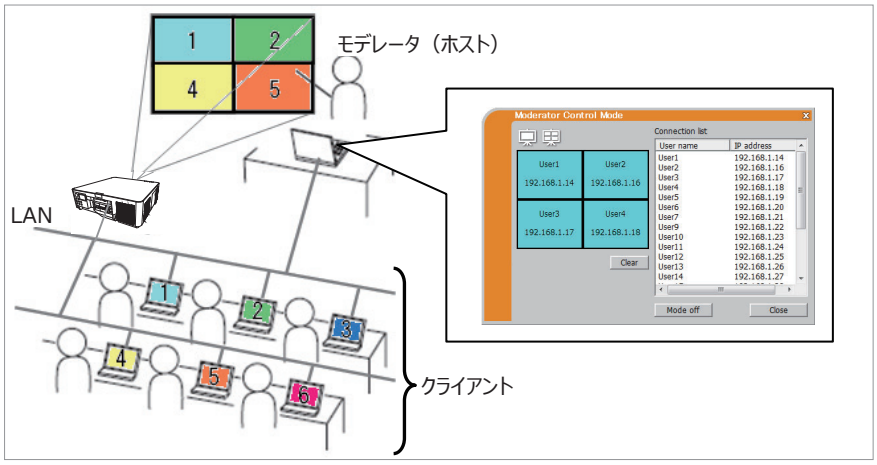
マルチプロジェクターモードにより、無線 LAN または有線 LAN 経由で最大 12 台のプロジェクターとコンピュータを同時に接続することができます。



本機能は Windows® 版 LiveViewer のみ対応しています。

モデレータコントロールモード

1 台のコンピュータをモデレータ（ホスト）として指定し、無線 LAN または有線 LAN 経由で本機と接続したコンピュータ（クライアント）を操作できます。クライアントからは LiveViewer および本機を操作できないため、円滑に会議や授業を行うことができます。



本機能は Windows® 版 LiveViewer のみ対応しています。

ポート番号

LiveViewer で使用しているポート番号を以下に示します。

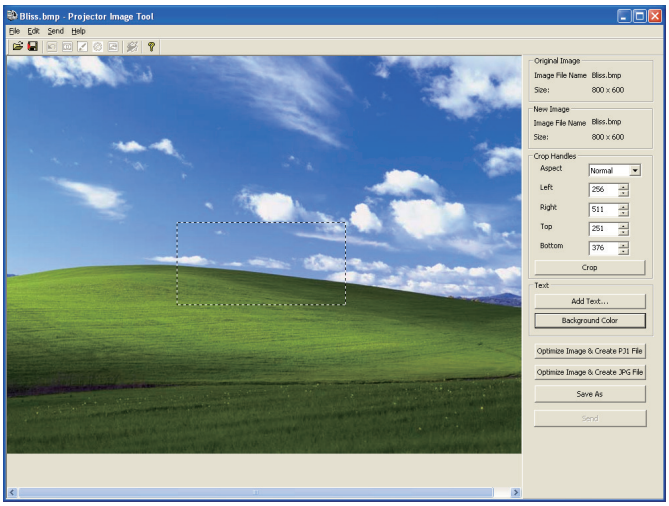
ポート番号	プロトコル
5500	TCP
5900	TCP
9720	TCP

〈お知らせ〉

- 他のアプリケーションが上記のポートを使用している場合、LiveViewer および Projector Quick Connection が動作しない可能性があります。

マイ イメージ

ネットワーク経由で静止画像（マイ イメージ）を本機に転送し、表示させることができます。
最大 4 つの画像データを本機に転送、登録することができます。



マイ イメージの転送には、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。

コンピュータおよびプロジェクターの設定と操作に関しては、アプリケーションのマニュアルをご参照ください。
転送した画像を表示するには、ネットワークメニューでマイ イメージを選択してください。詳しくは「ネットワーク」-「マイ イメージ」の説明をご覧ください（📖**3-25**）。

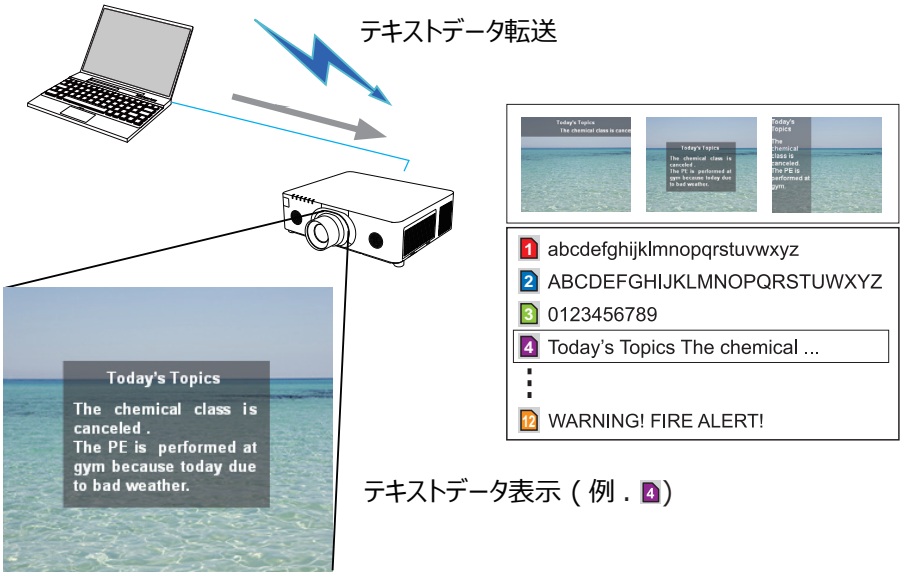
〈お知らせ〉

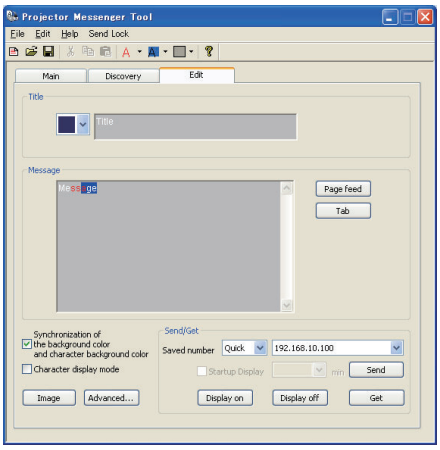
- マイ イメージは、マイ イメージ機能を割り当てたマイボタン（1 ～ 4）（📖2-31）でも表示することができます（📖【応用編】「その他メニュー」）。
- マイ イメージ機能で本機に転送した画像は、スケジュール機能を使用して表示することができます。詳細はスケジュール機能（📖3-74 ～ 76）をご覧ください。
- 無線 LAN と有線 LAN で、同時にマイ イメージ画像を本機に転送すると、本機がデータを正常に処理できない場合があります。

メッセンジャー

概要

テキストデータをネットワーク経由で本機に転送し、表示させることができます。また、音声データを本機内部で再生することができます。
テキストデータをネットワーク経由で転送してリアルタイムで表示させる方法と、本機に保存されたテキストデータから選択して表示させる方法が可能です。
本機には最大 12 項目のテキストデータを登録することができます。





メッセンジャー機能を使用するには、コンピュータに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。テキストデータを編集、転送、表示するにはアプリケーションをお使いください。

コンピュータおよびプロジェクターの設定と操作に関しては、アプリケーションのマニュアルをご参照ください。

対応言語

メッセンジャー機能で表示できる言語を以下に示します。

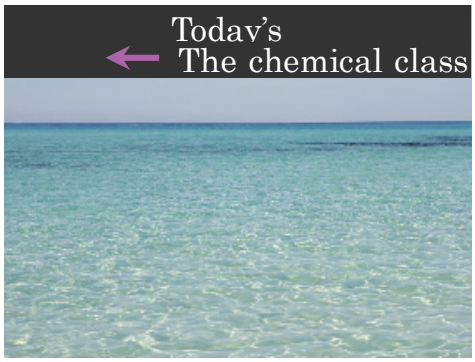
英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ノルウェー語、オランダ語、ポルトガル語、スウェーデン語、フィンランド語、デンマーク語、ブラジルポルトガル語、インドネシア語、リトアニア語、エストニア語、ラトビア語、ポーランド語、チェコ語、ハンガリー語、スロベニア語、クロアチア語、ロシア語、トルコ語、ギリシャ語、日本語、中国語（簡体）、中国語（繁体）、韓国語、ベトナム語

表示スタイル

メッセージの表示形式は、4 種類用意されています。以下それぞれについて説明します。

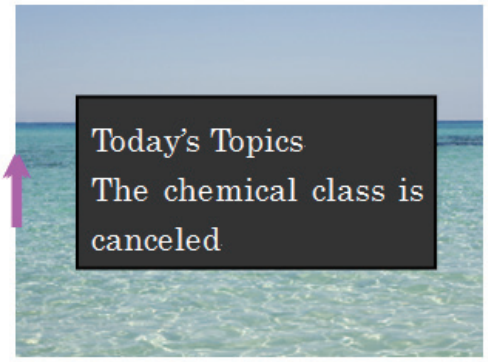
1) スクロール表示

画面上部のメッセージ表示領域に、メッセージが左方向にスクロールします。



2) ボックス表示

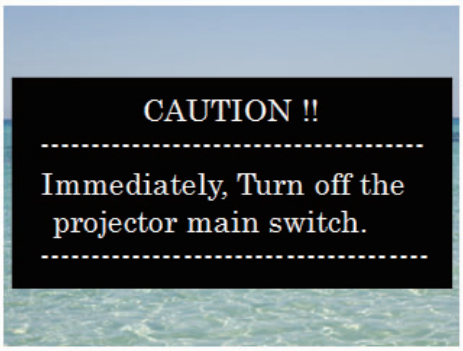
四角形のメッセージ表示領域内でメッセージが下から上方向に縦スクロールします。



（次ページにつづく）

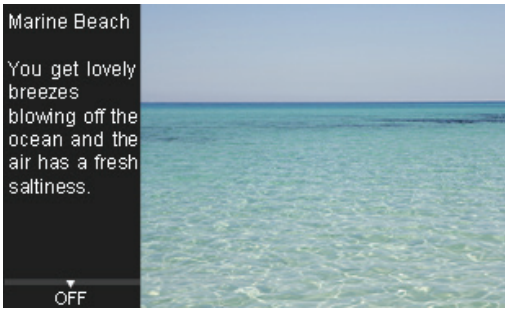
3) ポップオン表示

四角形のメッセージ表示領域内で、メッセージを一括で表示させます。



4) ピクチャーサイド表示

画面の左側か右側のメッセージ表示領域にメッセージが表示されます。本表示方法は、ワイドモデルのプロジェクターのみ対応しています。

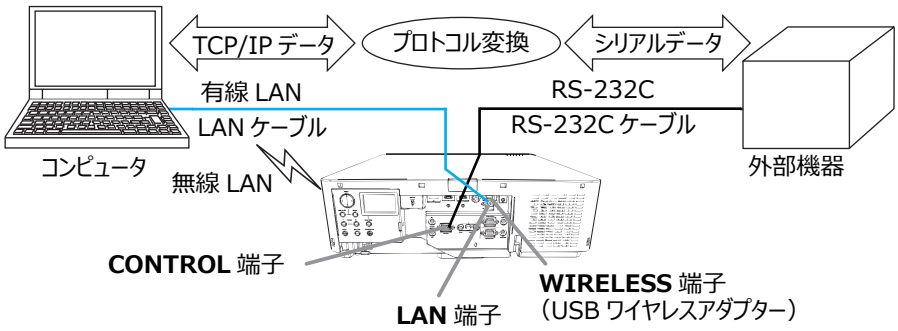


〈お知らせ〉

- 転送されたテキストデータは、メッセンジャー機能を割り当てたマイボタン（1 ～ 4）（📖**2-31**）でも表示することができます（📖【応用編】「その他メニュー」）。
- テキストデータは、スケジュール機能を使用して Web ブラウザでも表示することができます。詳しくはスケジュール機能（📖**3-74 ～ 76**）をご覧ください。
- 無線 LAN と有線 LAN から同時にデータが送信された場合、本機でデータを正常に処理できない場合があります。

ネットワークブリッジ

本機は、ネットワークプロトコルとシリアルインタフェースの相互変換を行うネットワークブリッジ機能に対応しています。
ネットワークブリッジ機能を使うと、本機と RS-232C 通信で接続した外部機器を、本機とネットワーク（有線 / 無線 LAN）で接続したコンピュータから、ネットワーク端末と同様に制御することができます。



機器の接続

1) 有線 LAN を使用する場合は、本機の **LAN** 端子とコンピュータの **LAN** 端子を LAN ケーブルで接続してください。
   無線 LAN を使用する場合は、本機の **WIRELESS** 端子に USB ワイヤレスアダプターを接続してください。
2) 本機の **CONTROL** 端子と外部機器の **RS-232C** 端子を、RS-232C ケーブルで接続します。

〈お知らせ〉

- 接続の前に、接続する各機器の説明書をお読みになり、正しく接続してください。RS-232C の接続については、本機と接続する外部機器の端子の仕様を確認の上、適切な通信ケーブルを使用してください（📖【技術情報編】「入出力信号端子」

通信設定

本機のネットワークブリッジに関する通信設定は、本機の「通信設定」メニューから設定を行ってください。詳細メニューから、「その他」メニューの「特別な設定」から「通信設定」を選択し、「通信設定」メニューを表示してください（📖【応用編】「その他」>「特別な設定」>「通信設定」）。

1)「通信タイプ」で「ネットワークブリッジ」を選択してください（お使いの接続により、無線または有線のどちらかを選択してください）。

2)「シリアル設定」で「ボーレート」と「パリティ」を、接続した外部機器の RS-232C 設定に合わせて設定してください。

項　目	条　件
ボーレート	4800bps/9600bps/19200bps/38400bps
パリティ	なし / 奇数 / 偶数
データ長	8 bit（固定）
スタートビット	1 bit（固定）
ストップビット	1 bit（固定）

3) ご使用に合わせて CONTROL 端子の「通信方式」を設定してください。

〈お知らせ〉

- 工場出荷時、「通信タイプ」は「オフ」に設定されています。
- 「通信設定」メニューで設定を行ってください。設定が適切でないと、通信に不具合が生じる場合があります。
- 「通信タイプ」を「ネットワークブリッジ」に設定している時は、**CONTROL** 端子経由で本機を制御するための RS-232C コマンドを受信できません。

通信ポート

ネットワークブリッジ機能をご利用の際は、Web ブラウザの「ポート設定」で「ネットワークブリッジポート」の設定を行い、コンピュータから本機へデータを送信してください（📖**3-37**）。

〈お知らせ〉

- 1024 ～ 65535 のうち、4352、5500、5900、9715、9716、9719、9720、41794 以外の番号を " ネットワークブリッジポート " の " ポート番号 " に設定してください（📖**3-37**）。
  初期設定では 9717 が設定されています。

通信方式

「通信タイプ」で「ネットワークブリッジ」が選択されている場合のみ、メニューから通信方式を選択できます（📖【応用編】「その他」>「特別な設定」>「通信設定」）。

半二重通信 ↔ 全二重通信

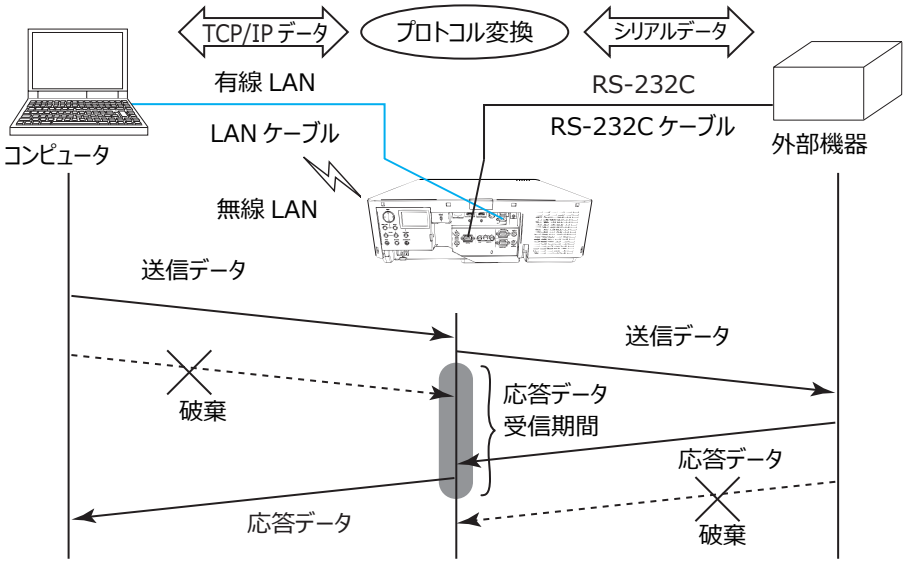
■半二重通信

この方式では、本機は一度に送信または受信のどちらか一方のみ行います。

外部機器からの応答データを待っている間は、本機はコンピュータからのデータを受信しません。本機が応答データを外部機器から受信するか、または応答データ受信期間が経過した後でコンピュータからデータを受信できます。

本機はデータの送信と受信を制御し、通信の同期をとります。

半二重通信を選択した場合は、以下の説明に従って「応答データ受信期間」を設定してください。



「応答データ受信期間」メニューで外部機器からの応答データ待ち時間を設定してください。
（📖【応用編】「その他」>「特別な設定」>「通信設定」）。

オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s (↔ オフ)

〈お知らせ〉

- 半二重通信では、本機は一度に最大 254 バイトまで送信できます。
- 半二重通信方式でも外部機器からの応答を監視しないシステムでは、「応答データ受信期間」を「オフ」に設定すると、コンピュータからのコマンドを連続して送信することができます。工場出荷時は「オフ」に設定されています。

■全二重通信

この方式では、本機は外部機器の応答を監視せず、コンピュータと外部機器の両方と随時に送受信を行います。

コンピュータと外部機器の双方から非同期でデータが送信されます。送信データと応答データの同期をとりたいときは、コンピュータから送受信の制御を行ってください。

〈お知らせ〉

- 全二重通信方式でコンピュータから送受信の制御を行う場合も、本機のデータ処理状況によっては送受信データに欠落が生じ、正しく制御できない場合があります。

その他の機能

電子メール機能による自動通知

本機にメンテナンスが必要な場合やエラーが発生したとき、指定したメールアドレスに自動的に警告メッセージを送信させることができます。

〈お知らせ〉

- 最大 5 つの受信電子メールアドレスを設定できます。
- 本機の電源が突然切れた場合は、電子メールを送信できないことがあります。
- ご使用のメール環境によってはメールが正しく送信できない場合があります。

プロジェクターからメールで通知できるエラー / 警告項目を以下に示します。

項　目	説　明
カバーエラー	ランプカバーがきちんと装着されていません。
ファンエラー	冷却ファンが動作していません。
ランプエラー	ランプが点灯しません。 ランプ、および本機内部が高温になっている可能性があります。
温度エラー	本機内部が高温になっている可能性があります。
エアフローエラー	内部の温度が上がっています。 エアフィルターが目詰まりしている可能性があります。
低温エラー	本機の内部温度が低すぎる可能性があります。
フィルターエラー	エアフィルターの使用時間が通知設定時間を超えました。
シェードエラー	レンズシェードがきちんと動作していません。
レンズシフトエラー	レンズシフトがきちんと動作していません。
電源瞬断エラー	電源が瞬間的に遮断されました。
その他のエラー	上記以外のエラーが発生しました。 表示された場合は、販売店に連絡してください。
スケジュール実行エラー	スケジュールで登録されたイベントの実行に失敗しました。
ランプ時間警告	ランプ時間が指定された警告時間を超えました。
フィルター時間警告	フィルター時間が指定された警告時間を超えました。
フィルター状態警告	エアフィルターのお手入れレベルが変更されました。
状態監視警告	本機の設置状態の変更が検知されました。 状態監視機能については、【応用編】「セキュリティメニュー」の「 状態監視 」 （📖**2-45**）をご覧ください。

〈お知らせ〉

- " フィルターエラー " は、「設置」メニューの「ランプ＆フィルター」-「フィルター掃除通知」（📖**2-20**）で設定された、フィルター掃除通知の表示設定時間を超えると通知のメールが送信されます。「フィルター掃除通知」を「無効」に設定していると通知のメールは送信されません（📖【応用編】「設置」メニュー）。
- " ランプ時間警告 " は、ランプ時間をメールで通知します。プロジェクター Web コントロールで設定したランプ時間を過ぎると、メールが送信されます。
- " フィルター時間警告 " は、フィルター時間をメールで通知します。プロジェクター Web コントロールで設定したフィルター時間を過ぎると、メールが送信されます。
- " フィルター状態警告 " は、ステータス 1 およびステータス 2 両方、もしくは片方のみに設定することができます。" フィルター状態警告 " の各ステータスは、本機の **FILTER** インジケータの色に相当します。" ステータス 1" では、**FILTER** インジケータの色が橙色（緑から橙）、" ステータス 2" では、赤色（橙から赤）に変わった時点で警告が通知されます。詳細は【応用編】の **FILTER** インジケータを参照してください。

電子メール機能による自動通知を使用するには、 Web ブラウザから以下の項目を設定してください。

メール設定

1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [メール設定] を選択します。
2) メール設定ページの各項目を設定します。詳細はメール設定（📖**3-38**）を参照してください。
3) [適用] ボタンをクリックして、設定を保存してください。
4) 電子メールの設定が正しいことを確認して、[テストメール送信] ボタンをクリックしてください。
   下のような形式のメールが指定したメールアドレスに送信されます。

件名：Test Mail < プロジェクター名 >
本文：Send Test Mail

Date	< テスト実施日 >
Time	< テスト実施時間 >
IP Address	< 本機の IP アドレス >
MAC Address	< 本機の MAC アドレス >

障害通知設定

1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [障害通知設定] を選択します。
2) 障害通知設定ページの各項目を設定します。詳細は障害通知設定（📖**3-40**）を参照してください。
3) [適用] ボタンをクリックして、設定を保存してください。

警告メッセージは、次のような形式の電子メールで送信されます。

メール件名: < メール件名 > < プロジェクター名 >
本文: < メール本文 >

Date	< エラー / 警告の発生日 >
Time	< エラー / 警告の発生時間 >
IP Address	< 本機の IP アドレス >
MAC Address	< 本機の MAC アドレス >

SNMP によるプロジェクター管理

SNMP (Simple Network Management Protocol) により、本機のエラー / 警告情報をネットワークに接続されたコンピュータから管理することができます。

〈お知らせ〉

- SNMP 機能の実行はネットワーク管理者が行うことをお勧めします。
- SNMP によって本機を監視できるようにするには、SNMP マネージャがコンピュータにインストールされている必要があります。

標準 MIB (MIB-2)

標準 MIB (MIB-2) の system のグループに定義されている以下の項目を参照することができます。

項　目	説　明
sysName	プロジェクター名が設定されています。
sysLocation	設置場所に関する情報です。プロジェクター Web コントロール - [ネットワーク設定] - [共通設定] の sysLocation (SNMP) で設定した文字列が設定されています。
sysContact	管理者の連絡先に関する情報です。プロジェクター Web コントロール - [ネットワーク設定] - [共通設定] の sysContact (SNMP) で設定した文字列が設定されています。

拡張 MIB

プロジェクター用の拡張 MIB を使用すると、プロジェクターの現在の設定情報を取得することができます。プロジェクター用拡張 MIB は、プロジェクター Web コントロールの [ポート設定] ページからダウンロードすることができます。

トラップ

プロジェクターがエラー / 警告状態となった場合に指定したアドレスへ通知を送ることができます。通知できるエラー / 警告は、電子メール機能による自動通知（📖**3-70, 71**）で示したメールで通知できる項目に加えて、以下の通知を送ることができます。

項　目	説　明
Cold Start	本機に電源が供給されている場合、下記の通り通知します。 •「スタンバイモード」（📖**2-21**）が「通常」に設定されている場合： 本機が電源に接続され、スタンバイ状態になりました。 •「スタンバイモード」が「省電力」に設定されている場合： 本機のパワーが入り、ランプが点灯しました。 （📖【応用編】「設置」メニュー）
Authentication Failure	未認証の SNMP コミュニティからの SNMP アクセスがありました。

SNMP によるプロジェクター管理を行うには、 Web ブラウザから以下を設定してください。

ポート設定（📖3-36, 37）

1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [ポート設定] を選択します。
2) [MIB ファイルのダウンロード] をクリックして MIB ファイルをダウンロードします。
3) SNMP Port のポートオープンの [有効] チェックボックスをオンにして SNMP ポートを開いてください。トラップアドレスにエラー / 警告発生時に SNMP トラップを送信するアドレスを設定してください。

セキュリティ設定（📖3-45）

1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [セキュリティ設定] を選択します。
2) "SNMP" を選択して、コミュニティ名を設定してください。

障害通知設定（📖3-40）

エラー / 警告のトラップ転送を設定します。

1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [障害通知設定] を選択します。
2) 通知設定する各エラー / 警告項目を選択してください（📖**3-70, 71**）。
3) SNMPトラップの [有効] チェックボックスをオンにしてください。SNMPトラップ転送の必要がない場合は、[有効] チェックボックスをオフにしてください。
4) 設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

〈お知らせ〉

- ダウンロードした MIB ファイルは、 使用する SNMP マネージャプログラムへ登録してください。
- [ポート設定] および [セキュリティ設定] の設定を変更した場合は、必ずネットワークリスタートを実行してください（📖**3-51**）。

スケジュール機能

スケジュール機能により電源オン / オフなどのイベントを設定することができ、本機の " 自己管理 " を可能にします。
スケジュールは、プロジェクター Web コントロールまたは本機の「その他」-「スケジュール」メニューで設定することができます。

スケジュールの設定を行う前に、以下の注意事項を確認してください。

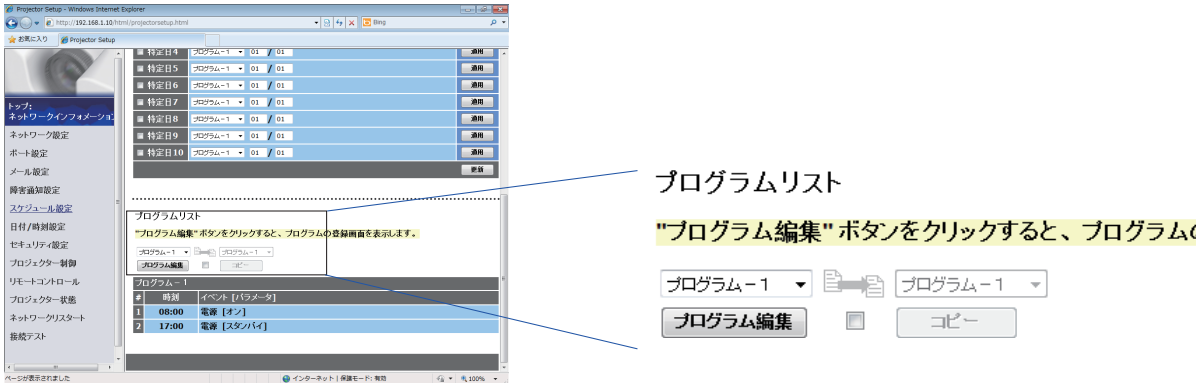
〈お知らせ〉

- スケジュールは、プロジェクター本体の「その他」-「スケジュール」メニューでも設定することができます。（【応用編】「その他メニュー」を参照してください。）
- スケジュールのプログラムは最大 16 通りまで作成することができます。また、1 つのプログラムに対して最大 20 個のイベントを登録することができます。
- 工場出荷状態では、プログラム 1 ～ 16 まで全てのプログラムにおいて、イベントは登録されていません。初めてスケジュール機能を使用する時は、先にプログラムを作成しておく必要があります。
- スケジュールの優先順位は、1）特定日、2）曜日の順になります。
- 最大 10 個の特定日を登録できます。同日の同時刻に 2 つ以上のイベントが設定されている場合、小さい番号の方が優先されます（例：‘特定日 No. 1’ は ‘特定日 No. 2’ およびその他より優先されます）。
- 同日の同時刻に複数のイベントを設定すると、" 電源 オン " のイベントは最後に実行されます。
- スケジュール設定を有効にする前に、必ず日付 / 時刻を設定してください（📖**3-44**）。
- 本機を移動したら、スケジュールを調整する前に、プロジェクターに設定されている日時を確認してください。
- 内蔵時計の時間は、ずれたり初期化されてしまう場合があります。正確な時間を維持するためには SNTP を使用することをお勧めします。
- 本機で、温度エラー、ランプエラーなどの何らかのエラーが発生していると、スケジュールは正常に実行されません。
- 本機のランプが点灯していない、または表示するデータが本機に登録されていないと、" マイ イメージ " と " メッセンジャー " のイベントは正常に実行されません。
- 本機のセキュリティ機能が働き、プロジェクターの使用が制限された状態では、" 入力ソース " と " マイ イメージ " のイベントは正常に実行されません。

以下、Web 画面でスケジュールの設定を行う手順について説明します。

スケジュール機能を使用するには、始めにプログラムの作成が必要です。プログラムには、電源制御や入力端子の切り替えなど各種イベントと、それらを実行する時刻を登録します。工場出荷状態では、全てのプログラムでイベントは登録されていません。以下の手順に従ってプログラムを作成してください。
既にプログラムを作成している場合は、手順 6）へお進みください。

1) プロジェクター Web コントロール画面のメインメニューで [スケジュール設定] を選択してください。



2) プログラムリストの下にあるドロップダウンリストで作成するプログラムの番号を選択し、[プログラム編集] をクリックすると、下図のようなプログラム編集画面が表示されます。下図は、プログラム - 1 の編集画面を示しています。

3) 時刻、イベント、パラメータを設定してから、[登録] ボタンをクリックしてください。
イベントを削除する場合は [削除] ボタンをクリックしてください。
現在選択しているプログラムの全てのイベントを削除したい時は、[全て削除] ボタンをクリックしてください。

（次ページにつづく）

4) 続けて別の番号のプログラムを編集したい時は、ドロップダウンリストで編集したいプログラムを選択し、
[選択] ボタンをクリックしてください。選択したプログラムの編集画面が表示されます。

5) プログラムの作成が終了したら、[戻る] ボタンをクリックし、スケジュール管理画面に戻ってください。

ここからは、手順 1) ～ 5) で作成したプログラムを実際にスケジュールに割り当てる手順について説明します。

6) スケジュール管理画面で、実行するスケジュール（例えば、毎週月曜日に実行する場合は " 月曜日 "）
のチェックボックスをオンにします。

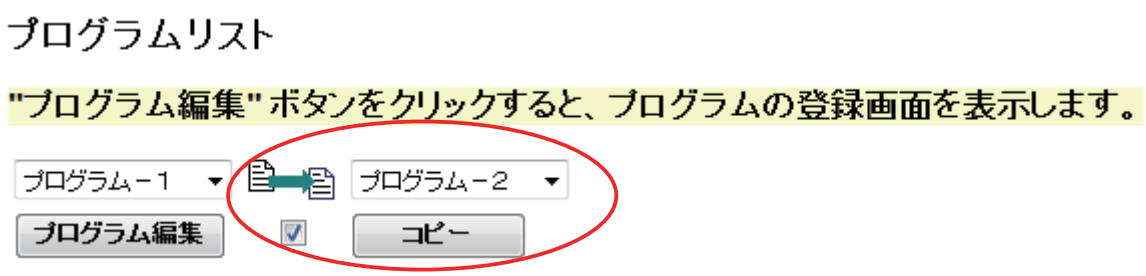
7) 使用するプログラムをドロップダウンリストから選択します。画面下部のプログラムリストで、各プログラムに登録されているイベント情報を確認することができます。
特定日 1 ～ 5 を指定する場合は、日付（月 / 日）の設定を入力します。

8) [適用] ボタンをクリックすると、プロジェクターがスケジュール設定を受け付けます。
同様に、実行したいスケジュールについて、手順 6) ～ 8) を繰り返します。

以上で、スケジュールの設定は完了です。
最後に、プロジェクターの時刻が正しく設定されていることを確認してください。

■プログラムのコピー方法について

作成したプログラムを別のプログラムにコピーして使用したい時は、 アイコン下のチェックボックスをオンにします。コピー先のプログラムをドロップダウンリストから選択し、[コピー] ボタンをクリックしてください。
現在選択しているプログラムと同じプログラムをコピー先に指定することはできません。



ネットワークからのコマンド制御

ネットワーク経由で RS-232C コマンドを使用し、本機を操作、設定することができます。

コマンド制御ポート

コマンド制御には、以下の 2 ポートが割り当てられています。
TCP #23（ネットワーク制御 ポート 1（ポート：23））
TCP #9715（ネットワーク制御 ポート 2（ポート：9715））

〈お知らせ〉
●コマンド制御は上記の 2 ポートのみで可能です。

コマンド制御設定（📖3-36）

以下の項目を Web ブラウザから設定してください。

例：本機の IP アドレスが 192.168.1.10 の場合：

1) Web ブラウザのアドレスバーに “http://192.168.1.10/” を入力し、選択画面でプロジェクター Web コントロールを選択してください。
2) ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。
3) メインメニューの [ポート設定] をクリックしてください。

4) ネットワーク制御 ポート 1（ポート：23）の " ポートオープン "[有効] のチェックボックスをオンにしてネットワーク制御 ポート 1 を有効にしてください（📖3-36）。認証設定が必要なときは、" 認証 "[有効] のチェックボックスをオンにして認証を有効にしてください。必要ない場合は、チェックボックスをオフにしてください。
5) ネットワーク制御 ポート 2（ポート：9715）の " ポートオープン "[有効] のチェックボックスをオンにしてネットワーク制御 ポート 2 を有効にしてください。認証設定が必要なときは、" 認証 "[有効] のチェックボックスをオンにして認証を有効にしてください。必要ない場合は、チェックボックスをオフにしてください。
6) 設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

認証設定を有効にした場合は、以下の設定が必要です（📖3-45）。

7) メインメニューの [セキュリティ設定] をクリックしてください。
8) " ネットワーク制御 " を選択し、認証パスワードを設定してください。

＊下記の〈お知らせ〉をご覧ください。

9) 設定を保存するには [適用] ボタンをクリックしてください。

〈お知らせ〉
●認証パスワードは、ネットワーク制御 ポート 1（ポート：23）、ネットワーク制御 ポート 2（ポート：9715）、PJLink ™ ポート（ポート：4352）、マイ イメージポート（ポート：9716）、メッセンジャーポート（ポート：9719）で共通になります。
●新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、必ずメインメニューの [ネットワークリスタート] をクリックしてネットワーク接続を再起動させてください（📖3-51）。

コマンド形式

通信ポートによってコマンド形式に一部違いがあります。

● TCP #23

・送信データ形式

RS-232C通信と同じコマンドをそのまま使用できます。応答データの形式はRS-232C通信と同じです。
（📖【技術情報編】「RS-232C 通信によるコマンド制御」）
ただし、認証が有効となっている場合は、認証エラーが発生した場合に以下の応答を返します。

< 認証エラー応答 >

応答	エラーコード	
0x1F	0x04	0x00

● TCP #9715

・送信データ形式

以下のように、RS-232Cコマンドの先頭にヘッダ（0 x 02）、データ長（0 x 0D）、チェックサム（1 バイト）、接続 ID（1 バイト）を加えます。

ヘッダ	データ長	RS-232C コマンド	チェックサム	接続 ID
0x02	0x0D	13 バイト	1 バイト	1 バイト

ヘッダ → 0x02, 固定
データ長 → RS-232C コマンドのバイト長（0x0D, 固定）
RS-232C コマンド → 0xBE、0xEF で始まる RS-232C コマンド（13 バイト）
チェックサム → ヘッダからチェックサムまでの和の下位 8 ビットが 0 となる値
接続 ID → 0 ～ 255 のランダムな値（この数値は応答データに付加されます。）

（次ページにつづく）

送信データ形式

接続 ID（データは送信データ形式の接続 ID データと同一）が RS-232C コマンドの応答データに付加されます。

<ACK 応答 >

応答	接続 ID
0x06	1 バイト

<NAK 応答 >

応答	接続 ID
0x15	1 バイト

< エラー応答 >

応答	エラーコード	接続 ID
0x1C	2 バイト	1 バイト

< データ応答 >

応答	データ	接続 ID
0x1D	2 バイト	1 バイト

< ビジー応答 >

応答	ステータスコード	接続 ID
0x1F	2 バイト	1 バイト

< 認証エラー応答 >

応答	認証エラーコード		接続 ID
0x1F	0x04	0x00	1 バイト

ネットワーク接続の自動切断

接続後に 30 秒間通信がなければ、TCP 接続は自動的に切断されます。

認証

認証が有効となっている場合、認証が成功していないコマンドを本機は受信しません。本機の認証には MD5（Message Digest 5）というアルゴリズムを使用しています。認証機能を有効にして本機をコマンド制御するには、本機から送信されるランダムな 8 バイトデータと認証パスワードを MD5 アルゴリズムで処理した認証データを、送信コマンドの先頭に追加する必要があります。

以下は認証パスワードが“password”に設定され、ランダムな 8 バイトデータが“a572f60c”の場合の例です。

1) 本機とコンピュータをネットワークで接続します。
2) 本機からランダムな 8 バイトデータ “a572f60c” を受信します。
3) 受信したランダムな 8 バイトデータと認証パスワードを結合した値、
   “a572f60cpassword”
   を MD5 アルゴリズムで処理します。
4) MD5 アルゴリズムでの処理の結果、
   e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde
   という認証データを得られます。
5) 認証データをコマンドの先頭に付加し、
   e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde + コマンド
   というデータを送信します。
6) 送信データが正しければ、コマンドが実行されて ACK またはデータ応答が返されます。送信データが正しくない場合、認証エラー応答が返されます。

〈お知らせ〉

●ネットワークで接続している間、2 回目以降のコマンドデータ送信では認証データを省略できます。

Crestron Connected™

Crestron Connected™は、Crestron Electronics, Inc.の提供する、マルチユーザリソース・マネジメント・プログラムです。プロジェクターやその他のAV機器など、システム全体を一括して管理・制御するアプリケーションです。
Crestron Connected™についての詳細は、以下のCrestron®のホームページをご覧ください。

URL: http://www.crestron.com

システム全体の管理を行うのに、以下の通信インタフェースをご利用になれます。

1) Crestron Fusion RV® / Crestron RoomView® Express / Crestron RoomView® Server Edition

Fusion RV®、RoomView® ExpressおよびRoomView® Server Editionは、Crestron Electronics, Inc.の提供するソフトウェアです。AV機器全体を管理し、ヘルプデスクとの通信や、警告メッセージを送ったりすることができます。

ソフトウェアについての詳細は、下記のwebサイトをご覧ください。

URL: http://www.crestron.com/getroomview

2) Crestron e-Control®
Crestron e-Control®は、webブラウザ上で操作できる、遠隔制御システムのコントローラーです（📖**3-53 ～ 59**）。

トラブルシューティング

本機のネットワーク機能に関して、以下のような現象が起きている場合は、故障ではない場合があります。修理を依頼される前に下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。処置後も現象が改善しない場合は販売店または「お客様ご相談窓口」（📖**5-2**）にご相談ください。

プロジェクターと通信できない（有線ネットワークをご使用の場合）

確認事項	対処法
プロジェクターの電源が入っていますか？	プロジェクターの電源を入れてください。
ルーター等のネットワーク機器の電源が入っていますか？	ネットワーク機器の電源を入れてください。
「スタンバイモード」の設定は「通常」になっていますか？	スタンバイ状態でネットワーク機能をご使用になりたい場合には、「スタンバイモード」(📖**2-21**) を「通常」に設定してください。
LAN ケーブルが接続されていますか？	LAN ケーブルを差してください。
ネットワーク - 有線ネットワークメニューで設定されている端子に LAN ケーブルが接続されていますか？	有線ネットワークメニューで LAN が設定されている場合は **LAN** 端子、HDBaseT が設定されている場合は **HDBaseT** 端子に LAN ケーブルを接続してください。
ネットワークインフォメーション – 有線 LAN メニューで MAC アドレスが正しく表示されていますか？	本機に張り付けられている MAC アドレスとネットワークインフォメーション – 有線 LAN メニューで表示される MAC アドレスが異なる場合、販売店に問い合わせてください。
IP アドレスなどのネットワーク設定は正しく設定されていますか？	ネットワークインフォメーション – 有線 LAN でネットワーク設定を確認してください。 詳細は、ネットワーク管理者に相談してください。
ルーター等でファイヤーウォールやパケットフィルタリングが設定されていませんか？	ネットワーク管理者に相談してください。
プロジェクターの無線 LAN 設定と有線 LAN 設定が同じネットワークアドレスに設定されていませんか？	無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。無線 LAN と有線 LAN で別のネットワークアドレスに設定してください。
コンピュータの有線ネットワークアダプターが有効になっていますか？	お使いのコンピュータのマニュアルを参照し、有線ネットワークアダプターを有効にしてください。

プロジェクターと通信できない（無線ネットワークをご使用の場合）

確認事項	対処法
プロジェクターの電源が入っていますか？	プロジェクターの電源を入れてください。
アクセスポイント等のネットワーク機器の電源が入っていますか？	ネットワーク機器の電源を入れてください。
「スタンバイモード」の設定は「通常」になっていますか？	スタンバイ状態でネットワーク機能をご使用になりたい場合には、「スタンバイモード」（📖**2-21**）を「通常」に設定してください。
IP アドレスなどのネットワーク設定は正しく設定されていますか？	ネットワークインフォメーション － 無線 LAN メニューでネットワーク設定を確認してください。 詳細は、ネットワーク管理者に相談してください。
USB ワイヤレスアダプター（オプション品：USB-WL-11N）がプロジェクターの WIRELESS 端子に接続されていますか？	USB ワイヤレスアダプターを接続してください。
オプション品の USB ワイヤレスアダプターを使用していますか？	本機で使用できる USB ワイヤレスアダプターはオプション品の USB-WL-11N のみです。
ネットワークインフォメーション － 無線 LAN メニューで MAC アドレスが正しく表示されていますか？	ネットワークインフォメーション － 無線 LAN メニューで表示される MAC アドレスと USB ワイヤレスアダプターに刻印されている MAC アドレスが異なる場合、USB ワイヤレスアダプターを差し直してください。それでも状況が変わらなければ、USB ワイヤレスアダプターが故障している可能性があります。販売店に問い合わせてください。
USB ワイヤレスアダプターの LED が点滅していますか？	USB ワイヤレスアダプター接続後、1 分以上待っても点滅しない場合は、USB ワイヤレスアダプターを差し直してください。 それでも状況が変わらなければ、USB ワイヤレスアダプターが故障している可能性があります。販売店に問い合わせてください。

（次ページにつづく）

プロジェクターと通信できない（無線ネットワークをご使用の場合）（つづき）

確認事項	対処法
アクセスポイント等でファイヤーウォールやパケットフィルタリングが設定されていませんか？	ネットワーク管理者に相談してください。
接続する無線ネットワークに暗号が使用されていませんか？	プロジェクターの暗号設定を再設定して、再接続してください。
プロジェクターで対応していない暗号方式が使用されていませんか？	プロジェクターの対応している暗号方式は、以下の通りです。 ・WPA2-PSK (AES) ・WPA2-PSK (TKIP) ・WPA-PSK (AES) ・WPA-PSK (TKIP) ・WEP128bit (INFRASTRUCTURE モードのときのみ使用可能) ・WEP64bit (INFRASTRUCTURE モードのときのみ使用可能) 上記の暗号方式以外の暗号を使用している無線ネットワークには、本機を接続することはできません。
SSID 検索リストメニューに表示される無線ネットワークの信号強度が弱くないですか？	・プロジェクターと無線機器の距離を近づけてください。 ・スチール製のドアが近くにある場合、電波が届かない可能性があります。その場合は、ドアから離してください。 ・干渉している無線機器が存在する可能性もありますので、ネットワーク管理者に相談してください。
5GHz 帯の無線を使用していませんか？	USB ワイヤレスアダプター（USB-WL-11N）は、5GHz 帯には対応していません。2.4GHz 帯のみ使用できます。
プロジェクターの無線 LAN 設定と有線 LAN 設定が同じネットワークアドレスに設定されていませんか？	無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。無線 LAN と有線 LAN で別のネットワークアドレスに設定してください。
コンピュータの無線ネットワークアダプターが有効になっていますか？	お使いのコンピュータのマニュアルを参照し、無線ネットワークアダプターを有効にしてください。
接続台数が 11 台を超えていませんか？	接続台数を確認してください。Simple Access Point モードでの最大接続台数は 11 台です。 最大接続台数をこえる機器を接続している場合は、現在接続中の機器を切断してから接続してください。
コンピュータの DHCP 設定が無効になっていませんか？	コンピュータの DHCP 設定を有効に設定してください。 コンピュータのネットワーク設定手順および無線接続手順については、コンピュータまたは無線 LAN デバイスのマニュアルをご参照ください。

（次ページにつづく）

プロジェクターと通信できない（無線ネットワークをご使用の場合）（つづき）

確認事項	対処法
SIMPLE ACCESS POINT モードで使用していますか？	チャンネル設定を変更することで、改善される可能性があります。
IP アドレスが重複していませんか？	IP アドレスが重複している場合は、お使いの機器の WiFi を OFF にし、再度 ON にしてください。

無線 LAN と有線 LAN が同時に使えない

確認事項	対処法
プロジェクターの無線 LAN 設定と有線 LAN 設定が同じネットワークアドレスに設定されていませんか？	無線 LAN と有線 LAN は同じネットワークアドレスではご使用になれません。 無線 LAN と有線 LAN で別のネットワークアドレスに設定してください。
ルーターを経由して異なるネットワークへアクセスしようとしていませんか？	異なるネットワークにアクセスできるのは有線 LAN と無線 LAN のどちらか片方です。 有線 LAN、無線 LAN のどちらか片方のデフォルトゲートウェイを 0.0.0.0 にしてください。

Web（プロジェクター Web コントロール）が正しく表示されない

確認事項	対処法
Web ブラウザに正しい URL を入力していますか？	Web ブラウザにプロジェクターの IP アドレスを入力してください。
JavaScript が有効になっていますか？	JavaScript を有効にしてください。 設定方法は、ご使用の Web ブラウザによって異なります。詳細は Web ブラウザのヘルプ等を参照してください。
推奨している Web ブラウザを使用していますか？	推奨ブラウザは、Internet Explorer®8/9/10/11 です。 推奨ブラウザ以外では正しく表示されない可能性があります。
前に表示した画面のキャッシュが残っていませんか？	キャッシュをクリアしてください。 設定方法は、ご使用の Web ブラウザによって異なります。詳細は Web ブラウザのヘルプ等を参照してください。

Crestron e-Control® が表示されない

確認事項	対処法
Adobe® Flash® Player がインストールされていますか？	Crestron e-Control® を表示するためには、Adobe® Flash® Player が必要です。 Adobe® Flash® Player をインストールしてください。
Adobe® Flash® Player 非対応のブラウザを使用していませんか？	Adobe® Flash® Player 対応のブラウザを使用してください。
プロジェクター Web コントロールのネットワーク設定 – その他の設定画面で Crestron e-Control® の設定が無効になっていませんか？	プロジェクター Web コントロールのネットワーク設定 – その他の設定画面で Crestron e-Control® の設定を有効にしてください。
プロジェクター Web コントロールのネットワーク設定 – 共通設定画面で Crestron がオフに設定されていませんか？	プロジェクター Web コントロールのネットワーク設定 – 共通設定画面で Crestron をオンに設定してください。

メールが正しく送れない

確認事項	対処法
テストメールが正しく送れますか？	プロジェクター Web コントロールのメール設定の画面で [テストメール送信] ボタンを押してテストメールが正しく送信できることを確認してください。
メール設定は正しいですか？	プロジェクター Web コントロールのメール設定の画面で設定を確認してください。
送信者 E-mail アドレスの設定は正しいですか？	有効なメールアドレスを設定してください。
特定のエラー / 警告に対するメールだけですか？	プロジェクター Web コントロールの障害通知設定の画面で特定のエラー / 警告が送信される設定になっているか確認してください。

特定のアドレスにだけメールが届かない

確認事項	対処法
メールアドレスの設定は正しいですか？	プロジェクター Web コントロールのメール設定の画面で設定を確認してください。
メールサーバーでアドレスのフィルタリングや転送設定が行われていませんか？	ネットワーク管理者に相談してください。

スケジュールが正しく実行されない

確認事項	対処法
プロジェクターの電源が入っていますか？	プロジェクターの電源を入れてください。
「スタンバイモード」の設定は「通常」になっていますか？	スタンバイ状態でスケジュール機能をご使用になりたい場合には、「スタンバイモード」(📖**2-21)** を「通常」に設定してください。
時刻の設定は正しいですか？	日付と時刻の設定を確認してください。
スケジュールで表示する画像データが登録されていますか？（マイ イメージのイベントを設定している場合）	専用のアプリケーションソフトを使用して、表示する画像データをプロジェクターに登録してください。
スケジュールで表示するメッセージデータが登録されていますか？（メッセンジャーのイベントを設定している場合）	専用のアプリケーションソフトを使用して、 表示するメッセージデータをプロジェクターに登録してください。
プロジェクターのランプは点灯していますか？	マイ イメージ、 メッセンジャー、ブランクのイベントは、 ランプが点灯していないと実行されません。 マイ イメージ、 メッセンジャー、ブランクのイベントに関しては、 ランプが点灯している状態で実行されるようなスケジュールのプログラムを作成してください。

※プロジェクターの状態によっては、スケジュール機能が正しく動作しないことがあります。

（次ページにつづく）

スケジュールが正しく実行されない（つづき）

確認事項	対処法
使用するプログラムが正しく設定されていますか？	プロジェクター Web コントロールのスケジュール設定の設定を確認してください。
同時刻に設定されているイベントがありませんか？	イベントによっては、同時刻だと実行できないイベントもあります。時間をずらすか、順序を入れ替えてください。

※プロジェクターの状態によっては、スケジュール機能が正しく動作しないことがあります。

時刻の設定が正しくない

確認事項	対処法
電池は入っていますか？	電池を入れてください。 電池が入っていても時刻がずれる場合は、電池が消耗していることが考えられます。その場合は、電池を交換してください。
日付時刻の設定が正しく設定されていますか？	プロジェクター Web コントロールの日付 / 時刻設定メニューもしくはプロジェクター本体の日付と時刻の設定メニューで設定を確認してください。
ネットワーク経由で時刻を取得する場合、ネットワークに正しく接続されていますか？	ネットワークに接続してください。
ネットワーク経由で時刻を取得する場合、SNTP サーバーの設定が正しく行われていますか？	SNTP サーバー設定を確認してください。 SNTP サーバーの設定に関してはネットワーク管理者に確認してください。
ネットワーク経由で時刻を取得する場合、時差の設定が正しく行われていますか？	ネットワーク経由で時刻を取得する場合は、時差の設定を行わないと正しい時刻が表示されません。 時差の設定を行ってください。

ネットワークブリッジを使用して外部機器の制御ができない

確認事項	対処法
ネットワークブリッジの設定が有効になっていますか？	その他 – 特別な設定 – 通信設定 – 通信タイプメニューの設定を確認してください。
「スタンバイモード」の設定は「通常」になっていますか？	スタンバイ状態でネットワークブリッジをご使用になりたい場合には、「スタンバイモード」(📖**2-21**) を「通常」に設定した後に、「通信タイプ」（📖**2-38**）で「ネットワークブリッジ (無線)」または「ネットワークブリッジ (有線)」を選択してください。
シリアル設定が正しいですか？	プロジェクターと外部機器のシリアル設定を確認してください。

取扱説明書

プロジェクター

MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ
MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ
MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ
MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ
MC-X8801WJ/MC-X8801BJ

（形名：MC-WU8701W/MC-WU8701B/MC-WU8601W/MC-WU8601B/
MC-WX8751W/MC-WX8751B/MC-WX8651W/MC-WX8651B/
MC-X8801W/MC-X8801B）

【技術情報編】

本機の仕様や通信機能、またエラーメッセージや故障と思われる現象への対処についてご説明します。

⚠ 警 告

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

コンピュータ信号について　4 - 2
対応信号例 …… 4 - 2
入出力信号端子 …… 4 - 6
コマンド制御 …… 4 - 12
RS-232C 通信によるコマンド制御 …… 4 - 12
ネットワークブリッジによるコマンド制御 …… 4 - 15
ネットワークからのコマンド制御 …… 4 - 15
RS-232C ／ネットワークコマンド一覧 …… 4 - 16
PJLink ™ …… 4 - 42
故障かなと思ったら …… 4 - 44
一括して初期設定にもどす …… 4 - 44
メッセージ表示 …… 4 - 45
インジケータ表示 …… 4 - 47
故障と間違えやすい現象について …… 4 - 52
ソフトウェアのライセンス情報 …… 4 - 57
ソフトウェアモジュールに関する
ソフトウェア使用許諾契約書原文（英文）…… 4 - 57

コンピュータ信号について

対応信号例 (COMPUTER IN)

解像度 （水平 x 垂直）	信号モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	規格
720 x 400	TEXT	37.9	85.0	VESA
640 x 480	VGA (60Hz)	31.5	59.9	VESA
	VGA (72Hz)	37.9	72.8	VESA
	VGA (75Hz)	37.5	75.0	VESA
	VGA (85Hz)	43.3	85.0	VESA
800 x 600	SVGA (56Hz)	35.2	56.3	VESA
	SVGA (60Hz)	37.9	60.3	VESA
	SVGA (72Hz)	48.1	72.2	VESA
	SVGA (75Hz)	46.9	75.0	VESA
	SVGA (85Hz)	53.7	85.1	VESA
832 x 624	Mac 16″ mode	49.7	74.5	–
1024 x 768	XGA (60Hz)	48.4	60.0	VESA
	XGA (70Hz)	56.5	70.1	VESA
	XGA (75Hz)	60.0	75.0	VESA
	XGA (85Hz)	68.7	85.0	VESA
1152 x 864	1152 x 864 (75Hz)	67.5	75.0	VESA
1280 x 768	WXGA(60Hz)	47.7	60.0	VESA
1280 x 800	1280 x 800 (60Hz)	49.7	60.0	VESA
1280 x 1024	SXGA (60Hz)	64.0	60.0	VESA
	SXGA (75Hz)	80.0	75.0	VESA
	SXGA (85Hz)	91.1	85.0	VESA
1366 x 768 ＊1	WXGA (60Hz)	47.7	59.8	VESA
1440 x 900	WXGA+ (60Hz)	55.9	59.9	VESA
1600 x 900	WXGA++ (60Hz)	60.0	60.0	VESA
1400 x 1050 ＊2	SXGA+ (60Hz)	65.2	60.0	VESA
1680 x 1050 ＊3	WSXGA+ (60Hz)	65.3	60.0	VESA
1600 x 1200	UXGA (60Hz)	75.0	60.0	VESA
1920 x 1080	Full HD (60Hz)	67.5	60.0	VESA
1920 x 1200 ＊4	WUXGA (60Hz) ＊RB	74.0	60.0	VESA

＊1：WUXGA モデルを除く
＊2：XGA モデルのみ
＊3：WXGA、WUXGA モデルのみ
＊4：WUXGA モデルのみ
RB：リデュースドブランキング (Reduced Blanking)

（次ページにつづく）

対応信号例 (HDMI, HDBaseT)

解像度 （水平 x 垂直）	信号モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	規格
720 x 400	TEXT	37.9	85.0	VESA
640 x 480	VGA (60Hz)	31.5	59.9	VESA
	VGA (72Hz)	37.9	72.8	VESA
	VGA (75Hz)	37.5	75.0	VESA
	VGA (85Hz)	43.3	85.0	VESA
800 x 600	SVGA (56Hz)	35.2	56.3	VESA
	SVGA (60Hz)	37.9	60.3	VESA
	SVGA (72Hz)	48.1	72.2	VESA
	SVGA (75Hz)	46.9	75.0	VESA
	SVGA (85Hz)	53.7	85.1	VESA
832 x 624	Mac 16” mode	49.7	74.5	–
1024 x 768	XGA (60Hz)	48.4	60.0	VESA
	XGA (70Hz)	56.5	70.1	VESA
	XGA (75Hz)	60.0	75.0	VESA
	XGA (85Hz)	68.7	85.0	VESA
1152 x 864	1152 x 864 (75Hz)	67.5	75.0	VESA
1280 x 768	WXGA(60Hz)	47.7	60.0	VESA
1280 x 800	1280 x 800 (60Hz)	49.7	60.0	VESA
1280 x 1024	SXGA (60Hz)	64.0	60.0	VESA
	SXGA (75Hz)	80.0	75.0	VESA
	SXGA (85Hz)	91.1	85.0	VESA
1366 x 768	WXGA (60Hz)	47.7	59.8	VESA
1440 x 900	WXGA+ (60Hz)	55.9	59.9	VESA
1600 x 900	WXGA++ (60Hz)	60.0	60.0	VESA
1400 x 1050	SXGA+ (60Hz)	65.2	60.0	VESA
1680 x 1050	WSXGA+ (60Hz)	65.3	60.0	VESA
1600 x 1200	UXGA (60Hz)	75.0	60.0	VESA
1920 x 1200 ＊1	WUXGA (60Hz) ＊RB	74.0	60.0	VESA
720 (1440) x 480i	480i	15.7	60.0	CEA
720 (1440) x 576i	576i	15.6	50.0	CEA
720 x 480p	480p	31.5	60.0	CEA
720 x 576p	576p	31.3	50.0	CEA
1280 x 720p	720p (50Hz)	37.5	50.0	CEA
	720p (60Hz)	45	60.0	CEA
1920 x 1080i	1080i (50Hz)	28.1	50.0	CEA
	1080i (60Hz)	33.8	60.0	CEA
1920 x 1080p	1080p (50Hz)	56.3	50.0	CEA
	1080p (60Hz)	67.5	60.0	CEA

＊1：WUXGA モデルのみ
RB：リデュースドブランキング (Reduced Blanking)

（次ページにつづく）

対応信号例 (DisplayPort)

解像度 （水平 x 垂直）	信号モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	規格
720 x 400	TEXT	37.9	85.0	VESA
640 x 480	VGA (60Hz)	31.5	59.9	VESA
	VGA (72Hz)	37.9	72.8	VESA
	VGA (75Hz)	37.5	75.0	VESA
	VGA (85Hz)	43.3	85.0	VESA
800 x 600	SVGA (56Hz)	35.2	56.3	VESA
	SVGA (60Hz)	37.9	60.3	VESA
	SVGA (72Hz)	48.1	72.2	VESA
	SVGA (75Hz)	46.9	75.0	VESA
	SVGA (85Hz)	53.7	85.1	VESA
832 x 624	Mac 16” mode	49.7	74.5	–
1024 x 768	XGA (60Hz)	48.4	60.0	VESA
	XGA (70Hz)	56.5	70.1	VESA
	XGA (75Hz)	60.0	75.0	VESA
	XGA (85Hz)	68.7	85.0	VESA
1152 x 864	1152 x 864 (75Hz)	67.5	75.0	VESA
1280 x 768	WXGA(60Hz)	47.7	60.0	VESA
1280 x 800	1280 x 800 (60Hz)	49.7	60.0	VESA
1280 x 1024	SXGA (60Hz)	64.0	60.0	VESA
	SXGA (75Hz)	80.0	75.0	VESA
	SXGA (85Hz)	91.1	85.0	VESA
1366 x 768	WXGA (60Hz)	47.7	59.8	VESA
1440 x 900	WXGA+ (60Hz)	55.9	59.9	VESA
1600 x 900	WXGA++ (60Hz)	60.0	60.0	VESA
1400 x 1050	SXGA+ (60Hz)	65.2	60.0	VESA
1680 x 1050	WSXGA+ (60Hz)	65.3	60.0	VESA
1600 x 1200	UXGA (60Hz)	75.0	60.0	VESA
1920 x 1200 ＊1	WUXGA (60Hz) *RB	74.0	60.0	VESA
720 (1440) x 480i	480i	15.7	60	CEA
720 (1440) x 576i	576i	15.6	50	CEA
720 x 480p	480p	31.5	60	CEA
720 x 576p	576p	31.3	50	CEA
1280 x 720p	720p (50Hz)	37.5	50	CEA
	720p (60Hz)	45	60	CEA
1920 x 1080i	1080i (50Hz)	28.1	50	CEA
	1080i (60Hz)	33.8	60	CEA
1920 x 1080p	1080p (50Hz)	56.3	50	CEA
	1080p (60Hz)	67.5	60	CEA

＊ 1：WUXGA モデルのみ
RB：リデュースドブランキング (Reduced Blanking)

（次ページにつづく）

対応信号例 (SDI)

解像度 （水平 x 垂直）	信号モード	水平周波数 （kHz）	垂直周波数 （Hz）	規格
720 x 480i	480i	15.7	60	SMPTE
720 x 576i	576i	15.6	50	SMPTE
1280 x 720p	720p (50Hz)	37.5	50	SMPTE
	720p (60Hz)	45	60	SMPTE
1920 x 1080i	1080i (50Hz)	28.1	50	SMPTE
	1080i (60Hz)	33.8	60	SMPTE
1920 x 1080sf	1080i (25Hz)	28.1	50	SMPTE
	1080i (30Hz)	33.8	60	SMPTE
1920 x 1080p	1080p (50Hz)	56.3	50	SMPTE
	1080p (60Hz)	67.5	60	SMPTE

3G-SDI LEVEL-A 信号のみサポート

〈お知らせ〉

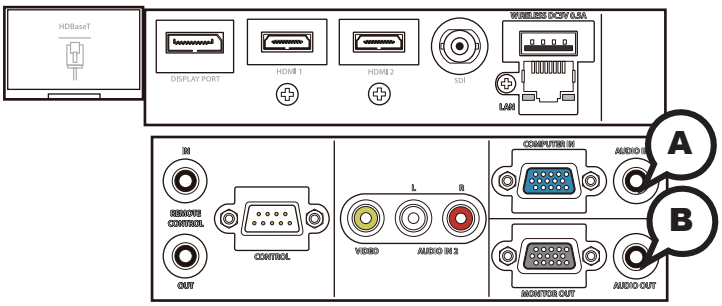
- 本機とコンピュータを接続する前に、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性をあらかじめご確認ください。
- コンピュータによっては複数ディスプレイ表示モードを持っているものがあり、本機では対応できないモードを含む場合があります。
- 入力信号によってはフルサイズで表示されない場合があります。上記の解像度をご参照ください。
- 信号処理の過程でプロジェクターの液晶パネルの解像度に変換、表示されます。入力信号と液晶パネルの解像度が同一の場合に、映像表示は最良となります。
- 画面の自動調節は入力信号によって正しく動作しない場合があります。
- SYNC ON G、コンポジットシンク信号などの同期信号の場合は、正常に表示できない場合があります。
- 本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のプロジェクターとは若干の相違がある場合があります。

入出力信号端子

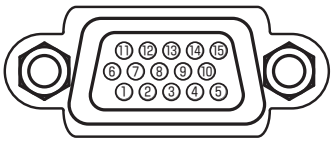
〈お知らせ〉

- 本機の各接続端子は凹んでいるので、L 形ではなく、ストレート形プラグのケーブルを使用してください。
- **COMPUTER IN** 端子から入力される信号のみ、**MONITOR OUT** 端子から出力することができます。

※ SDI 端子は MC-WU8701WU/MC-WU8701BJ のみ



Ⓐ COMPUTER IN, Ⓑ MONITOR OUT



D-sub 15 ピン ミニシュリンクジャック

< コンピュータ信号 >

・映像信号：RGB セパレート、アナログ 0.7Vp-p、75 Ω終端（正極性）
・水平／垂直同期信号（セパレートシンク）：TTL レベル（正極性／負極性）
・複合同期信号（コンポジットシンク）；TTL レベル

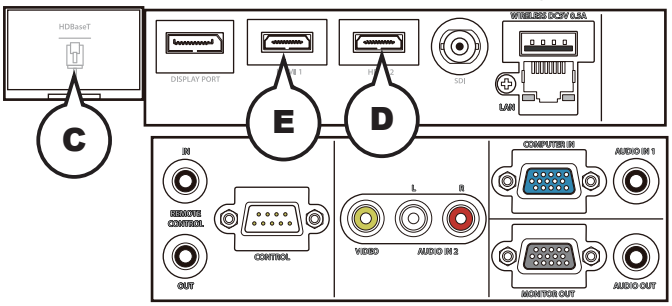
< コンポーネントビデオ信号 >

・Y：1.0 ± 0.1Vp-p（同期信号含む）、75 Ω終端
・Cb/Pb：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端
・Cr/Pr：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端
・信号方式：480i@60, 480p@60, 576i@50, 720p@50/60, 1080i@50/60, 1080p@50/60

ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	映像信号 赤， Cr/Pr	6	接地 赤， 接地 Cr/Pr	11	–
2	映像信号 緑， Y	7	接地 緑， 接地 Y	12	Ⓐ：SDA（DDC データ） Ⓑ：–
3	映像信号 青， Cb/Pb	8	接地 青， 接地 Cb/Pb	13	水平同期信号／複合同期信号
4	–	9	–	14	垂直同期信号
5	接地	10	接地	15	Ⓐ：SCL（DDC クロック） Ⓑ：–

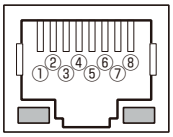
（次ページにつづく）

※ SDI 端子は MC-WU8701WU/MC-WU8701BJ のみ



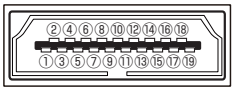
Ⓒ HDBaseT

RJ-45 ジャック



ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	HDBaseT0+	5	HDBaseT2-
2	HDBaseT0-	6	HDBaseT1-
3	HDBaseT1+	7	HDBaseT3+
4	HDBaseT2+	8	HDBaseT3-

Ⓓ HDMI 1，Ⓔ HDMI 2



HDMI® 映像／音声ジャック

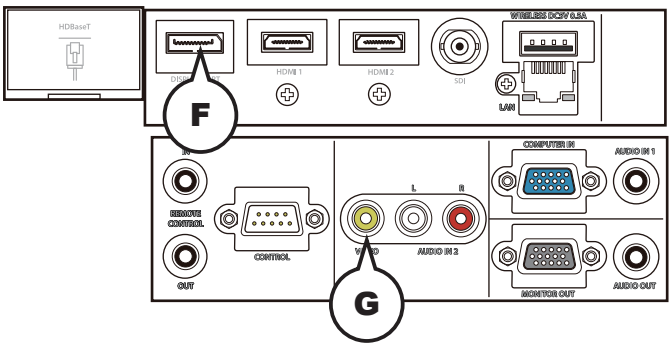
・音声信号方式：リニア PCM（サンプリング周波数：32kHz，44.1kHz，48kHz）

ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	T.M.D.S. データ 2+	11	T.M.D.S. クロックシールド
2	T.M.D.S. データ 2 シールド	12	T.M.D.S. クロック－
3	T.M.D.S. データ 2 －	13	CEC
4	T.M.D.S. データ 1+	14	予備（非結線）
5	T.M.D.S. データ 1 シールド	15	SCL（DDC クロック）
6	T.M.D.S. データ 1 －	16	SDA（DDC データ）
7	T.M.D.S. データ 0+	17	DDC/CEC 接地
8	T.M.D.S. データ 0 シールド	18	＋ 5V
9	T.M.D.S. データ 0 －	19	ホットプラグ検出
10	T.M.D.S. クロック ＋		

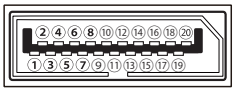
（次ページにつづく）

入出力信号端子（つづき）

※ SDI 端子は MC-WU8701WU/MC-WU8701BJ のみ



Ⓕ DisplayPort



DisplayPort コネクタ

ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	Main Link Lane 3 -	8	接地	15	AUX CH +
2	接地	9	Main Link Lane 1 +	16	接地
3	Main Link Lane 3 +	10	Main Link Lane 0 -	17	AUX CH -
4	Main Link Lane 2 -	11	接地	18	ホットプラグ検出
5	接地	12	Main Link Lane 0 +	19	Return
6	Main Link Lane 2 +	13	CONFIG 1	20	DP_PWR
7	Main Link Lane 1 -	14	CONFIG 2		

Ⓖ VIDEO

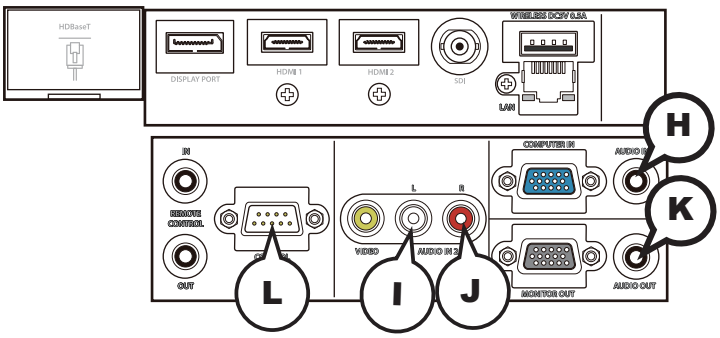
RCA ジャック

・入力信号：1.0 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端

・信号方式：NTSC, PAL, SECAM, PAL-M, PAL-N, NTSC4.43,PAL(60Hz)

（次ページにつづく）

※ SDI 端子は MC-WU8701WU/MC-WU8701BJ のみ



Ⓗ AUDIO IN1

φ 3.5 ステレオミニジャック
・入力信号：47k Ω終端

AUDIO IN2 Ⓘ L, Ⓙ R

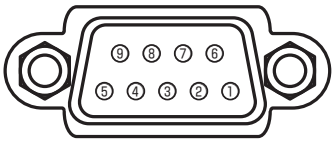
RCA ジャック× 2
・入力信号：47k Ω終端

Ⓚ AUDIO OUT

φ 3.5 ステレオミニジャック
・出力信号：出力インピーダンス 1k Ω

Ⓛ CONTROL

D-sub 9 ピンプラグ
RS-232C 通信については、「RS-232C 通信によるコマンド制御」
（📖**4-12～14**）をご参照ください。

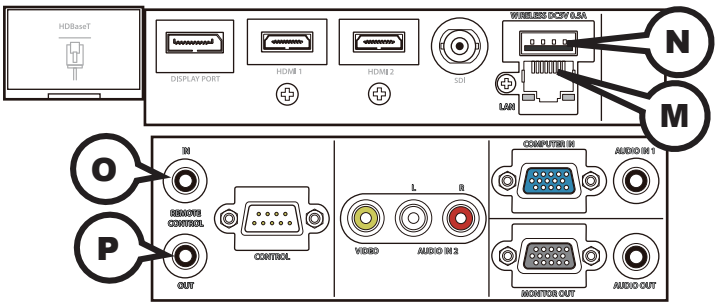


ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	–	4	–	7	RTS
2	RD	5	接地	8	CTS
3	TD	6	–	9	–

（次ページにつづく）

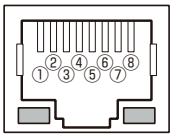
入出力信号端子（つづき）

※ SDI 端子は MC-WU8701WU/MC-WU8701BJ のみ



Ⓜ LAN

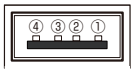
RJ-45 ジャック



ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	TX ＋	5	－
2	TX －	6	RX －
3	RX ＋	7	－
4	－	8	－

Ⓝ WIRELESS

USB ワイヤレスアダプター専用



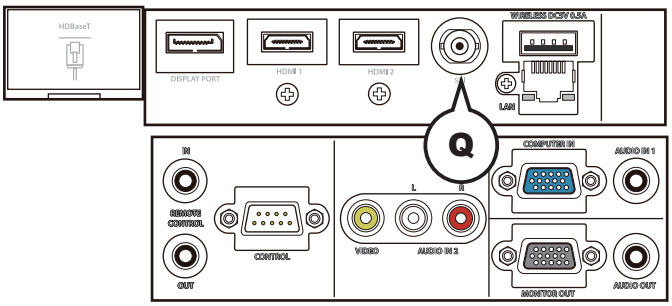
ピン No.	信号
1	＋ 5V
2	－データ
3	＋データ
4	接地

Ⓞ REMOTE CONTROL IN，Ⓟ REMOTE CONTROL OUT

φ 3.5 ステレオミニジャック

（次ページにつづく）

※ SDI 端子は MC-WU8701WU/MC-WU8701BJ のみ



Ⓠ SDI

BNC **ジャック**

- SD/HD/3G-SDI 信号、デジタル、0.8V ± 10%, 75 Ω 終端
- システム：

SD-SDI 信号：SMPTE ST 259-C 規格準拠
YCBCR 4:2:2 10- ビット
480i, 576i

シングルリンク HD-SDI 信号：SMPTE ST 292 規格準拠
YPBPR 4:2:2 10- ビット
720p@50/60, 1080i@50/60, 1080sf@25/30

3G-SDI レベル -A 信号：SMPTE ST 424 規格準拠
YPBPR 4:2:2 10- ビット
1080p@50/60

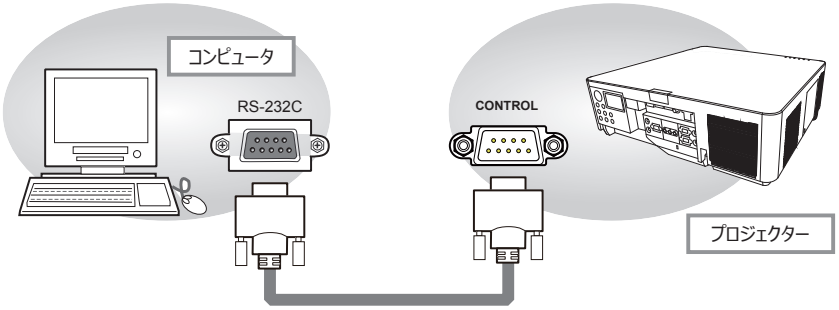
コマンド制御

本機は、RS-232C 通信またはネットワーク（有線／無線 LAN）で接続したコンピュータから RS-232C コマンドを使用して制御することができます。
ネットワークへの接続については、【ネットワーク編】をご参照ください。対応する RS-232C コマンドについては、「RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧」（📖**4-16～41**）をご参照ください。

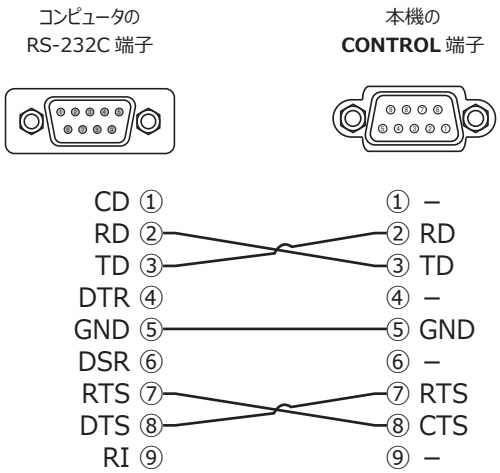
RS-232C 通信によるコマンド制御

機器の接続と通信設定

1．本機とコンピュータの電源を切ってください。
2．コンピュータの RS-232C 端子と本機の **CONTROL** 端子を、RS-232C（クロス）ケーブルで接続します。ケーブルは下図の配線仕様のものをご使用ください。
3．コンピュータの電源を入れ、コンピュータが起動した後に、本機の電源を入れてください。



RS-232C ケーブル（クロス）



プロトコル

■**ボーレート：**19200bps

■**シリアル設定：** 8 N1

送信コマンド形式　("h" は 16 進数を示します。)

バイト番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コマンド	ヘッダ							データ					
機能	ヘッダコード		パケット	データサイズ		CRC フラグ		アクション		タイプ		セッティング	
	L	H		L	H	L	H	L	H	L	H	L	H
Set	BEh	EFh	03h	06h	00h	(aL)	(aH)	01h	00h	(bL)	(bH)	(cL)	(cH)
Get						(aL)	(aH)	02h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
Increment						(aL)	(aH)	04h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
Decrement						(aL)	(aH)	05h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h
Execute						(aL)	(aH)	06h	00h	(bL)	(bH)	00h	00h

■**ヘッダ**

[ヘッダコード]　：BE EFh（固定）

[パケット]　：03h（固定）

[データサイズ]　：06 00h（固定）

[CRC フラグ]　：「RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧」（📖**4-16～41**）をご参照ください。

■**データ**

[アクション]　：機能別コードを設定してください。

(1) Set《設定》：01 00h
[タイプ] で指定した項目 [(bL)(bH)] を、[セッティング] で指定した値 [(cL)(cH)] に従って、設定を変更します。

(2) Get《取得》：02 00h
[タイプ] で指定した項目 [(bL)(bH)] の設定値を読み出します。

(3) Increment《増加》：04 00h
[タイプ] で指定した項目 [(bL)(bH)] の設定値を 1 増やします。

(4) Decrement《減少》：05 00h
[タイプ] で指定した項目 [(bL)(bH)] の設定値を 1 減らします。

(5) Execute《実行》：06 00h
[タイプ] で指定した機能 [(bL)(bH)] を実行します。

[タイプ]　：「RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧」（📖**4-16～41**）をご参照ください。

[セッティング]　：「RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧」（📖**4-16～41**）をご参照ください。

応答コードおよびエラーコード　("h" は 16 進数を示します。)

(1) ACK 応答　：06h
Set、Increment、Decrement、Execute コマンドを本機が正常受信し、[タイプ] で指定された項目の設定を変更した場合、このコードを返します。

(2) NAK 応答　：15h
本機が無効なコマンドを受信した場合や、本機がコマンドを正しく受信できなかった場合など、本機が受信したコマンドを理解できなかった場合、このコードを返します。

(3) エラー応答　：1Ch + 00 00h　（00 00h：エラーコード）
本機がコマンドを正常受信し、何らかの理由で実行できなかった場合、エラーコードを付けて返します。
このコードを受信したら、送信したコマンドや、本機の設定状態をご確認ください。

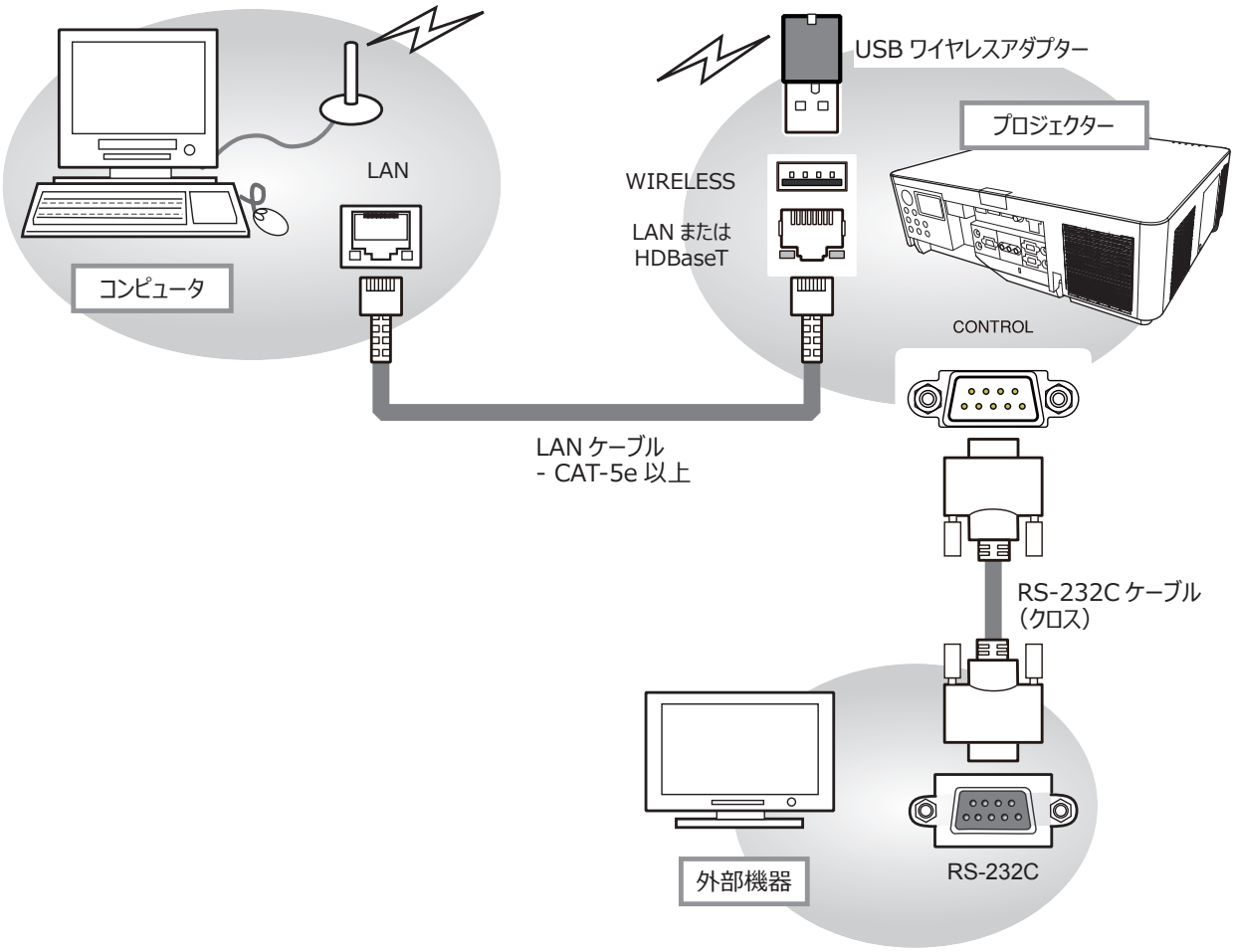
(4) データ応答　：1Dh + xx xxh　（xx xxh：データ）
Get コマンドを本機が正常受信した場合、2 バイトの回答コード（データ）を付けて返します。

〈お知らせ〉

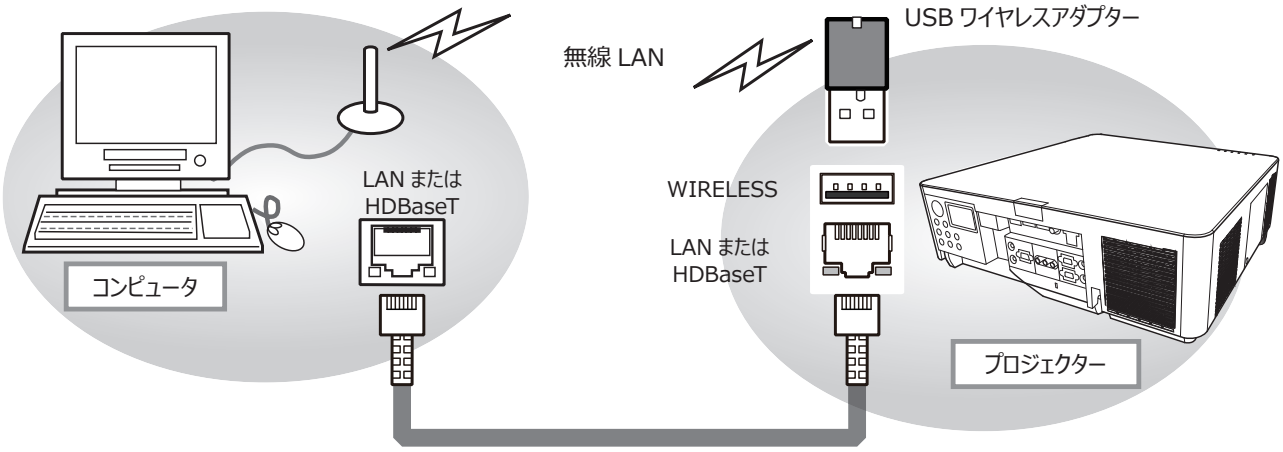
- 機器の接続については、各機器の説明書をよくお読みの上、適切なケーブルで正しく接続してください。
- 本機が未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
- 応答コードと他のコードの間隔は 40ms 以上あけてください。
- 本機に電源を接続したときやランプ点灯後に、本機からテスト用のデータが出力されますが、故障ではありません。
- ウォームアップ中、本機はコマンドを受信できません。
- コマンドの長さが所定より長い場合は余分なコードを無視し、短い場合は、NAK 応答をコンピュータへ送信します。

ネットワークブリッジによるコマンド制御

本機はネットワークブリッジ機能に対応しています。本機と RS-232C 通信で接続した外部機器を、本機とネットワーク（有線／無線 LAN）で接続したコンピュータから、ネットワーク端末と同様に制御することができます。
詳しくは【ネットワーク編】「ネットワークブリッジ」（📖**3-67～69**）をご覧ください。



ネットワークからのコマンド制御



・LAN ケーブル（CAT-5e 以上）
　または
・HDBaseT™ 接続
　- LAN ケーブル（CAT-5e 以上）
　- シールドタイプ
　- ストレートタイプ
　- シングルケーブル

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧

RS-232C 通信、またはネットワーク経由で、本機をコマンドで制御する場合の対応コマンドは下表の通りです。

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
パワー	Set	オフ（スタンバイ）	BE EF	03	06 00	2A D3	01 00	00 60	00 00
		オン (ランプオン)	BE EF	03	06 00	BA D2	01 00	00 60	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	19 D3	02 00	00 60	00 00
			回答コード (データ) 例 00 00 [スタンバイ]　01 00 [ランプオン]　02 00 [冷却動作中]						
入力切替	Set	COMPUTER IN	BE EF	03	06 00	FE D2	01 00	00 20	00 00
		LAN	BE EF	03	06 00	CE D5	01 00	00 20	0B 00
		HDMI 1	BE EF	03	06 00	0E D2	01 00	00 20	03 00
		HDMI 2	BE EF	03	06 00	6E D6	01 00	00 20	0D 00
		HDBaseT	BE EF	03	06 00	AE DE	01 00	00 20	11 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	6E D3	01 00	00 20	01 00
		SDI ＊	BE EF	03	06 00	5E DE	01 00	00 20	12 00
		DisplayPort	BE EF	03	06 00	CE DF	01 00	00 20	13 00
	Get		BE EF	03	06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00
エラーステータス	Get		BE EF	03	06 00	D9 D8	02 00	20 60	00 00
			回答コード (データ) 例 00 00 [正常]　01 00 [ランプカバーエラー]　02 00 [ファンエラー]　03 00 [ランプエラー] 04 00 [温度エラー]　05 00 [吸気エラー]　07 00 [低温エラー]　08 00 [フィルターエラー] 0F 00 [シェードエラー]　10 00 [レンズシフトエラー]　60 00 [電源瞬断エラー]						
フォーカス	Increment		BE EF	03	06 00	6A 93	04 00	00 24	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	BB 92	05 00	00 24	00 00
ズーム	Increment		BE EF	03	06 00	96 92	04 00	01 24	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	47 93	05 00	01 24	00 00
レンズシフト V	Increment		BE EF	03	06 00	D2 92	04 00	02 24	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	03 93	05 00	02 24	00 00
レンズシフト H	Increment		BE EF	03	06 00	2E 93	04 00	03 24	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	FF 92	05 00	03 24	00 00
レンズシフト センタリング	Execute		BE EF	03	06 00	B8 93	06 00	04 24	00 00
レンズメモリ番号	Set	1	BE EF	03	06 00	4B 92	01 00	07 24	00 00
		2	BE EF	03	06 00	DB 93	01 00	07 24	01 00
		3	BE EF	03	06 00	2B 93	01 00	07 24	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	78 92	02 00	07 24	00 00
レンズメモリ ロード	Execute		BE EF	03	06 00	E8 90	06 00	08 24	00 00
レンズメモリ セーブ	Execute		BE EF	03	06 00	14 91	06 00	09 24	00 00
レンズメモリ クリア	Execute		BE EF	03	06 00	50 91	06 00	0A 24	00 00

＊：MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
レンズメモリ レンズシフト V	Get		BE EF	03	06 00	A0 91	02 00	0D 24	00 00
レンズメモリ レンズシフト H	Get		BE EF	03	06 00	E4 91	02 00	0E 24	00 00
レンズメモリ レンズタイプ	Get		BE EF	03	06 00	18 90	02 00	0F 24	00 00
拡大	Get		BE EF	03	06 00	7C D2	02 00	07 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	1A D2	04 00	07 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	CB D3	05 00	07 30	00 00
拡大位置 水平	Get		BE EF	03	06 00	C8 D7	02 00	10 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	AE D7	04 00	10 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	7F D6	05 00	10 30	00 00
拡大位置 垂直	Get		BE EF	03	06 00	34 D6	02 00	11 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	52 D6	04 00	11 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	83 D7	05 00	11 30	00 00
静止	Set	通常表示	BE EF	03	06 00	83 D2	01 00	02 30	00 00
		静止	BE EF	03	06 00	13 D3	01 00	02 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	B0 D2	02 00	02 30	00 00
シェード	Set	開く	BE EF	03	06 00	F3 93	01 00	05 24	00 00
		閉じる	BE EF	03	06 00	63 92	01 00	05 24	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	C0 93	02 00	05 24	00 00
PbyP/PinP	Set	オフ	BE EF	03	06 00	3E 26	01 00	10 23	00 00
		PbyP	BE EF	03	06 00	AE 27	01 00	10 23	01 00
		PinP	BE EF	03	06 00	5E 27	01 00	10 23	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	0D 26	02 00	10 23	00 00
PbyP メインサイズ	Set	小	BE EF	03	06 00	F2 07	01 00	11 23	7F 00
		中	BE EF	03	06 00	02 46	01 00	11 23	80 00
		大	BE EF	03	06 00	92 47	01 00	11 23	81 00
	Get		BE EF	03	06 00	F1 27	02 00	11 23	00 00
PbyP 右画面入力	Set	COMPUTER IN	BE EF	03	06 00	86 27	01 00	12 23	00 00
		HDMI 1	BE EF	03	06 00	76 27	01 00	12 23	03 00
		HDMI 2	BE EF	03	06 00	16 23	01 00	12 23	0D 00
		HDBase-T	BE EF	03	06 00	D6 2B	01 00	12 23	11 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	16 26	01 00	12 23	01 00
		SDI ＊	BE EF	03	06 00	26 2B	01 00	12 23	12 00
		DisplayPort	BE EF	03	06 00	B6 2A	01 00	12 23	13 00
	Get		BE EF	03	06 00	B5 27	02 00	12 23	00 00
PbyP メインエリア	Set	左画面	BE EF	03	06 00	7A 26	01 00	13 23	00 00
		右画面	BE EF	03	06 00	EA 27	01 00	13 23	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	49 26	02 00	13 23	00 00
PbyP 左画面入力	Set	COMPUTER IN	BE EF	03	06 00	F2 26	01 00	15 23	00 00
		HDMI 1	BE EF	03	06 00	02 26	01 00	15 23	03 00
		HDMI 2	BE EF	03	06 00	62 22	01 00	15 23	0D 00
		HDBase-T	BE EF	03	06 00	A2 2A	01 00	15 23	11 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	62 27	01 00	15 23	01 00
		SDI ＊	BE EF	03	06 00	52 2A	01 00	15 23	12 00
		DisplayPort	BE EF	03	06 00	C2 2B	01 00	15 23	13 00
	Get		BE EF	03	06 00	C1 26	02 00	15 23	00 00

＊：MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ	設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティングコード
PinP 位置	Set	左上	BE EF	03	06 00	02 23	01 00	01 23	00 00
		右上	BE EF	03	06 00	92 22	01 00	01 23	01 00
		左下	BE EF	03	06 00	62 22	01 00	01 23	02 00
		右下	BE EF	03	06 00	F2 23	01 00	01 23	03 00
	Get		BE EF	03	06 00	31 23	02 00	01 23	00 00
PinP メインエリア	Set	親画面	BE EF	03	06 00	32 22	01 00	05 23	00 00
		子画面	BE EF	03	06 00	A2 23	01 00	05 23	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	01 22	02 00	05 23	00 00
PinP 親画面入力	Set	COMPUTER IN	BE EF	03	06 00	CE 23	01 00	04 23	00 00
		HDMI 1	BE EF	03	06 00	3E 23	01 00	04 23	03 00
		HDMI 2	BE EF	03	06 00	5E 27	01 00	04 23	0D 00
		HDBase-T	BE EF	03	06 00	9E 2F	01 00	04 23	11 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	5E 22	01 00	04 23	01 00
		SDI ＊	BE EF	03	06 00	6E 2F	01 00	04 23	12 00
		DisplayPort	BE EF	03	06 00	FE 2E	01 00	04 23	13 00
	Get		BE EF	03	06 00	FD 23	02 00	04 23	00 00
PinP 子画面入力	Set	COMPUTER IN	BE EF	03	06 00	46 23	01 00	02 23	00 00
		HDMI 1	BE EF	03	06 00	B6 23	01 00	02 23	03 00
		HDMI 2	BE EF	03	06 00	D6 27	01 00	02 23	0D 00
		HDBase-T	BE EF	03	06 00	16 2F	01 00	02 23	11 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	D6 22	01 00	02 23	01 00
		SDI ＊	BE EF	03	06 00	E6 2F	01 00	02 23	12 00
		DisplayPort	BE EF	03	06 00	76 2E	01 00	02 23	13 00
	Get		BE EF	03	06 00	75 23	02 00	02 23	00 00
PbyP 左右入れ替え	Execute		BE EF	03	06 00	01 27	06 00	16 23	00 00
PbyP/PinP フレームロック	Set	左 / 親画面	BE EF	03	06 00	4A 27	01 00	17 23	00 00
		右 / 子画面	BE EF	03	06 00	DA 26	01 00	17 23	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	79 27	02 00	17 23	00 00

＊：MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ	設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティングコード
映像モード	Set	スタンダード	BE EF	03	06 00	83 F5	01 00	BA 30	06 00
		ナチュラル	BE EF	03	06 00	23 F6	01 00	BA 30	00 00
		シネマ	BE EF	03	06 00	B3 F7	01 00	BA 30	01 00
		ダイナミック	BE EF	03	06 00	E3 F4	01 00	BA 30	04 00
		黒板 (黒)	BE EF	03	06 00	E3 EF	01 00	BA 30	20 00
		黒板 (緑)	BE EF	03	06 00	73 EE	01 00	BA 30	21 00
		ホワイトボード	BE EF	03	06 00	83 EE	01 00	BA 30	22 00
		デイタイム	BE EF	03	06 00	E3 C7	01 00	BA 30	40 00
		DICOM SIM.	BE EF	03	06 00	73 C6	01 00	BA 30	41 00
		USER-1	BE EF	03	06 00	E3 FB	01 00	BA 30	10 00
		USER-2	BE EF	03	06 00	73 FA	01 00	BA 30	11 00
		USER-3	BE EF	03	06 00	83 FA	01 00	BA 30	12 00
	Get		BE EF	03	06 00	10 F6	02 00	BA 30	00 00
明るさ	Get		BE EF	03	06 00	89 D2	02 00	03 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	EF D2	04 00	03 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	3E D3	05 00	03 20	00 00
明るさ リセット	Execute		BE EF	03	06 00	58 D3	06 00	00 70	00 00
コントラスト	Get		BE EF	03	06 00	FD D3	02 00	04 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	9B D3	04 00	04 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	4A D2	05 00	04 20	00 00
コントラスト リセット	Execute		BE EF	03	06 00	A4 D2	06 00	01 70	00 00
ガンマ	Set	デフォルト -1	BE EF	03	06 00	07 E9	01 00	A1 30	20 00
		カスタム -1	BE EF	03	06 00	07 FD	01 00	A1 30	10 00
		デフォルト -2	BE EF	03	06 00	97 E8	01 00	A1 30	21 00
		カスタム -2	BE EF	03	06 00	97 FC	01 00	A1 30	11 00
		デフォルト -3	BE EF	03	06 00	67 E8	01 00	A1 30	22 00
		カスタム -3	BE EF	03	06 00	67 FC	01 00	A1 30	12 00
		デフォルト -4	BE EF	03	06 00	F7 E9	01 00	A1 30	23 00
		カスタム -4	BE EF	03	06 00	F7 FD	01 00	A1 30	13 00
		デフォルト -5	BE EF	03	06 00	C7 EB	01 00	A1 30	24 00
		カスタム -5	BE EF	03	06 00	C7 FF	01 00	A1 30	14 00
		デフォルト -6	BE EF	03	06 00	57 EA	01 00	A1 30	25 00
		カスタム -6	BE EF	03	06 00	57 FE	01 00	A1 30	15 00
		デフォルト -7	BE EF	03	06 00	A7 EA	01 00	A1 30	26 00
		カスタム -7	BE EF	03	06 00	A7 FE	01 00	A1 30	16 00
		デフォルト -8	BE EF	03	06 00	37 EB	01 00	A1 30	27 00
		カスタム -8	BE EF	03	06 00	37 FF	01 00	A1 30	17 00
	Get		BE EF	03	06 00	F4 F0	02 00	A1 30	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ 設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティングコード
カスタムガンマ ポイント -1	Get	BE EF	03	06 00	08 FE	02 00	90 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	6E FE	04 00	90 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	BF FF	05 00	90 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -1 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	58 C2	06 00	50 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -2	Get	BE EF	03	06 00	F4 FF	02 00	91 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	92 FF	04 00	91 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	43 FE	05 00	91 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -2 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	A4 C3	06 00	51 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -3	Get	BE EF	03	06 00	B0 FF	02 00	92 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	D6 FF	04 00	92 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	07 FE	05 00	92 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -3 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	E0 C3	06 00	52 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -4	Get	BE EF	03	06 00	4C FE	02 00	93 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	2A FE	04 00	93 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	FB FF	05 00	93 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -4 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	1C C2	06 00	53 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -5	Get	BE EF	03	06 00	38 FF	02 00	94 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	5E FF	04 00	94 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	8F FE	05 00	94 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -5 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	68 C3	06 00	54 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -6	Get	BE EF	03	06 00	C4 FE	02 00	95 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	A2 FE	04 00	95 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	73 FF	05 00	95 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -6 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	94 C2	06 00	55 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -7	Get	BE EF	03	06 00	80 FE	02 00	96 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	E6 FE	04 00	96 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	37 FF	05 00	96 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -7 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	D0 C2	06 00	56 70	00 00
カスタムガンマ ポイント -8	Get	BE EF	03	06 00	7C FF	02 00	97 30	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	1A FF	04 00	97 30	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	CB FE	05 00	97 30	00 00
カスタムガンマ ポイント -8 リセット	Execute	BE EF	03	06 00	2C C3	06 00	57 70	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
色温度	Set	高	BE EF	03	06 00	0B F5	01 00	B0 30	03 00
		カスタム -1	BE EF	03	06 00	CB F8	01 00	B0 30	13 00
		中 -1	BE EF	03	06 00	9B F4	01 00	B0 30	02 00
		カスタム -2	BE EF	03	06 00	5B F9	01 00	B0 30	12 00
		中 -2	BE EF	03	06 00	3B F7	01 00	B0 30	04 00
		カスタム -3	BE EF	03	06 00	FB FA	01 00	B0 30	14 00
		低	BE EF	03	06 00	6B F4	01 00	B0 30	01 00
		カスタム -4	BE EF	03	06 00	AB F9	01 00	B0 30	11 00
		ハイブライト -1	BE EF	03	06 00	3B F2	01 00	B0 30	08 00
		カスタム -5	BE EF	03	06 00	FB FF	01 00	B0 30	18 00
		ハイブライト -2	BE EF	03	06 00	AB F3	01 00	B0 30	09 00
		カスタム -6	BE EF	03	06 00	6B FE	01 00	B0 30	19 00
		ハイブライト -3	BE EF	03	06 00	5B F3	01 00	B0 30	0A 00
		カスタム -7	BE EF	03	06 00	9B FE	01 00	B0 30	1A 00
	Get		BE EF	03	06 00	C8 F5	02 00	B0 30	00 00
色温度 ゲイン -R	Get		BE EF	03	06 00	34 F4	02 00	B1 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	52 F4	04 00	B1 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	83 F5	05 00	B1 30	00 00
色温度 ゲイン -R リセット	Execute		BE EF	03	06 00	10 C6	06 00	46 70	00 00
色温度 ゲイン -G	Get		BE EF	03	06 00	70 F4	02 00	B2 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	16 F4	04 00	B2 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	C7 F5	05 00	B2 30	00 00
色温度 ゲイン -G リセット	Execute		BE EF	03	06 00	EC C7	06 00	47 70	00 00
色温度 ゲイン -B	Get		BE EF	03	06 00	8C F5	02 00	B3 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	EA F5	04 00	B3 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	3B F4	05 00	B3 30	00 00
色温度 ゲイン -B リセット	Execute		BE EF	03	06 00	F8 C4	06 00	48 70	00 00
色温度 オフセット -R	Get		BE EF	03	06 00	04 F5	02 00	B5 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	62 F5	04 00	B5 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	B3 F4	05 00	B5 30	00 00
色温度 オフセット -R リセット	Execute		BE EF	03	06 00	40 C5	06 00	4A 70	00 00
色温度 オフセット -G	Get		BE EF	03	06 00	40 F5	02 00	B6 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	26 F5	04 00	B6 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	F7 F4	05 00	B6 30	00 00
色温度 オフセット -G リセット	Execute		BE EF	03	06 00	BC C4	06 00	4B 70	00 00
色温度 オフセット -B	Get		BE EF	03	06 00	BC F4	02 00	B7 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	DA F4	04 00	B7 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	0B F5	05 00	B7 30	00 00
色温度 オフセット -B リセット	Execute		BE EF	03	06 00	C8 C5	06 00	4C 70	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
色の濃さ	Get		BE EF	03	06 00	B5 72	02 00	02 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	D3 72	04 00	02 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	02 73	05 00	02 22	00 00
色の濃さ リセット	Execute		BE EF	03	06 00	80 D0	06 00	0A 70	00 00
色あい	Get		BE EF	03	06 00	49 73	02 00	03 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	2F 73	04 00	03 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	FE 72	05 00	03 22	00 00
色あい リセット	Execute		BE EF	03	06 00	7C D1	06 00	0B 70	00 00
画質	Get		BE EF	03	06 00	F1 72	02 00	01 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	97 72	04 00	01 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	46 73	05 00	01 22	00 00
画質 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	C4 D0	06 00	09 70	00 00
ACCENTUALIZER	Get		BE EF	03	06 00	5D 70	02 00	0C 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	3B 70	04 00	0C 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	EA 71	05 00	0C 22	00 00
ACCENTUALIZER リセット	Execute		BE EF	03	06 00	C8 D8	06 00	2C 70	00 00
HDCR	Get		BE EF	03	06 00	A1 71	02 00	0D 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	C7 71	04 00	0D 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	16 70	05 00	0D 22	00 00
HDCR リセット	Execute		BE EF	03	06 00	34 DA	06 00	2D 70	00 00
アクティブアイリス	Set	オフ	BE EF	03	06 00	0B 22	01 00	04 33	00 00
		シアター	BE EF	03	06 00	CB 2F	01 00	04 33	10 00
		プレゼンテーション	BE EF	03	06 00	5B 2E	01 00	04 33	11 00
	Get		BE EF	03	06 00	38 22	02 00	04 33	00 00
マイメモリー ロード	Set	1	BE EF	03	06 00	0E D7	01 00	14 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	9E D6	01 00	14 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	6E D6	01 00	14 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	FE D7	01 00	14 20	03 00
マイメモリー セーブ	Set	1	BE EF	03	06 00	F2 D6	01 00	15 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	62 D7	01 00	15 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	92 D7	01 00	15 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	02 D6	01 00	15 20	03 00
アスペクト	Set	4:3	BE EF	03	06 00	9E D0	01 00	08 20	00 00
		16:9	BE EF	03	06 00	0E D1	01 00	08 20	01 00
		16:10	BE EF	03	06 00	3E D6	01 00	08 20	0A 00
		14:9	BE EF	03	06 00	CE D6	01 00	08 20	09 00
		リアル＊	BE EF	03	06 00	5E D7	01 00	08 20	08 00
		ノーマル	BE EF	03	06 00	5E DD	01 00	08 20	10 00
	Get		BE EF	03	06 00	AD D0	02 00	08 20	00 00

＊：MC-X8801WJ/MC-X8801BJ を除く

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ	設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティングコード
オーバースキャン	Get		BE EF	03	06 00	91 70	02 00	09 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	F7 70	04 00	09 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	26 71	05 00	09 22	00 00
オーバースキャン リセット	Execute		BE EF	03	06 00	EC D9	06 00	27 70	00 00
垂直位置	Get		BE EF	03	06 00	0D 83	02 00	00 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	6B 83	04 00	00 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	BA 82	05 00	00 21	00 00
垂直位置 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	E0 D2	06 00	02 70	00 00
水平位置	Get		BE EF	03	06 00	F1 82	02 00	01 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	97 82	04 00	01 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	46 83	05 00	01 21	00 00
水平位置 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	1C D3	06 00	03 70	00 00
クロック位相	Get		BE EF	03	06 00	49 83	02 00	03 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	2F 83	04 00	03 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	FE 82	05 00	03 21	00 00
水平サイズ	Get		BE EF	03	06 00	B5 82	02 00	02 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	D3 82	04 00	02 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	02 83	05 00	02 21	00 00
水平サイズ リセット	Execute		BE EF	03	06 00	68 D2	06 00	04 70	00 00
オートアジャスト 実行	Execute		BE EF	03	06 00	91 D0	06 00	0A 20	00 00
プログレッシブ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	4A 72	01 00	07 22	00 00
		TV	BE EF	03	06 00	DA 73	01 00	07 22	01 00
		フィルム	BE EF	03	06 00	2A 73	01 00	07 22	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	79 72	02 00	07 22	00 00
ビデオ NR	Set	弱	BE EF	03	06 00	26 72	01 00	06 22	01 00
		中	BE EF	03	06 00	D6 72	01 00	06 22	02 00
		強	BE EF	03	06 00	46 73	01 00	06 22	03 00
	Get		BE EF	03	06 00	85 73	02 00	06 22	00 00
色空間	Set	オート	BE EF	03	06 00	0E 72	01 00	04 22	00 00
		RGB	BE EF	03	06 00	9E 73	01 00	04 22	01 00
		SMPTE240	BE EF	03	06 00	6E 73	01 00	04 22	02 00
		REC709	BE EF	03	06 00	FE 72	01 00	04 22	03 00
		REC601	BE EF	03	06 00	CE 70	01 00	04 22	04 00
	Get		BE EF	03	06 00	3D 72	02 00	04 22	00 00
ビデオフォーマット - C-VIDEO	Set	オート	BE EF	03	06 00	A2 70	01 00	11 22	0A 00
		NTSC	BE EF	03	06 00	C2 74	01 00	11 22	04 00
		PAL	BE EF	03	06 00	52 75	01 00	11 22	05 00
		SECAM	BE EF	03	06 00	52 70	01 00	11 22	09 00
		NTSC4.43	BE EF	03	06 00	62 77	01 00	11 22	02 00
		M-PAL	BE EF	03	06 00	C2 71	01 00	11 22	08 00
		N-PAL	BE EF	03	06 00	32 74	01 00	11 22	07 00
	Get		BE EF	03	06 00	31 76	02 00	11 22	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
HDMI 1 フォーマット	Set	オート	BE EF	03	06 00	BA 77	01 00	13 22	00 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	2A 76	01 00	13 22	01 00
		COMPUTER	BE EF	03	06 00	DA 76	01 00	13 22	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	89 77	02 00	13 22	00 00
HDMI 2 フォーマット	Set	オート	BE EF	03	06 00	52 75	01 00	1D 22	00 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	C2 74	01 00	1D 22	01 00
		COMPUTER	BE EF	03	06 00	32 74	01 00	1D 22	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	61 75	02 00	1D 22	00 00
HDBaseT フォーマット	Set	オート	BE EF	03	06 00	7A EA	01 00	D3 20	00 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	EA EB	01 00	D3 20	01 00
		COMPUTER	BE EF	03	06 00	1A EB	01 00	D3 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	49 EA	02 00	D3 20	00 00
DisplayPort フォーマット	Set	オート	BE EF	03	06 00	BA E1	01 00	F3 20	00 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	2A E0	01 00	F3 20	01 00
		COMPUTER	BE EF	03	06 00	DA E0	01 00	F3 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	89 E1	02 00	F3 20	00 00
HDMI 1 レンジ	Set	オート	BE EF	03	06 00	86 D8	01 00	22 20	00 00
		ノーマル	BE EF	03	06 00	16 D9	01 00	22 20	01 00
		拡張	BE EF	03	06 00	E6 D9	01 00	22 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	B5 D8	02 00	22 20	00 00
HDMI 2 レンジ	Set	オート	BE EF	03	06 00	7A D9	01 00	23 20	00 00
		ノーマル	BE EF	03	06 00	EA D8	01 00	23 20	01 00
		拡張	BE EF	03	06 00	1A D8	01 00	23 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	49 D9	02 00	23 20	00 00
HDBaseT レンジ	Set	オート	BE EF	03	06 00	86 EB	01 00	D2 20	00 00
		ノーマル	BE EF	03	06 00	16 EA	01 00	D2 20	01 00
		拡張	BE EF	03	06 00	E6 EA	01 00	D2 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	B5 EB	02 00	D2 20	00 00
SDI レンジ＊	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	16 E5	01 00	E2 20	01 00
		拡張	BE EF	03	06 00	E6 E5	01 00	E2 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	B5 E4	02 00	E2 20	00 00
DisplayPort レンジ	Set	オート	BE EF	03	06 00	46 E0	01 00	F2 20	00 00
		ノーマル	BE EF	03	06 00	D6 E1	01 00	F2 20	01 00
		拡張	BE EF	03	06 00	26 E1	01 00	F2 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	75 E0	02 00	F2 20	00 00
COMPUTER イン - COMPUTER IN	Set	オート	BE EF	03	06 00	CE D6	01 00	10 20	03 00
		SYNC ON G オフ	BE EF	03	06 00	5E D7	01 00	10 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	0D D6	02 00	10 20	00 00
フレームロック - COMPUTER IN	Set	無効	BE EF	03	06 00	3B C2	01 00	50 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	AB C3	01 00	50 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 C2	02 00	50 30	00 00
フレームロック - HDMI 1	Set	オフ	BE EF	03	06 00	7F C2	01 00	53 30	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	EF C3	01 00	53 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	4C C2	02 00	53 30	00 00
フレームロック - HDMI 2	Set	オフ	BE EF	03	06 00	97 C0	01 00	5D 30	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	07 C1	01 00	5D 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	A4 C0	02 00	5D 30	00 00

＊：MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
フレームロック - HDBaseT	Set	オフ	BE EF	03	06 00	C2 EB	01 00	D1 20	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	52 EA	01 00	D1 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	F1 EB	02 00	D1 20	00 00
フレームロック - SDI ＊	Set	オフ	BE EF	03	06 00	C2 E4	01 00	E1 20	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	52 E5	01 00	E1 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	F1 E4	02 00	E1 20	00 00
フレームロック - DisplayPort	Set	オフ	BE EF	03	06 00	02 E0	01 00	F1 20	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	92 E1	01 00	F1 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	31 E0	02 00	F1 20	00 00
画像表示位置（垂直）	Set	上	BE EF	03	06 00	02 D0	01 00	09 20	02 00
		中央	BE EF	03	06 00	62 D1	01 00	09 20	00 00
		下	BE EF	03	06 00	F2 D0	01 00	09 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	51 D1	02 00	09 20	00 00
画像表示位置（水平）	Set	右	BE EF	03	06 00	46 D5	01 00	1E 20	01 00
		中央	BE EF	03	06 00	D6 D4	01 00	1E 20	00 00
		左	BE EF	03	06 00	B6 D5	01 00	1E 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	E5 D4	02 00	1E 20	00 00
GEOMETRIC MODE	Set	キーストン	BE EF	03	06 00	6B 8C	01 00	30 31	01 00
		コーナーフィット	BE EF	03	06 00	9B 8C	01 00	30 31	02 00
		ワーピング	BE EF	03	06 00	3B 8F	01 00	30 31	04 00
	Get		BE EF	03	06 00	C8 8D	02 00	30 31	00 00
垂直キーストン	Get		BE EF	03	06 00	B9 D3	02 00	07 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	DF D3	04 00	07 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	0E D2	05 00	07 20	00 00
垂直キーストンリセット	Execute		BE EF	03	06 00	08 D0	06 00	0C 70	00 00
水平キーストン	Get		BE EF	03	06 00	E9 D0	02 00	0B 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	8F D0	04 00	0B 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	5E D1	05 00	0B 20	00 00
水平キーストンリセット	Execute		BE EF	03	06 00	98 D8	06 00	20 70	00 00
コーナーフィット左上隅水平位置	Get		BE EF	03	06 00	31 89	02 00	21 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	57 89	04 00	21 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	86 88	05 00	21 21	00 00
コーナーフィット左上隅垂直位置	Get		BE EF	03	06 00	75 89	02 00	22 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	13 89	04 00	22 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	C2 88	05 00	22 21	00 00
コーナーフィット右上隅水平位置	Get		BE EF	03	06 00	89 88	02 00	23 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	EF 88	04 00	23 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	3E 89	05 00	23 21	00 00
コーナーフィット右上隅垂直位置	Get		BE EF	03	06 00	FD 89	02 00	24 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	9B 89	04 00	24 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	4A 88	05 00	24 21	00 00

＊：MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ 設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティングコード
コーナーフィット 左下隅水平位置	Get	BE EF	03	06 00	01 88	02 00	25 21	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	67 88	04 00	25 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	B6 89	05 00	25 21	00 00
コーナーフィット 左下隅垂直位置	Get	BE EF	03	06 00	45 88	02 00	26 21	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	23 88	04 00	26 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	F2 89	05 00	26 21	00 00
コーナーフィット 右下隅水平位置	Get	BE EF	03	06 00	B9 89	02 00	27 21	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	DF 89	04 00	27 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	0E 88	05 00	27 21	00 00
コーナーフィット 右下隅垂直位置	Get	BE EF	03	06 00	AD 8A	02 00	28 21	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	CB 8A	04 00	28 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	1A 8B	05 00	28 21	00 00
コーナーフィット 四隅位置リセット	Execute	BE EF	03	06 00	D5 8A	06 00	29 21	00 00
コーナーフィット 左辺たわみ量	Get	BE EF	03	06 00	31 97	02 00	41 21	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	57 97	04 00	41 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	86 96	05 00	41 21	00 00
コーナーフィット 右辺たわみ量	Get	BE EF	03	06 00	75 97	02 00	42 21	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	13 97	04 00	42 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	C2 96	05 00	42 21	00 00
コーナーフィット 上辺たわみ量	Get	BE EF	03	06 00	FD 97	02 00	44 21	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	9B 97	04 00	44 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	4A 96	05 00	44 21	00 00
コーナーフィット 下辺たわみ量	Get	BE EF	03	06 00	01 96	02 00	45 21	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	67 96	04 00	45 21	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	B6 97	05 00	45 21	00 00
コーナーフィット 四辺たわみリセット	Execute	BE EF	03	06 00	3D 96	06 00	47 21	00 00
コーナーフィット メモリ セーブ 1	Execute	BE EF	03	06 00	29 95	06 00	48 21	00 00
コーナーフィット メモリ セーブ 2	Execute	BE EF	03	06 00	D5 94	06 00	49 21	00 00
コーナーフィット メモリ セーブ 3	Execute	BE EF	03	06 00	91 94	06 00	4A 21	00 00
コーナーフィット メモリ ロード 1	Execute	BE EF	03	06 00	6D 95	06 00	4B 21	00 00
コーナーフィット メモリ ロード 2	Execute	BE EF	03	06 00	19 94	06 00	4C 21	00 00
コーナーフィット メモリ ロード 3	Execute	BE EF	03	06 00	E5 95	06 00	4D 21	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
エッジブレンディングモード	Set	オフ	BE EF	03	06 00	6B 94	01 00	4C 31	00 00
		マニュアル	BE EF	03	06 00	FB 95	01 00	4C 31	01 00
		カメラ	BE EF	03	06 00	0B 95	01 00	4C 31	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	58 94	02 00	4C 31	00 00
エッジブレンディングリージョン リセット	Execute		BE EF	03	06 00	8C 96	06 00	40 31	00 00
エッジブレンディングレベル	Increment		BE EF	03	06 00	92 96	04 00	41 31	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	43 97	05 00	41 31	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	F4 96	02 00	41 31	00 00
エッジブレンディング左	Get		BE EF	03	06 00	68 95	02 00	48 31	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	0E 95	04 00	48 31	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	DF 94	05 00	48 31	00 00
エッジブレンディング右	Get		BE EF	03	06 00	94 94	02 00	49 31	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	F2 94	04 00	49 31	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	23 95	05 00	49 31	00 00
エッジブレンディング上	Get		BE EF	03	06 00	D0 94	02 00	4A 31	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	B6 94	04 00	4A 31	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	67 95	05 00	4A 31	00 00
エッジブレンディング下	Get		BE EF	03	06 00	2C 95	02 00	4B 31	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	4A 95	04 00	4B 31	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	9B 94	05 00	4B 31	00 00
切り出しモード	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB 93	01 00	50 31	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	6B 92	01 00	50 31	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	C8 93	02 00	50 31	00 00
切り出し設定 X	Get		BE EF	03	06 00	A8 91	02 00	58 31	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	CE 91	04 00	58 31	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	1F 90	05 00	58 31	00 00
切り出し設定 Y	Get		BE EF	03	06 00	54 90	02 00	59 31	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	32 90	04 00	59 31	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	E3 91	05 00	59 31	00 00
切り出し設定 W	Get		BE EF	03	06 00	10 90	02 00	5A 31	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	76 90	04 00	5A 31	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	A7 91	05 00	5A 31	00 00
切り出し設定 H	Get		BE EF	03	06 00	EC 91	02 00	5B 31	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	8A 91	04 00	5B 31	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	5B 90	05 00	5B 31	00 00
切り出し登録	Execute		BE EF	03	06 00	B0 93	06 00	51 31	00 00
切り出し初期化	Execute		BE EF	03	06 00	F4 93	06 00	52 31	00 00
ワーピングモード	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB 9C	01 00	60 31	00 00
		モード -1	BE EF	03	06 00	6B 9D	01 00	60 31	01 00
		モード -2	BE EF	03	06 00	9B 9D	01 00	60 31	02 00
		モード -3	BE EF	03	06 00	0B 9C	01 00	60 31	03 00
	Get		BE EF	03	06 00	C8 9C	02 00	60 31	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ 設定内容	ヘッダコード				コマンドデータ		
					CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
調光レベル	Get	BE EF	03	06 00	7C 22	02 00	07 33	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	1A 22	04 00	07 33	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	CB 23	05 00	07 33	00 00
ホワイトバランス オフセット -R	Get	BE EF	03	06 00	0C 72	02 00	50 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	6A 72	04 00	50 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	BB 73	05 00	50 27	00 00
ホワイトバランス オフセット -R リセット	Execute	BE EF	03	06 00	38 E2	06 00	F8 70	00 00
ホワイトバランス オフセット -G	Get	BE EF	03	06 00	F0 73	02 00	51 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	96 73	04 00	51 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	47 72	05 00	51 27	00 00
ホワイトバランス オフセット -G リセット	Execute	BE EF	03	06 00	C4 E3	06 00	F9 70	00 00
ホワイトバランス オフセット -B	Get	BE EF	03	06 00	B4 73	02 00	52 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	D2 73	04 00	52 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	03 72	05 00	52 27	00 00
ホワイトバランス オフセット -B リセット	Execute	BE EF	03	06 00	80 E3	06 00	FA 70	00 00
ホワイトバランス ゲイン -R	Get	BE EF	03	06 00	3C 73	02 00	54 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	5A 73	04 00	54 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	8B 72	05 00	54 27	00 00
ホワイトバランス ゲイン -R リセット	Execute	BE EF	03	06 00	08 E3	06 00	FC 70	00 00
ホワイトバランス ゲイン -G	Get	BE EF	03	06 00	C0 72	02 00	55 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	A6 72	04 00	55 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	77 73	05 00	55 27	00 00
ホワイトバランス ゲイン -G リセット	Execute	BE EF	03	06 00	F4 E2	06 00	FD 70	00 00
ホワイトバランス ゲイン -B	Get	BE EF	03	06 00	84 72	02 00	56 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	E2 72	04 00	56 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	33 73	05 00	56 27	00 00
ホワイトバランス ゲイン -B リセット	Execute	BE EF	03	06 00	B0 E2	06 00	FE 70	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ 設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティングコード
黒レベル -R	Get	BE EF	03	06 00	CC 76	02 00	40 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	AA 76	04 00	40 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	7B 77	05 00	40 27	00 00
黒レベル -R リセット	Execute	BE EF	03	06 00	68 E1	06 00	F4 70	00 00
黒レベル -G	Get	BE EF	03	06 00	30 77	02 00	41 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	56 77	04 00	41 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	87 76	05 00	41 27	00 00
黒レベル -G リセット	Execute	BE EF	03	06 00	94 E0	06 00	F5 70	00 00
黒レベル -B	Get	BE EF	03	06 00	74 77	02 00	42 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	12 77	04 00	42 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	C3 76	05 00	42 27	00 00
黒レベル -B リセット	Execute	BE EF	03	06 00	D0 E0	06 00	F6 70	00 00
黒レベル -W	Get	BE EF	03	06 00	88 76	02 00	43 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	EE 76	04 00	43 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	3F 77	05 00	43 27	00 00
黒レベル -W リセット	Execute	BE EF	03	06 00	2C E1	06 00	F7 70	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
イメージ オプティマイザ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	D6 71	01 00	0E 22	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	46 70	01 00	0E 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	E5 71	02 00	0E 22	00 00
エコモード	Set	ノーマル	BE EF	03	06 00	3B 23	01 00	00 33	00 00
		エコ	BE EF	03	06 00	AB 22	01 00	00 33	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 23	02 00	00 33	00 00
設置方法	Set	前面投射／机上	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	01 30	00 00
		背面投射／机上	BE EF	03	06 00	57 D3	01 00	01 30	01 00
		前面投射／天吊り	BE EF	03	06 00	A7 D3	01 00	01 30	02 00
		背面投射／天吊り	BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	01 30	03 00
	Get		BE EF	03	06 00	F4 D2	02 00	01 30	00 00
スタンバイモード	Set	通常	BE EF	03	06 00	D6 D2	01 00	01 60	00 00
		省電力	BE EF	03	06 00	46 D3	01 00	01 60	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	E5 D2	02 00	01 60	00 00
カラーユニフォミティ レベル	Set	1	BE EF	03	06 00	AF 6D	01 00	30 27	01 00
		2	BE EF	03	06 00	5F 6D	01 00	30 27	02 00
		3	BE EF	03	06 00	CF 6C	01 00	30 27	03 00
		4	BE EF	03	06 00	FF 6E	01 00	30 27	04 00
	Get		BE EF	03	06 00	0C 6C	02 00	30 27	00 00
カラーユニフォミティエリア	Set	左上	BE EF	03	06 00	C3 6D	01 00	31 27	00 00
		上	BE EF	03	06 00	53 6C	01 00	31 27	01 00
		右上	BE EF	03	06 00	A3 6C	01 00	31 27	02 00
		左	BE EF	03	06 00	03 AC	01 00	31 27	00 01
		All	BE EF	03	06 00	93 AD	01 00	31 27	01 01
		右	BE EF	03	06 00	63 AD	01 00	31 27	02 01
		左下	BE EF	03	06 00	02 EC	01 00	31 27	00 02
		下	BE EF	03	06 00	92 ED	01 00	31 27	01 02
		右下	BE EF	03	06 00	62 ED	01 00	31 27	02 02
	Get		BE EF	03	06 00	F0 6D	02 00	31 27	00 00
カラーユニフォミティ -R	Get		BE EF	03	06 00	B4 6D	02 00	32 27	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	D2 6D	04 00	32 27	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	03 6C	05 00	32 27	00 00
カラーユニフォミティ -R リセット	Execute		BE EF	03	06 00	58 E0	06 00	F0 70	00 00
カラーユニフォミティ -G	Get		BE EF	03	06 00	48 6C	02 00	33 27	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	2E 6C	04 00	33 27	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	FF 6D	05 00	33 27	00 00
カラーユニフォミティ -G リセット	Execute		BE EF	03	06 00	A4 E1	06 00	F1 70	00 00
カラーユニフォミティ -B	Get		BE EF	03	06 00	3C 6D	02 00	34 27	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	5A 6D	04 00	34 27	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	8B 6C	05 00	34 27	00 00
カラーユニフォミティ -B リセット	Execute		BE EF	03	06 00	E0 E1	06 00	F2 70	00 00
カラーユニフォミティ全リセット	Execute		BE EF	03	06 00	1C E0	06 00	F3 70	00 00
カラーユニフォミティ パターン	Set	オフ	BE EF	03	06 00	B7 6C	01 00	36 27	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	27 6D	01 00	36 27	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	84 6C	02 00	36 27	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ	設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティングコード
音量 - COMPUTER IN	Get		BE EF	03	06 00	CD CC	02 00	60 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	AB CC	04 00	60 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	7A CD	05 00	60 20	00 00
音量 - LAN	Get		BE EF	03	06 00	E9 CE	02 00	6B 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	8F CE	04 00	6B 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	5E CF	05 00	6B 20	00 00
音量 - HDMI 1	Get		BE EF	03	06 00	89 CC	02 00	63 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	EF CC	04 00	63 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	3E CD	05 00	63 20	00 00
音量 - HDMI 2	Get		BE EF	03	06 00	61 CE	02 00	6D 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	07 CE	04 00	6D 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	D6 CF	05 00	6D 20	00 00
音量 - HDBaseT	Get		BE EF	03	06 00	C1 EA	02 00	D5 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	A7 EA	04 00	D5 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	76 EB	05 00	D5 20	00 00
音量 - VIDEO	Get		BE EF	03	06 00	31 CD	02 00	61 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	57 CD	04 00	61 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	86 CC	05 00	61 20	00 00
音量 - SDI ＊	Get		BE EF	03	06 00	C1 E5	02 00	E5 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	A7 E5	04 00	E5 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	76 E4	05 00	E5 20	00 00
音量 - DisplayPort	Get		BE EF	03	06 00	01 E1	02 00	F5 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	67 E1	04 00	F5 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	B6 E0	05 00	F5 20	00 00
音量 - STANDBY	Get		BE EF	03	06 00	D9 CF	02 00	6F 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	BF CF	04 00	6F 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	6E CE	05 00	6F 20	00 00
音量 - ALL	Get		BE EF	03	06 00	CD C3	02 00	50 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	AB C3	04 00	50 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	7A C2	05 00	50 20	00 00
消音	Set	オフ	BE EF	03	06 00	46 D3	01 00	02 20	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	D6 D2	01 00	02 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	75 D3	02 00	02 20	00 00
AV ミュート	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FE F0	01 00	A0 20	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	6E F1	01 00	A0 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	CD F0	02 00	A0 20	00 00
スピーカー	Set	オフ	BE EF	03	06 00	6E D5	01 00	1C 20	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	FE D4	01 00	1C 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	5D D5	02 00	1C 20	00 00

＊：MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
音声入力設定 - COMPUTER IN	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	6E DC	01 00	30 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	9E DC	01 00	30 20	02 00
		オフ	BE EF	03	06 00	FE DD	01 00	30 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	CD DD	02 00	30 20	00 00
音声入力設定 - LAN	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	4A DE	01 00	3B 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	BA DE	01 00	3B 20	02 00
		AUDIO LAN	BE EF	03	06 00	8A D3	01 00	3B 20	11 00
		オフ	BE EF	03	06 00	DA DF	01 00	3B 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	E9 DF	02 00	3B 20	00 00
音声入力設定 - HDMI 1	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	2A DC	01 00	33 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	DA DC	01 00	33 20	02 00
		AUDIO HDMI 1	BE EF	03	06 00	7A C4	01 00	33 20	20 00
		オフ	BE EF	03	06 00	BA DD	01 00	33 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	89 DD	02 00	33 20	00 00
音声入力設定 - HDMI 2	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	C2 DE	01 00	3D 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	32 DE	01 00	3D 20	02 00
		AUDIO HDMI 2	BE EF	03	06 00	02 C7	01 00	3D 20	21 00
		オフ	BE EF	03	06 00	52 DF	01 00	3D 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	61 DF	02 00	3D 20	00 00
音声入力設定 - HDBaseT	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	9E EA	01 00	D4 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	6E EA	01 00	D4 20	02 00
		AUDIO HDBaseT	BE EF	03	06 00	0E F0	01 00	D4 20	24 00
		オフ	BE EF	03	06 00	0E EB	01 00	D4 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	3D EB	02 00	D4 20	00 00
音声入力設定 - SDI ＊	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	9E E5	01 00	E4 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	6E E5	01 00	E4 20	02 00
		オフ	BE EF	03	06 00	0E E4	01 00	E4 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	3D E4	02 00	E4 20	00 00
音声入力設定 - DisplayPort	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	5E E1	01 00	F4 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	AE E1	01 00	F4 20	02 00
		AUDIO DisplayPort	BE EF	03	06 00	AE FA	01 00	F4 20	26 00
		オフ	BE EF	03	06 00	CE E0	01 00	F4 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	FD E0	02 00	F4 20	00 00
音声入力設定 - VIDEO	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	92 DD	01 00	31 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	62 DD	01 00	31 20	02 00
		オフ	BE EF	03	06 00	02 DC	01 00	31 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	31 DC	02 00	31 20	00 00
音声入力設定 - スタンバイ	Set	AUDIO IN1	BE EF	03	06 00	7A DF	01 00	3F 20	01 00
		AUDIO IN2	BE EF	03	06 00	8A DF	01 00	3F 20	02 00
		HDMI 1	BE EF	03	06 00	2A C7	01 00	3F 20	20 00
		HDMI 2	BE EF	03	06 00	BA C6	01 00	3F 20	21 00
		HDBaseT	BE EF	03	06 00	EA C5	01 00	3F 20	24 00
		DisplayPort	BE EF	03	06 00	8A C4	01 00	3F 20	26 00
		オフ	BE EF	03	06 00	EA DE	01 00	3F 20	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	D9 DE	02 00	3F 20	00 00

＊：MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ	設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティングコード
LAN SOUND ENABLE	Set	Disable	BE EF	03	06 00	BA F0	01 00	A3 20	00 00
		Enable	BE EF	03	06 00	2A F1	01 00	A3 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	89 F0	02 00	A3 20	00 00
表示言語	Set	ENGLISH	BE EF	03	06 00	F7 D3	01 00	05 30	00 00
		FRANÇAIS	BE EF	03	06 00	67 D2	01 00	05 30	01 00
		DEUTSCH	BE EF	03	06 00	97 D2	01 00	05 30	02 00
		ESPAÑOL	BE EF	03	06 00	07 D3	01 00	05 30	03 00
		ITALIANO	BE EF	03	06 00	37 D1	01 00	05 30	04 00
		NORSK	BE EF	03	06 00	A7 D0	01 00	05 30	05 00
		NEDERLANDS	BE EF	03	06 00	57 D0	01 00	05 30	06 00
		PORTUGUÊS	BE EF	03	06 00	C7 D1	01 00	05 30	07 00
		日本語	BE EF	03	06 00	37 D4	01 00	05 30	08 00
		简体中文	BE EF	03	06 00	A7 D5	01 00	05 30	09 00
		繁體中文	BE EF	03	06 00	37 DE	01 00	05 30	10 00
		한글	BE EF	03	06 00	57 D5	01 00	05 30	0A 00
		SVENSKA	BE EF	03	06 00	C7 D4	01 00	05 30	0B 00
		РУССКИЙ	BE EF	03	06 00	F7 D6	01 00	05 30	0C 00
		SUOMI	BE EF	03	06 00	67 D7	01 00	05 30	0D 00
		POLSKI	BE EF	03	06 00	97 D7	01 00	05 30	0E 00
		TÜRKÇE	BE EF	03	06 00	07 D6	01 00	05 30	0F 00
		DANSK	BE EF	03	06 00	A7 DF	01 00	05 30	11 00
		ČESKY	BE EF	03	06 00	57 DF	01 00	05 30	12 00
		MAGYAR	BE EF	03	06 00	C7 DE	01 00	05 30	13 00
		ROMÂNĂ	BE EF	03	06 00	F7 DC	01 00	05 30	14 00
		SLOVENSKI	BE EF	03	06 00	67 DD	01 00	05 30	15 00
		HRVATSKI	BE EF	03	06 00	97 DD	01 00	05 30	16 00
		ΕΛΛΗΝΙΚΑ	BE EF	03	06 00	07 DC	01 00	05 30	17 00
		LIETUVIŲ	BE EF	03	06 00	F7 D9	01 00	05 30	18 00
		EESTI	BE EF	03	06 00	67 D8	01 00	05 30	19 00
		LATVIEŠU	BE EF	03	06 00	97 D8	01 00	05 30	1A 00
		ไทย	BE EF	03	06 00	07 D9	01 00	05 30	1B 00
		اللغة العربية	BE EF	03	06 00	37 DB	01 00	05 30	1C 00
		فارسی	BE EF	03	06 00	A7 DA	01 00	05 30	1D 00
		PORTUGUÊS BRA	BE EF	03	06 00	57 DA	01 00	05 30	1E 00
		BAHASA IND	BE EF	03	06 00	C7 DB	01 00	05 30	1F 00
		TIENG VIET	BE EF	03	06 00	37 CA	01 00	05 30	20 00
		上記の表示言語は、一部対応していない場合があります。詳しくは本機のメニュー画面でご確認ください。							
	Get		BE EF	03	06 00	C4 D3	02 00	05 30	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティング コード
メニュー水平位置	Get		BE EF	03	06 00	04 D7	02 00	15 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	62 D7	04 00	15 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	B3 D6	05 00	15 30	00 00
メニュー水平位置 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	DC C6	06 00	43 70	00 00
メニュー垂直位置	Get		BE EF	03	06 00	40 D7	02 00	16 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	26 D7	04 00	16 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	F7 D6	05 00	16 30	00 00
メニュー垂直位置 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	A8 C7	06 00	44 70	00 00
ブランク	Set	マイスクリーン	BE EF	03	06 00	FB CA	01 00	00 30	20 00
		オリジナル	BE EF	03	06 00	FB E2	01 00	00 30	40 00
		青	BE EF	03	06 00	CB D3	01 00	00 30	03 00
		白	BE EF	03	06 00	6B D0	01 00	00 30	05 00
		黒	BE EF	03	06 00	9B D0	01 00	00 30	06 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 D3	02 00	00 30	00 00
ブランク オン／オフ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	FB D8	01 00	20 30	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	6B D9	01 00	20 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	C8 D8	02 00	20 30	00 00
オートブランク	Set	青	BE EF	03	06 00	67 D1	01 00	0D 30	03 00
		白	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	0D 30	05 00
		黒	BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	0D 30	06 00
	Get		BE EF	03	06 00	A4 D1	02 00	0D 30	00 00
初期画面	Set	マイスクリーン	BE EF	03	06 00	CB CB	01 00	04 30	20 00
		オリジナル	BE EF	03	06 00	0B D2	01 00	04 30	00 00
		表示しない	BE EF	03	06 00	9B D3	01 00	04 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	38 D2	02 00	04 30	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
マイスクリーンロック	Set	無効	BE EF	03	06 00	3B EF	01 00	C0 30	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	AB EE	01 00	C0 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 EF	02 00	C0 30	00 00
OSD メッセージ	Set	限定	BE EF	03	06 00	8F D6	01 00	17 30	00 00
		ノーマル	BE EF	03	06 00	1F D7	01 00	17 30	01 00
		禁止	BE EF	03	06 00	EF D7	01 00	17 30	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	BC D6	02 00	17 30	00 00
テンプレート	Set	テストパターン	BE EF	03	06 00	43 D9	01 00	22 30	00 00
		点線 1	BE EF	03	06 00	D3 D8	01 00	22 30	01 00
		点線 2	BE EF	03	06 00	23 D8	01 00	22 30	02 00
		点線 3	BE EF	03	06 00	B3 D9	01 00	22 30	03 00
		点線 4	BE EF	03	06 00	83 DB	01 00	22 30	04 00
		円 1	BE EF	03	06 00	13 DA	01 00	22 30	05 00
		円 2	BE EF	03	06 00	E3 DA	01 00	22 30	06 00
		地図 1	BE EF	03	06 00	83 D4	01 00	22 30	10 00
		地図 2	BE EF	03	06 00	13 D5	01 00	22 30	11 00
		スタック	BE EF	03	06 00	83 C0	01 00	22 30	20 00
	Get		BE EF	03	06 00	70 D9	02 00	22 30	00 00
テンプレート オン／オフ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	BF D8	01 00	23 30	00 00
		オン	BE EF	03	06 00	2F D9	01 00	23 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	8C D8	02 00	23 30	00 00
C.C. ディスプレイ	Set	無効	BE EF	03	06 00	FA 62	01 00	00 37	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	6A 63	01 00	00 37	01 00
		オート	BE EF	03	06 00	9A 63	01 00	00 37	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	C9 62	02 00	00 37	00 00
C.C. モード	Set	キャプション	BE EF	03	06 00	06 63	01 00	01 37	00 00
		テキスト	BE EF	03	06 00	96 62	01 00	01 37	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	35 63	02 00	01 37	00 00
C.C. チャンネル	Set	1	BE EF	03	06 00	D2 62	01 00	02 37	01 00
		2	BE EF	03	06 00	22 62	01 00	02 37	02 00
		3	BE EF	03	06 00	B2 63	01 00	02 37	03 00
		4	BE EF	03	06 00	82 61	01 00	02 37	04 00
	Get		BE EF	03	06 00	71 63	02 00	02 37	00 00
チャンネルスキップ - COMPUTER IN	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	FE 78	01 00	20 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	6E 79	01 00	20 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	CD 78	02 00	20 22	00 00
チャンネルスキップ - LAN	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	DA 7A	01 00	2B 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	4A 7B	01 00	2B 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	E9 7A	02 00	2B 22	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ		ヘッダコード				コマンドデータ		
		設定内容				CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
チャンネルスキップ - HDMI 1	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	BA 78	01 00	23 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	2A 79	01 00	23 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	89 78	02 00	23 22	00 00
チャンネルスキップ - HDMI 2	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	52 7A	01 00	2D 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	C2 7B	01 00	2D 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	61 7A	02 00	2D 22	00 00
チャンネルスキップ - HDBaseT	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	B6 EA	01 00	D6 20	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	26 EB	01 00	D6 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	85 EA	02 00	D6 20	00 00
チャンネルスキップ - VIDEO	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	02 79	01 00	21 22	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	92 78	01 00	21 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	31 79	02 00	21 22	00 00
チャンネルスキップ - SDI ＊	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	B6 E5	01 00	E6 20	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	26 E4	01 00	E6 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	85 E5	02 00	E6 20	00 00
チャンネルスキップ - DisplayPort	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	76 E1	01 00	F6 20	00 00
		SKIP	BE EF	03	06 00	E6 E0	01 00	F6 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	45 E1	02 00	F6 20	00 00
オートサーチ	Set	無効	BE EF	03	06 00	B6 D6	01 00	16 20	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	26 D7	01 00	16 20	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	85 D6	02 00	16 20	00 00
ダイレクトパワーオン	Set	無効	BE EF	03	06 00	3B 89	01 00	20 31	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	AB 88	01 00	20 31	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 89	02 00	20 31	00 00
オートパワーオフ	Get		BE EF	03	06 00	08 86	02 00	10 31	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	6E 86	04 00	10 31	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	BF 87	05 00	10 31	00 00
シェードタイマー	Set	1h	BE EF	03	06 00	27 92	01 00	06 24	01 00
		3h	BE EF	03	06 00	47 93	01 00	06 24	03 00
		6h	BE EF	03	06 00	17 90	01 00	06 24	06 00
	Get		BE EF	03	06 00	84 93	02 00	06 24	00 00
ランプ時間（下位バイト）	Get		BE EF	03	06 00	C2 FF	02 00	90 10	00 00
ランプ時間（上位バイト）	Get		BE EF	03	06 00	2A FD	02 00	9E 10	00 00
ランプ時間 リセット	Execute		BE EF	03	06 00	58 DC	06 00	30 70	00 00
フィルター時間（下位バイト）	Get		BE EF	03	06 00	C2 F0	02 00	A0 10	00 00
フィルター時間（上位バイト）	Get		BE EF	03	06 00	D6 FC	02 00	9F 10	00 00
フィルター時間リセット	Execute		BE EF	03	06 00	98 C6	06 00	40 70	00 00

＊：MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ	設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティングコード
マイボタン -1	Set	マイ イメージ	BE EF	03	06 00	5A 3D	01 00	00 36	16 00
		メッセンジャー	BE EF	03	06 00	AA 29	01 00	00 36	25 00
		シェード	BE EF	03	06 00	5A 26	01 00	00 36	32 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	FA 3E	01 00	00 36	10 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	9A 3F	01 00	00 36	12 00
		アクティブアイリス	BE EF	03	06 00	AA 3D	01 00	00 36	15 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	0A 3E	01 00	00 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	3A 3C	01 00	00 36	14 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	CA 39	01 00	00 36	1B 00
		消音	BE EF	03	06 00	FA 20	01 00	00 36	38 00
		PbyP/PinP 入れ換え	BE EF	03	06 00	5A 38	01 00	00 36	1A 00
		PinP 位置	BE EF	03	06 00	3A 22	01 00	00 36	3C 00
		ブランク	BE EF	03	06 00	FA 02	01 00	00 36	40 00
		解像度	BE EF	03	06 00	9A 3A	01 00	00 36	1E 00
		エコモード	BE EF	03	06 00	0A 25	01 00	00 36	37 00
		ACCENTUALIZER	BE EF	03	06 00	9A 21	01 00	00 36	3A 00
		HDCR	BE EF	03	06 00	5A 23	01 00	00 36	3E 00
		ステータスモニター	BE EF	03	06 00	0A 20	01 00	00 36	3B 00
	Get		BE EF	03	06 00	09 33	02 00	00 36	00 00
マイボタン -2	Set	マイ イメージ	BE EF	03	06 00	A6 3C	01 00	01 36	16 00
		メッセンジャー	BE EF	03	06 00	56 28	01 00	01 36	25 00
		シェード	BE EF	03	06 00	A6 27	01 00	01 36	32 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	06 3F	01 00	01 36	10 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	66 3E	01 00	01 36	12 00
		アクティブアイリス	BE EF	03	06 00	56 3C	01 00	01 36	15 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	F6 3F	01 00	01 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	C6 3D	01 00	01 36	14 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	36 38	01 00	01 36	1B 00
		消音	BE EF	03	06 00	06 21	01 00	01 36	38 00
		PbyP/PinP 入れ換え	BE EF	03	06 00	A6 39	01 00	01 36	1A 00
		PinP 位置	BE EF	03	06 00	C6 23	01 00	01 36	3C 00
		ブランク	BE EF	03	06 00	06 03	01 00	01 36	40 00
		解像度	BE EF	03	06 00	66 3B	01 00	01 36	1E 00
		エコモード	BE EF	03	06 00	F6 24	01 00	01 36	37 00
		ACCENTUALIZER	BE EF	03	06 00	66 20	01 00	01 36	3A 00
		HDCR	BE EF	03	06 00	A6 22	01 00	01 36	3E 00
		ステータスモニター	BE EF	03	06 00	F6 21	01 00	01 36	3B 00
	Get		BE EF	03	06 00	F5 32	02 00	01 36	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ	設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティングコード
マイボタン -3	Set	マイ イメージ	BE EF	03	06 00	E2 3C	01 00	02 36	16 00
		メッセンジャー	BE EF	03	06 00	12 28	01 00	02 36	25 00
		シェード	BE EF	03	06 00	E2 27	01 00	02 36	32 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	42 3F	01 00	02 36	10 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	22 3E	01 00	02 36	12 00
		アクティブアイリス	BE EF	03	06 00	12 3C	01 00	02 36	15 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	B2 3F	01 00	02 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	82 3D	01 00	02 36	14 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	72 38	01 00	02 36	1B 00
		消音	BE EF	03	06 00	42 21	01 00	02 36	38 00
		PbyP/PinP 入れ換え	BE EF	03	06 00	E2 39	01 00	02 36	1A 00
		PinP 位置	BE EF	03	06 00	82 23	01 00	02 36	3C 00
		ブランク	BE EF	03	06 00	42 03	01 00	02 36	40 00
		解像度	BE EF	03	06 00	22 3B	01 00	02 36	1E 00
		エコモード	BE EF	03	06 00	B2 24	01 00	02 36	37 00
		ACCENTUALIZER	BE EF	03	06 00	22 20	01 00	02 36	3A 00
		HDCR	BE EF	03	06 00	E2 22	01 00	02 36	3E 00
		ステータスモニター	BE EF	03	06 00	B2 21	01 00	02 36	3B 00
	Get		BE EF	03	06 00	B1 32	02 00	02 36	00 00
マイボタン -4	Set	マイ イメージ	BE EF	03	06 00	1E 3D	01 00	03 36	16 00
		メッセンジャー	BE EF	03	06 00	EE 29	01 00	03 36	25 00
		シェード	BE EF	03	06 00	1E 26	01 00	03 36	32 00
		インフォメーション	BE EF	03	06 00	BE 3E	01 00	03 36	10 00
		マイメモリー	BE EF	03	06 00	DE 3F	01 00	03 36	12 00
		アクティブアイリス	BE EF	03	06 00	EE 3D	01 00	03 36	15 00
		映像モード	BE EF	03	06 00	4E 3E	01 00	03 36	13 00
		フィルターリセット	BE EF	03	06 00	7E 3C	01 00	03 36	14 00
		テンプレート	BE EF	03	06 00	8E 39	01 00	03 36	1B 00
		消音	BE EF	03	06 00	BE 20	01 00	03 36	38 00
		PbyP/PinP 入れ換え	BE EF	03	06 00	1E 38	01 00	03 36	1A 00
		PinP 位置	BE EF	03	06 00	7E 22	01 00	03 36	3C 00
		ブランク	BE EF	03	06 00	BE 02	01 00	03 36	40 00
		解像度	BE EF	03	06 00	DE 3A	01 00	03 36	1E 00
		エコモード	BE EF	03	06 00	4E 25	01 00	03 36	37 00
		ACCENTUALIZER	BE EF	03	06 00	DE 21	01 00	03 36	3A 00
		HDCR	BE EF	03	06 00	1E 23	01 00	03 36	3E 00
		ステータスモニター	BE EF	03	06 00	4E 20	01 00	03 36	3B 00
	Get		BE EF	03	06 00	4D 33	02 00	03 36	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ	設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティングコード
リモコン受光部 - 前面	Set	Off	BE EF	03	06 00	FF 32	01 00	00 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	6F 33	01 00	00 26	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	CC 32	02 00	00 26	00 00
リモコン受光部 - 背面	Set	Off	BE EF	03	06 00	03 33	01 00	01 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	93 32	01 00	01 26	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	30 33	02 00	01 26	00 00
リモコン HDBaseT	Set	OFF	BE EF	03	06 00	BB 32	01 00	03 26	00 00
		ON	BE EF	03	06 00	2B 33	01 00	03 26	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	88 32	02 00	03 26	00 00
リモコン周波数 - 標準	Set	無効	BE EF	03	06 00	FF 3D	01 00	30 26	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	6F 3C	01 00	30 26	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	CC 3D	02 00	30 26	00 00
リモコン周波数 - 高	Set	無効	BE EF	03	06 00	03 3C	01 00	31 26	00 00
		有効	BE EF	03	06 00	93 3D	01 00	31 26	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	30 3C	02 00	31 26	00 00
リモコン ID	Set	ALL	BE EF	03	06 00	9F 30	01 00	08 26	00 00
		1	BE EF	03	06 00	0F 31	01 00	08 26	01 00
		2	BE EF	03	06 00	FF 31	01 00	08 26	02 00
		3	BE EF	03	06 00	6F 30	01 00	08 26	03 00
		4	BE EF	03	06 00	5F 32	01 00	08 26	04 00
	Get		BE EF	03	06 00	AC 30	02 00	08 26	00 00
マイ イメージ	Set	オフ	BE EF	03	06 00	3A C3	01 00	00 35	00 00
		画像 -1	BE EF	03	06 00	AA C2	01 00	00 35	01 00
		画像 -2	BE EF	03	06 00	5A C2	01 00	00 35	02 00
		画像 -3	BE EF	03	06 00	CA C3	01 00	00 35	03 00
		画像 -4	BE EF	03	06 00	FA C1	01 00	00 35	04 00
	Get		BE EF	03	06 00	09 C3	02 00	00 35	00 00
マイ イメージ消去 画像 -1	Execute		BE EF	03	06 00	71 C3	06 00	01 35	00 00
マイ イメージ消去 画像 -2	Execute		BE EF	03	06 00	35 C3	06 00	02 35	00 00
マイ イメージ消去 画像 -3	Execute		BE EF	03	06 00	C9 C2	06 00	03 35	00 00
マイ イメージ消去 画像 -4	Execute		BE EF	03	06 00	BD C3	06 00	04 35	00 00
カラー マネージメント 色相 -R	Get		BE EF	03	06 00	0C 63	02 00	00 27	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	6A 63	04 00	00 27	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	BB 62	05 00	00 27	00 00
カラー マネージメント 色相 -R リセット	Execute		BE EF	03	06 00	98 EB	06 00	D0 70	00 00
カラー マネージメント 色相 -Y	Get		BE EF	03	06 00	F0 62	02 00	01 27	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	96 62	04 00	01 27	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	47 63	05 00	01 27	00 00
カラー マネージメント 色相 -Y リセット	Execute		BE EF	03	06 00	64 EA	06 00	D1 70	00 00

（次ページにつづく）

RS-232C 通信／ネットワークコマンド一覧（つづき）

項目名	オペレーションタイプ 設定内容	ヘッダコード			CRC フラグ	コマンドデータ アクション	タイプ	セッティングコード
カラーマネージメント色相 -G	Get	BE EF	03	06 00	B4 62	02 00	02 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	D2 62	04 00	02 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	03 63	05 00	02 27	00 00
カラーマネージメント色相 -G リセット	Execute	BE EF	03	06 00	20 EA	06 00	D2 70	00 00
カラーマネージメント色相 -C	Get	BE EF	03	06 00	48 63	02 00	03 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	2E 63	04 00	03 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	FF 62	05 00	03 27	00 00
カラーマネージメント色相 -C リセット	Execute	BE EF	03	06 00	DC EB	06 00	D3 70	00 00
カラーマネージメント色相 -B	Get	BE EF	03	06 00	3C 62	02 00	04 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	5A 62	04 00	04 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	8B 63	05 00	04 27	00 00
カラーマネージメント色相 -B リセット	Execute	BE EF	03	06 00	A8 EA	06 00	D4 70	00 00
カラーマネージメント色相 -M	Get	BE EF	03	06 00	C0 63	02 00	05 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	A6 63	04 00	05 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	77 62	05 00	05 27	00 00
カラーマネージメント色相 -M リセット	Execute	BE EF	03	06 00	54 EB	06 00	D5 70	00 00
カラーマネージメント彩度 -R	Get	BE EF	03	06 00	CC 67	02 00	10 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	AA 67	04 00	10 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	7B 66	05 00	10 27	00 00
カラーマネージメント彩度 -R リセット	Execute	BE EF	03	06 00	F8 E9	06 00	D8 70	00 00
カラーマネージメント彩度 -Y	Get	BE EF	03	06 00	30 66	02 00	11 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	56 66	04 00	11 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	87 67	05 00	11 27	00 00
カラーマネージメント彩度 -Y リセット	Execute	BE EF	03	06 00	04 E8	06 00	D9 70	00 00
カラーマネージメント彩度 -G	Get	BE EF	03	06 00	74 66	02 00	12 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	12 66	04 00	12 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	C3 67	05 00	12 27	00 00
カラーマネージメント彩度 -G リセット	Execute	BE EF	03	06 00	40 E8	06 00	DA 70	00 00
カラーマネージメント彩度 -C	Get	BE EF	03	06 00	88 67	02 00	13 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	EE 67	04 00	13 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	3F 66	05 00	13 27	00 00
カラーマネージメント彩度 -C リセット	Execute	BE EF	03	06 00	BC E9	06 00	DB 70	00 00

（次ページにつづく）

項目名	オペレーションタイプ 設定内容	ヘッダコード				コマンドデータ		
					CRC フラグ	アクション	タイプ	セッティングコード
カラーマネージメント彩度 -B	Get	BE EF	03	06 00	FC 66	02 00	14 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	9A 66	04 00	14 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	4B 67	05 00	14 27	00 00
カラーマネージメント彩度 -B リセット	Execute	BE EF	03	06 00	C8 E8	06 00	DC 70	00 00
カラーマネージメント彩度 -M	Get	BE EF	03	06 00	00 67	02 00	15 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	66 67	04 00	15 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	B7 66	05 00	15 27	00 00
カラーマネージメント彩度 -M リセット	Execute	BE EF	03	06 00	34 E9	06 00	DD 70	00 00
カラーマネージメント輝度 -R	Get	BE EF	03	06 00	CC 68	02 00	20 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	AA 68	04 00	20 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	7B 69	05 00	20 27	00 00
カラーマネージメント輝度 -R リセット	Execute	BE EF	03	06 00	98 E4	06 00	E0 70	00 00
カラーマネージメント輝度 -Y	Get	BE EF	03	06 00	30 69	02 00	21 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	56 69	04 00	21 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	87 68	05 00	21 27	00 00
カラーマネージメント輝度 -Y リセット	Execute	BE EF	03	06 00	64 E5	06 00	E1 70	00 00
カラーマネージメント輝度 -G	Get	BE EF	03	06 00	74 69	02 00	22 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	12 69	04 00	22 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	C3 68	05 00	22 27	00 00
カラーマネージメント輝度 -G リセット	Execute	BE EF	03	06 00	20 E5	06 00	E2 70	00 00
カラーマネージメント輝度 -C	Get	BE EF	03	06 00	88 68	02 00	23 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	EE 68	04 00	23 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	3F 69	05 00	23 27	00 00
カラーマネージメント輝度 -C リセット	Execute	BE EF	03	06 00	DC E4	06 00	E3 70	00 00
カラーマネージメント輝度 -B	Get	BE EF	03	06 00	FC 69	02 00	24 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	9A 69	04 00	24 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	4B 68	05 00	24 27	00 00
カラーマネージメント輝度 -B リセット	Execute	BE EF	03	06 00	A8 E5	06 00	E4 70	00 00
カラーマネージメント輝度 -M	Get	BE EF	03	06 00	00 68	02 00	25 27	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	66 68	04 00	25 27	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	B7 69	05 00	25 27	00 00
カラーマネージメント輝度 -M リセット	Execute	BE EF	03	06 00	54 E4	06 00	E5 70	00 00

PJLink ™

本機は、PJLink ™ の Class 1 に適合しています。
PJLink ™プロトコルを使用してプロジェクターを制御するには、下表をご参照ください。

コマンド	制御説明	送信 又は 回答パラメータ
POWR	パワーオン／オフ	0 = スタンバイ 1 = パワー（ランプ）オン
POWR ?	パワーステータス確認	0 = スタンバイ 1 = パワー（ランプ）オン 2 = 冷却動作中
INPT (MC-WU8601WJ/ MC-WU8601BJ/ MC-WX8751WJ/ MC-WX8751BJ/ MC-WX8651WJ/ MC-WX8651BJ/ MC-X8801WJ/ MC-X8801BJ)	入力信号切替	11 = COMPUTER IN 23 = VIDEO 31 = HDMI 1 33 = HDMI 2 36 = HDBaseT 51 = LAN
INPT ? (MC-WU8601WJ/ MC-WU8601BJ/ MC-WX8751WJ/ MC-WX8751BJ/ MC-WX8651WJ/ MC-WX8651BJ/ MC-X8801WJ/ MC-X8801BJ)	受信信号確認	11 = COMPUTER IN 23 = VIDEO 31 = HDMI 1 33 = HDMI 2 36 = HDBaseT 51 = LAN
INPT (MC-WU8701WJ/ MC-WU8701BJ)	入力信号切替	11 = COMPUTER IN 23 = VIDEO 31 = HDMI 1 33 = HDMI 2 36 = HDBaseT 37 = SDI 51 = LAN
INPT ? (MC-WU8701WJ/ MC-WU8701BJ)	受信信号確認	11 = COMPUTER IN 23 = VIDEO 31 = HDMI 1 33 = HDMI 2 36 = HDBaseT 37 = SDI 51 = LAN
AVMT	AV ミュート	10 = ブランクオフ 11 = ブランクオン 20 = ミュートオフ 21 = ミュートオン 30 = AV ミュートオフ（通常画面表示、音声出力） 31 = AV ミュートオン
AVMT ?	AV ミュート状態確認	10 = ブランクオフ中 11 = ブランクオン中 20 = ミュートオフ中 21 = ミュートオン中 30 = AV ミュートオフ中（通常画面表示、音声出力中） 31 = AV ミュートオン中

（次ページにつづく）

コマンド	制御説明	送信 又は 回答パラメータ
ERST ?	エラーステータス確認	6byte の回答コードが返されます。 回答コードの各エラーステータスは以下の通りです。 0 = 正常　1 = 警告　2 = エラー 1st byte：ファンエラー 2nd byte：ランプエラー 3rd byte：温度エラー 4th byte：ランプカバーエラー 5th byte：フィルターエラー 6th byte：　その他のエラー
LAMP ?	ランプステータス確認	1 データ目（5 桁）：ランプ使用時間（0 ～ 99999 時間） 2 データ目：0 = ランプ消灯中、1 = ランプ点灯中
INST ?	入力端子確認	本機の入力端子が回答されます。 11　23　31　33　36　37*　51
NAME ?	プロジェクター名確認	「ネットワーク」メニューの「プロジェクター名」（📖**3-16**）で設定した、本機の名前が回答されます。
INF1 ?	ブランド名	MAXELL
INF2 ?	機種名確認	ご使用のプロジェクター―の機種名（末尾のアルファベット部分を除く）が回答されます。 MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ: MC-WU8701 MC-WU8601WJ/MC-WU8601BJ: MC-WU8601 MC-WX8751WJ/MC-WX8751BJ: MC-WX8751 MC-WX8651WJ/MC-WX8651BJ: MC-WX8651 MC-X8801WJ/MC-X8801BJ: MC-X8801
INFO ?	その他の情報確認	工場調節などに関する情報が回答されます。
CLSS ?	クラス情報確認	1

＊：MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ

〈お知らせ〉

- PJLink ™はデータプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。PJLink ™の仕様については PJLink ™の Web サイトをご覧ください。

URL: http://pjlink.jbmia.or.jp/

- PJLink ™のパスワードは、プロジェクター Web コントロールの “セキュリティ設定”（📖**3-45**）で設定した認証パスワードと共用です。PJLink ™を認証なしで使用する場合は、認証パスワードを設定しないでください。

故障かなと思ったら

⚠ 警 告

電源プラグをコンセントから抜け	●**異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く** 煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、などの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。その後、煙やにおい、音などが止まったことを確認し、販売店にご連絡ください。
電源プラグをコンセントから抜け	●**次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店に相談する** そのまま使用すると火災や感電の原因となります。 また、**お客様による修理は危険ですので絶対におやめ**ください。 ▶内部に異物や液体（金属や水）が入った ▶落とした、強い衝撃をあたえた ▶本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある

ご使用の前に、必ず「正しくお使いいただくために」（📖**1-2～9)** をお読みください。
異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。
その他の問題が起きた場合は、修理を依頼される前に、以下の「一括して初期設定にもどす」（📖 **下記**）、「メッセージ表示」（📖**4-45, 46**）、「インジケータ表示」（📖**4-47～51**）、「故障と間違えやすい現象について」（📖**4-52～56**）をご確認いただき、必要と思われる処置を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、販売店またはお客様ご相談窓口（📖 **巻末**）にご相談ください。

〈お知らせ〉

- 何らかのエラーが起きると、ステータスモニターにその内容が表示されます。エラーの表示内容については、「ステータスモニター」（📖**1-40 ～ 43**）をご参照ください。

一括して初期設定にもどす

誤って本機のメニュー設定を行い、元に戻せなくなったときには、一括初期化機能をご使用ください。
「その他」メニューの「特別な設定」－「工場出荷設定」（📖**2-40**）で「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。

〈お知らせ〉

- マイスクリーンパスワード（📖**2-43**）が設定されていない場合は、マイスクリーン画像もクリアされます。
- マイスクリーンパスワードが設定されている場合は、「初期画面」、「マイスクリーンロック」は初期化されません。
- 「ランプ時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」、および「表示言語」、また「セキュリティ」メニューの各項目は、一括初期化機能では初期化されません。「ランプ時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」を初期化するには、個別に **RESET** ボタンを押すなどの初期化操作を行ってください。

メッセージ表示

本機の電源を入れたときに、下表のようなメッセージが表示されることがあります。メッセージが表示されたら下表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。

メッセージ	内 容
COMPUTER IN 信号が入力されていません	入力信号が見つかりません。以下のことをご確認ください。 ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？ （📖**1-22～31**） ・信号源（DVD プレーヤ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？
接続待ち状態です。 接続待ち状態です。 ＜ SIMPLE ACCESS POINT ＞ SSID ： SimpleAccessPoint IP アドレス ： 192. 168. 10. 1 ＜ パスコード ＞ 無線LAN ： 2919-1111-MBHV 有線LAN ： PBQ5-D2B4-V3C9 ＜ プロジェクター名 ＞ Projector_Name	本機は画像データを待っている状態です。外部機器との接続、本機の設定と、ネットワーク関連の設定を確認してください。 コンピュータと本機のネットワーク接続が切断されている場合は、再接続してください。
COMPUTER IN 信号は同期範囲外です fH 48kHz fV 60Hz	入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。以下のことをご確認ください。 ・入力している信号は本機の仕様（📖**4-2～5**）に合っていますか？ ・信号源（DVD プレーヤ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？
COMPUTER IN 入力信号が不安定です	入力信号の水平又は垂直周波数が安定していません。 以下のことをご確認ください。 ・入力している信号は本機の仕様（📖**4-2～5**）に合っていますか？ ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？ （📖**1-22～31**） ・信号源（DVD プレーヤ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？ 信号入力切替機を介して信号源と本機を接続している場合は、信号源と本機を直接接続してみてください。左記のメッセージが表示されなくなる場合は、ご使用の信号入力切替機の仕様をご確認ください。

（次ページにつづく）

メッセージ表示（つづき）

メッセージ	内 容
吸気口をチェックしてください。	本機内部の温度が上がりすぎているか、短期間に大きく上昇、下降した可能性があります。すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上冷ましてから、以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？（📖**1-6, 11**） ・エアーフィルターは汚れていませんか？（📖**1-63, 64**） ・周囲温度が以下の使用範囲を超えていませんか？ ノーマルモード：0 ～ 40℃ エコモード：0 ～ 45℃ 高地モード：0 ～ 40℃ ・エアコンなどの風が本機にあたっていませんか？ ・「 その他 」メニューの「 特別な設定 」－「 高地モード 」（📖**2-35**）が正しく設定されていますか？ 「高地モード」を誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
ご注意 前回のエアーフィルターの掃除から、 15000時間以上経過しました。 エアーフィルターの掃除をお願いします。 エアーフィルター掃除後、 フィルター時間をリセットしてください。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。	エアーフィルターのお手入れ時期です。すぐに電源を切って電源プラグを抜いてください。しばらく待って十分冷ましてから、エアーフィルターを掃除または交換（📖**1-63, 64**）し、もう一度電源を入れてください。 エアーフィルターを掃除または交換したら、「 簡単メニュー 」の「 フィルター時間 」（📖**2-7**）を使って、忘れずにフィルター時間を初期化してください。
操作できないボタンが入力されました。	無効なボタンが押されました。 ご利用になるボタンを再度確認してください。

インジケータ表示

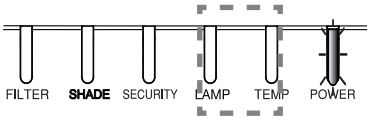
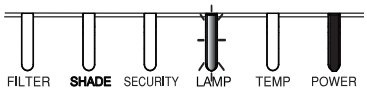
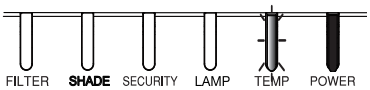
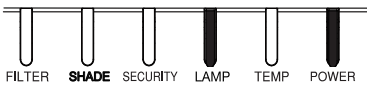
なんらかの問題がある場合は下表に従って処置してください。処置後もインジケータが同様に点灯、点滅したり、下表に記載されていない点灯や点滅が見られた場合は、販売店にご相談ください。

インジケータは、以下のように表示します。

点灯	点滅	消灯

インジケータ	内 容
橙色 FILTER SHADE SECURITY LAMP TEMP POWER	本機はスタンバイ状態です。 この状態で電源を入れる（ランプを点灯させる）または電源プラグを抜くことができます。（📖**1-44, 45**）
緑色 FILTER SHADE SECURITY LAMP TEMP POWER	本機はウォームアップ (ランプ点灯動作) 中です。 **POWER** インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
緑色 FILTER SHADE SECURITY LAMP TEMP POWER	本機は通常の動作状態です。
橙色 FILTER SHADE SECURITY LAMP TEMP POWER	本機は冷却動作中です。 **POWER** インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。

(次ページにつづく)

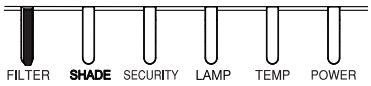
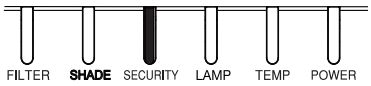
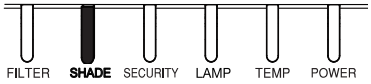
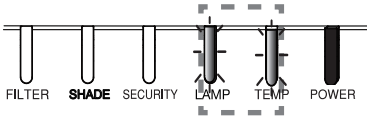
インジケータ	内　容
赤色  任意	不具合が見つかったため、本機は冷却動作中です。 **POWER** インジケータの点滅が止まるまでお待ちになり、以下に従って処置してください。
赤色　赤色  	ランプまたはランプカバーがはずれているか、取付けが不完全です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、45 分以上待って冷ましてください。 本機が十分に冷えてからランプまたはランプカバーの取付け状態（📖**1-60 ～ 62**）をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。
赤色　赤色  	冷却ファンが動作していません。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上待って冷ましてください。 本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・ファンに異物がはさまったりしていませんか？
赤色　赤色  	ランプが点灯できず、本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。そうでない場合は、電源が不安定になっています。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上待って冷ましてください。 本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・ファンに異物がはさまったりしていませんか？ ・本機の周辺に磁気を発生するものがありませんか？ ・以下の使用温度範囲で本機をご使用ください。 ノーマルモード：0 ～ 40℃ エコモード：0 ～ 45℃ 対処後、インジケータ表示が変わらない場合は、「ランプを交換する」（📖**1-60 ～ 62**）を参照し、ランプを交換してください。

(次ページにつづく)

インジケータ	内　容
赤色　赤色 FILTER SHADE SECURITY LAMP TEMP POWER	本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・ファンに異物がはさまったりしていませんか？ ・本機の周辺に磁気を発生するものがありませんか？ ・以下の使用温度範囲で本機をご使用ください。 ノーマルモード：0 ～ 40℃ エコモード：0 ～ 45℃ ・高地モードの設定は正しいですか？ ・本機の吸気口に周辺機器からの熱風が直接当たっていませんか？ 対処後、インジケータ表示が変わらない場合は、「ランプを交換する」を参照し、ランプを交換してください。 詳細は、「その他」メニューの「特別な設定」より「高地モード」（📖**2-35**）をご参照ください。 間違った設定での使用は、故障の原因となります。
赤色　赤色 FILTER SHADE SECURITY LAMP TEMP POWER 同時に点滅	エアーフィルターが汚れている可能性があります。エアーフィルターのお手入れ時期です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。 本機が十分に冷えてからエアーフィルターを掃除または交換（📖**1-63, 64**）してください。 エアーフィルターを掃除または交換したら、「簡単メニュー」の「フィルター時間」（📖**2-7**）を使って、忘れずにフィルター時間を初期化してください。
赤色　赤色 FILTER SHADE SECURITY LAMP TEMP POWER 交互に点滅 または 同時に点滅	その他のエラーが発生しました。 ・以下の使用温度範囲で本機をご使用ください。 ノーマルモード：0 ～ 40℃ エコモード：0 ～ 45℃ 処置後もインジケータ表示が変わらない場合は、販売店にご相談ください。 本機の設置状態を確認してください。適切に設置した後に再起動してください。

(次ページにつづく)

インジケータ表示（つづき）

インジケータ	内　容
橙色または赤色  	エアーフィルターが詰まっているか、汚れています。 エアーフィルターを確認または掃除してください。 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。 「本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります」の項目（📖**4-49**）もご確認ください。
黄色  	「暗証コードロック」が有効となっています。 「セキュリティ」メニューより「暗証コードロック」をご参照ください（📖**2-44**）。 インジケータ表示が変わらない場合は、販売店にご相談ください。
黄色  	レンズシェードが閉まっています。 リモコンもしくは操作パネルの SHADE ボタンを押すと開きます。
赤色　緑色  交互に点滅	内部温度が下がりすぎている可能性があります。 ・以下の使用温度範囲で本機をご使用ください。 　ノーマルモード：0 ～ 40℃ 　エコモード：0 ～ 45℃

(次ページにつづく)

〈お知らせ〉

- 内部温度が上がりすぎたり、ランプやランプカバーの取付けが不完全な場合など、安全のため、自動的に電源が切れることがあります。このときインジケータが全て消灯することがあります。この場合はすぐに電源コードを抜いて、45 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプおよびランプカバーの取り付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。

SECURITY インジケータ

詳細は、「セキュリティメニュー」、および「セキュリティメニュー」の「セキュリティインジケータ」をご参照ください。

SHADE インジケータ

レンズシェードが閉じている間、**黄色**に点滅します。レンズシェードについての詳細は、「映像 , 音声出力を隠す」（📖**1-59**）をご参照ください。

FILTER インジケータ

エアーフィルターのお手入れの時期を、下表のように色でお知らせします。

FILTER	内 容
消灯	エアーフィルターはまだお掃除の必要はありません。
橙色の点灯	エアーフィルターが詰まりかけています。 できるだけ早くフィルターのお手入れをお願いします。 インジケータ表示の「本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります」もご参照ください。（📖**4-49**）
赤色の点灯	エアーフィルターが目詰まりを起こしています。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、本機が十分に冷えてからエアーフィルターを掃除または交換（📖**1-63, 64**）してください。

〈お知らせ〉

- 吸気口の前に障害物などがあり、十分に本機内部に空気が流れ込まなくなると、エアーフィルターのお手入れがまだ必要でなくても、**FILTER** インジケータが橙色、あるいは赤色に点灯する場合があります。
- **FILTER** インジケータの表示色が、その他のインジケータや画面に表示されるメッセージなどと状況が一致しない場合があります。その場合は、先に表示されたものに従ってください。

場出荷設定

間違った設定の変更が難しい場合は、「その他」メニューの「特別な設定」の「工場出荷設定」より、全てをリセットすることができます。ただし、「表示言語」、「オートブランク」、「ランプ時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」、「スタンバイモード」、「通信設定」、「セキュリティ」および「ネットワーク」の各項目の設定は初期化されません。

故障と間違えやすい現象について

以下のような現象は故障ではない場合があります。
修理をご依頼になる前に、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。ネットワーク機能に関しての問題は、【ネットワーク編】「トラブルシューティング」（📖**3-82～88**）を、ご確認ください。処置後も現象が改善しない場合は販売店にご相談ください。

現　象	確認内容	参照ページ
電源が入らない	電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。	📖**1-36～37**
	停電などで、動作中に電源が切れませんでしたか？ その場合は電源コードを抜いて 10 分以上待って冷まし、もう一度電源を入れてください。	📖**1-36～37** 📖**1-44**
	ランプおよびランプカバーは正しく取付けられていますか？ すぐに電源コードを抜いて 45 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。	📖**1-60～62**
映像も音声も出ない	信号ケーブルまたは USB デバイスは正しく接続されていますか？ 各接続状態を確認し、正しく接続してください。	📖**1-22～31**
	信号源（DVD プレーヤ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？ 信号源の電源や設定を確認してください。	**-**
	信号が入力されている端子を選んでいますか？ 映像信号を選択しなおしてください。	📖**1-46**
	AV ミュート機能が働いていませんか？ AV MUTE ボタンを押して確認してください。	📖**1-59**
映像は出るが音声が出ない	信号ケーブルまたは USB デバイスは正しく接続されていますか？ 各接続状態を確認し、正しく接続してください。	📖**1-22～31**
	音量が小さく調節されていませんか？ 音量を調節して大きくしてください。	📖**1-14** 📖**2-23**
	音声信号の入力端子が正しく設定されていますか？ 「オーディオ」メニューの「音声入力設定」の設定を確認してください。	📖**2-23**
	音声のボタン（♪）、およびチェックボックスで音声が無効にされていませんか？ LAN 端子を選択している場合は、"LiveViewer" のオプション画面で音声チェックボックスにチェックマークを入れてください。	**-**
音声は出るが映像が出ない	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 各接続状態を確認し、正しく接続してください。	📖**1-22～31**
	画面の明るさが極端に暗く調節されていませんか？ 「映像」メニューの「明るさ」を調節して明るくしてください。	📖**2-8**
	接続しているコンピュータがプラグ＆プレイ・モニタを検知できますか？ 他のプラグ・アンド・プレイ・モニタを使用して、コンピュータがプラグ・アンド・プレイ・モニタを検知することができるか確認してください。	📖**1-22**
	レンズシェードが閉じていませんか？ SHADE インジケータが点滅していないか確認してください。SHADE インジケータが点滅している場合は、操作パネルの SHADE ボタンを押してください。	📖**1-59**

（次ページにつづく）

現　象	確認内容	参照ページ
リモコンが効かない	リモコンの電池が消耗していませんか？ リモコンの電池を交換してください。	📖1-38
	リモコンに設定した ID 番号と、「リモコン ID」の設定が合っていますか？ 「その他」メニューの「リモコン ID」で設定した ID 番号の、ID ボタンを押してください。	📖1-38
映像が動かない（静止している）	FREEZE ボタンで映像を静止させていませんか？ FREEZE ボタンを押して確認してください。	📖1-58
色が薄い、色あいが悪い	色の濃さや色あいが正しく調節されていますか？ 「映像」メニューの「色の濃さ」、「色あい」を調節してください。	📖2-8
	色空間、信号方式は正しく選択されていますか？ 「入力」メニューの「色空間」、「ビデオフォーマット」の設定を変更してください。	📖2-15, 16
映像が暗い	画面の明るさやコントラストが暗く設定されていませんか？ 「映像」メニューの、「明るさ」、「コントラスト」を調節して明るくしてください。	📖2-8
	「設置」メニューの「ランプ＆フィルター」-「エコモード」で「ノーマル」を選択してください。	📖2-20
	ランプが寿命に近づいていませんか？ ランプを交換してください。	📖1-60 ～ 62
映像がぼやける、もやがかかってみえる、映像周辺が明るい	レンズカバーは外れていますか？ レンズカバーを外してください。	-
	フォーカス、クロック位相は調節されていますか？ フォーカス、および「表示」メニューの「クロック位相」を調節してください。	📖1-49 📖2-14
	レンズが汚れたり、くもったりしていませんか？ レンズをお手入れしてください。	📖1-66
ちらつきや縞模様など、画像ノイズが現れる、映像が乱れる	「設置」メニューの「ランプ＆フィルター」-「エコモード」で「ノーマル」を選択し、電源を入れなおしてください。	📖2-20
	「オーバースキャン」を大きく設定しすぎていませんか？ 「表示」メニューで「オーバースキャン」を調節し直してください。	📖2-13
	「VIDEO NR」を強く設定していませんか？。 「入力」メニューで「VIDEO NR」を「中」か「弱」に設定してみてください。	📖2-15
	フレームロック機能を有効にしていますか？ 信号によっては、フレームロック機能が動作しない場合があります。「入力」メニューで、選択している入力端子の「フレームロック」を「無効」にしてみてください。	📖2-17
スタンバイ時、RS-232C 通信ができない	「設置」メニューの「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。	📖2-21
	「通信タイプ」が「ネットワークブリッジ」に設定されていませんか？ 「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」－「通信タイプ」を「オフ」に設定してください。	📖2-38

（次ページにつづく）

現　象	確認内容	参照ページ
スタンバイ時に、ネットワークに接続できない	「設置」メニューの「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。	📖2-21
	同じネットワークアドレスが無線 LAN と有線 LAN に設定されていませんか？ 無線 LAN と有線 LAN のネットワークアドレス設定を変更してください。	-
スタンバイ時に、HDBaseT™ 経由で IR と RS-232C が動作しない	「設置」メニューの「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。	📖2-21
スタンバイ時に、HDBaseT™ 接続が動作しない	「設置」メニューの「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。	📖2-21
	接続機器は HDBaseT™ に対応していますか？ 基本編の接続に関する項を参照してください。	📖1-26
HDBaseT™ 経由で IR と LAN が動作しない	HDBaseT™ の IR 設定が無効になっていませんか？ 以下で確認してください。 簡単メニュー ＞ 詳細メニュー ＞ その他 ＞ 特別な設定 ＞ リモコン受光部	📖2-37
	LAN 設定が HDBaseT™ になっていますか？ 以下で確認してください。 簡単メニュー ＞ 詳細メニュー ＞ ネットワーク ＞ 有線ネットワーク	📖3-26
HDBaseT™ 入力に LAN を直接差した場合に、LAN がつながらない	LAN 設定が HDBaseT™ になっていますか？ 以下で確認してください。 簡単メニュー ＞ 詳細メニュー ＞ ネットワーク ＞ 有線ネットワーク	📖3-26
	本機は 100BASE-T のみに対応しています。 接続機器の仕様を確認してください。	-
	LAN ケーブルがハブを経由している場合、別のポートに接続を変更してください。	-
	LAN ケーブルを直接 PC に 接続している場合は、他の PC に接続してください。	-
HDBaseT™ 接続で映像が出ない	LAN ケーブルが CAT5e 以上であるか確認してください。	-
	LAN ケーブルを交換してください。	-
	LAN ケーブルを 3 つ以上の延長コネクタに接続している場合、100m 伝送できないことがあります。	-
	延長コネクタが CAT5e 以上に対応しているかどうか確認してください。 HDBaseT 端子に接続する全ての LAN ケーブルと延長コネクタが、CAT5e 以上に対応している必要があります。	-

（次ページにつづく）

現　象	確認内容	参照ページ
SDI 接続で映像が出ない（MC-WU8701WJ/MC-WU8701BJ のみ）	5CFB 以上、もしくは Belden 1694A 以上のケーブルで接続されているかどうか確認してください。	-
	100m 以下のケーブルかどうか確認してください。	-
	ケーブルを交換してください。	-
	対応している信号フォーマットを入力しているかどうか確認してください。	📖4-2 ～ 5
DisplayPort 接続で映像が出ない	Display Port 規格に適合している Display Port ケーブルで接続されているかどうかご確認ください。	-
	Display Port 対応の初期のチップセットやグラフィックスカードを使用しているコンピューターと接続すると、本機やコンピュータが正常に動作しなくなる場合があります。	-
	コンピューターのグラフィックアクセラレーターのドライバーを最新バージョンにすることで改善する場合があります。	-
	本機の電源、及び外部機器の電源を切 / 入してください。	-
	対応している信号フォーマットを入力しているかどうか確認してください。	📖4-2 ～ 5
ネットワークブリッジで通信できない	「通信タイプ」が「オフ」に設定されていませんか？ 「その他」メニューの「特別な設定」－「通信設定」から「通信タイプ」を「ネットワークブリッジ」に設定してください。	📖2-38
スケジュール機能が動作しない	「設置」メニューの「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。	📖2-21
	内蔵時計がリセットされていませんか？ 内蔵時計用電池を取り付けていない場合、本機の電源が切れると、現在の日付と時刻の設定は初期化されます。 「ネットワーク」メニューの「無線 LAN 設定」もしくは「有線 LAN 設定」の「日付と時刻の設定」を確認する、または電池を取り付けてください。	📖3-24 📖1-65

（次ページにつづく）

現　象	確認内容
本機が有線 LAN に接続されている場合、電源は以下のように切替わります 電源「オフ」 ↓ 数回電源インジケータが橙色に点滅 ↓ スタンバイモードに切替わります	プロジェクターから LAN ケーブルを抜いて、プロジェクターが正常に動作することを確認してください。 ネットワークに接続すると症状（症状 A）が現れる場合は、以下のケースのように、ネットワーク内に 2 つのイーサネットスイッチングハブ間のループ接続があることが考えられます。 （上記の「以下に説明するケース」の要件①として）・ネットワーク内に 2 つ以上のイーサネットスイッチングハブがある。 （上記の「以下に説明するケース」の要件②として）・それら（2 つ以上あるイーサネットスイッチングハブ）のうちの 2 つが、LAN ケーブルで 2 重に接続されている。 （上記の「以下に説明するケース」の要件③として）・その 2 重に接続された 2 つのハブ間でループを形成している。 （症状 A の補足説明として）このようなループは、プロジェクターだけでなく、ネットワーク内の他の装置へも悪影響を及ぼすことがあります。 ネットワーク接続を確認し、（ループが存在する場合は）LAN ケーブルを 1 本にするなどして、ループを削除してください。

〈お知らせ〉

- 画面中に輝点や黒点がみられることがありますが、これは液晶特有の現象であり、故障ではありません。
- 静止画、動きの少ない映像や液晶パネルの仕様と異なる縦横比（16:9 など）の映像を長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて残像が残ることがあります。この場合は白画面（白い無地の映像）を 1 時間以上投映し続けるか、または電源を切って数時間放置してください。白画面表示には、AV ミュート機能（📖**1-59**）をご利用ください。

ソフトウェアのライセンス情報

プロジェクターに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールは、それぞれに弊社または第三者の著作権が存在します。

プロジェクターには、弊社自身が開発または作成したソフトウェアモジュールも含んでいますが、これらのソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント等には、弊社の所有権および知的財産権が存在します。これらについては、著作権法その他の法律により保護されています。

また、プロジェクターには、米国 Free Software Foundation, Inc. が定めたソフトウェア使用許諾契約書（GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 及び GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1）、または各ソフトウェアの使用許諾契約書に基づきフリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュール、及びその他のソフトウェアの使用許諾契約書につきましては、弊社のホームページ (📖5-2) をご覧ください。

また、ライセンスソフトウェアにつきましては各地域のディーラーにお問い合わせください。

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、後に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書（別紙）、及びホームページに記載した各ソフトウェアの使用許諾契約書をお読みください（弊社以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を掲載いたします）。

当該ソフトウェアモジュールについては、弊社以外に、別途著作権者その他の権利を有する者がおり、かつ、無償での使用許諾ですので、現状のままでの提供であり、また、適用法令の範囲内で一切保証（明示するもの、しないものを問いません）をしないものとします。また、弊社は、当該ソフトウェアモジュール及びその使用に関して生じたいかなる損害（データの消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインタフェースの不適合化等も含まれます）についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。

ソフトウェアモジュールに関する ソフトウェア使用許諾契約書原文（英文）

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language.
(Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machin-ereadablesource code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be torefrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable underany particular circumstance, the balance of the section is intended toapply and the section as a whole is intended to apply in othercircumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING,REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program. You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing nonfree programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries.
In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/ Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library".The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)
"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If dentifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

About the OpenSSL Toolkit

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/).
Copyright© 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

【保証とアフターサービス】 必ずおよみください！

修理を依頼されるときは

（出張修理）
【ネットワーク編】「トラブルシューティング」（📖3-82～88）、【技術情報編】「故障かなと思ったら」（📖4-44～56）に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」へご連絡ください。

保証書
保証書は必ず「お買い上げ日」「販売店」などの記入をお確かめください。内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間については保証書をご覧ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

補修用性能部品保有期間
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。

保証期間中は

修理をご依頼の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、マクセル株式会社が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

＋

部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

出張料
製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご連絡していただきたい内容

「お買い上げ日」や「販売店」の欄はあらかじめ記入しておくと、修理をご依頼になるときに便利です。

品　名	プロジェクター
本体形名	MC-WU8701WJ (MC-WU8701W) / MC-WU8701BJ (MC-WU8701B) / MC-WU8601WJ (MC-WU8601W) / MC-WU8601BJ (MC-WU8601B) / MC-WX8751WJ (MC-WX8751W) / MC-WX8751BJ (MC-WX8751B) / MC-WX8651WJ (MC-WX8651W) / MC-WX8651BJ (MC-WX8651B)/ MC-X8801WJ (MC-X8801W) / MC-X8801BJ (MC-X8801B)
お買い上げ日	年　　月　　日
販売店	店名
	電話　（　　）
故障の状況	※できるだけ具体的にお知らせください。
梱包材の有無	輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材をお使いください。梱包材が損傷していたり廃棄または紛失した場合はお知らせください。
お客様	名前
	住所 ※付近の目印なども合わせてお知らせください。
	電話番号
訪問ご希望日	年　　月　　日

長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検

このような症状はありませんか

- 電源を入れても映像が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- ランプが破裂した。

➡

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口

弊社のプロジェクターや関連製品の修理に関するご相談やご不明な点については、お買い上げの販売店へお問い合わせいただくか、次の「お客様ご相談窓口」へご連絡ください。

TEL. **0120-5470-60**

受付時間：09:00 ～ 17:00

※ 弊社の休業日（土曜日、日曜日、祝日、および年末年始や夏季など）は休ませていただきます。
※ 一部の IP 電話からは繋がらない場合があります。その場合はお手数ですが、携帯電話やスマートフォンなどからお掛け直しをお願いいたします。

マクセル プロジェクター ホームページ

弊社のプロジェクター用の取扱説明書やアプリケーションソフトウェアの最新版は、弊社のホームページからダウンロードしてご利用いただけます。ホームページでは、レンズや設置器具などの別売品に関する情報もご案内しています。次の URL へアクセスしてご利用ください。

ホームページ URL **http://biz.maxell.com/ja/display_equipment/**

個人情報の取扱について

- 弊社が「お客様ご相談窓口」などで取得したお客様の個人情報は、お客様のご相談及びサポート等への対応を目的として利用し、適切に管理します。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確に回答するために通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 弊社の「個人情報保護方針」は、次の URL よりご参照ください。

個人情報保護方針 URL **http://www.maxell.jp/privacy-policy.html**

商標について

- Mac®、Macintosh®、Mac OS® および Mac OS X® は Apple Inc. の登録商標です。
- Pentium® は Intel Corp. の登録商標です。
- Adobe®、Acrobat® および Reader® は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。
- Microsoft®、Internet Explorer®、Windows®、Windows Vista® は、米国またはその他の国における Microsoft Corpodration の登録商標です。
- VESA および DDC (DDC/CI) は Video Electronics Standards Association の商標です。
- HDMI®、HDMI High-Definition Multimedia Interface® および HDMI® ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- Blu-ray™ および Blu-ray Disc™ は Blu-ray Disc Association の商標です。
- DICOM® は、National Electric Manufacturers Association による、医療情報のデジタル通信に関する規格における登録商標です。
- HDBaseT ™および HDBaseT Alliancer ロゴは、HDBaseT Alliance の登録商標です。
- DisplayPort は、Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

プロジェクターソフトウェアのライセンスについて

- プロジェクターに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールには、それぞれに弊社または第三者の著作権が存在します。【技術情報編】の「ソフトウェアのライセンス情報」の項をご参照ください。

マクセル株式会社
〒 244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 5030
TEL.050-5855-1193

QR92181
Printed in China